



令和4年度 港南区区民意識調査

結果報告書

令和5年1月

横浜市港南区役所



■まえがき

港南区役所では、区民の皆様のご意見を活かした区政運営を進めるため、区民意識調査を3年に一度実施しています。今回は、前回調査を令和元年（2019年）5月に実施して以降、令和2年（2020年）明けから世界規模で流行し始めた新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛、地域活動などへの影響を受けた中での調査になりました。調査項目としては、新たに文化・スポーツ振興、スマートフォンの利用状況をお尋ねしました。

区民意識調査の結果は、区政運営にあたっての基礎的データとして活用していきます。調査にご協力いただきました区民の皆様に、心よりお礼申し上げます。

令和5年1月港南区長

■目次

I 調査の概要	
1 調査概要	2
2 回答者属性（性別、年齢、職業、世帯構成、同居家族の状況、居住年数など）	3
3 自治会町内会の加入状況	5
4 定住意向	5
II 区民意識調査結果	
1 お住まいの地域の生活環境	7
2 災害に備えた対策	
（1）災害への備え・対策	10
（2）防災に関する情報の入手手段	13
（3）災害に備え自治会町内会が進めるべき取組	16
（4）地震で開設される避難所（地域防災拠点）の認知	17
（5）大雨・洪水・台風で開設される避難場所の認知	19
（6）防災に関して知りたいこと	21
（7）災害時要援護者への協力	22
3 健康づくり	
（1）健康のため行っていること	23
（2）がん検診の受診有無	32
（3）がん検診を受けなかった理由	34
（4）がん検診の受診場所	37
4 地域活動	
（1）地域活動参加経験・参加意向・充実すべき地域活動	38
5 文化振興	
（1）活動しているまたは興味のある文化活動	42
（2）参加してみたい文化活動	45
6 スポーツ振興	
（1）日頃スポーツ・運動を行う場所	48
（2）参加してみたいスポーツ関連の活動	51
7 読書活動	
（1）本を読む頻度	54
（2）本を読まない理由	55
8 食品ロスの削減	
（1）食品ロス削減に係る取組経験・今後の取組意向	57
（2）食品ロス削減に係る取組を特に行っていない・行う予定がない理由	61
（3）フードドライブの認知度	62
9 スマートフォンの利用状況	
（1）スマートフォン所有の有無	63
（2）スマートフォンで使用する機能	64

10 市や区の情報	
(1) 市や区の情報入手手段	66
(2) 今後得たい市や区の情報入手手段	71
(3) 関心がある・充実させてほしい情報	73
11 区政運営	
(1) 港南区が短期的に取り組むべきこと	78
(2) 区の将来像	85
12 自由記述	
(1) 区政運営またはアンケートについての意見	86
Ⅲ 資料編	
1 地域別集計の概要	88
2 地域別集計	89
Ⅳ 調査票様式	154

I 調査の概要

1 調査概要

(1) 調査目的

区民の皆さまの生活環境に対する意識や日常の行動、区に取り組んでほしいこと等を把握し、今後の区政運営に役立てることを目的としています。

(2) 仕様

調査対象：港南区民4,000人（満18歳以上の区内在住者、外国籍区民40人を含む）

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

有効回収数：2,009票（うち、Web回答531票）

回収率：回収率50.2%

調査期間：令和4年5月18日～6月20日

調査方法：郵送による配布、

郵送による回収及び電子申請・届出システムによる回答

(3) 集計結果の見方

図（グラフ）の中で使用されているアルファベットnは、その設問に対する回答者数を表します。

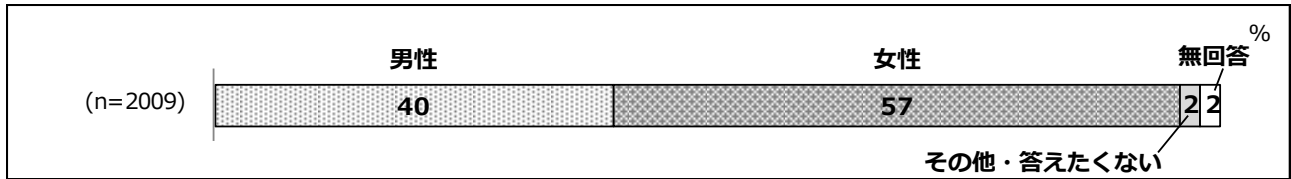
回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出しています。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合があります。また、小数点以下を四捨五入して算出しているため、単一回答の設問の場合には合計が100%にならない場合があります。

グラフ内のR04は令和4年度、R01は令和元年度、H29は平成29年度の数値を示します。

2 回答者属性

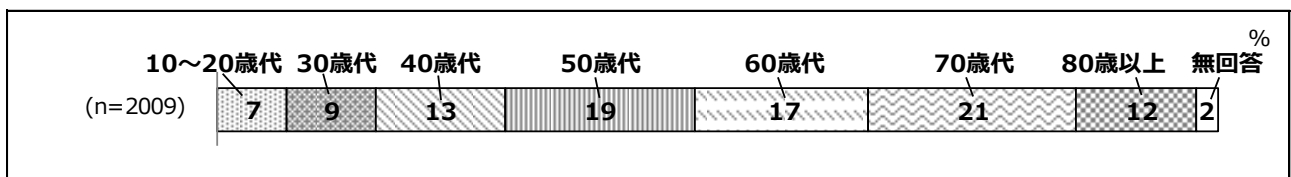
I 性別

- ・回答者の性別を見ると、男性は40%、女性は57%と過半数を超えています。



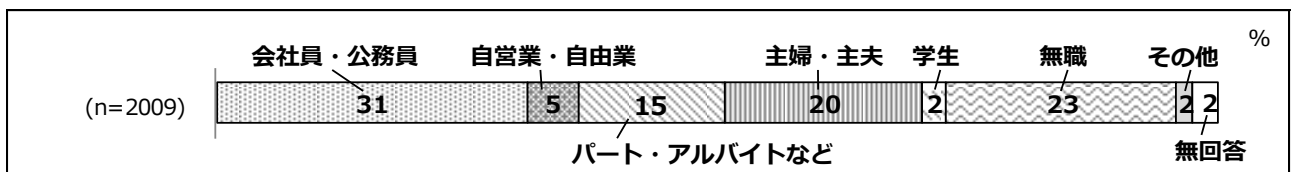
II 年齢

- ・年齢を年代別に見ると、「50歳代」と「70歳代」の回答が多く、60歳代以上の回答が半数を占めています。



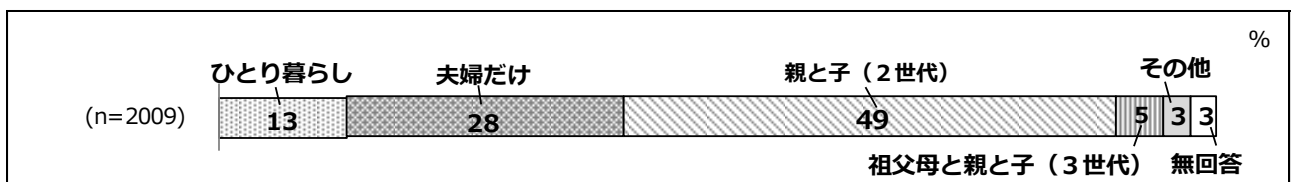
III 職業

- ・職業は「会社員・公務員」が最も多く、約3割を占めています。



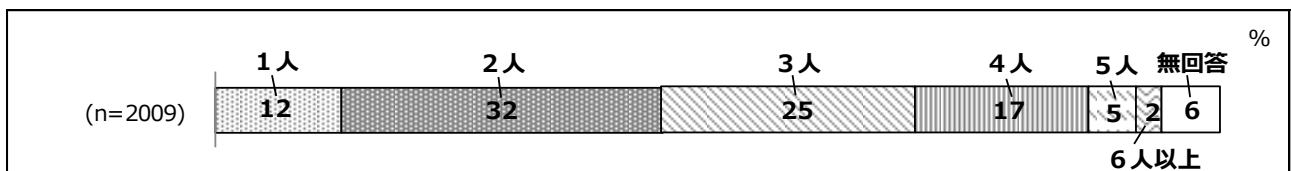
IV 世帯構成（同居している家族）

- ・世帯構成は、「親と子（2世代）」が49%と最も多く、約半数を占めています。



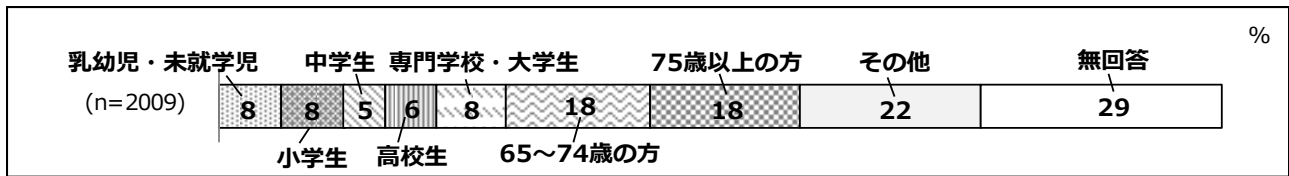
V 同居家族の人数

- ・同居している家族の人数は、「2人」が32%と最も多く、「2人」と「3人」の回答で半数以上を占めています。



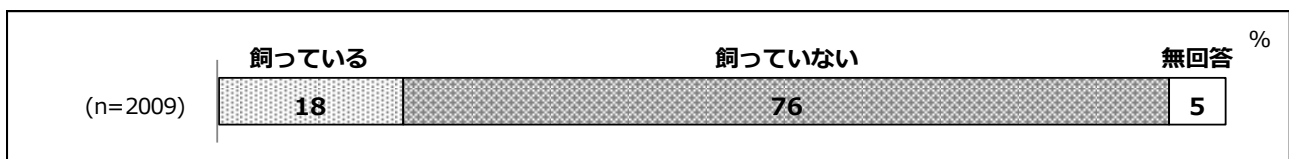
VI同居家族の状況

- 同居している家族の状況は、その他を除いて、「65～74歳の方」と「75歳以上の方」の回答が多くなっています。



VIIペットの飼育状況

- ペットの飼育状況は、全体の76%が「飼っていない」と回答、「飼っている」は18%でした。

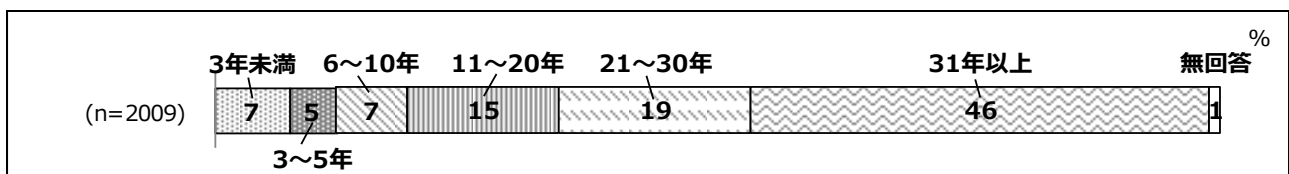


- 飼っている動物の種類（複数回答）は、犬が過半数を占めています。



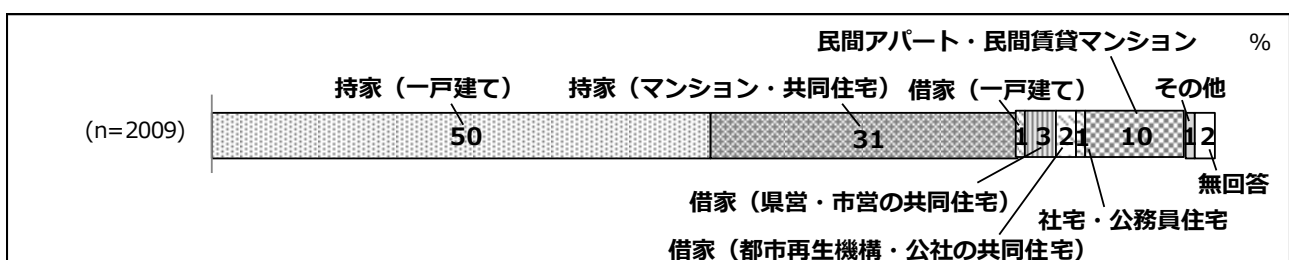
VIII港南区での居住年数

- 港南区での居住年数は、「31年以上」が46%で最も多く、「21～30年」が19%でそれに次いでいます。11年以上が8割を占め、居住年数の長い方が多くなっています。



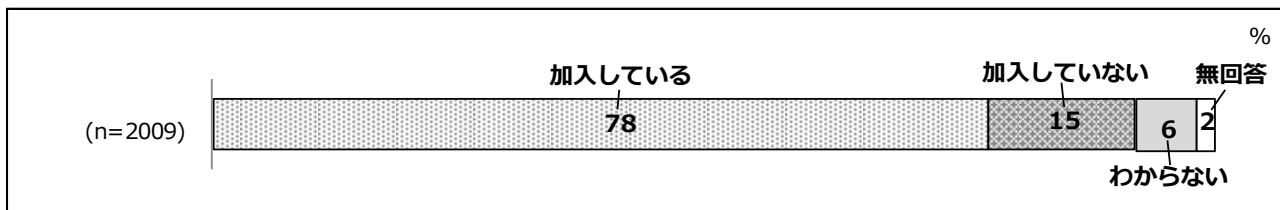
IX住まいの形態

- 住まいの形態は、「持家（一戸建て）」が50%で最も多く、「持家（マンション・共同住宅）」が31%でそれに次いでいます。「持家」の方が約8割を占めています。



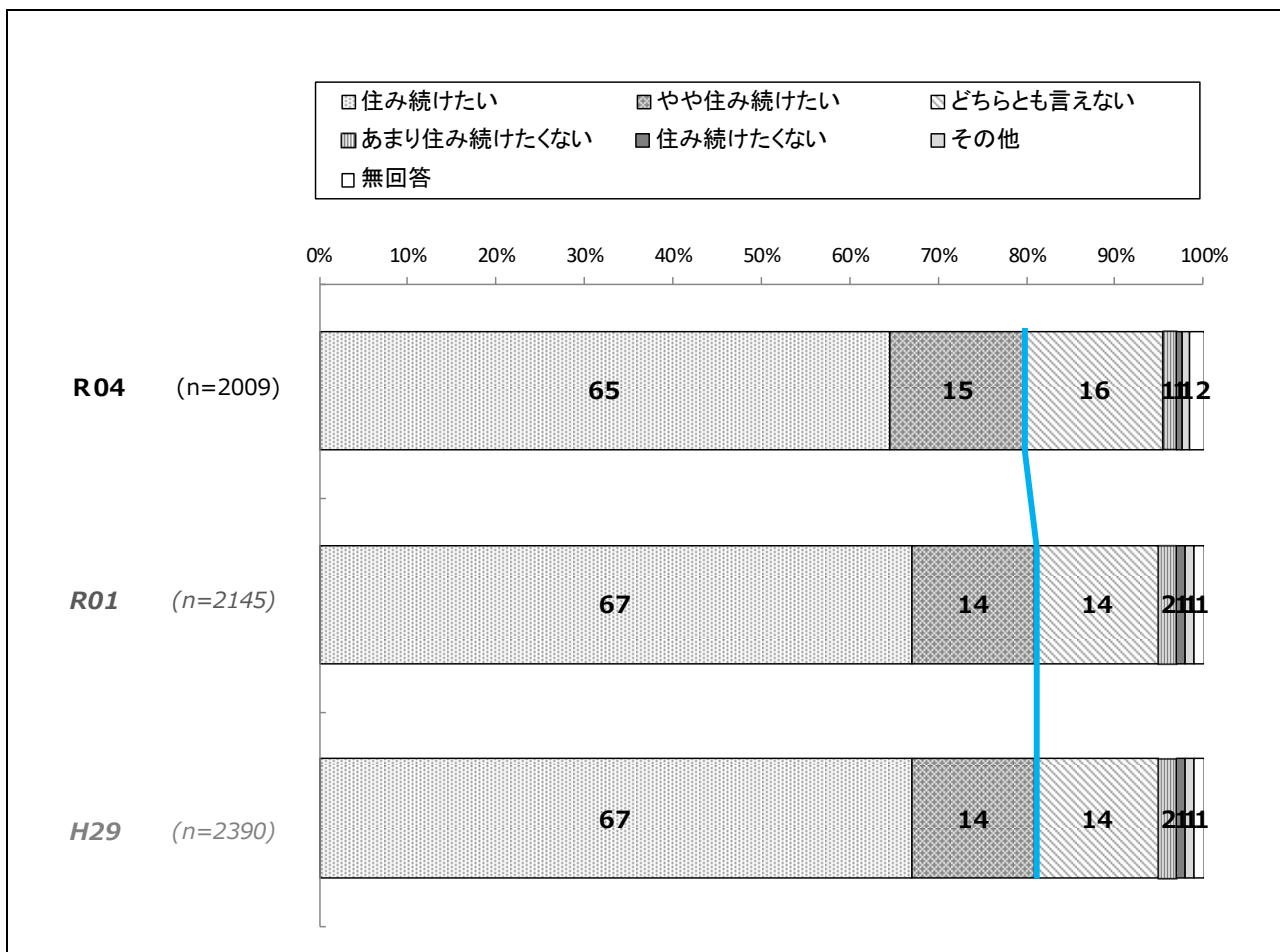
3 自治会町内会の加入状況

- 自治会町内会の加入状況は、78%が「加入している」、15%が「加入していない」と回答しました。



4 定住意向

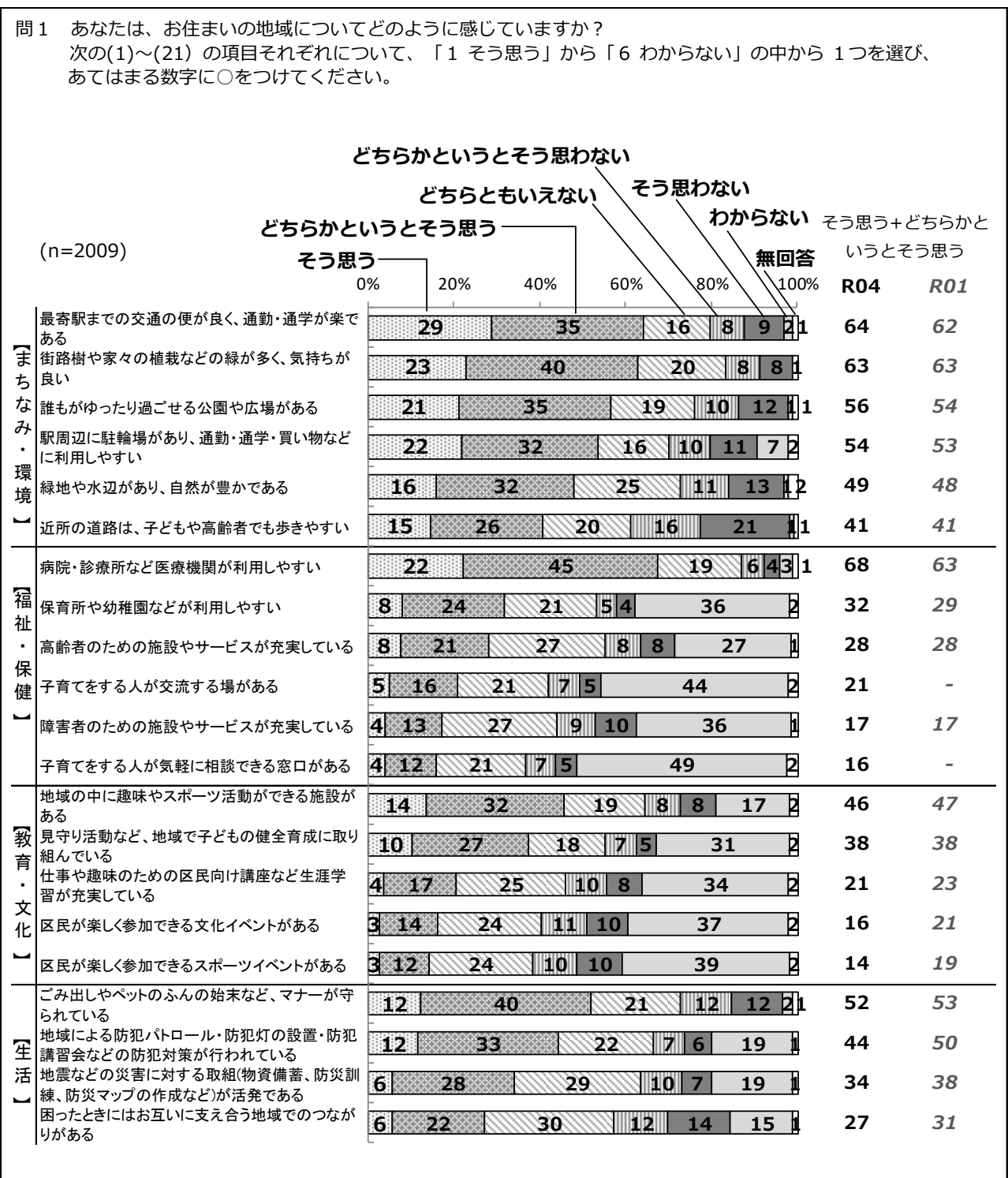
- 「住み続けたい」と「やや住み続けたい」の回答の合計が8割を占め（80%）、経年で比較しても高い定住意向を維持しており、暮らしやすいまちとなっています。



Ⅱ 区民意識調査結果

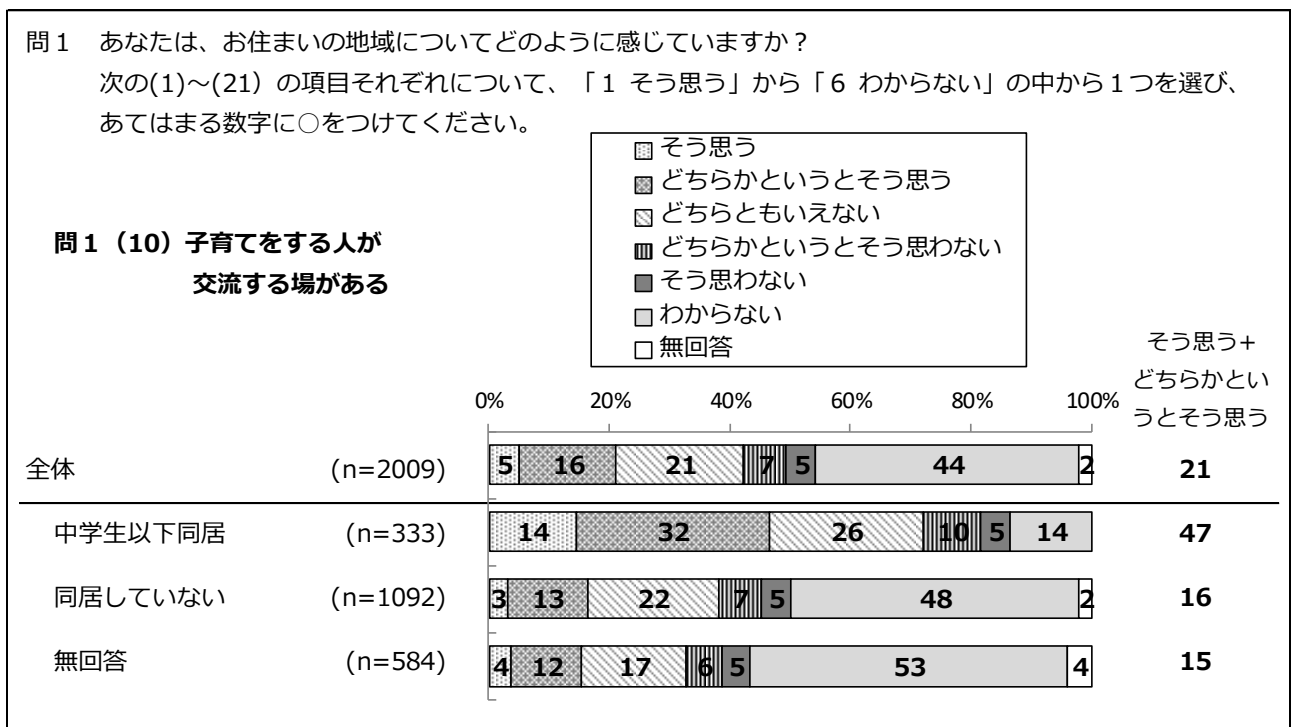
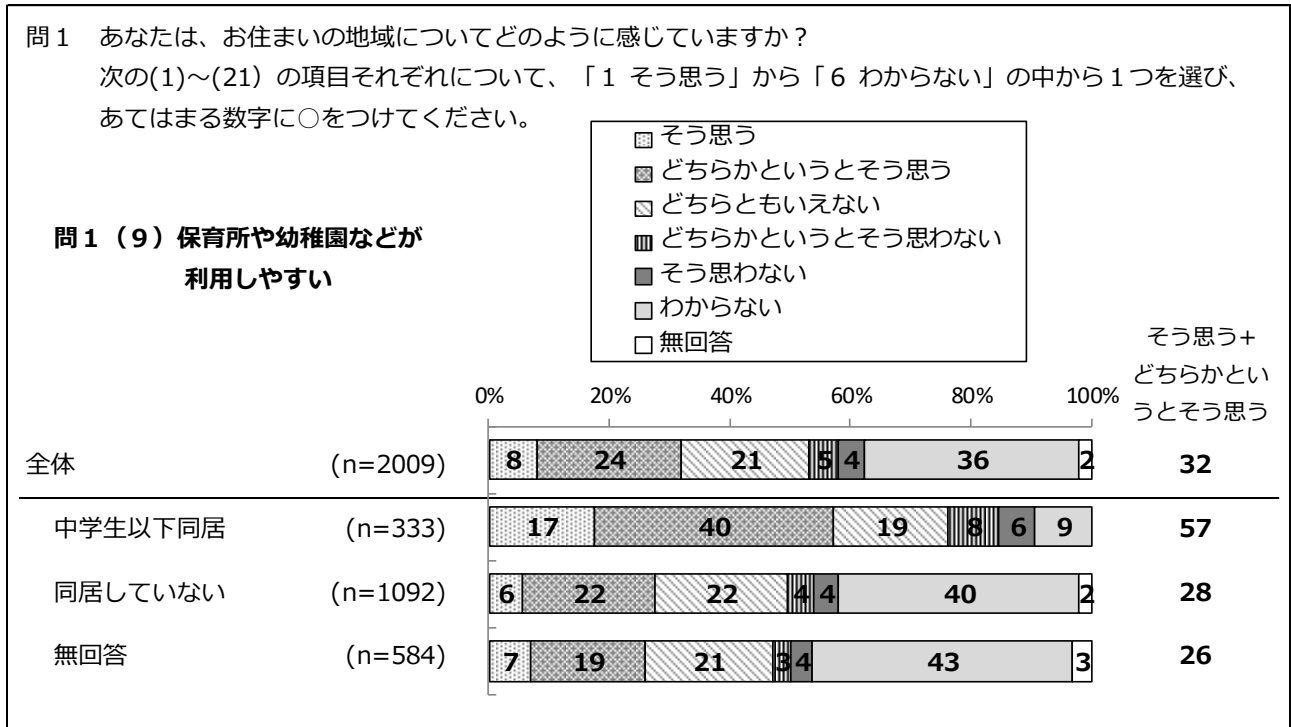
1 お住まいの地域の生活環境

- ・お住まいの地域の生活環境については、「そう思う」+「どちらかというと思う」の割合を見ると、「病院・診療所など医療機関が利用しやすい」は前回から5ポイント増えた68%で最も多く、次いで「最寄駅までの交通の便が良く、通勤・通学が楽である」は64%、「街路樹や家々の植栽などの緑が多く、気持ちが良い」は63%と多く、令和元年度から引き続き、6割以上の回答があります。
- ・前回調査と比較すると、「まちなみ・環境」や「福祉・保健」で「そう思う」+「どちらかというと思う」の割合は増加または同等ですが、「教育・文化」のイベントや講座、「生活」の防犯対策等の項目は減少しています。



[子育て世代（中学生以下）同居別 生活環境]

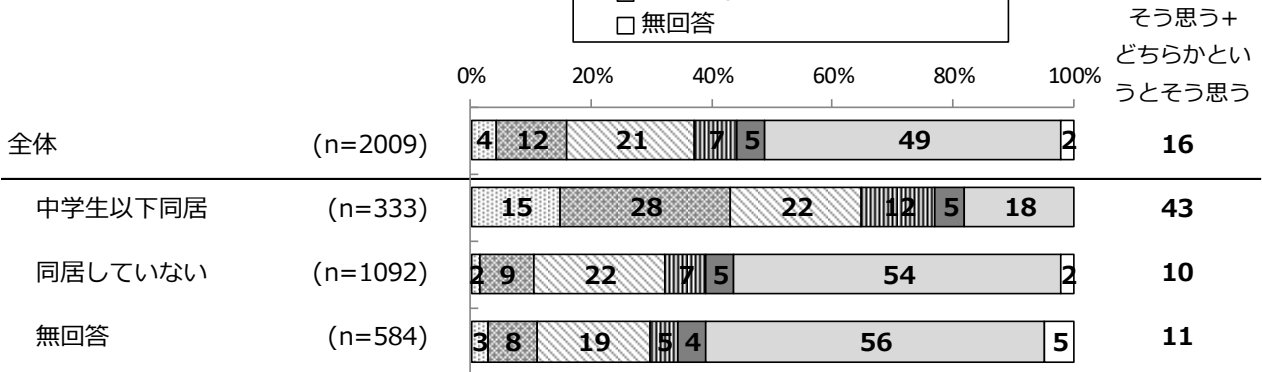
- ・子育てに関する4項目への回答を、中学生以下と同居する子育て世代とそうでない世代で分けてみると、「そう思う」+「どちらかというと思う」の割合は、全体よりも「中学生以下と同居」が上回っています。また「わからない」の割合は、全体よりも「中学生以下と同居していない」が上回っています。
- ・子育て世代と同居の「そう思う」+「どちらかというと思う」の割合は、4項目のうち「保育所や幼稚園などが利用しやすい」（57%）が最も多く、次いで「見守り活動など、地域で子どもの健全育成に取り組んでいる」（55%）が続いています。



問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？
 次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、
 あてはまる数字に○をつけてください。

**問1 (11) 子育てをする人が気軽に
 相談できる窓口がある**

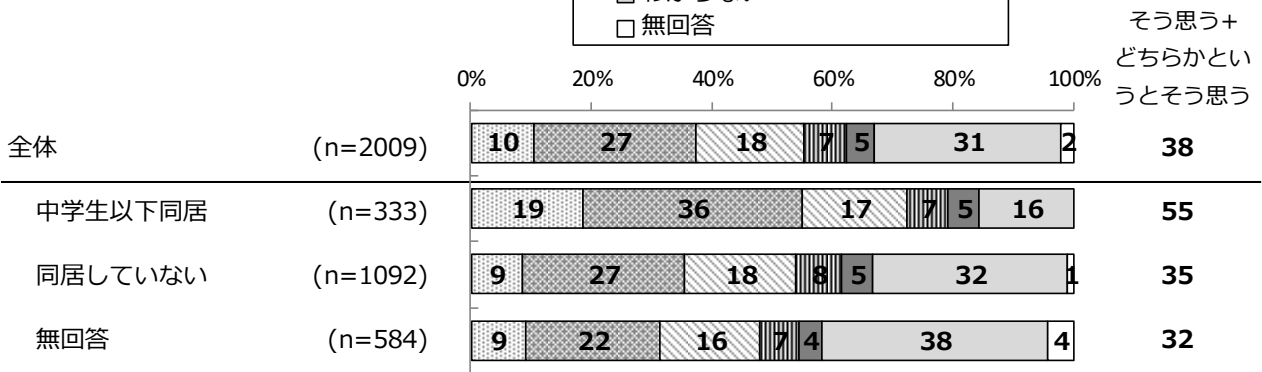
- そう思う
- ▨ どちらかというそう思う
- ▧ どちらともいえない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答



問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？
 次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、
 あてはまる数字に○をつけてください。

**問1 (17) 見守り活動など、地域で
 子どもの健全育成に取り組んでいる**

- そう思う
- ▨ どちらかというそう思う
- ▧ どちらともいえない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

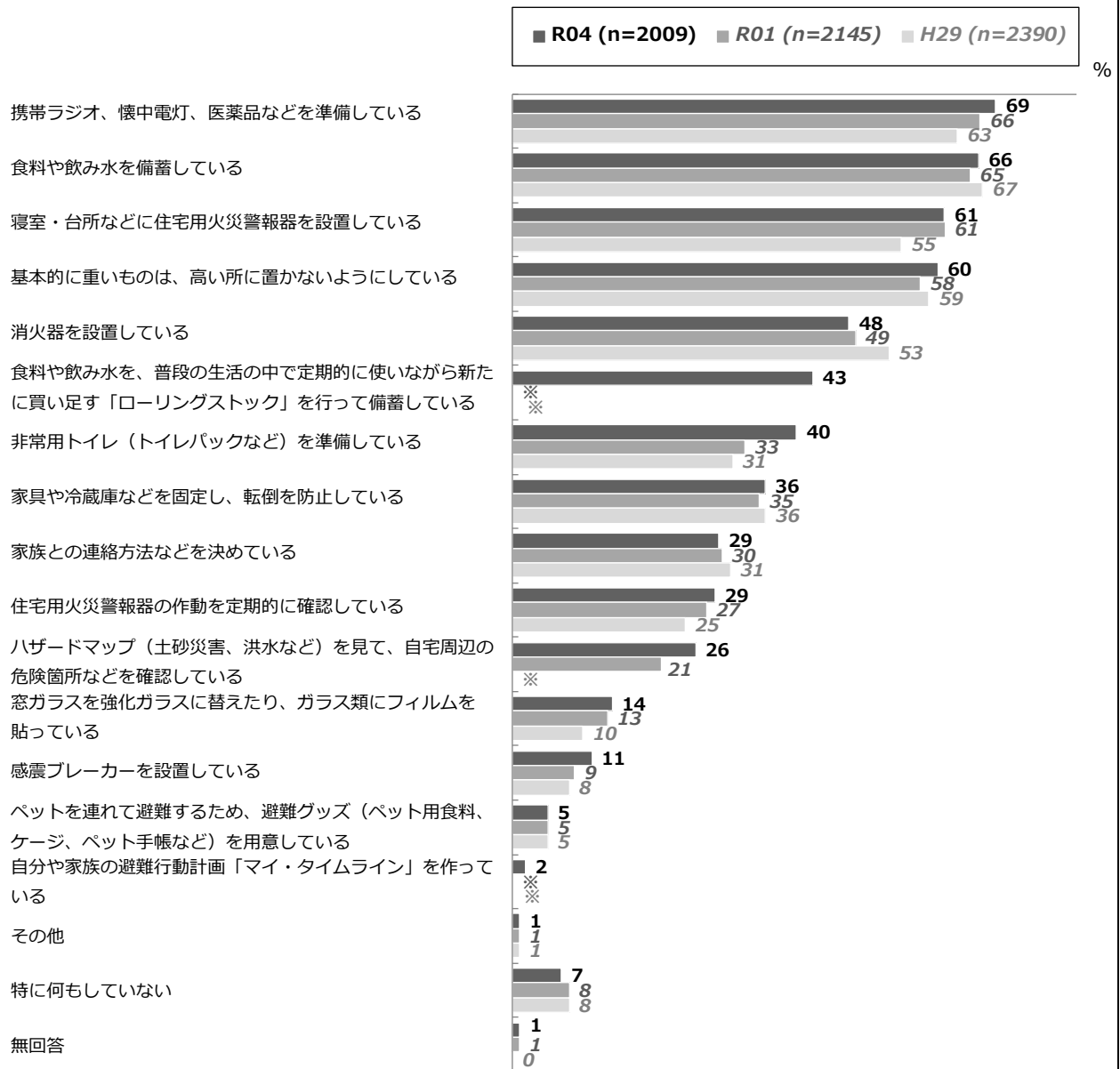


2 災害に備えた対策

(1) 災害への備え・対策

- ・災害への備え・対策については、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」(69%)が最も多く、次いで「食料や飲み水を備蓄している」(66%)、「寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している」(61%)が多くなっています。
- ・前回調査と比較すると、「消火器を設置している」や「家族との連絡方法などを決めている」は1ポイント微減していますが、「非常用トイレ(トイレパックなど)を準備している」(前回比+7ポイント)、「ハザードマップを見て、自宅周辺の危険箇所などを確認している」(同+5ポイント)、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」(同+3ポイント)は増加し、多くの項目で前回調査と同じもしくは高いポイントとなっています。

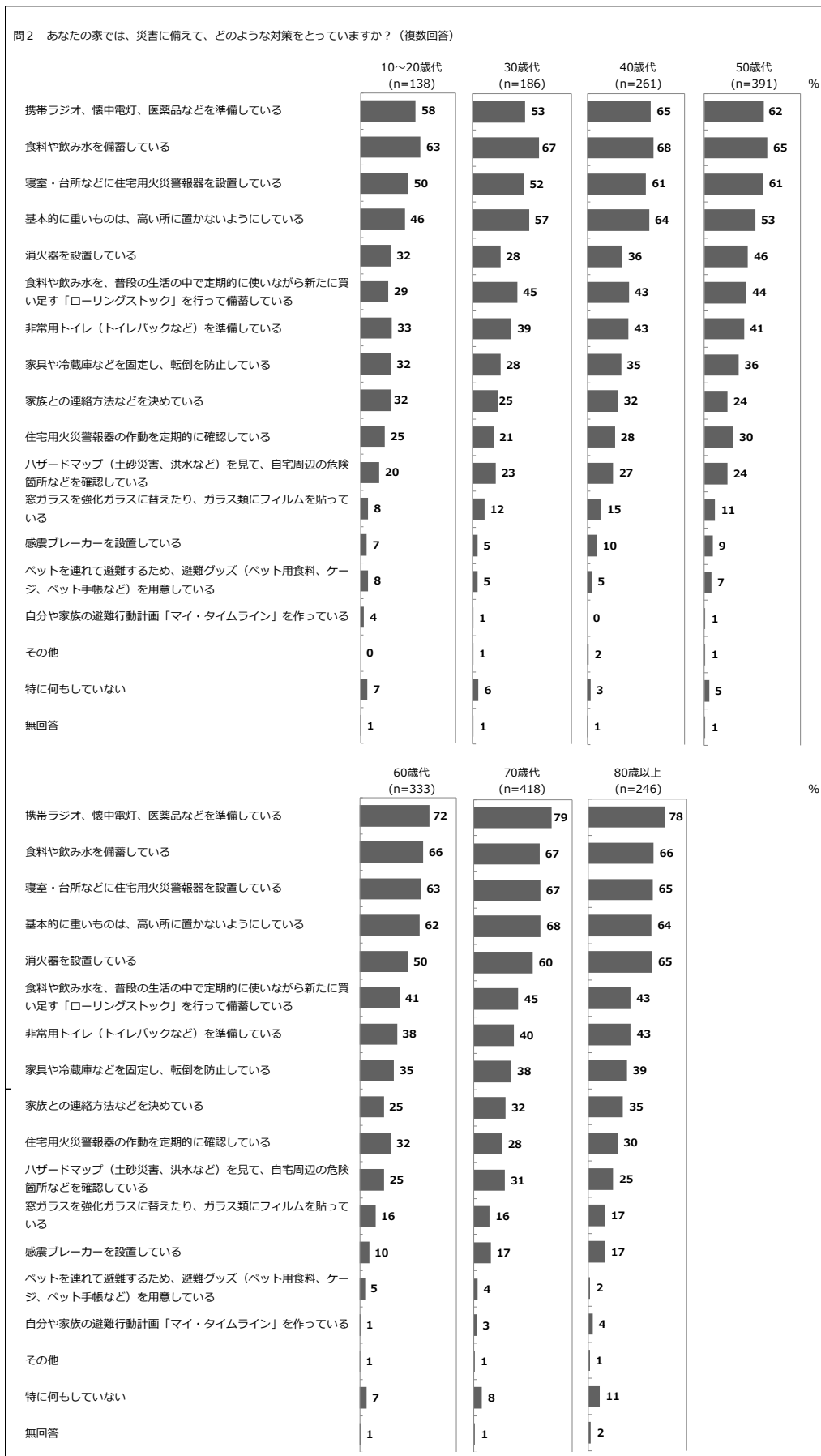
問2 あなたの家では、災害に備えて、どのような対策をとっていますか？(複数回答)



※の項目は聴取を実施せず

[年代別 災害への備え・対策]

- 年代別で見ると、10～50歳代までは「食料や飲み水を備蓄している」、60～80歳以上は「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」が最も多くなっています。
- 年代が高くなるにつれて、対策をとっている割合は増加傾向にあります。



[世帯構成別 災害への備え・対策]

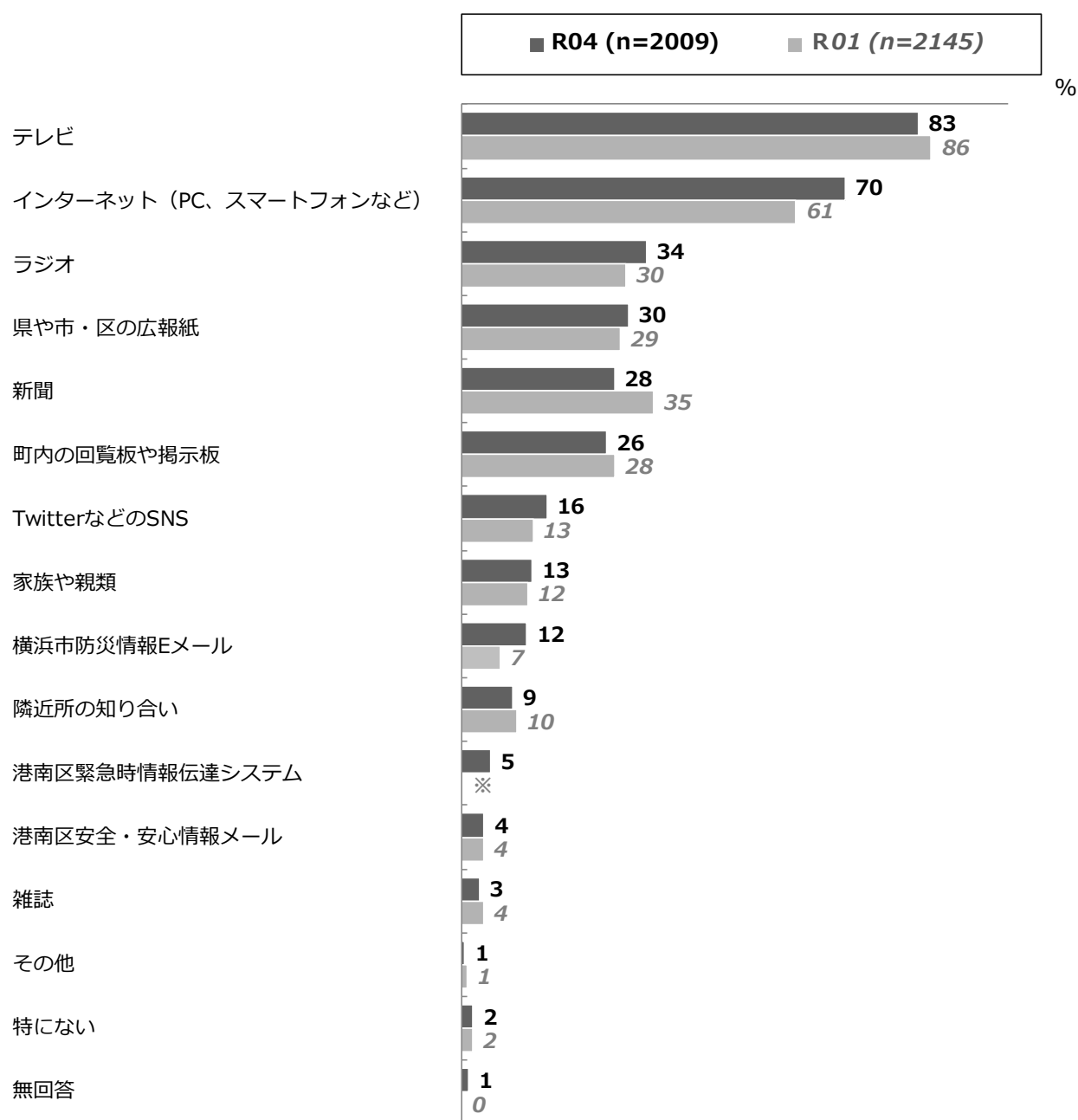
- ・世帯構成別で見ると、上位4項目はすべての世帯別で割合が多くなっています。
- ・夫婦だけの世帯の「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」は、約8割の方が対策している結果となっています。
- ・ひとり暮らし世帯は、他の世帯と比べて災害対策への意識が低くなっています。



(2) 防災に関する情報の入手手段

- ・ 防災に関する情報の入手手段については、「テレビ」(83%)が最も多く、次いで「インターネット(PC、スマートフォンなど)」(70%)となっています。「ラジオ」(34%)、「県や市・区の広報紙」(30%)、「新聞」(28%)、「町内の回覧板や掲示板」(26%)と続いています。
- ・ 前回調査と比較すると、最も増加しているのは「インターネット(PC、スマートフォンなど)」(前回比+9ポイント)、次いで「横浜市防災情報Eメール」(同+5ポイント)、「ラジオ」(同+4ポイント)などで、インターネット環境からの情報収集が増えています。

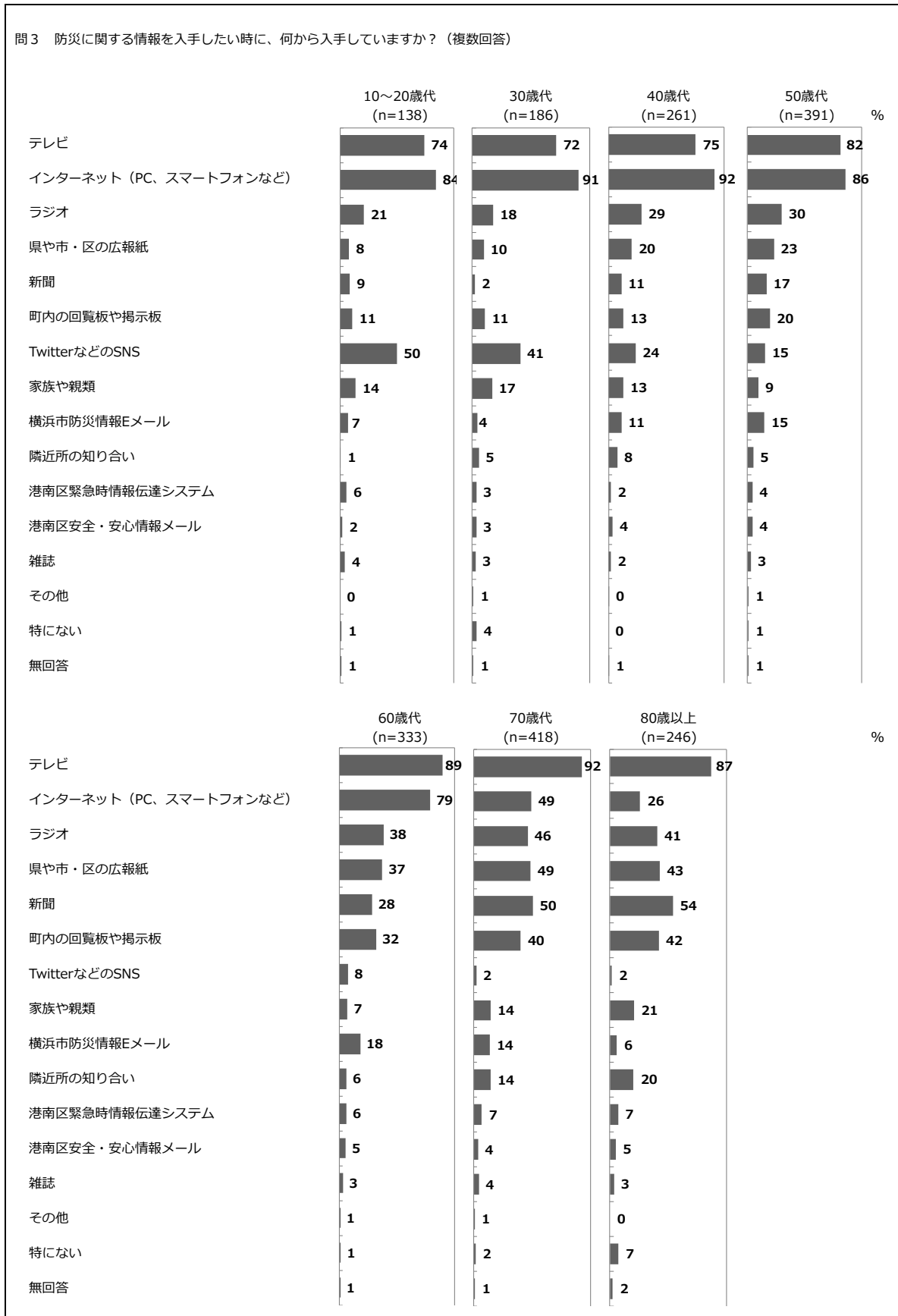
問3 防災に関する情報を入手したい時に、何から入手していますか？(複数回答)



※の項目は聴取を実施せず

[年代別 防災に関する情報の入手手段]

- 年代別で見ると、10～50歳代までは「インターネット（PC、スマートフォンなど）」、60～80歳以上は「テレビ」が最も多くなっています。
- 10～30歳代までは「TwitterなどのSNS」の割合が多く、60歳以上は「ラジオ」や「新聞」、「県や市・区の広報紙」といったデジタル情報以外からの入手も多くなっています。

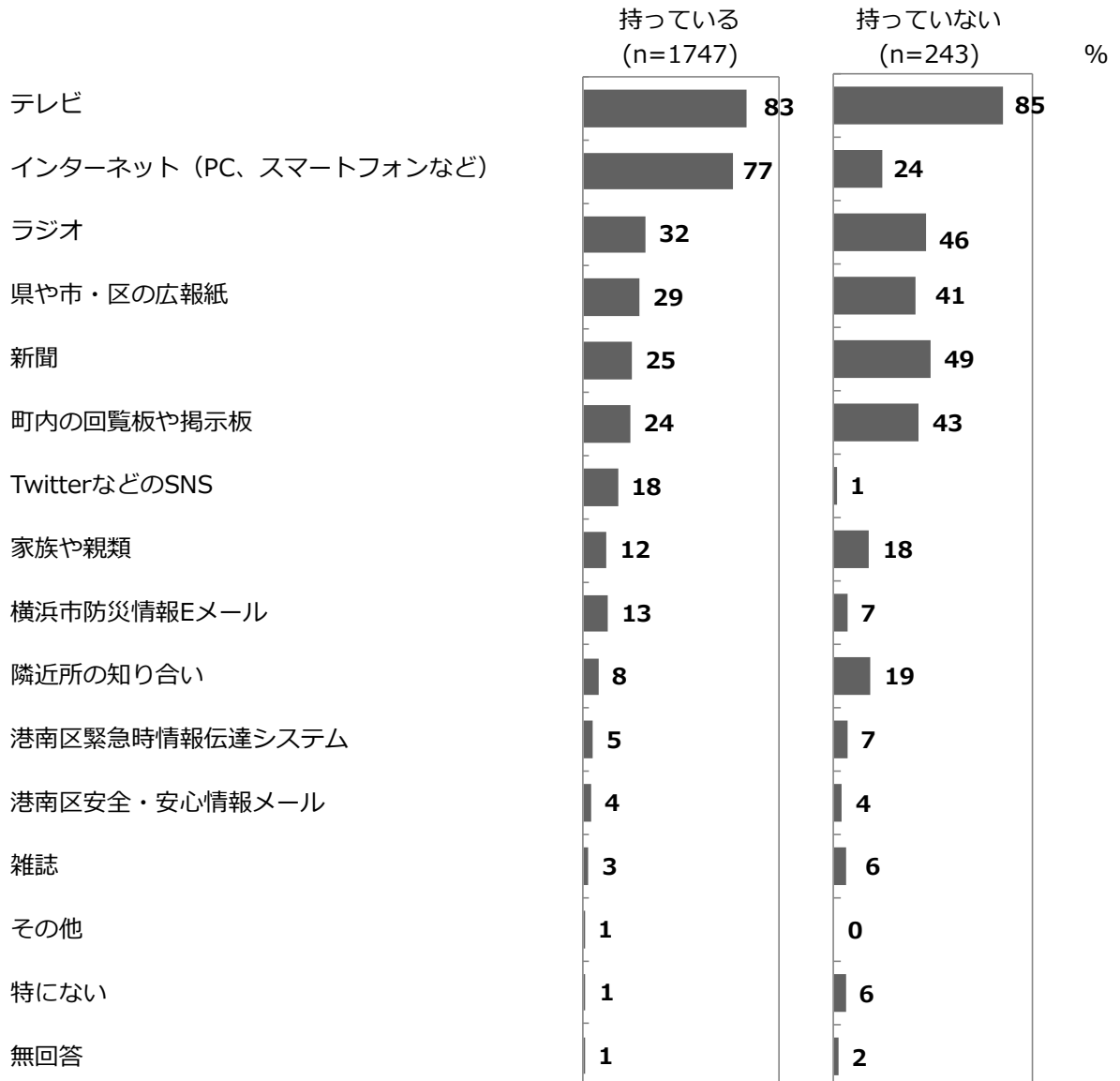


[スマートフォン所有の有無別 防災に関する情報の入手手段]

- スマートフォン所有の有無別で見ると、スマートフォンを持っている方は「インターネット（PC、スマートフォンなど）」や「TwitterなどのSNS」の割合が多く、持っていない方は「新聞」や「ラジオ」、「町内の回覧版や掲示板」、「県や市・区の広報紙」といったデジタル情報以外からの入手が多くなっています。

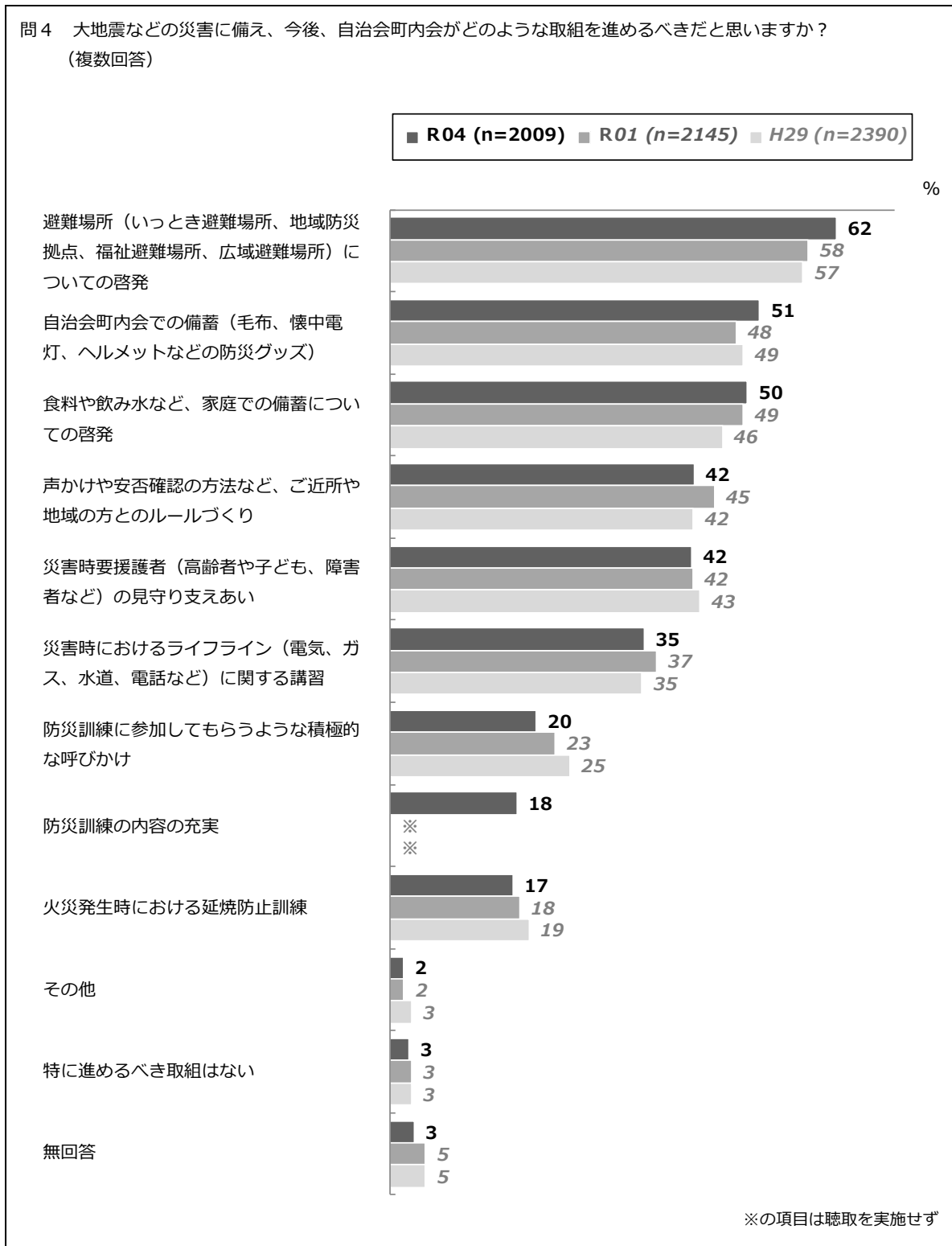
問3 防災に関する情報を入手したい時に、何から入手していますか？（複数回答）

スマートフォン所有の有無別（問18）



(3) 災害に備え自治会町内会が進めるべき取組

- ・災害に備え自治会町内会が進めるべき取組について、最も多いのは「避難場所についての啓発」(62%)で、次いで「自治会町内会での備蓄」(51%)、「食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発」(50%)となっており、経年で比較すると、上位の項目に大きな変化はありません。
- ・前回調査と比較すると、増加しているのは「避難場所についての啓発」(前回比+4ポイント)、次いで「自治会町内会での備蓄」(同+3ポイント)、「食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発」(同+1ポイント)などで、避難場所の事前確認に加えて備蓄への取組の意識も高まっています。



(4) 地震で開設される避難所（地域防災拠点）の認知

- 地震で開設される避難所（地域防災拠点）についての認知については、「市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される」（67%）が最も多く、次いで「事前に避難所が地域ごとに指定されている」（52%）となり、この2つが5割を超える回答となっています。

問5 地震で開設される避難所（地域防災拠点）について知っていますか？（複数回答）

(n=2009)

市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される

67

事前に避難所が地域ごとに指定されている

52

防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる
地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している

46

地域の方々が中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する

18

感染防止対策の資器材が配備され、運用のルールが決まっている

6

全て知らなかった

15

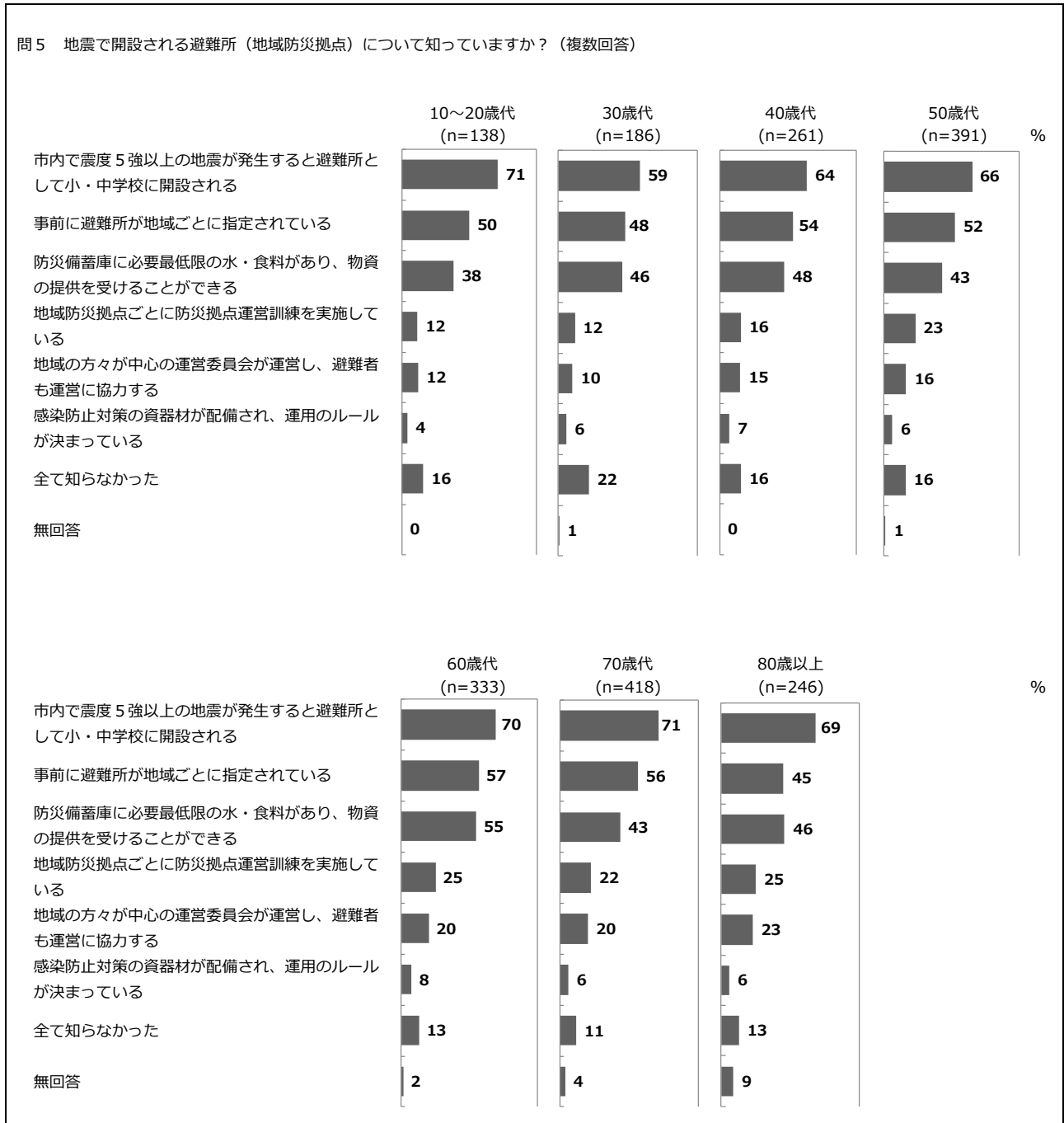
無回答

2

%

[年代別 地震で開設される避難所（地域防災拠点）の認知]

- ・年代別で見ると、「市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される」は、すべての年代で認知度が高いことが分かります。
- ・「すべて知らなかった」は、60歳代以上と比較して、10～50歳代で割合が高くなっています。

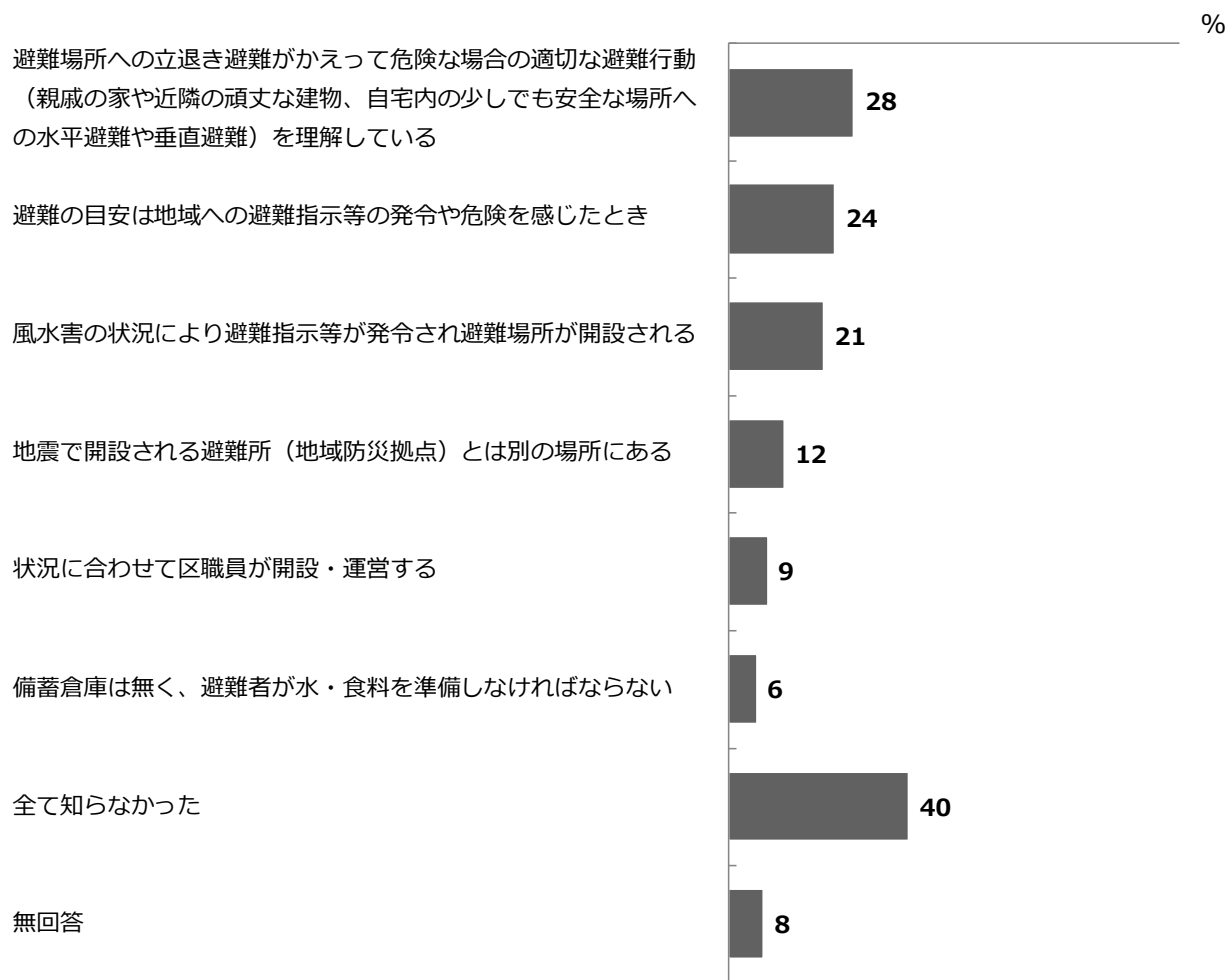


(5) 大雨・洪水・台風で開設される避難場所の認知

- ・大雨・洪水・台風で開設される避難場所の認知については、「すべて知らなかった」(40%)が最も多く、4割の方が認知していないことが分かります。
- ・「避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している」(28%)、「避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき」(24%)、「風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される」(21%)と続いています。

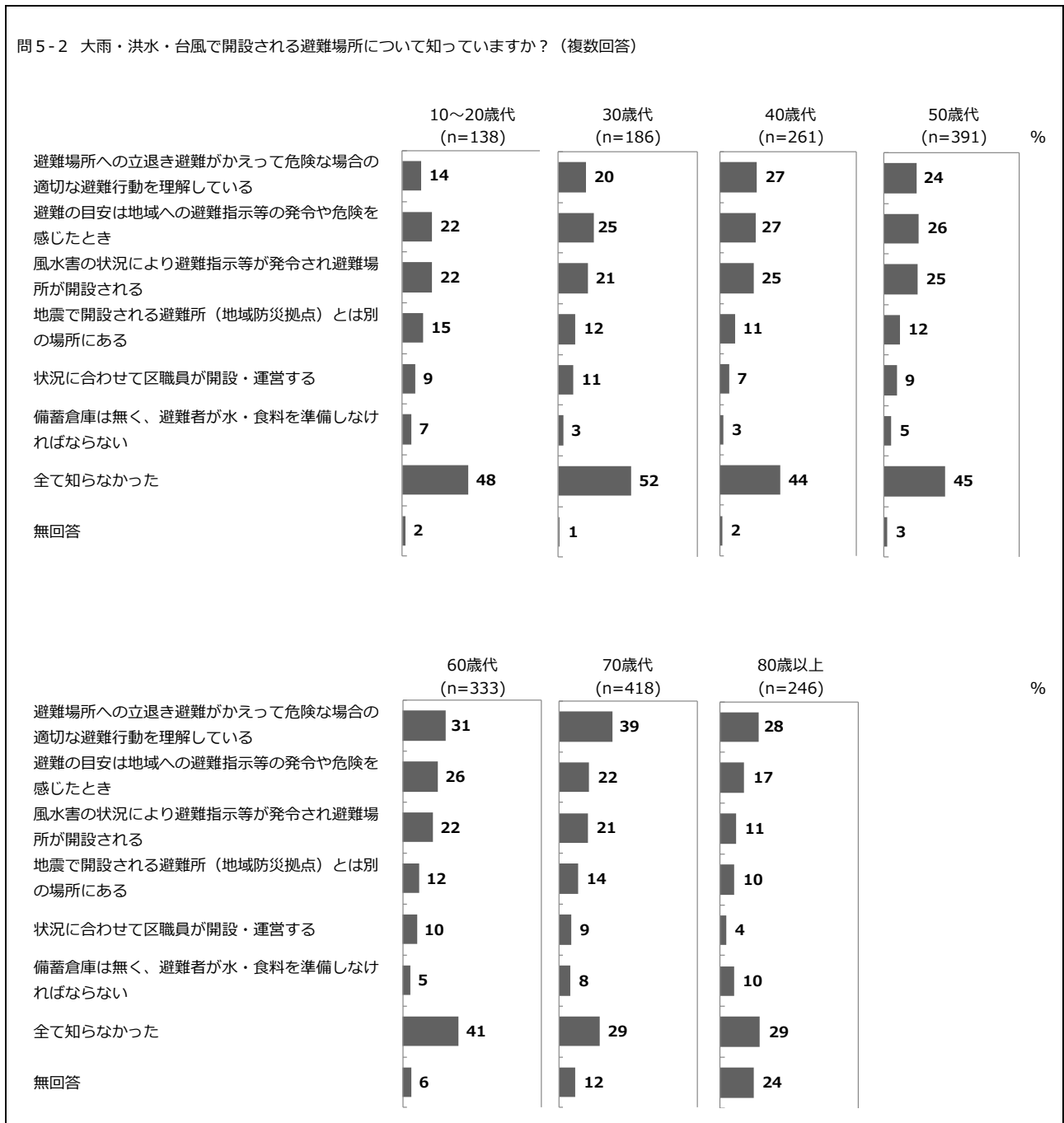
問5-2 大雨・洪水・台風で開設される避難場所について知っていますか？（複数回答）

(n=2009)



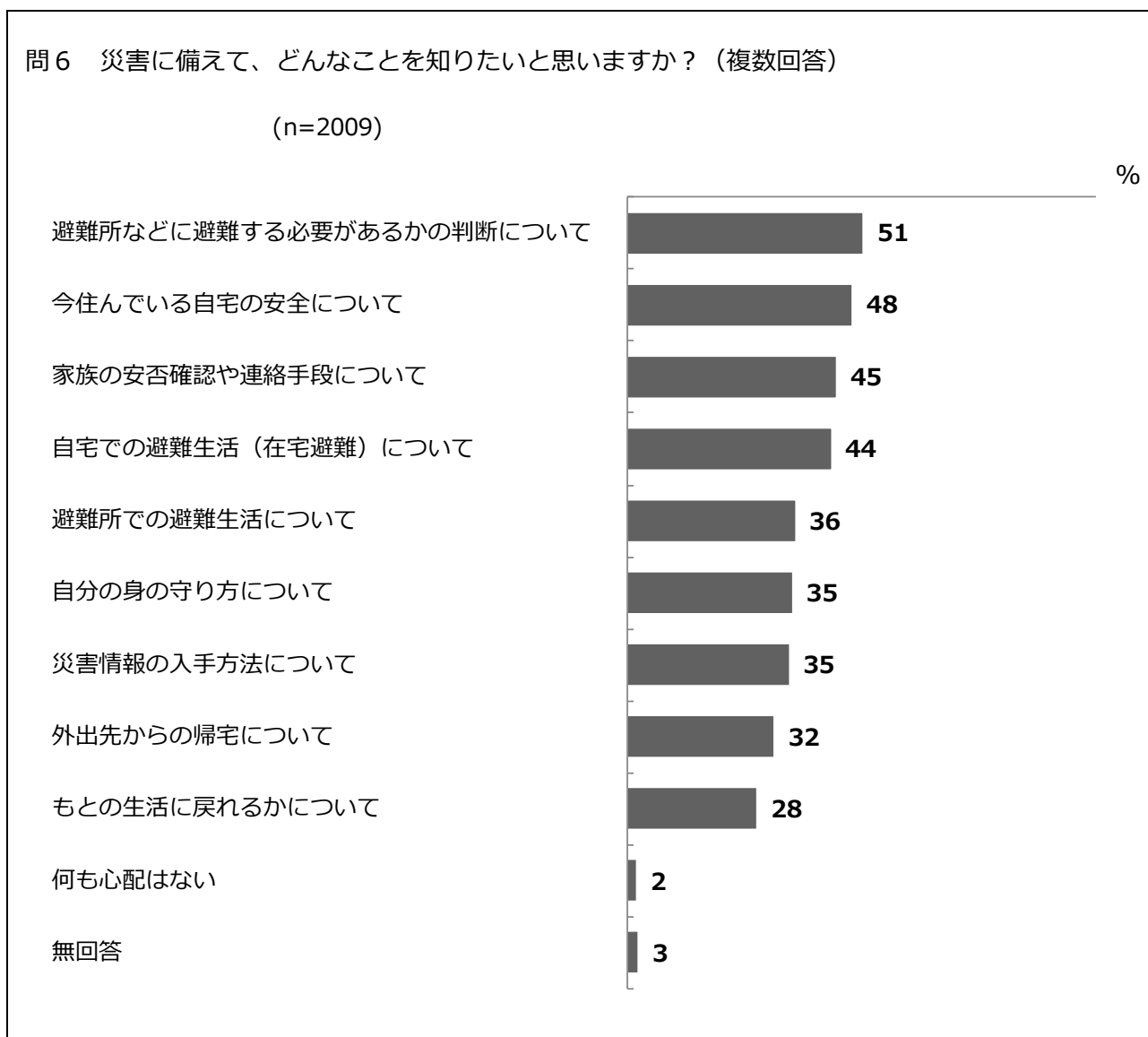
[年代別 大雨・洪水・台風で開設される避難場所の認知]

- 年代別で見ると、「避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している」は70歳代で割合が多く、「避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき」は40歳代、「風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される」は、40歳代と50歳代で割合が多くなっています。
- 「すべて知らなかった」は、10～60歳代で4割を超えており、特に30歳代の割合は5割を超え、最も多くなっています。



(6) 防災に関して知りたいこと

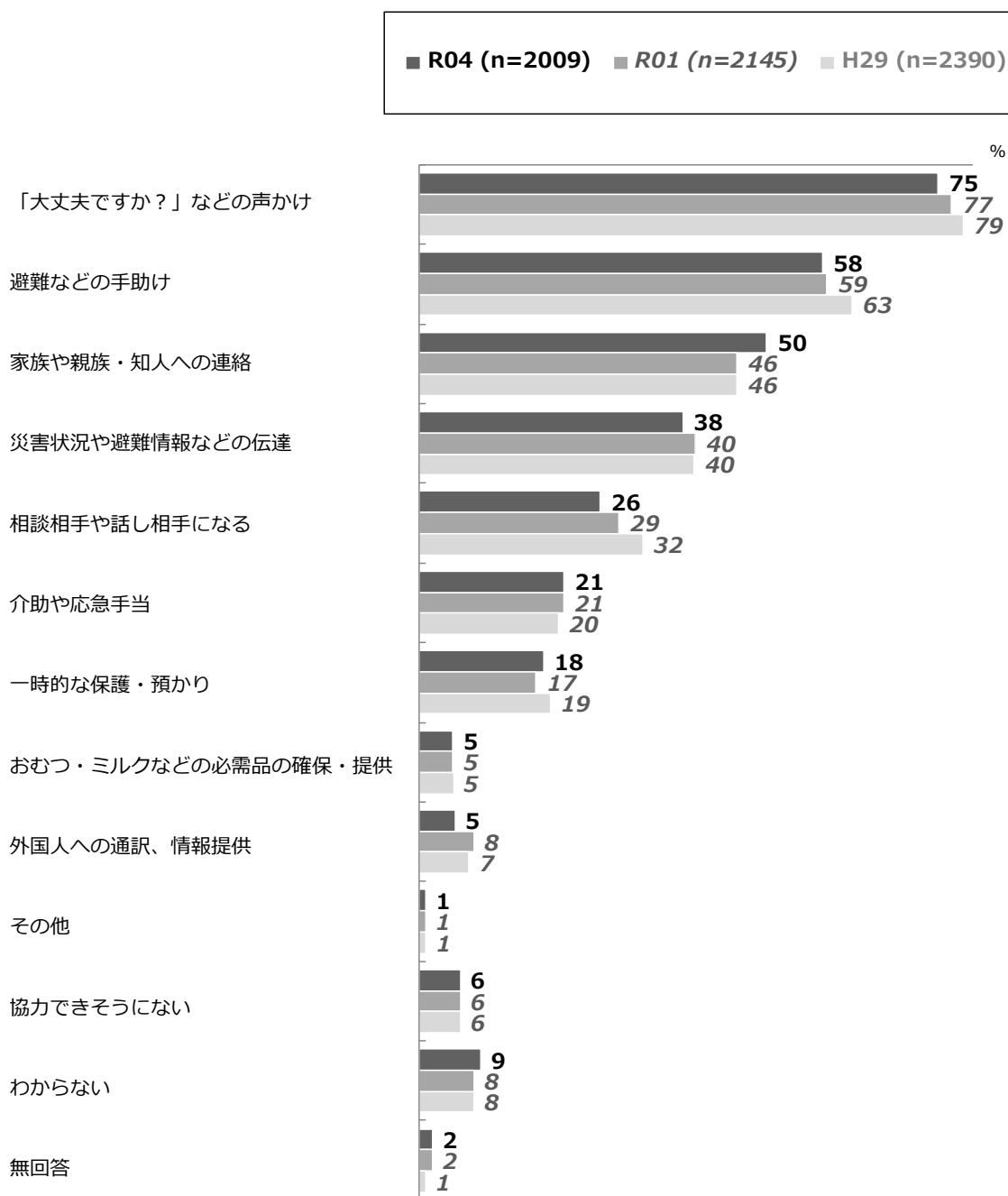
- ・防災に関して知りたいことについては、「避難所などに避難する必要があるかの判断について」(51%)が最も多く、次いで「今住んでいる自宅の安全について」(48%)となり、この2つが約5割の回答となっています。



(7) 災害時要援護者への協力

- ・災害時要援護者への協力については、「『大丈夫ですか?』などの声かけ」(75%)が最も多く、次いで「避難などの手助け」(58%)となっています。「協力できそうにない」(6%)や「わからない」(9%)は前回調査とあまり変化はありません。
- ・前回調査と比較すると、若干ポイントが低くなっている項目がいくつかある中、「家族や親族・知人への連絡」が前回調査から4ポイント増え、身近な方への連絡の手助けに協力する意識が上がっていることがわかります。

問7 大地震などの災害が起こった時に、あなたご自身やご家族の安全は概ね確保されていると仮定して、あなたの家族以外の避難時に手助けが必要な人(例えば、自力で避難することが困難な高齢者や障害者、乳幼児、病人、妊産婦、外国人など)に対して、どのような協力ができそうだと思いますか？(複数回答)



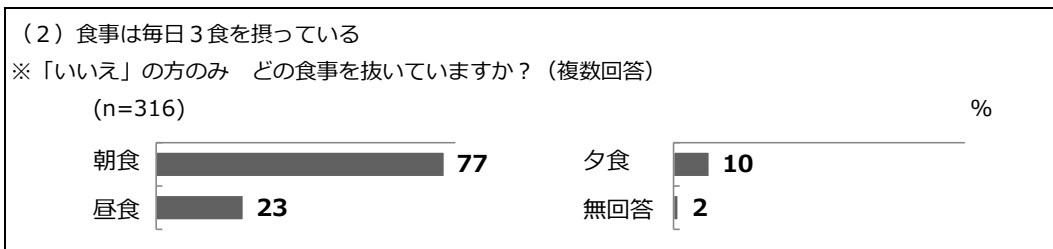
3 健康づくり

(1) 健康のために行っていること

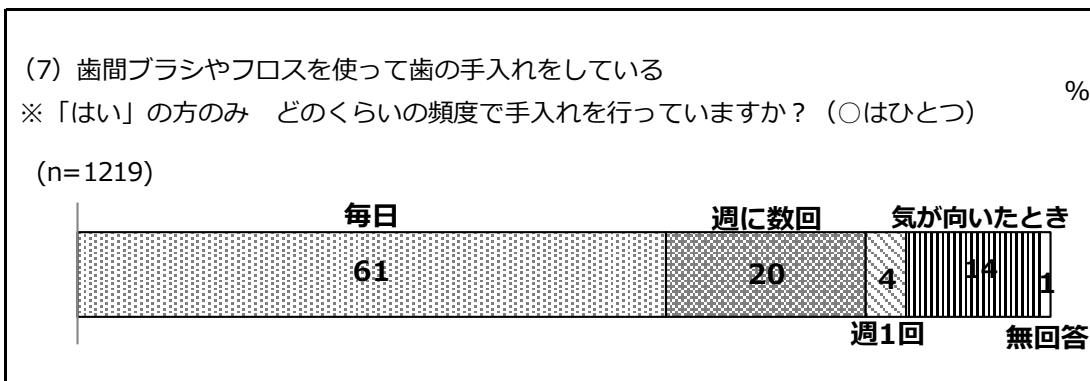
- 健康のために行っていることについては、「毎日、歯ブラシを使って歯を磨いている」(95%)が最も多く、次いで「タバコを吸わない、もしくは、タバコの本数を減らした」(85%)、「野菜を意識して食べている」(83%)、「食事は毎食3食摂っている」(82%)となっています。
- 「特に気をつけていることはない」を除いた、すべての項目で「はい」の回答が「いいえ」を上回っていますが、「定期的に歯科に検診に行っている」は、他の項目と比べて「いいえ」(45%)の割合が高くなっています。

問8 あなたが健康のために行っていることは何ですか？(それぞれ○は1つ)		%		
(n=2009)		はい	いいえ	無回答
(1) なるべく体を動かしたり、運動をしている		67	29	3
(2) 食事は毎日3食を摂っている		82	16	2
(3) 食事のバランス(主食、主菜、副菜)を意識して食べている		78	18	3
(4) 食事の塩分量に気をつけている		65	30	4
(5) 野菜を意識して食べている		83	13	3
(6) 毎日、歯ブラシを使って歯を磨いている		95	3	2
(7) 歯間ブラシやフロスを使って歯の手入れをしている		61	33	6
(8) 定期的に歯科に検診に行っている		50	45	5
(9) タバコを吸わない、もしくは、タバコの本数を減らした		85	11	4
(10) 休養や睡眠を十分にとっている		73	23	4
(11) ストレスの解消に心がけている		76	18	5
(12) 定期的に健康診断を受けている		74	21	5
(14) 特に気をつけていることはない		31	40	28

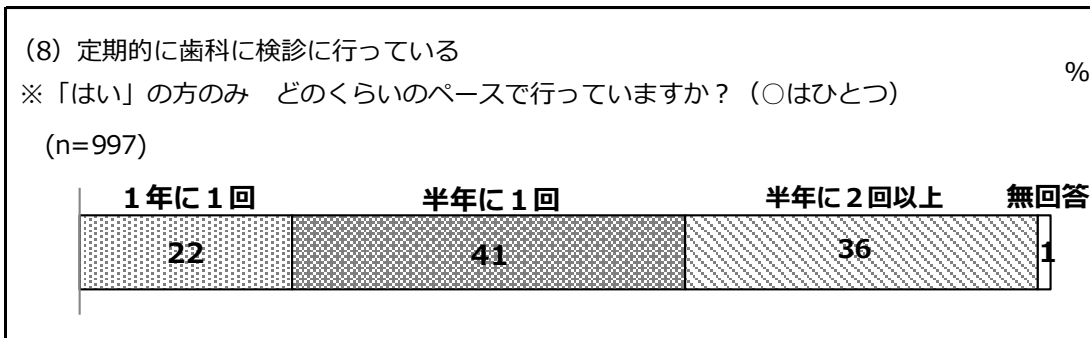
- ・「食事は毎日3食を摂っている」で「いいえ」と答えた人のうち、約8割（77%）の人が「朝食」を抜いています。



- ・「歯間ブラシやフロスを使って歯の手入れをしている」で「はい」と答えた人のうち、約6割（61%）の人が「毎日」行っています。



- ・「定期的に歯科に検診に行っている」で「はい」と答えた人のうち、約4割（41%）の人が「半年に1回」行っており、次いで「半年に2回以上」（36%）となっています。



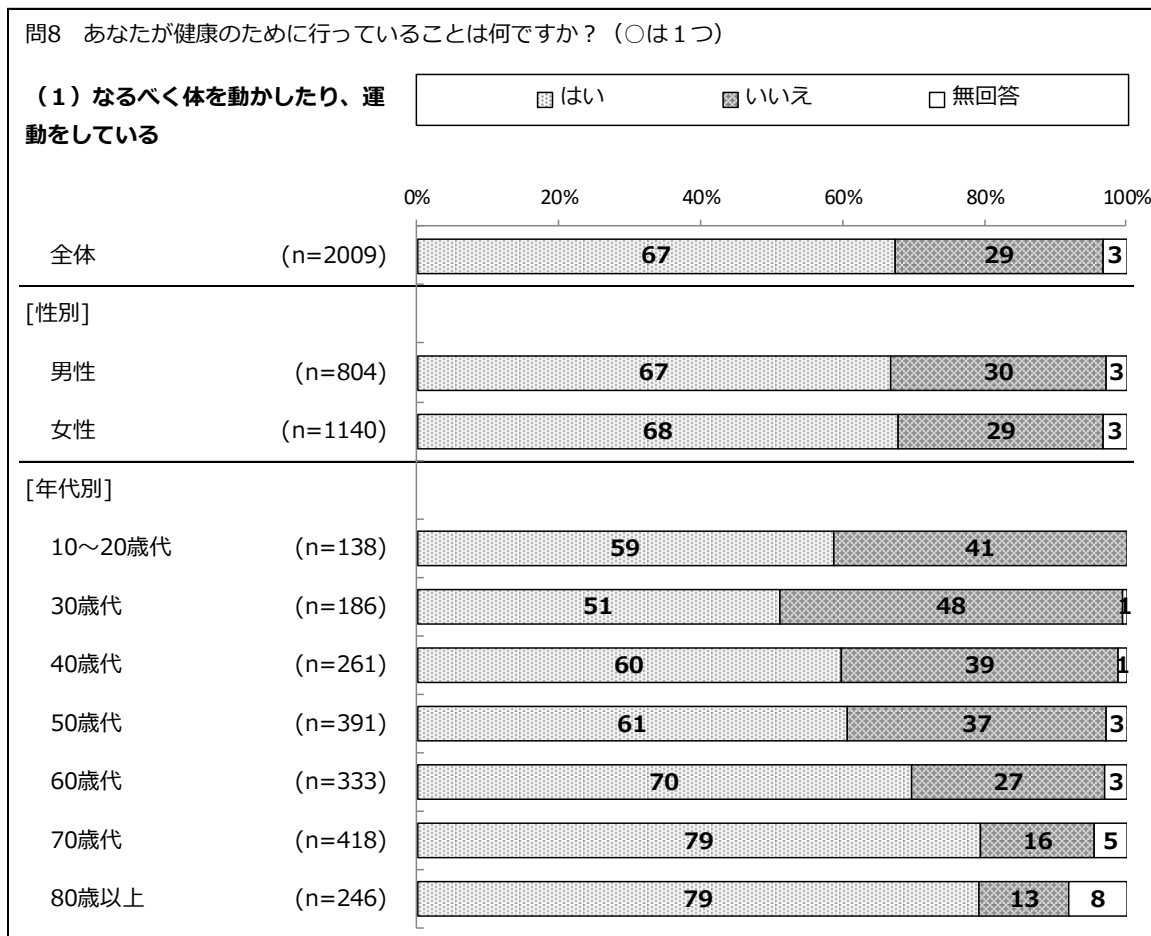
[性別 健康のために行っていること]

- ・性別で見ると、男女で差がみられるのは、「食事のバランスを意識して食べている」（男性71%、女性84%）や「食事の塩分量に気をつけている」（男性58%、女性70%）、「歯間ブラシやフロスを使って歯の手入れをしている」（男性49%、女性69%）、「定期的に歯科に検診に行っている」（男性42%、女性56%）などで、いずれも女性の回答の割合が高くなっています。
- ・一方、「休養や睡眠を十分にとっている」（男性75%、女性73%）、「定期的に健康診断を受けている」（男性77%、女性73%）は、男性回答の割合が高くなっています。

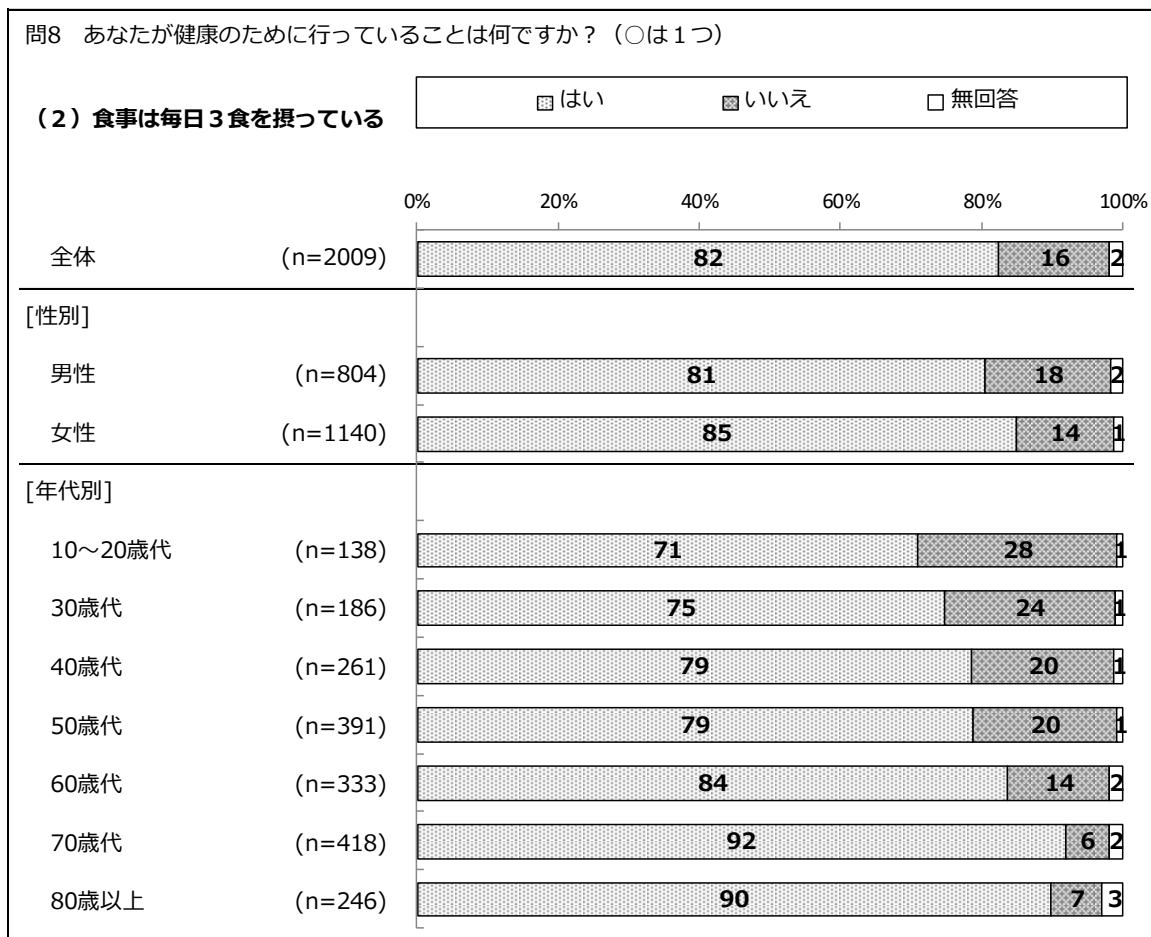
[年代別 健康のために行っていること]

- ・年代別で見ると、「なるべく体を動かしたり、運動をしている」、「食事は毎日3食を摂っている」、「食事のバランスを意識して食べている」は、年齢が高くなるにつれて「はい」と回答した人の割合が多くなる傾向があります。
- ・10～20歳代の特徴として、「いいえ」の割合が他の年代より高い項目は、「食事は毎日3食を摂っている」（28%）、「食事のバランスを意識して食べている」（33%）、「食事の塩分量に気をつけている」（57%）、「野菜を意識して食べている」（26%）、「歯間ブラシやフロスを使って歯の手入れをしている」（59%）、「定期的に歯科に検診に行っている」（72%）、「定期的に健康診断を受けている」（34%）です。

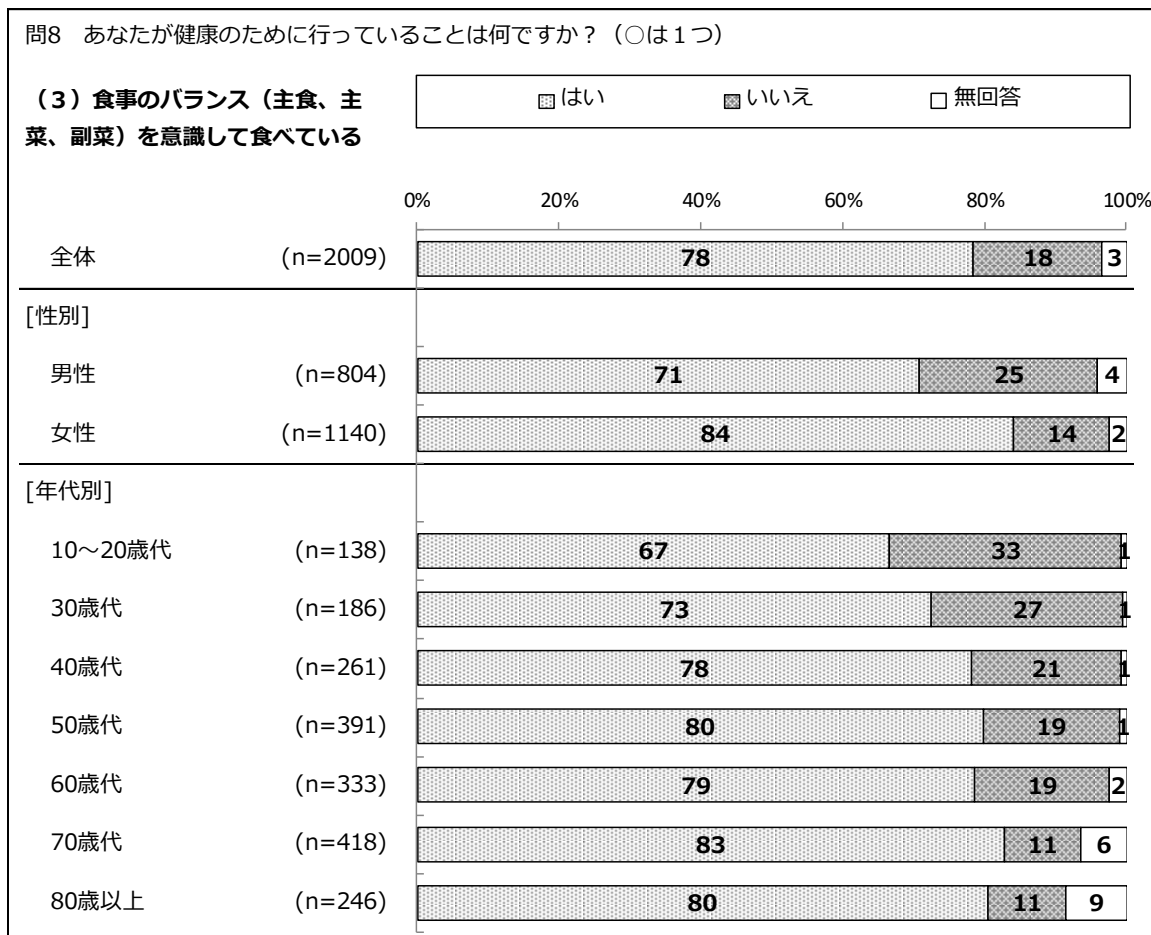
性別・年代別 健康のために行っていること



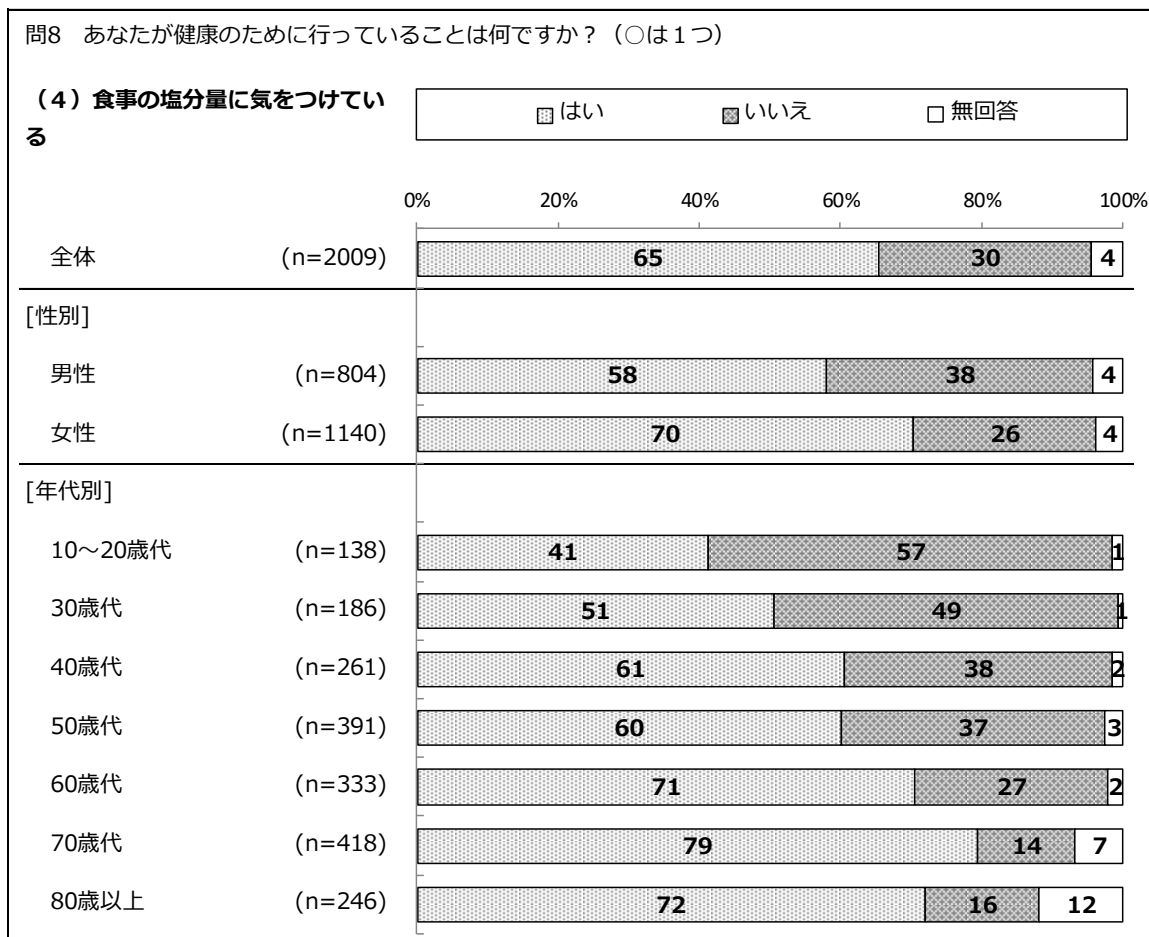
性別・年代別 健康のために行っていること



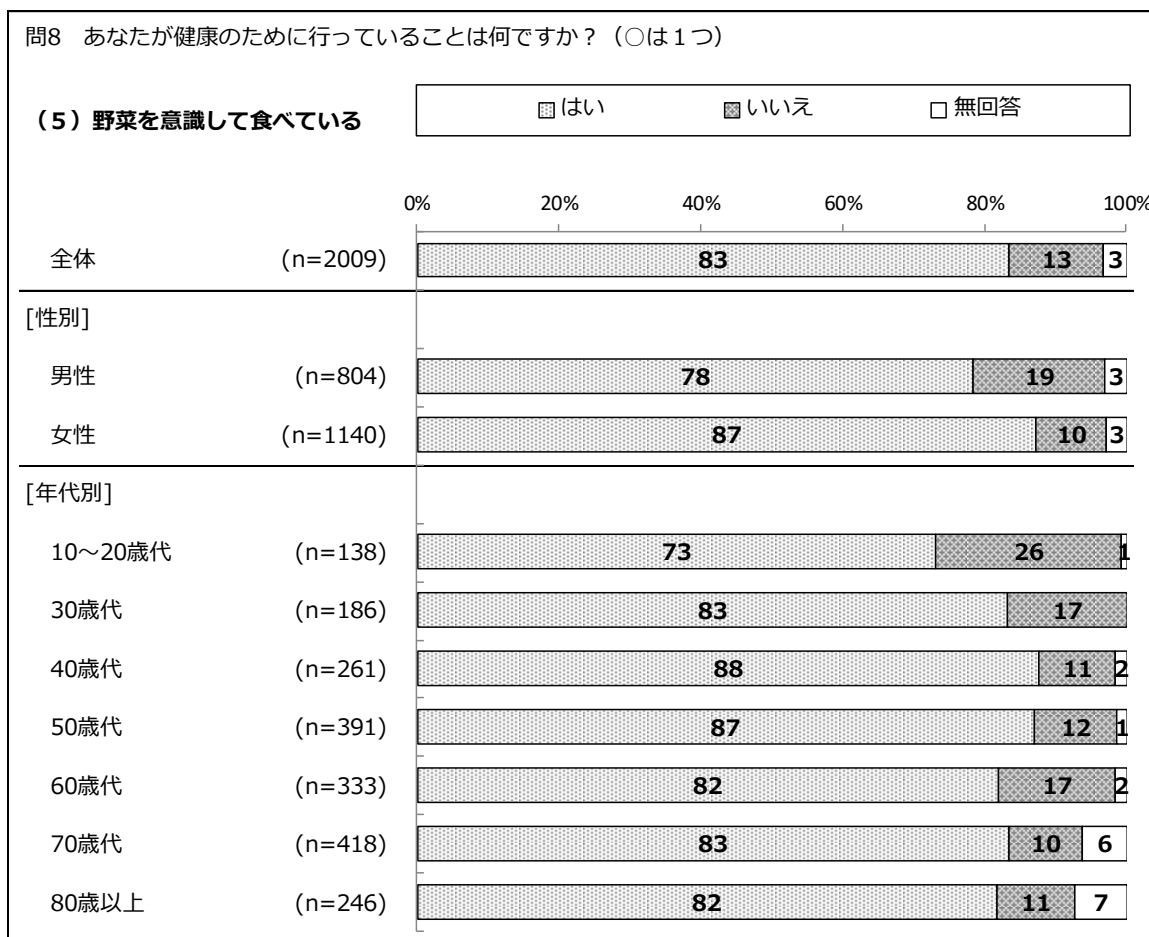
性別・年代別 健康のために行っていること



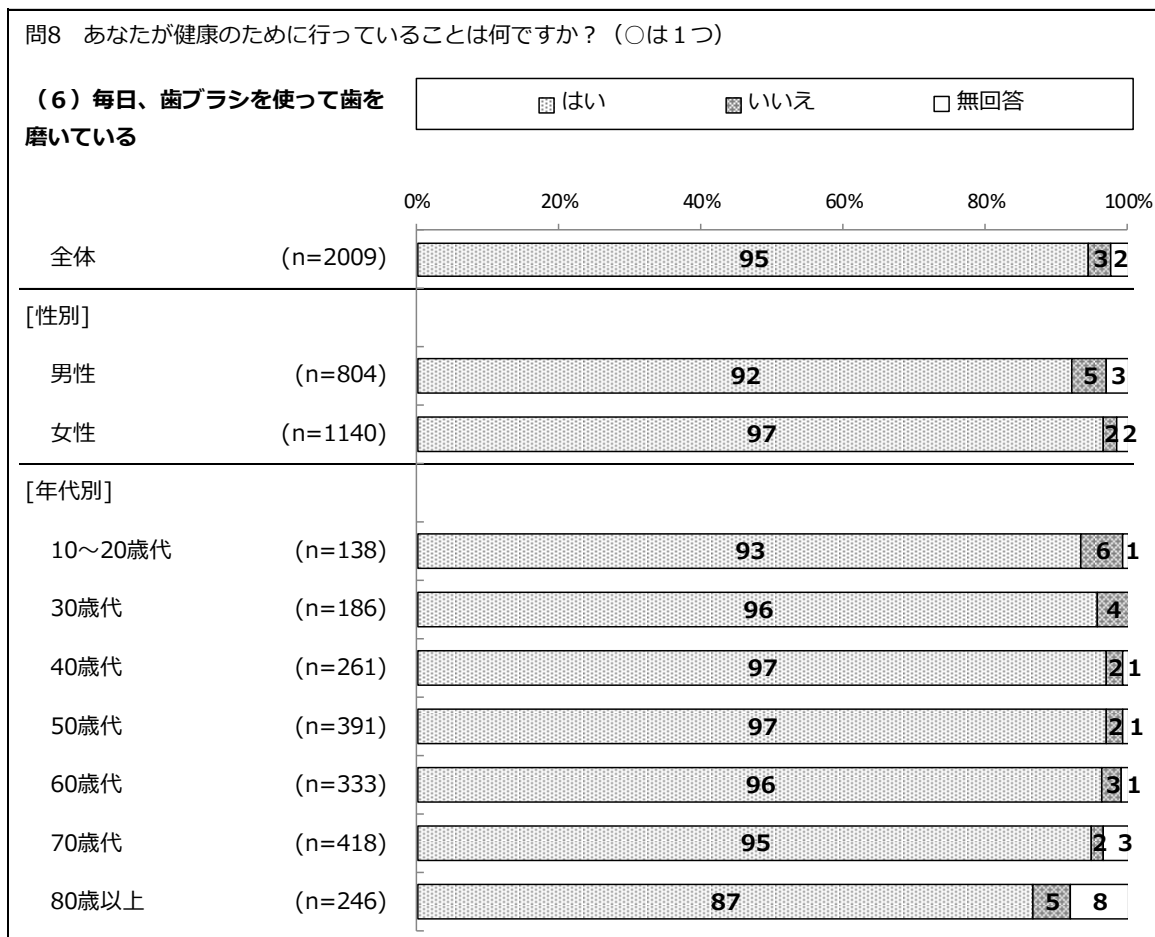
性別・年代別 健康のために行っていること



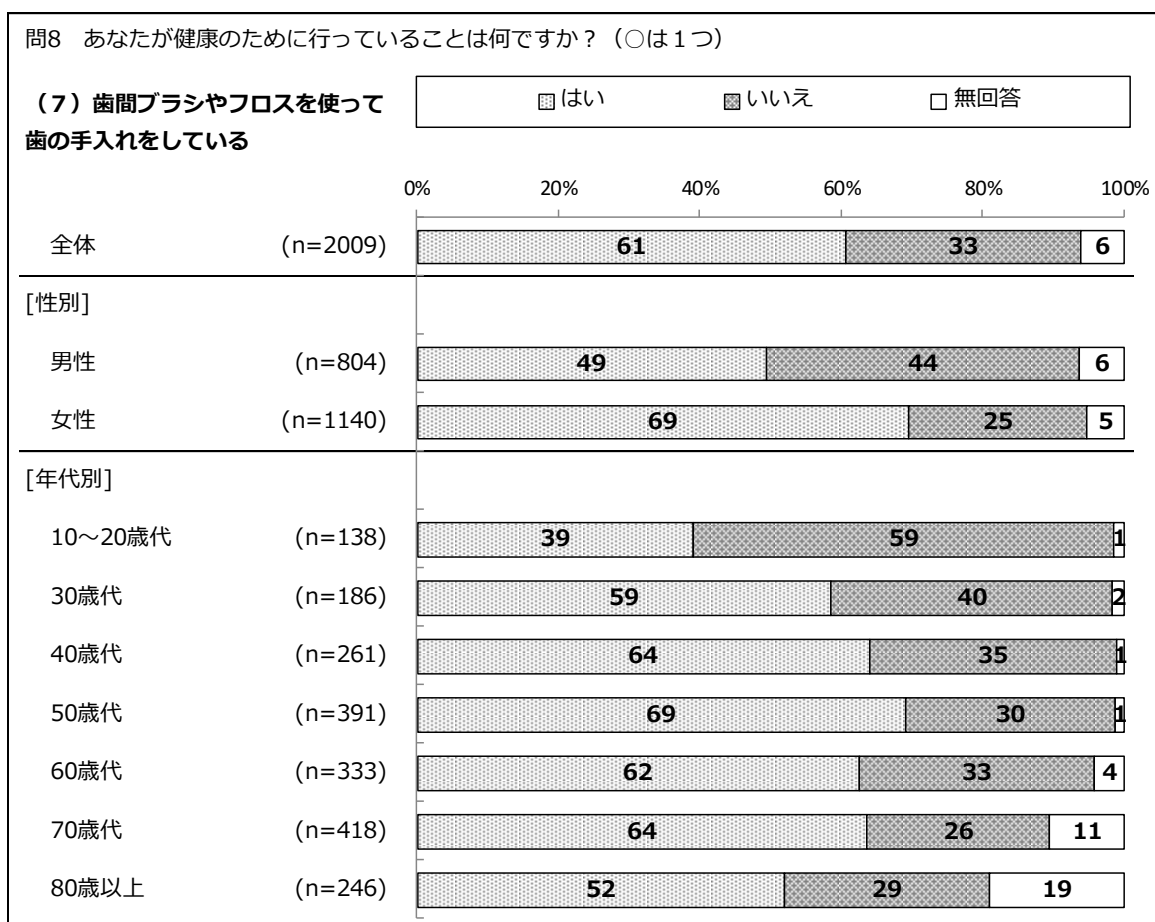
性別・年代別 健康のために行っていること



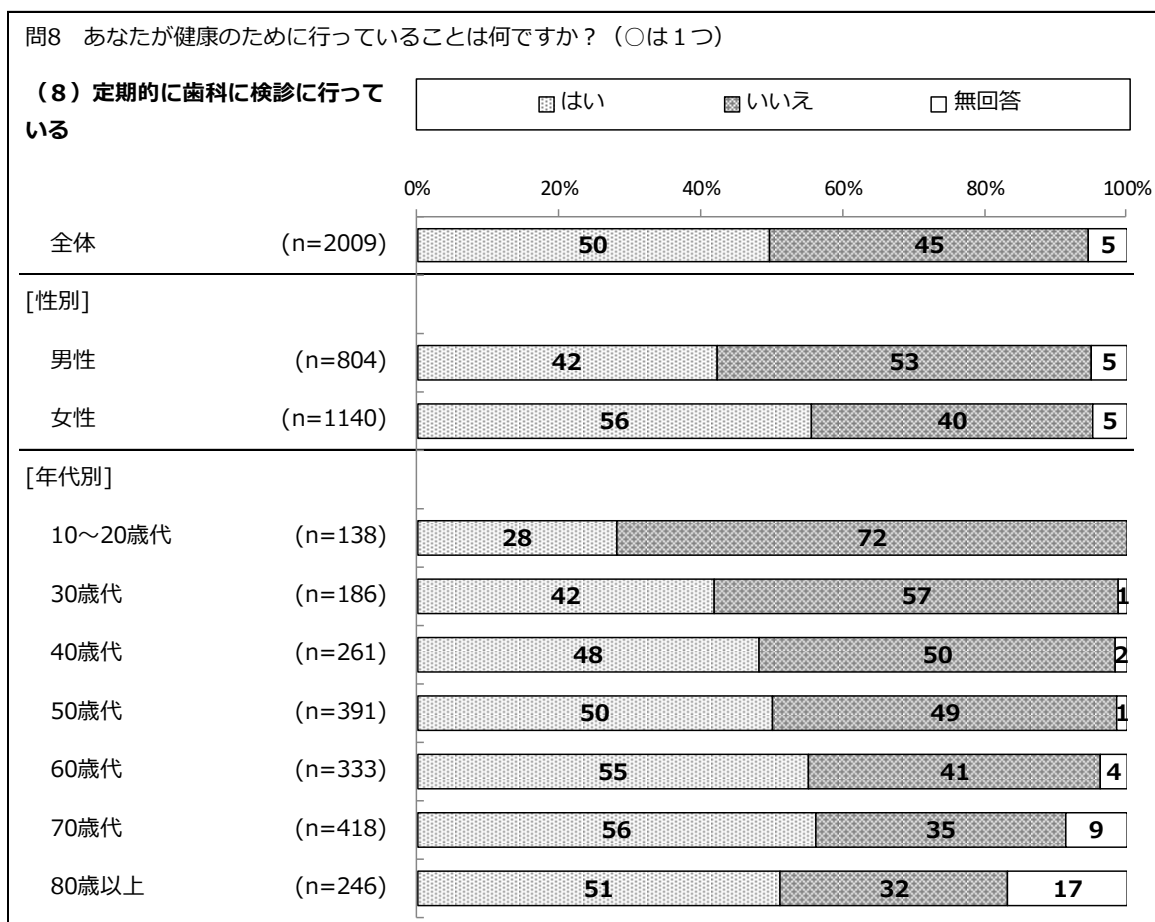
性別・年代別 健康のために行っていること



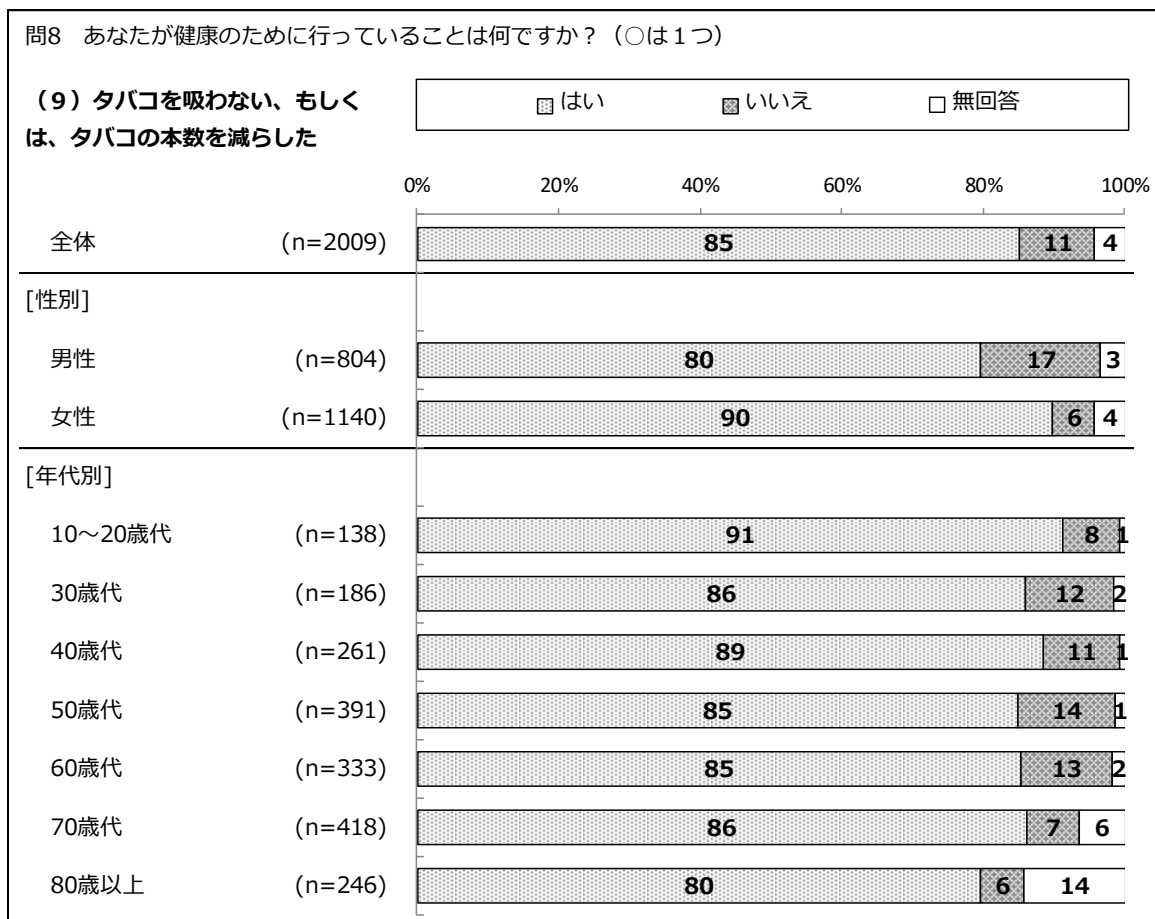
性別・年代別 健康のために行っていること



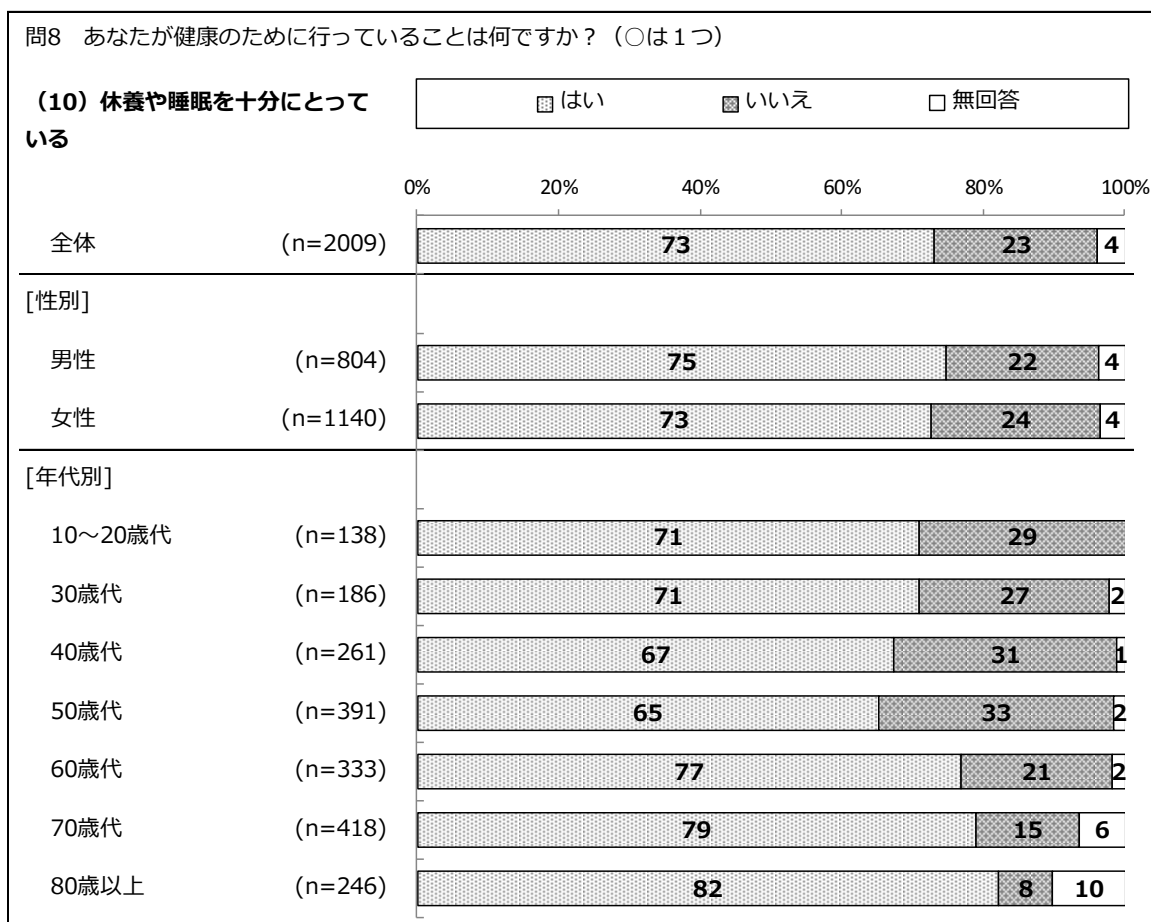
性別・年代別 健康のために行っていること



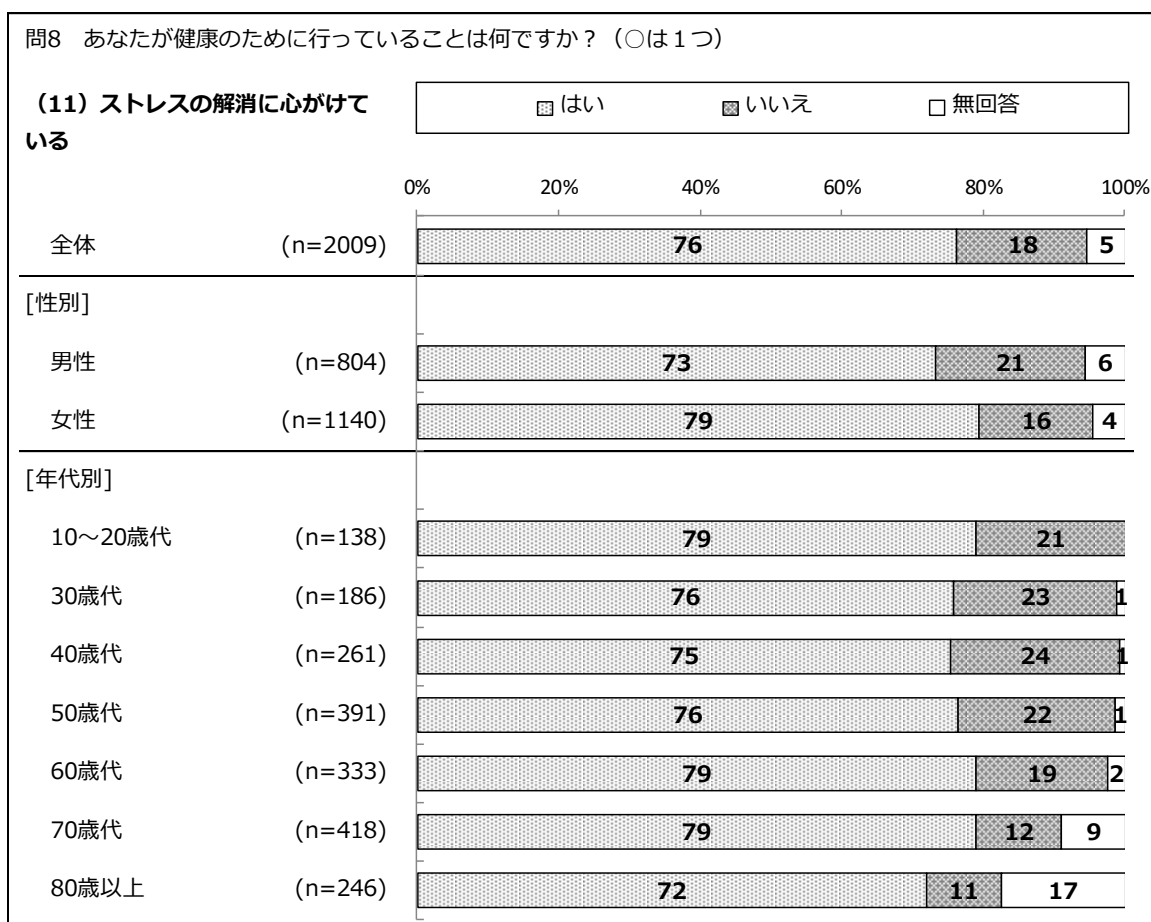
性別・年代別 健康のために行っていること



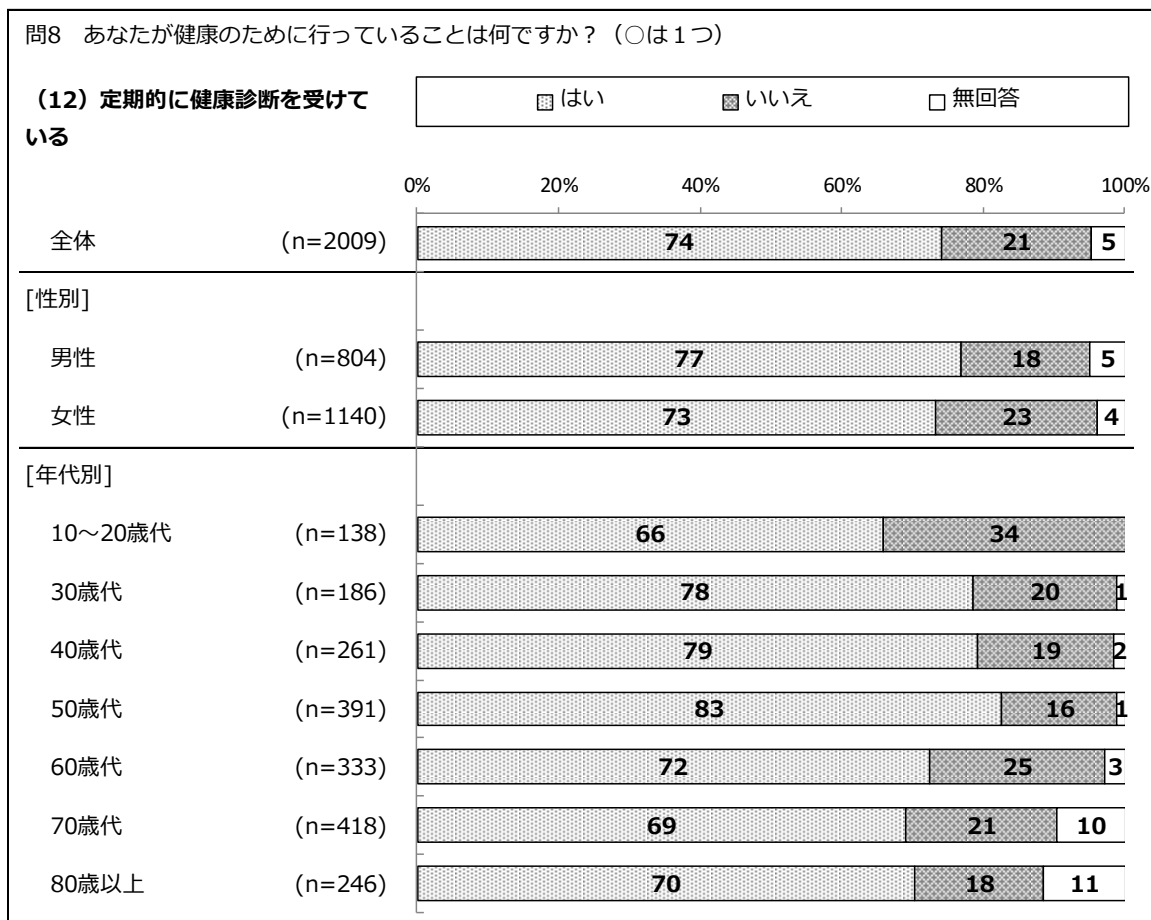
性別・年代別 健康のために行っていること



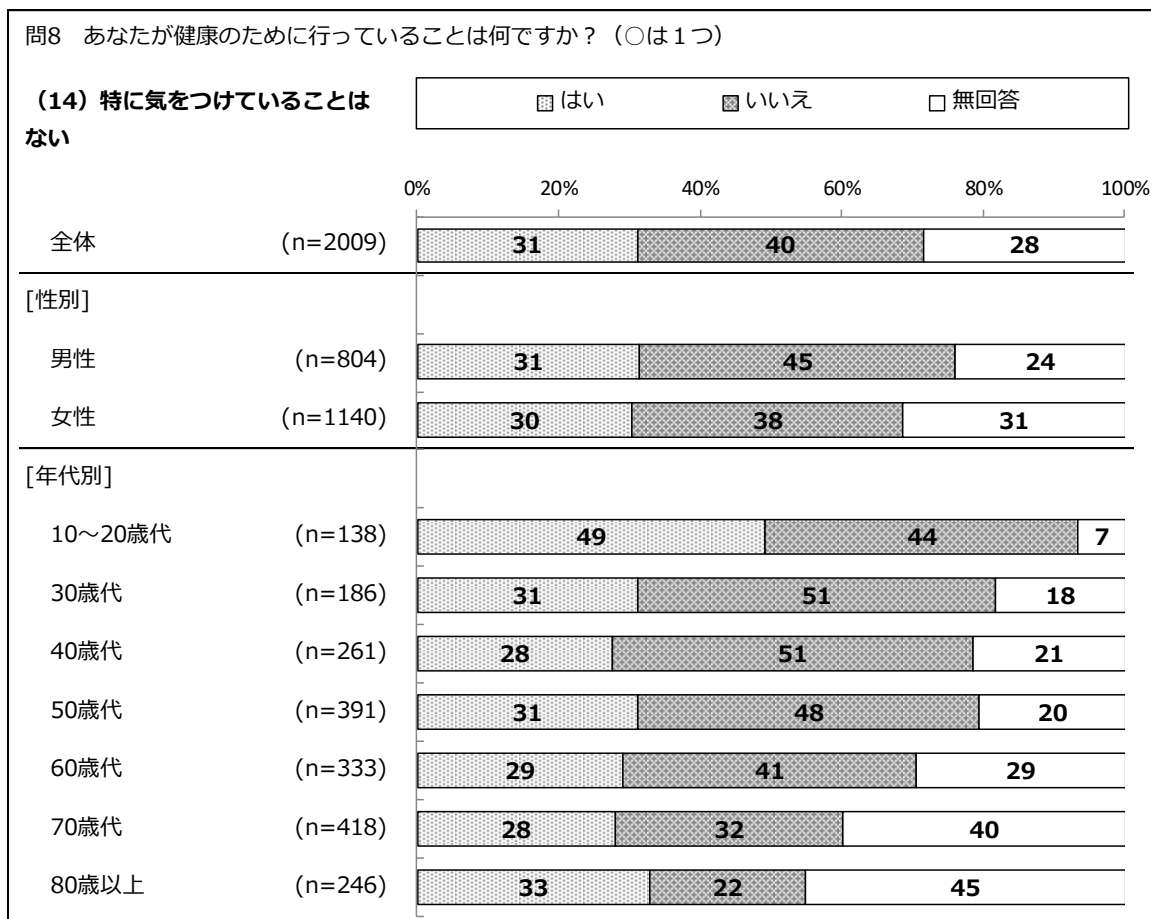
性別・年代別 健康のために行っていること



性別・年代別 健康のために行っていること



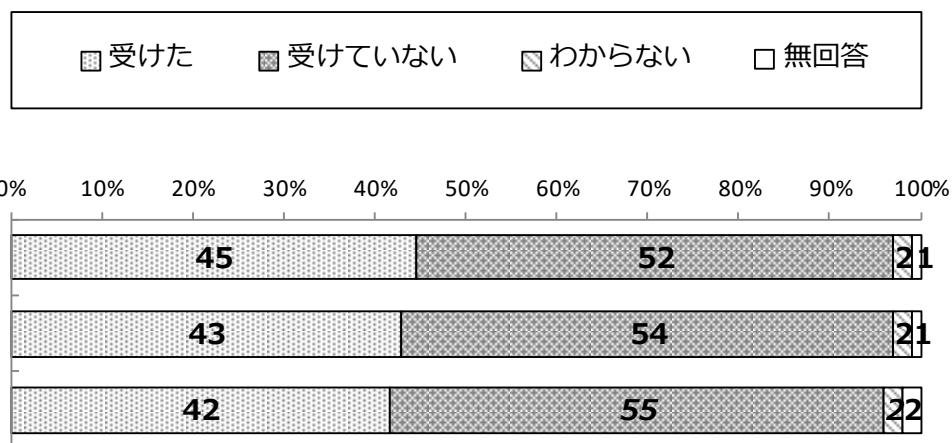
性別・年代別 健康のために行っていること



(2) がん検診の受診有無

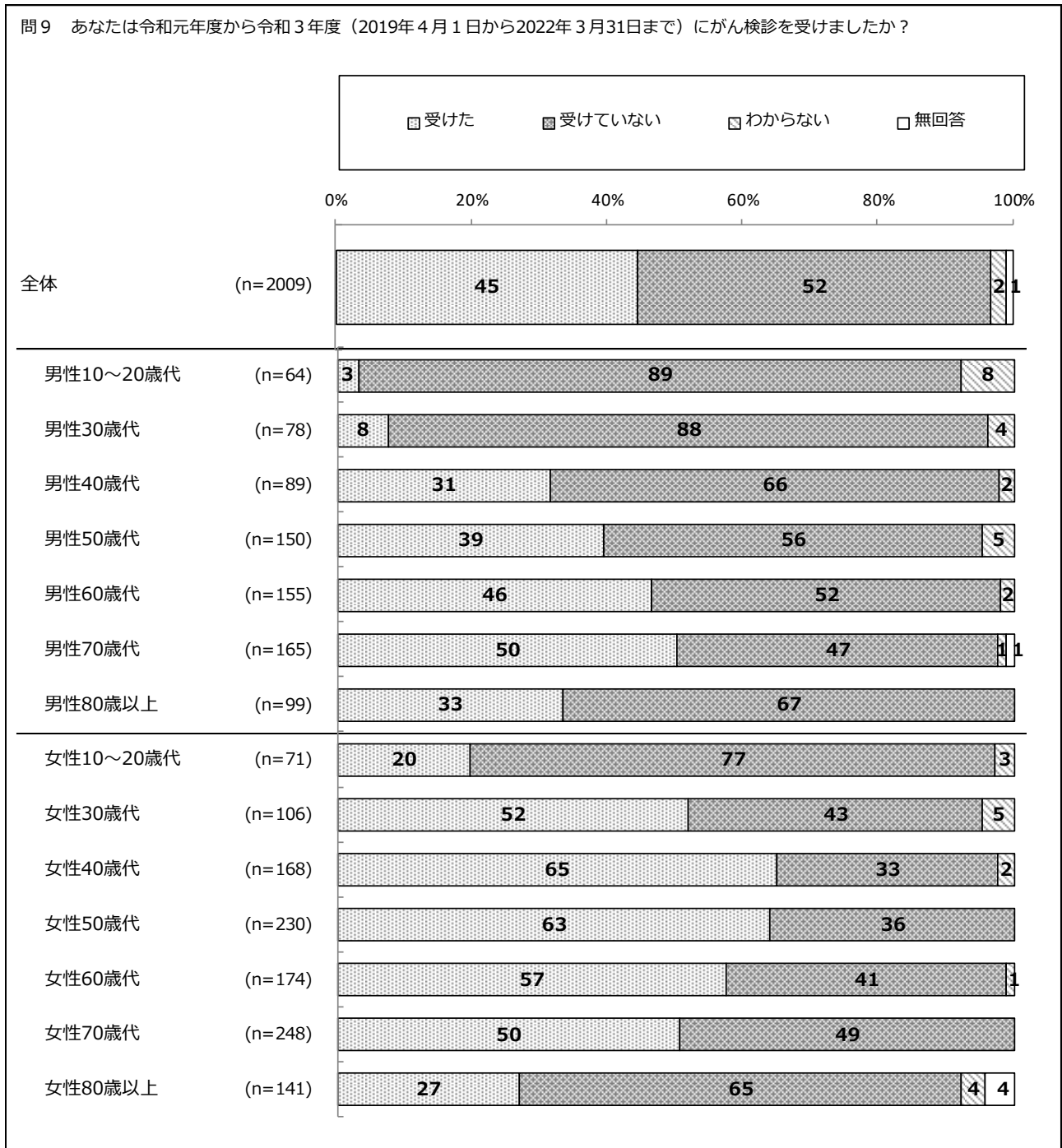
- がん検診の受診有無については、45%が令和元年度から令和3年度の間にごがん検診を「受けた」と回答しています。経年で比較すると、「受けた」と回答した人が徐々に増加しています。

問9 あなたは令和元年度から令和3年度（2019年4月1日から2022年3月31日まで）にごがん検診を受けましたか？



[性年代別 がん検診の受診有無]

- ・性年代別で見ると、男性では、70歳代まで年代とともに受診率が高くなる傾向があり、特に40歳代から増えています。女性は、30歳代から70歳代で受診率が5割を超え、高くなっています。
- ・60歳代までのすべての世代で、男性に比べて女性の受診率が上回っており、女性の方ががん検診への関心が高い傾向にあります。



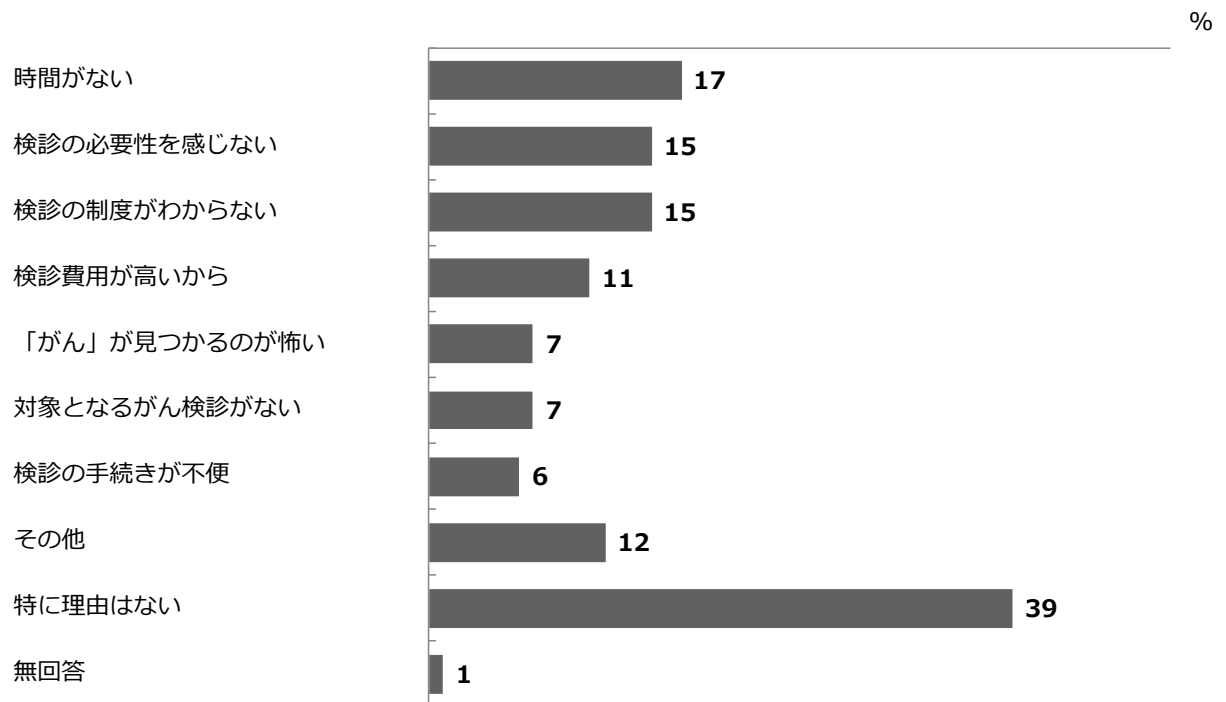
(3) がん検診を受けなかった理由

- ・がん検診を受けなかった理由については、「特に理由はない」(39%)の回答が最も多く、次いで「時間がない」(17%)、「検診の必要性を感じない」(15%)、「検診の制度がわからない」(15%)となっています。

※問9で「受けてない」と回答した方のみ

問9-2 がん検診を受けなかった理由は何ですか？(複数回答)

(n=1052)

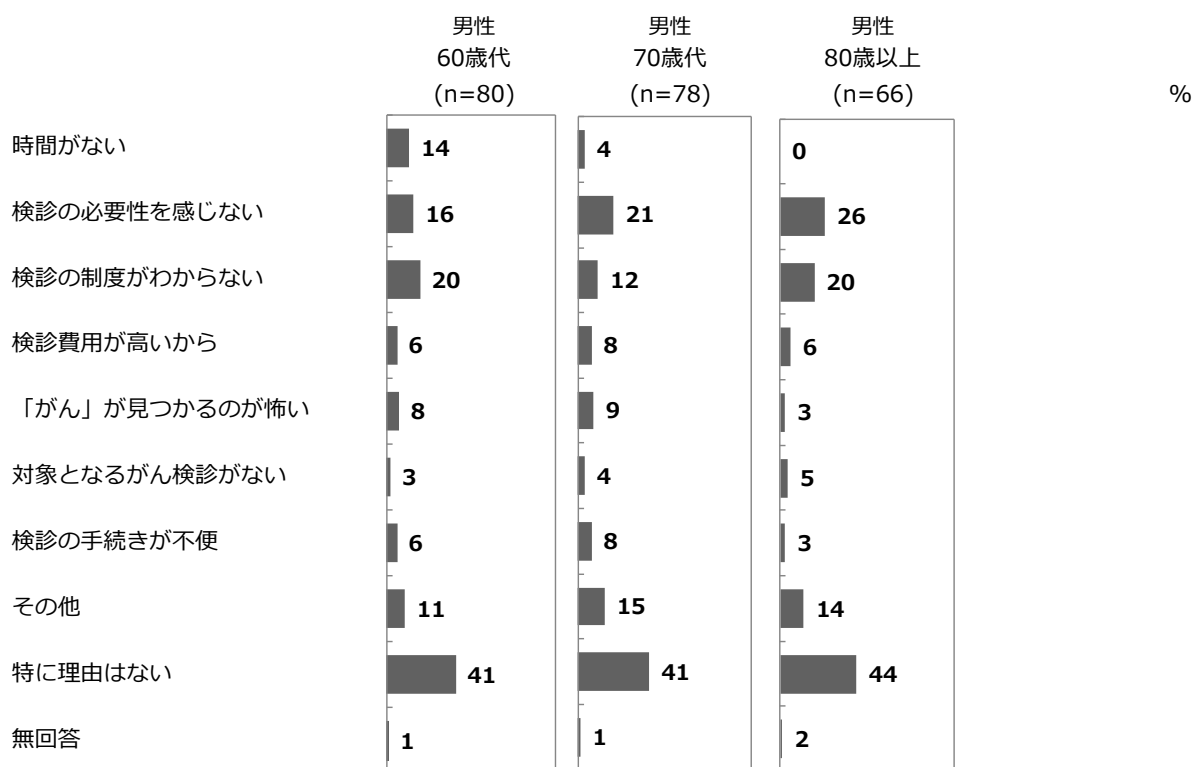
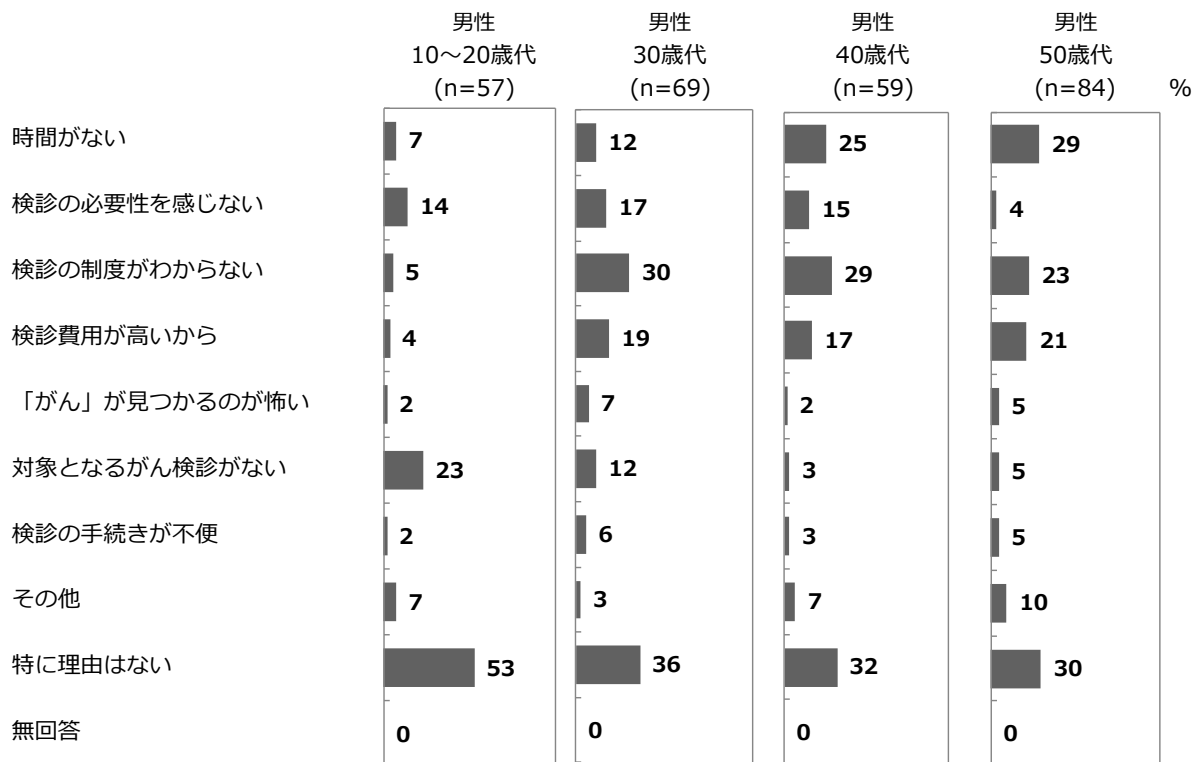


[性年代別 がん検診を受けなかった理由]

- ・性年代別で見ると、男性40～50歳代、女性10～50歳代で「時間がない」という理由が多く、男性30～40歳代では「検診の制度がわからない」、女性40歳代では「検診費用が高いから」という理由が多くなっています。

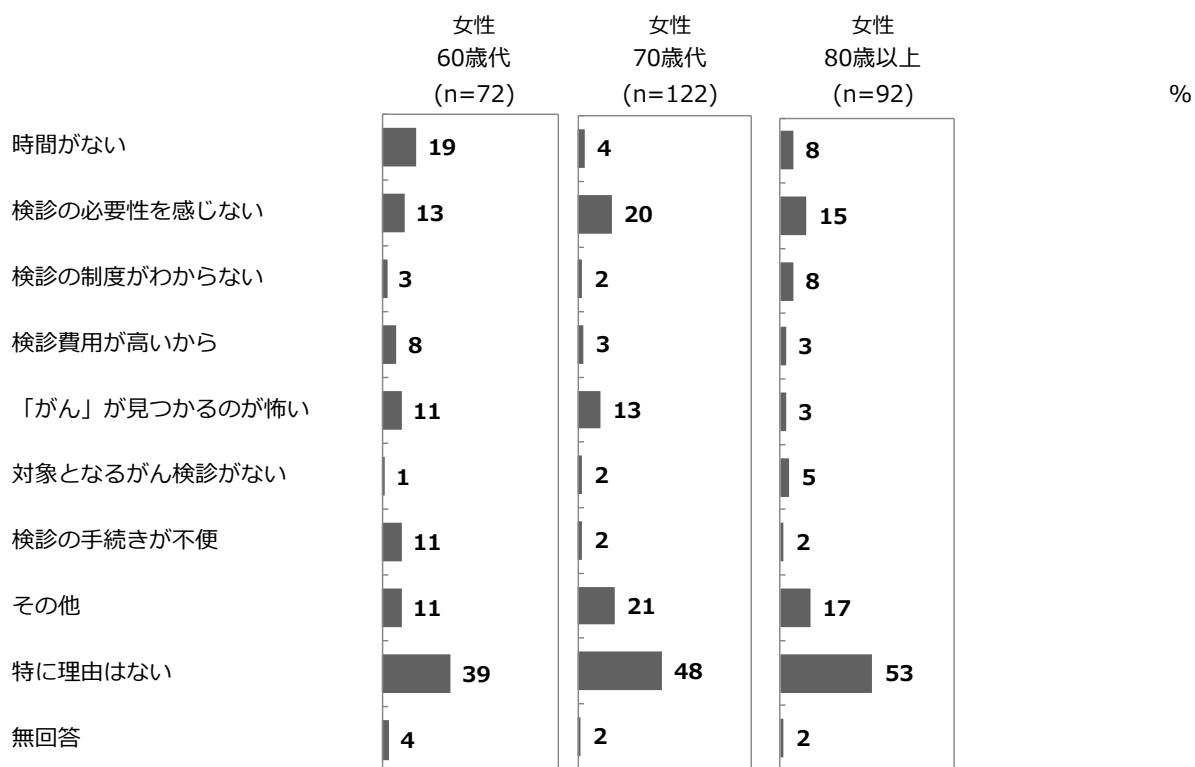
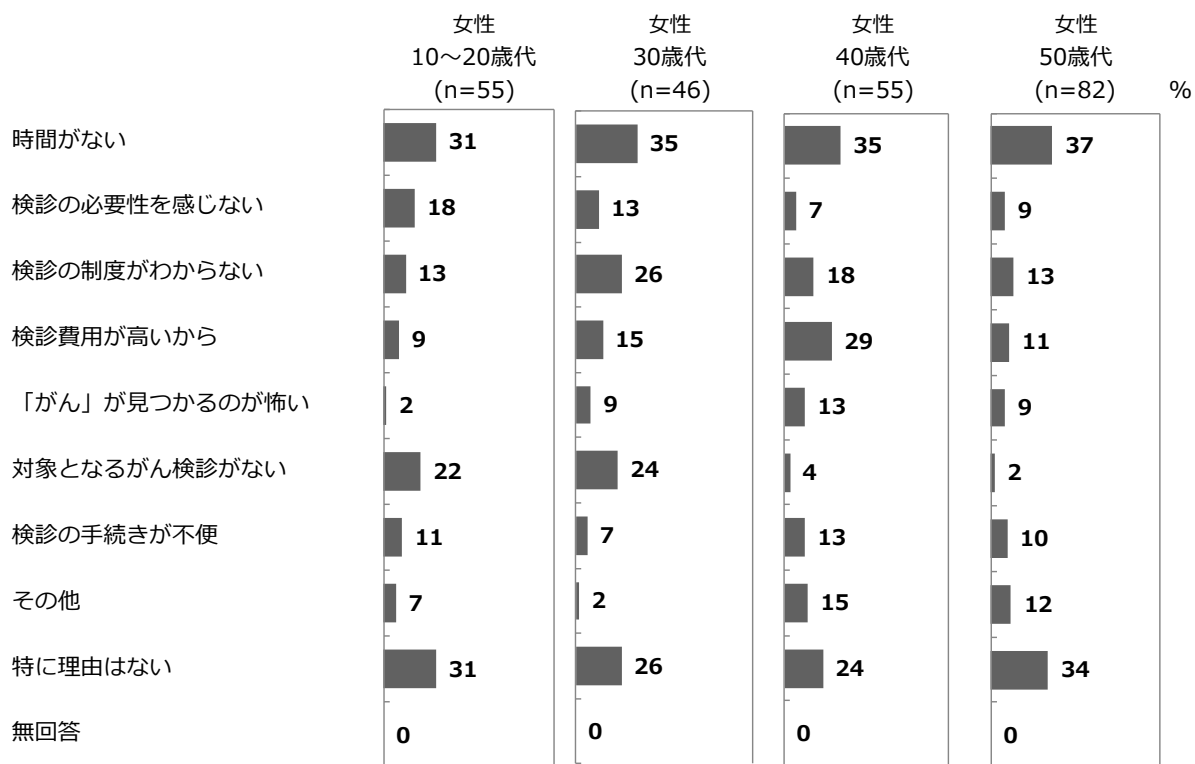
※問9で「受けてない」と回答した方のみ

問9-2 がん検診を受けなかった理由は何ですか？（複数回答）



※問9で「受けてない」と回答した方のみ

問9-2 がん検診を受けなかった理由は何ですか？（複数回答）



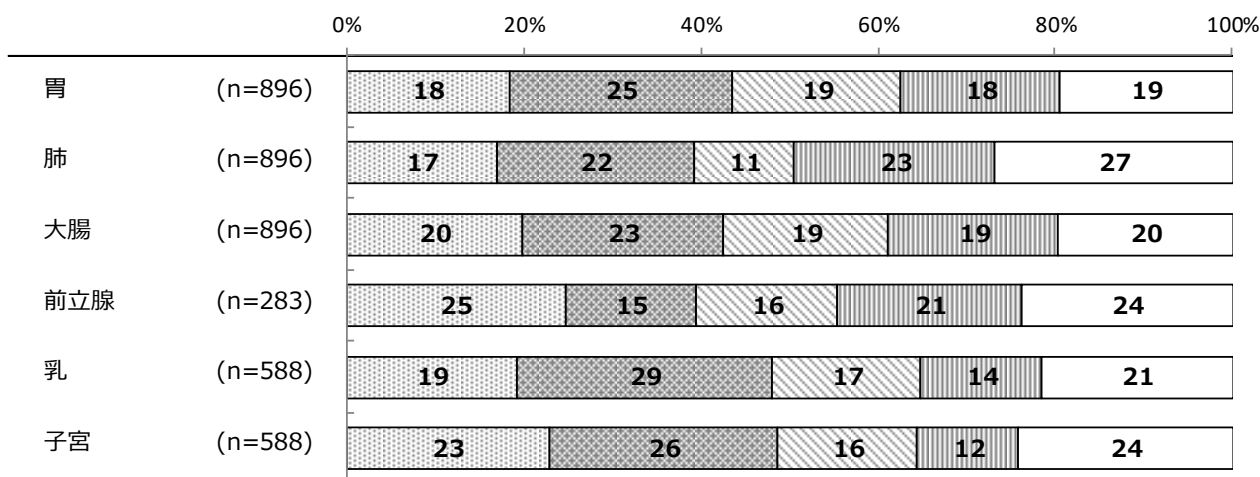
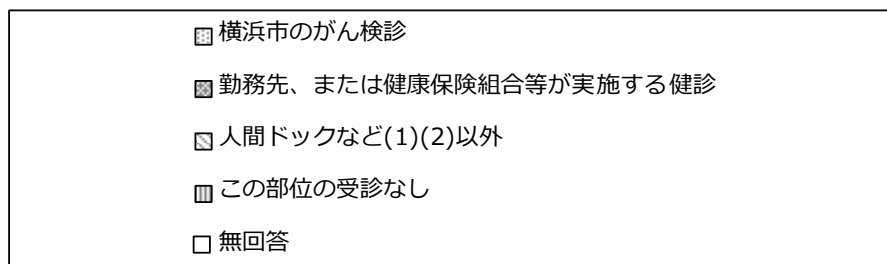
(4) がん検診の受診場所

- ・がん検診を「受けた」と回答した人に対して、部位別に受診場所を聞いています。前立腺以外のすべての部位で「勤務先、または健康保険組合等が実施する検診」が最も多くなっています。また、前立腺は「横浜市のがん検診」が最も多くなっています。

※問9で「受けた」と回答した方のみ

問9-3 あなたはがん検診をどこで受けましたか？（○は各部位1つ）

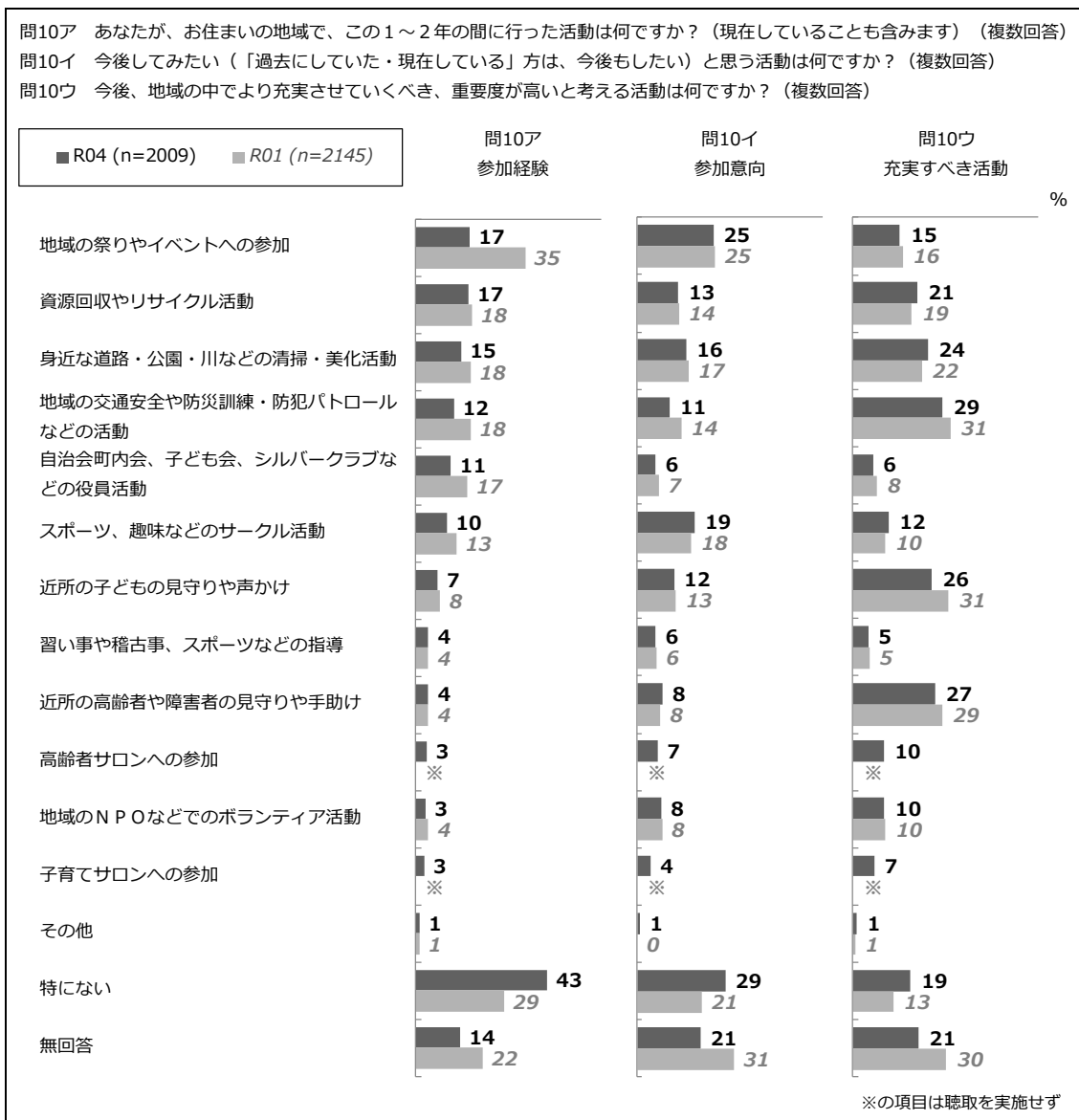
- ・前立腺がん ベース：男性回答者
- ・乳がん／子宮がん ベース：女性回答者



4 地域活動

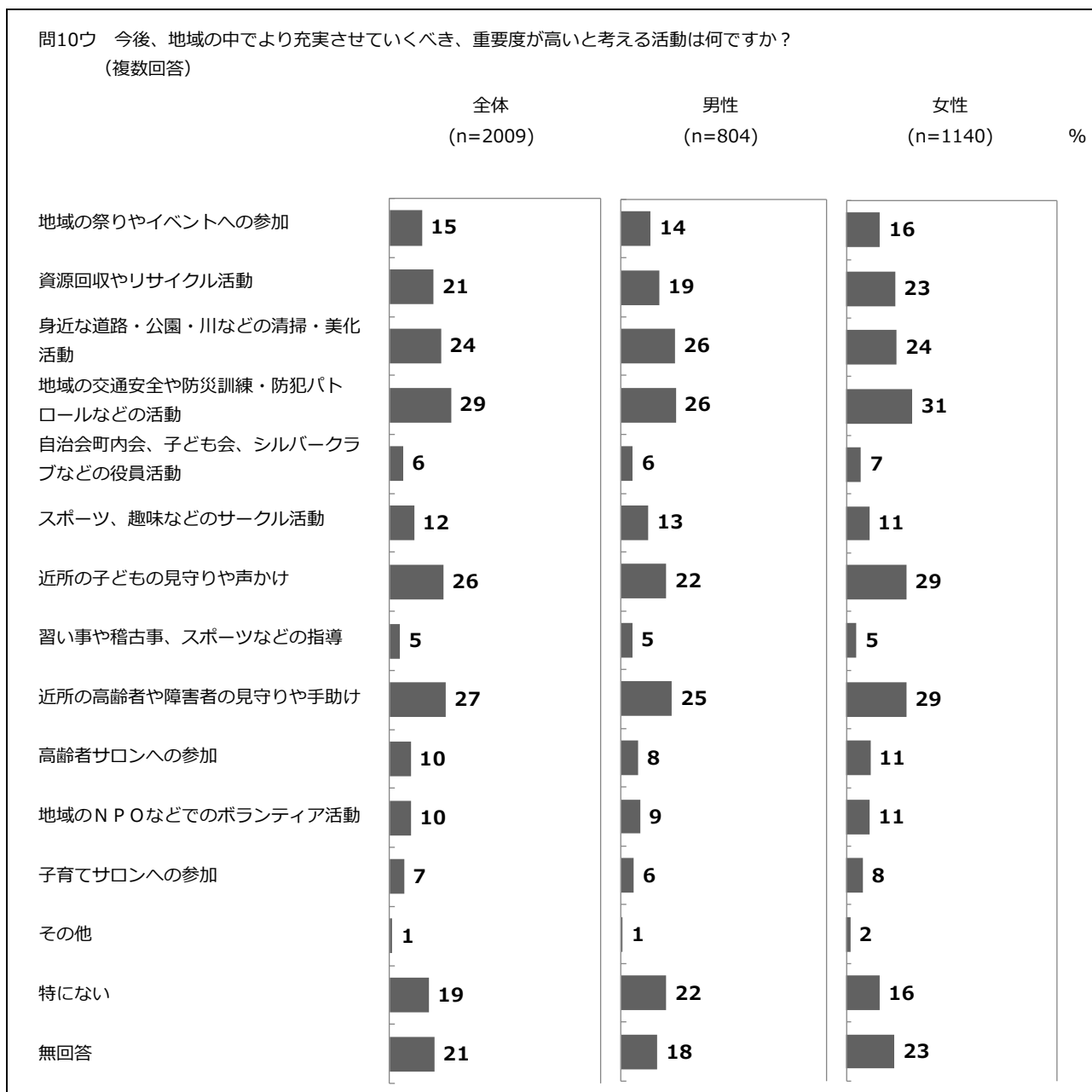
(1) 地域活動参加経験・参加意向・充実すべき地域活動

- この1～2年の間で行ったことのある活動については、「地域の祭りやイベントへの参加」と「資源回収やリサイクル活動」が17%で最も多く、次いで「身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動」（15%）、「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」（12%）でした。また「特にない」が、全体の43%に達しています。
- 今後の活動への参加意向については、「地域の祭りやイベントへの参加」（25%）が最も多くなっています。2番目に多いのは「スポーツ、趣味などのサークル活動」（19%）でした。また、「地域のNPOなどでのボランティア活動」や「近所の子どもの見守りや声かけ」を始めとする参加経験の回答の低かった項目で、参加意向が参加経験を上回る一方、「自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動」や「資源回収やリサイクル活動」は、参加経験に対し、参加意向が下回っています。
- 地域活動の充実すべき活動については、「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」（29%）、「近所の高齢者や障害者の見守りや手助け」（27%）、「近所の子どもの見守りや声かけ」（26%）などが多くなっており、地域の安全や助け合いに対する地域活動が期待されています。



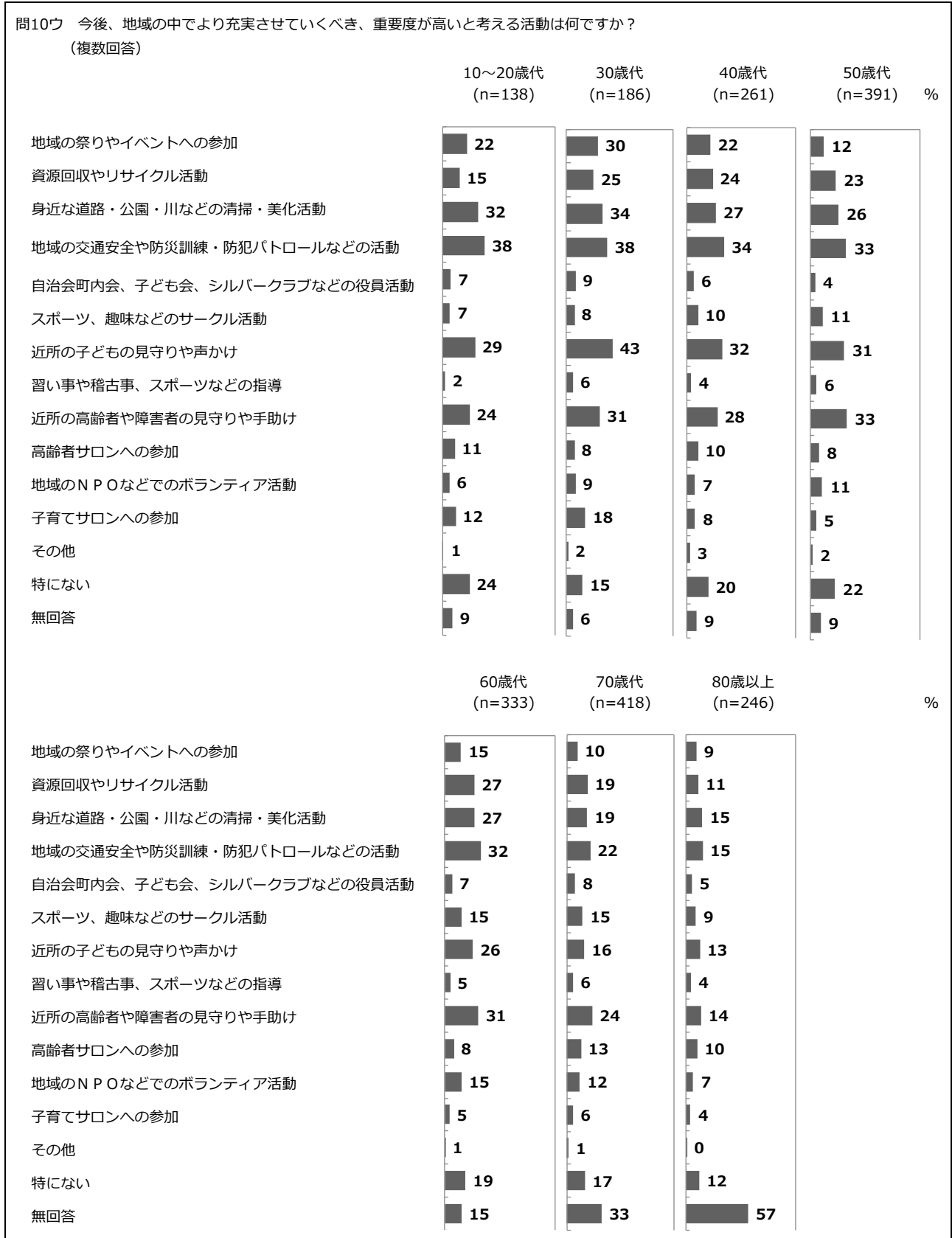
[性別 充実すべき地域活動]

- ・性別で見ると、男女共に「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」の割合が最も多く（男性26%、女性31%）、地域の安全性への関心が高いことが分かります。
- ・女性は「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」に加えて、「近所の子どもを見守りや声かけ」（29%）や「近所の高齢者や障害者の見守りや手助け」（29%）も高く、子どもや高齢者・障害者の見守りが地域の重要な役割であると考えています。



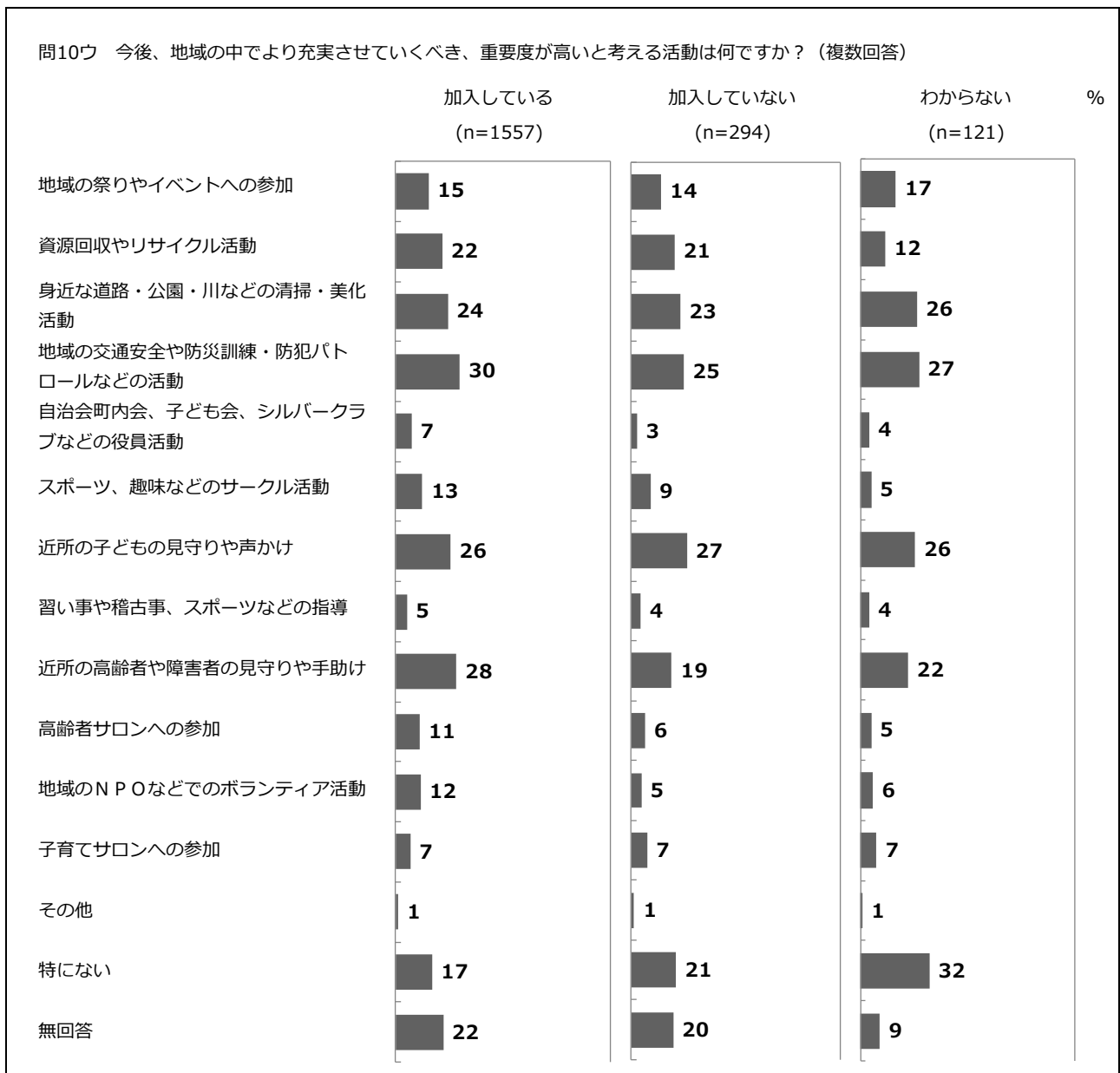
[年代別 充実すべき地域活動]

- ・年代別で見ると、「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」は、10～30歳代で約4割(38%)近い回答があり、若い世代で地域の安全性が重視されています。
- ・「近所の子どもの見守りや声かけ」は30～50歳代で、「近所の高齢者や障害者の見守りや手助け」は30～60歳代で多く、地域の見守りへの意識が高くなっています。



[自治会加入別 充実すべき地域活動]

- 自治会加入別で見ると、加入している人は加入していない人に比べて、多くの項目で割合が多くなっています。



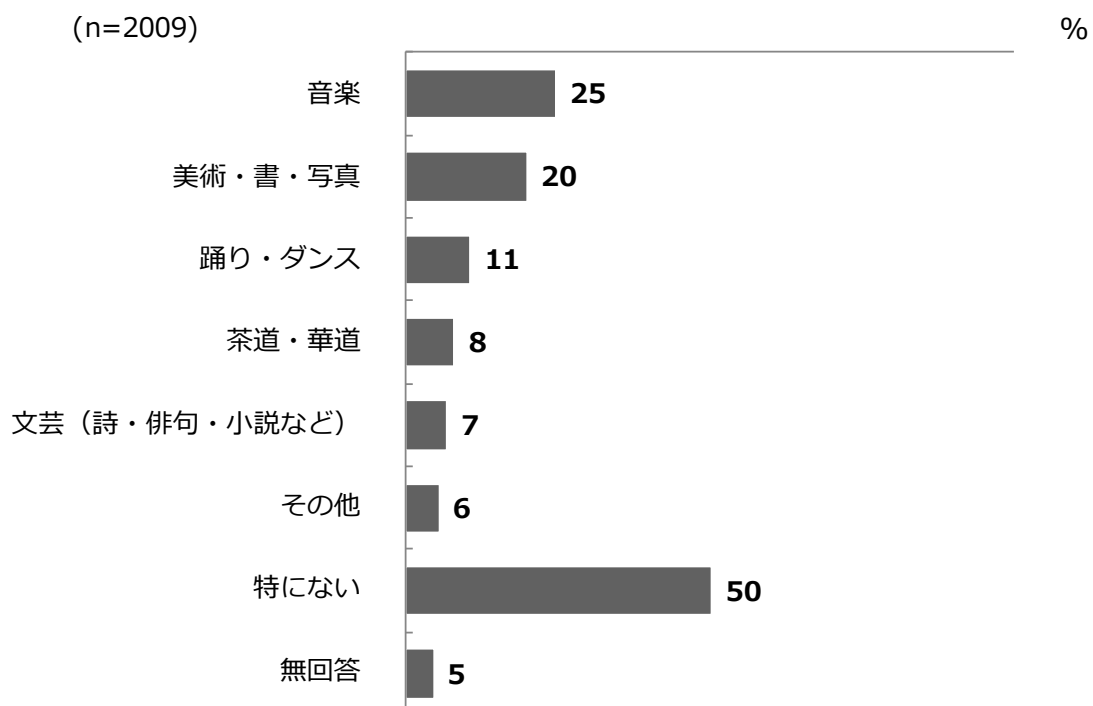
5 文化振興

(1) 活動しているまたは興味のある文化活動

- ・活動しているまたは興味のある文化活動については、「音楽」（25%）の回答が最も多く、次いで「美術・書・写真」（20%）、「踊り・ダンス」（11%）となっています。また、「特にない」が全体の50%に達しています。

問11 あなたが行っている、または興味のある「文化活動※」はありますか？（複数回答）

※「文化活動」とは、下記に示したような分野を自身で創造・演奏・活動などを行うこと、イベントや催しに来場・参加・鑑賞などを行うことをいいます。

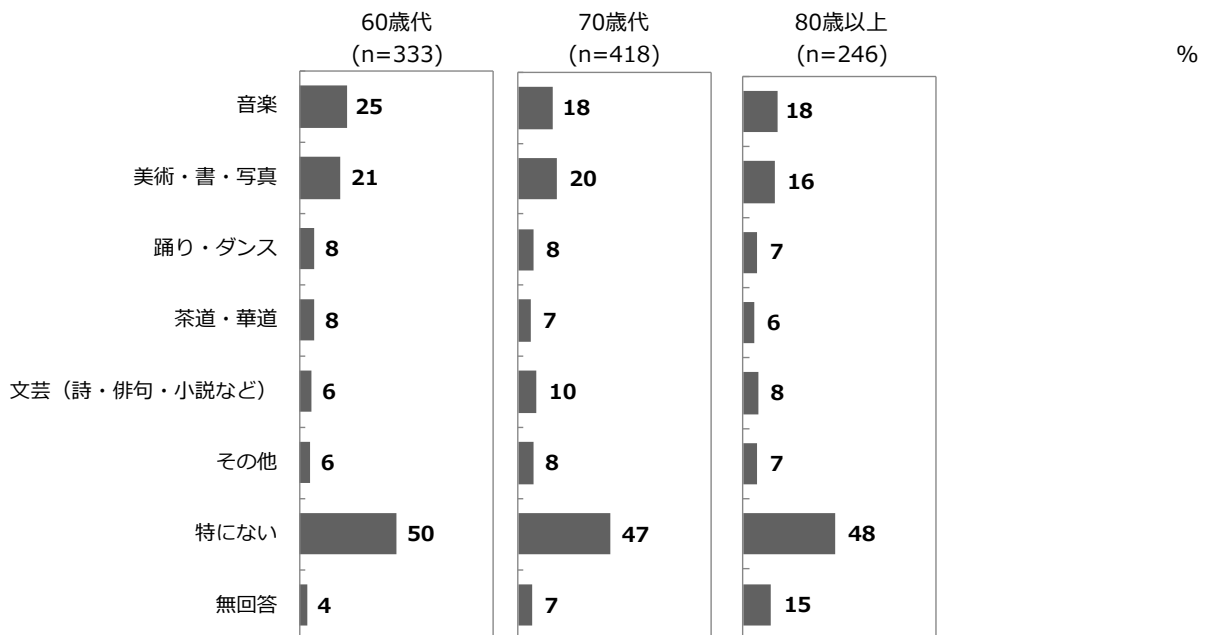
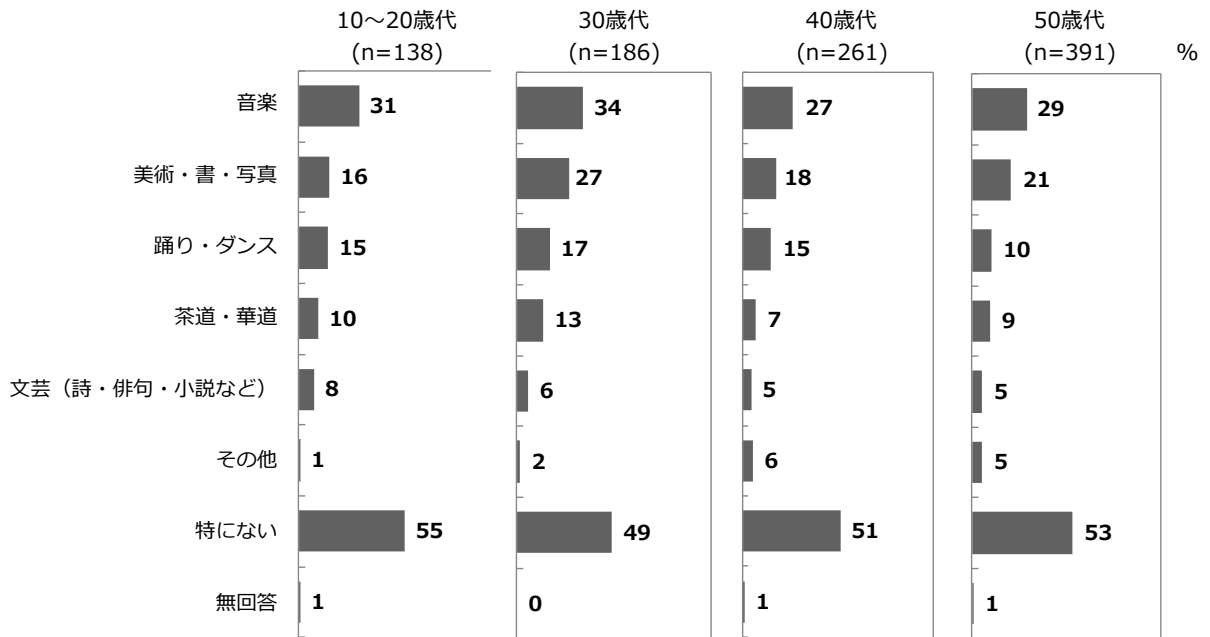


[年代別 活動しているまたは興味のある文化活動]

- ・年代別で見ると、「音楽」は70歳代を除くすべての世代で割合が最も多くなっています。
- ・30歳代は、「音楽」など4項目の割合がすべての年代の中で最も多く、文化活動への意識が高くなっています。
- ・「特にない」は、すべての年代で5割を超えるまたは5割近い割合となっています。

問11 あなたが行っている、または興味のある「文化活動※」はありますか？（○はいくつでも）

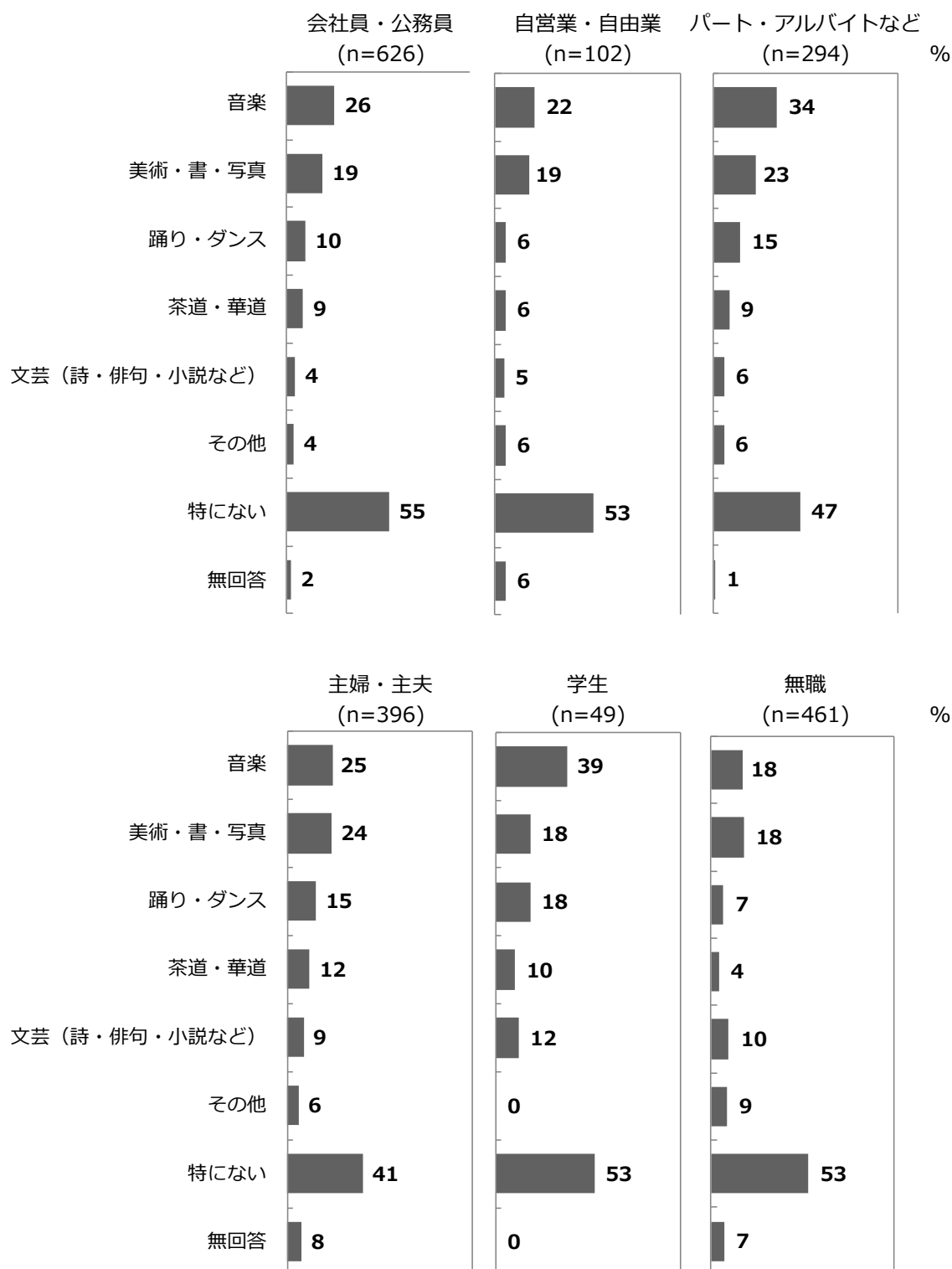
※「文化活動」とは、下記に示したような分野を自身で創造・演奏・活動などを行うこと、イベントや催しに来場・参加・鑑賞などを行うことをいいます。



[職業別 活動しているまたは興味のある文化活動]

- ・職業別で見ると、「音楽」は「パート・アルバイトなど」や「学生」で割合が多くなっています。
- ・「特にない」は、「会社員・公務員」で割合が最も多く、他の職業でも5割を超えるまたは5割近い割合となり、文化活動に馴染みのない人が多くなっています。

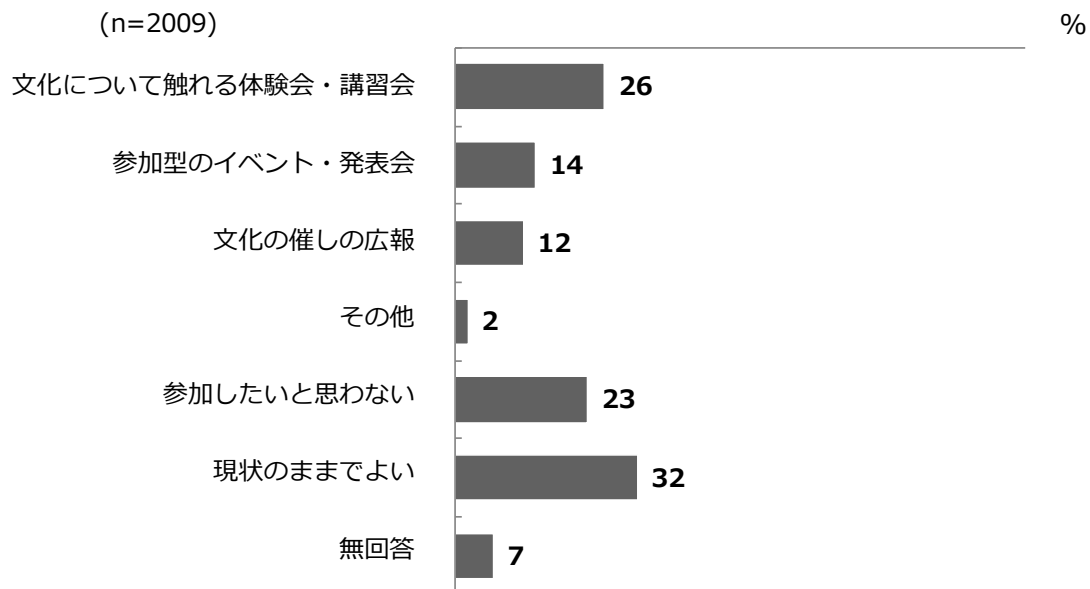
問11 あなたが行っている、または興味のある「文化活動※」はありますか？（○はいくつでも）
 ※「文化活動」とは、下記に示したような分野を自身で創造・演奏・活動などを行うこと、イベントや催しに来場・参加・鑑賞などを行うことをいいます。



(2) 参加してみたい文化活動

- ・参加してみたい文化活動については、「文化について触れる体験会・講習会」(26%)の回答が最も多く、次いで「参加型のイベント・発表会」(14%)、「文化の催しの広報」(12%)となっています。

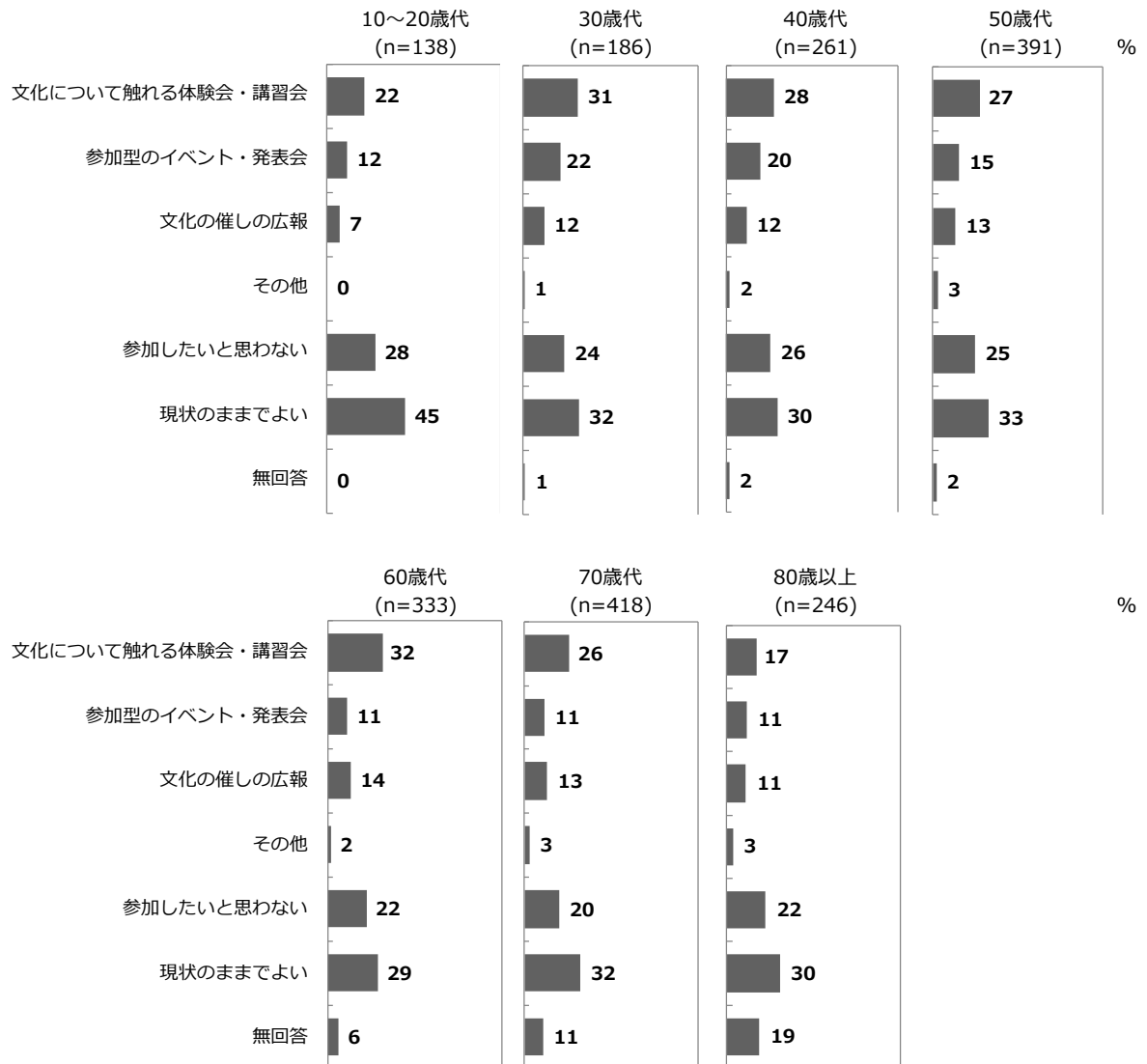
問12 区内でこういった「文化活動」があれば参加してみたい・興味が湧くと思いますか？
(複数回答)



[年代別 参加してみたい文化活動]

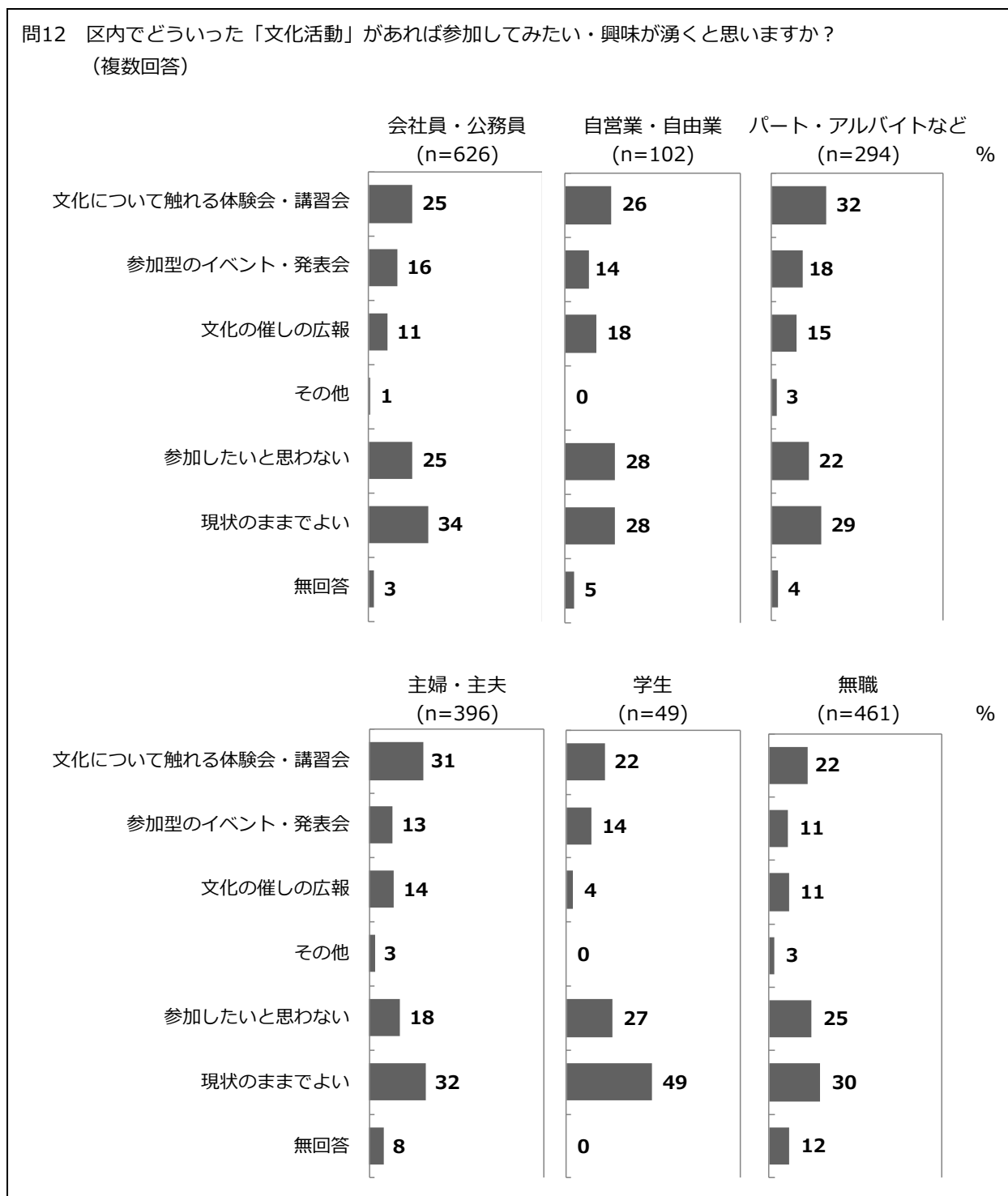
- ・年代別で見ると、「文化について触れる体験会・講習会」は30歳代や60歳代で割合が多く、「参加型のイベント・発表会」は30～40歳代で多くなっています。
- ・「現状のままでよい」は、10～20歳代で最も多く、5割近い割合となっています。

問12 区内でこういった「文化活動」があれば参加してみたい・興味が湧くと思いますか？
(複数回答)



[職業別 参加してみたい文化活動]

- ・職業別で見ると、「文化について触れる体験会・講習会」は、「パート・アルバイトなど」(32%)や「主婦・主夫」(31%)で割合が多く、「参加型のイベント・発表会」は「パート・アルバイトなど」(18%)、「文化の催しの広報」は「自営業・自由業」(18%)で多くなっています。
- ・「現状のままでよい」は、「学生」(49%)で最も多く、5割近い割合となっています。



6 スポーツ振興

(1) 日頃スポーツ・運動を行う場所

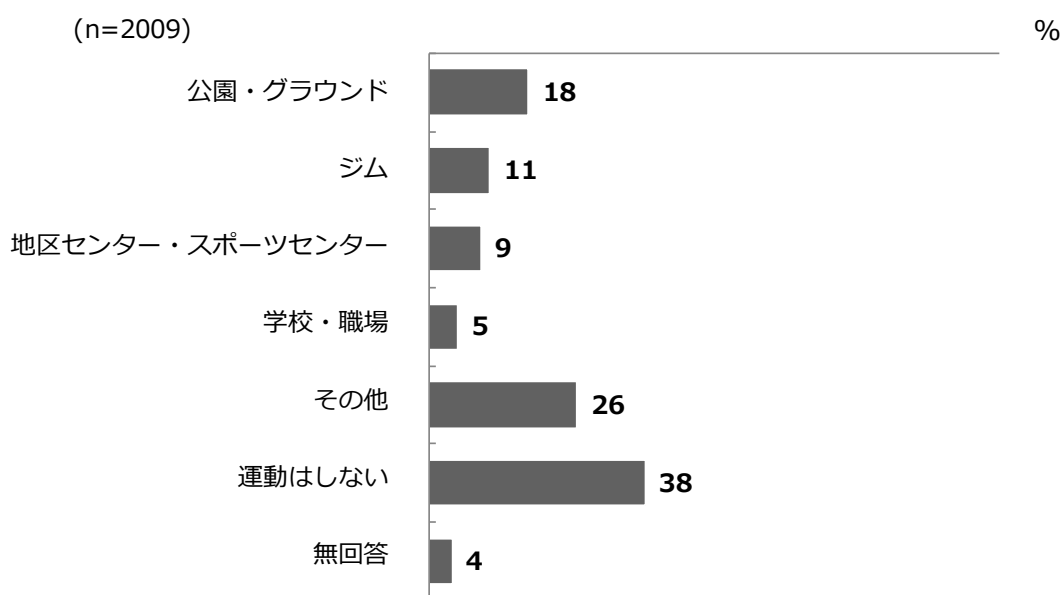
- ・日頃スポーツ・運動を行う場所については、「その他」(26%)の回答が最も多く、次いで「公園・グラウンド」(18%)、「ジム」(11%)となっています。また、約4割の方が「運動はしない」(38%)と回答しています。

(「その他」について)

- ・「その他」が26%と多くなっていますが、その内容を見ると、「自宅」や「ウォーキング」といった回答が多くなっています。
- ・他には、ゴルフ場、スポーツクラブ、自治会館などが挙げられています。
- ・「ウォーキング」に類似した内容で、まちあるき、ジョギング、サイクリングといった回答も挙げられています。

問13 あなたは日頃どこでスポーツ・運動を行いますか？

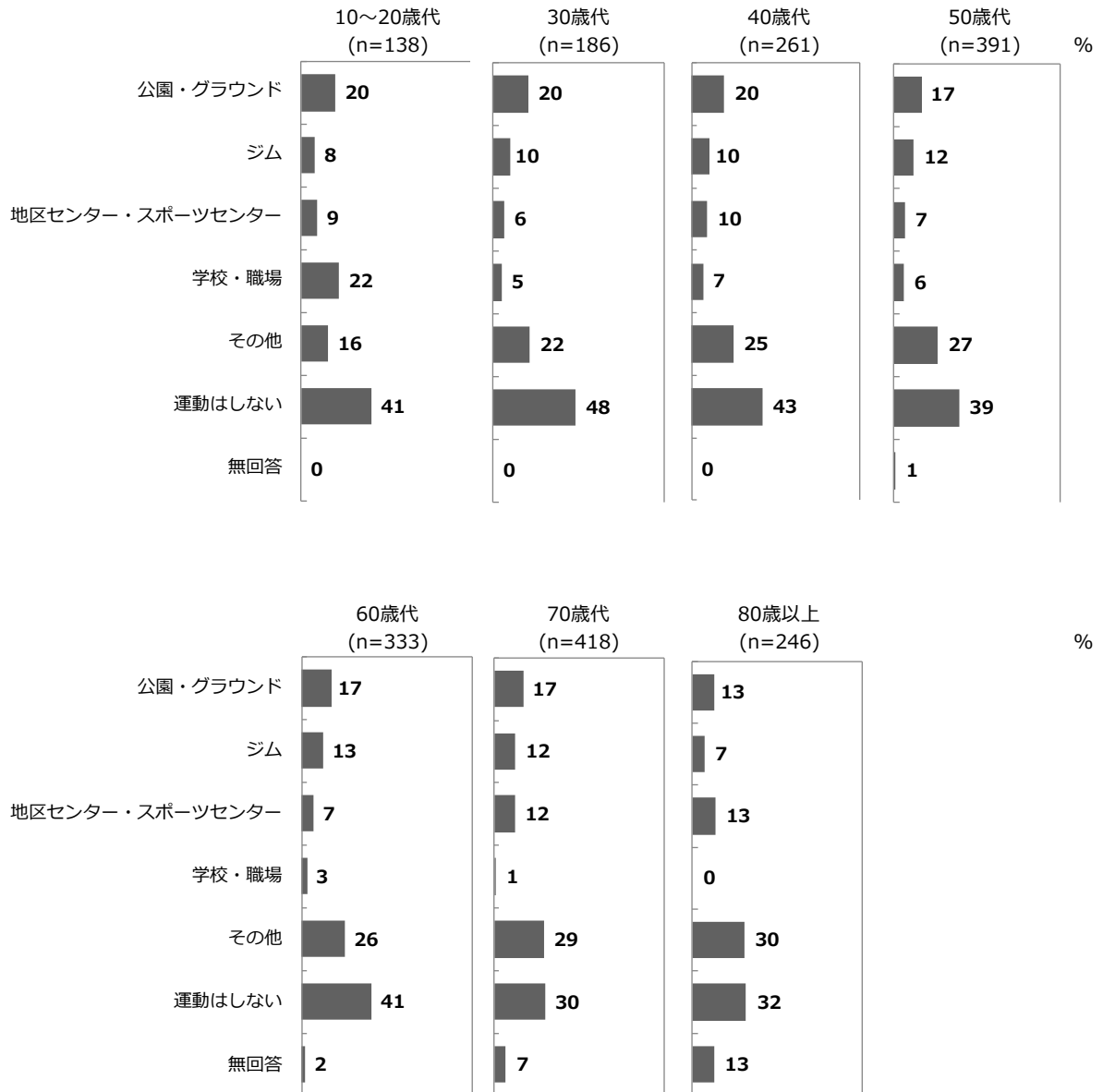
(複数回答)



[年代別 日頃スポーツ・運動を行う場所]

- ・年代別で見ると、「公園・グラウンド」は、10～40歳代で割合が多くなっています。
- ・10～20歳代は「学校・職場」（22%）で割合が最も多く、日常生活の中で運動に触れる機会が多くなっています。
- ・「運動はしない」は、30～40歳代で割合が多く、働き盛りの世代で運動に触れる機会が少なくなっています。

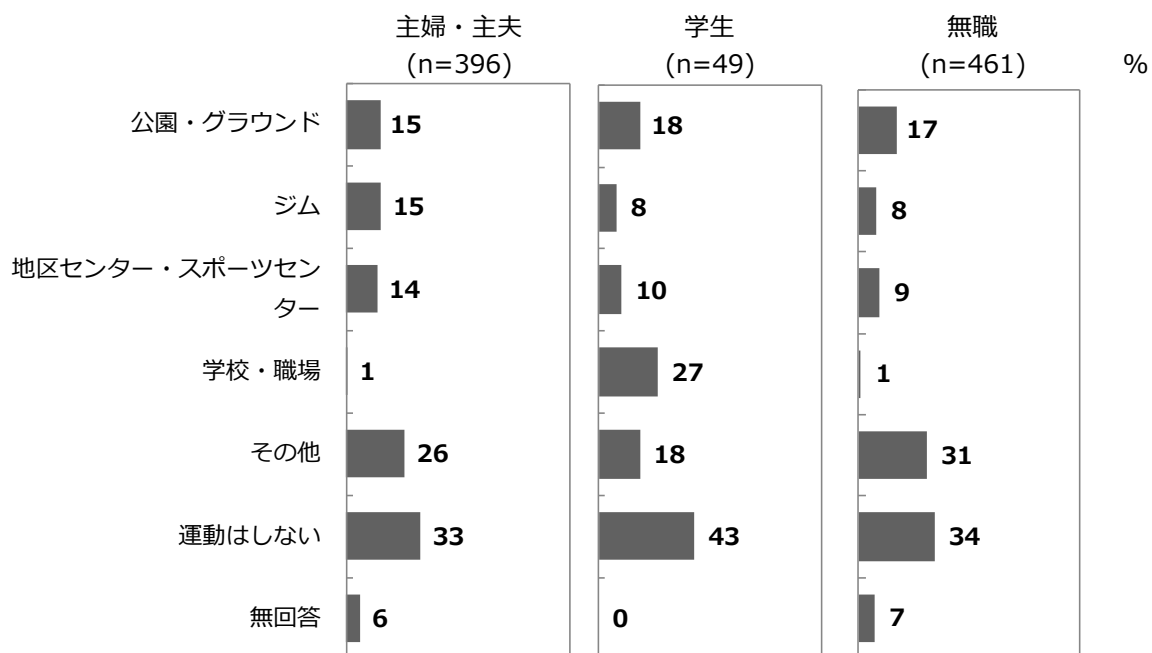
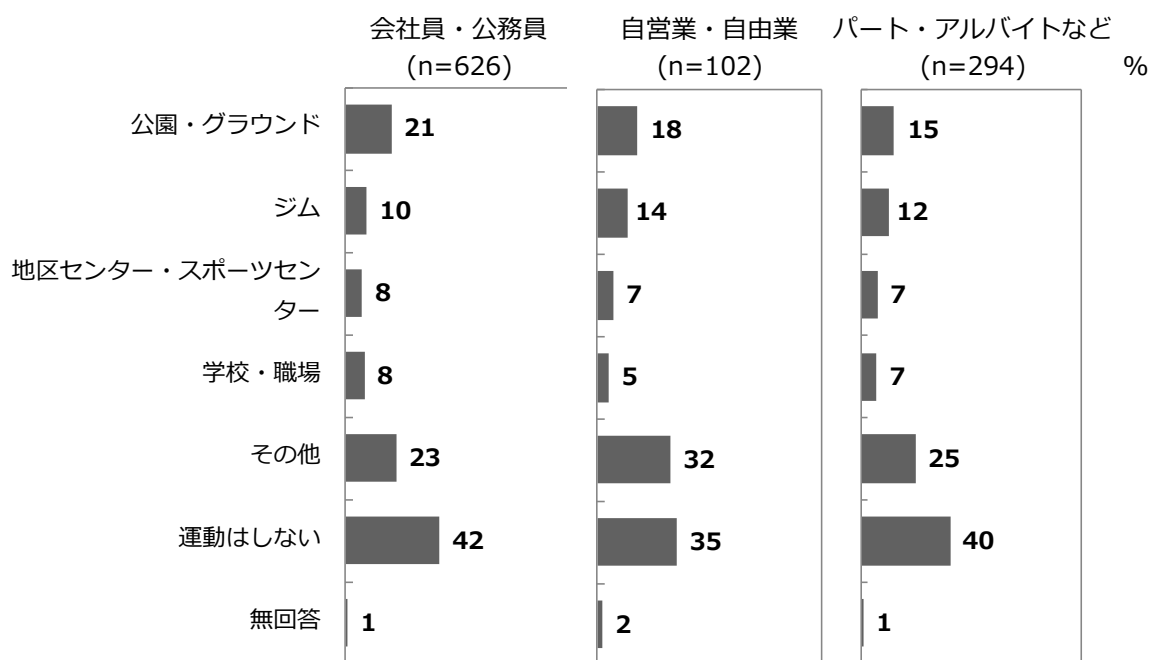
問13 あなたは日頃どこでスポーツ・運動を行いますか？
(複数回答)



[職業別 日頃スポーツ・運動を行う場所]

- ・職業別で見ると、「公園・グラウンド」は、「会社員・公務員」(21%)で割合が多く、「学校・職場」は「学生」(27%)で多くなっています。
- ・「運動はしない」は、「会社員・公務員」(42%)、「学生」(43%)、「パート・アルバイトなど」(40%)で4割を超える割合となっています。

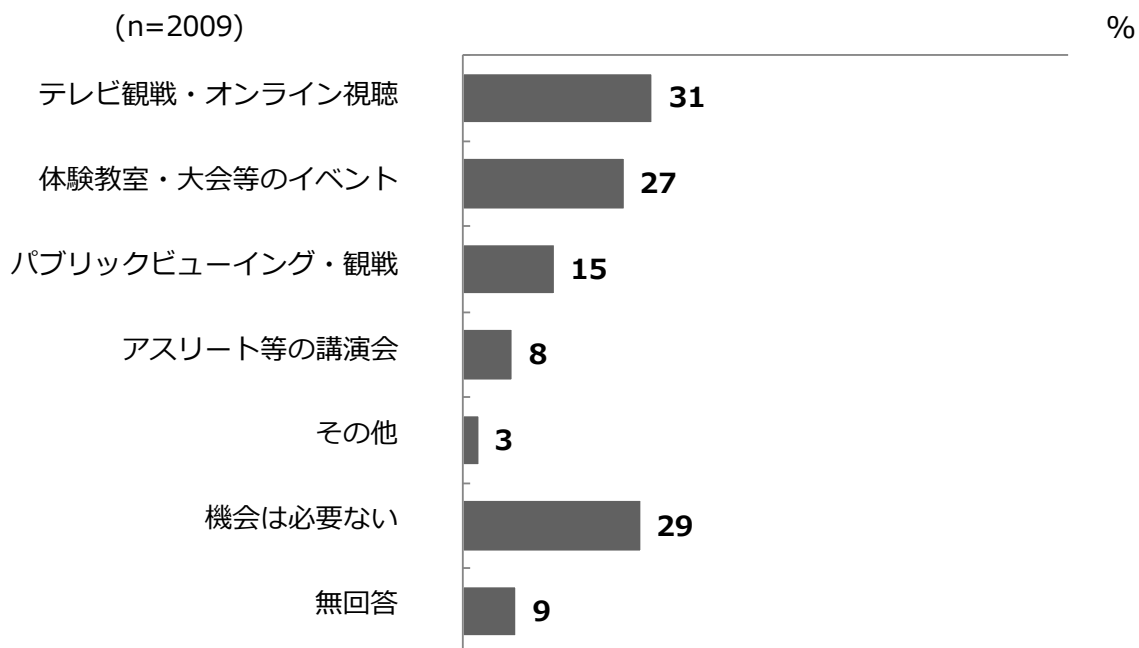
問13 あなたは日頃どこでスポーツ・運動を行いますか？
(複数回答)



(2) 参加してみたいスポーツ関連の活動

- 参加してみたいスポーツ関連の活動については、「テレビ観戦・オンライン視聴」(31%)の回答が最も多く、次いで「体験教室・大会等のイベント」(27%)、「パブリックビューイング・観戦」(15%)となっています。また、約3割の方が「機会はいらない」(29%)と回答しています。

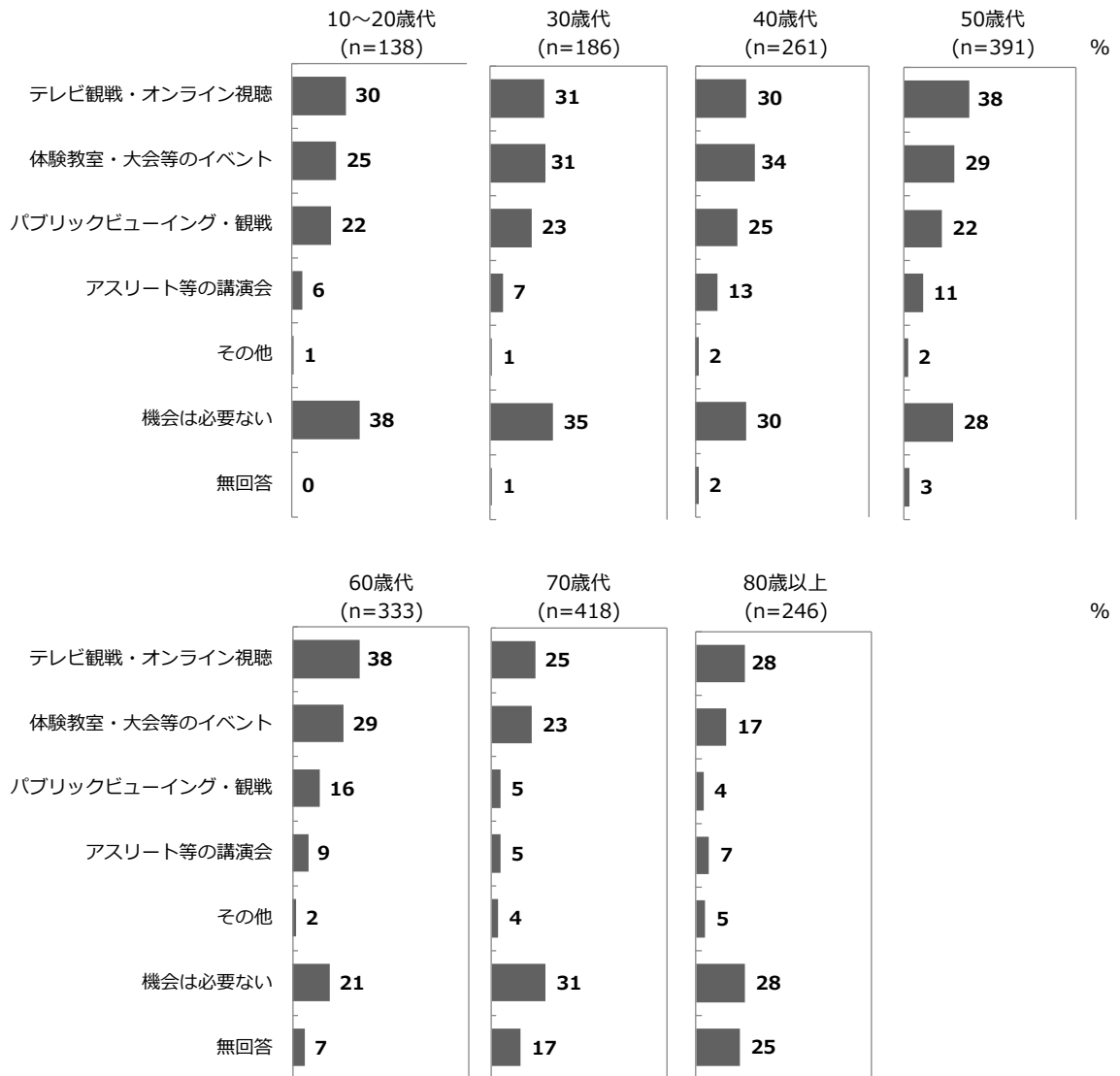
問14 あなたはスポーツに触れる身近な場として、どのような機会を望みますか？
(複数回答)



[年代別 参加してみたいスポーツ関連の活動]

- ・年代別で見ると、「テレビ観戦・オンライン視聴」は、50～60歳代で割合が多くなっています。
- ・40歳代は「体験教室・大会等のイベント」（34%）、「パブリックビューイング・観戦」（25%）で他の年代と比べて割合が多くなっています。
- ・「機会はない」と答える人は、10～40歳代といった若い世代で多くなっています。

問14 あなたはスポーツに触れる身近な場として、どのような機会を望みますか？
(複数回答)

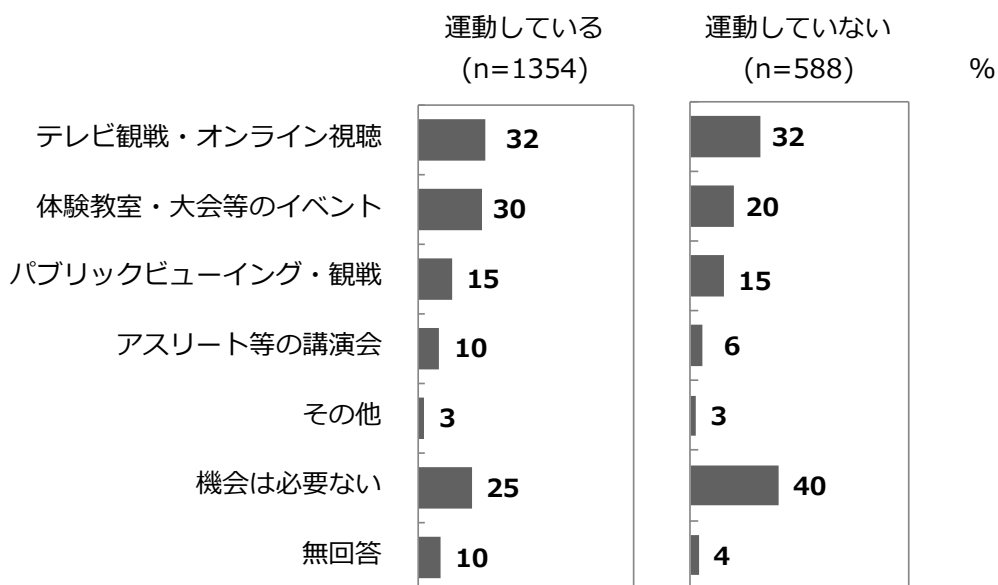


[運動習慣の有無別 参加してみたいスポーツ関連の活動]

- ・運動習慣の有無*との関係を見ると、「運動している」人は「体験教室・大会等のイベント」(30%)の割合が多く、「運動していない」人は「機会はない」(40%)の割合が多くなっています。
- ・「テレビ観戦・オンライン視聴」は32%で同じ割合となり、運動習慣の有無に関係なく、望む割合が高くなっています。

*問8 (1) なるべく体を動かしたり、運動しているで「はい」と回答の有無

問14 あなたはスポーツに触れる身近な場として、どのような機会を望みますか？
(複数回答)



7 読書活動について

(1) 本を読む頻度

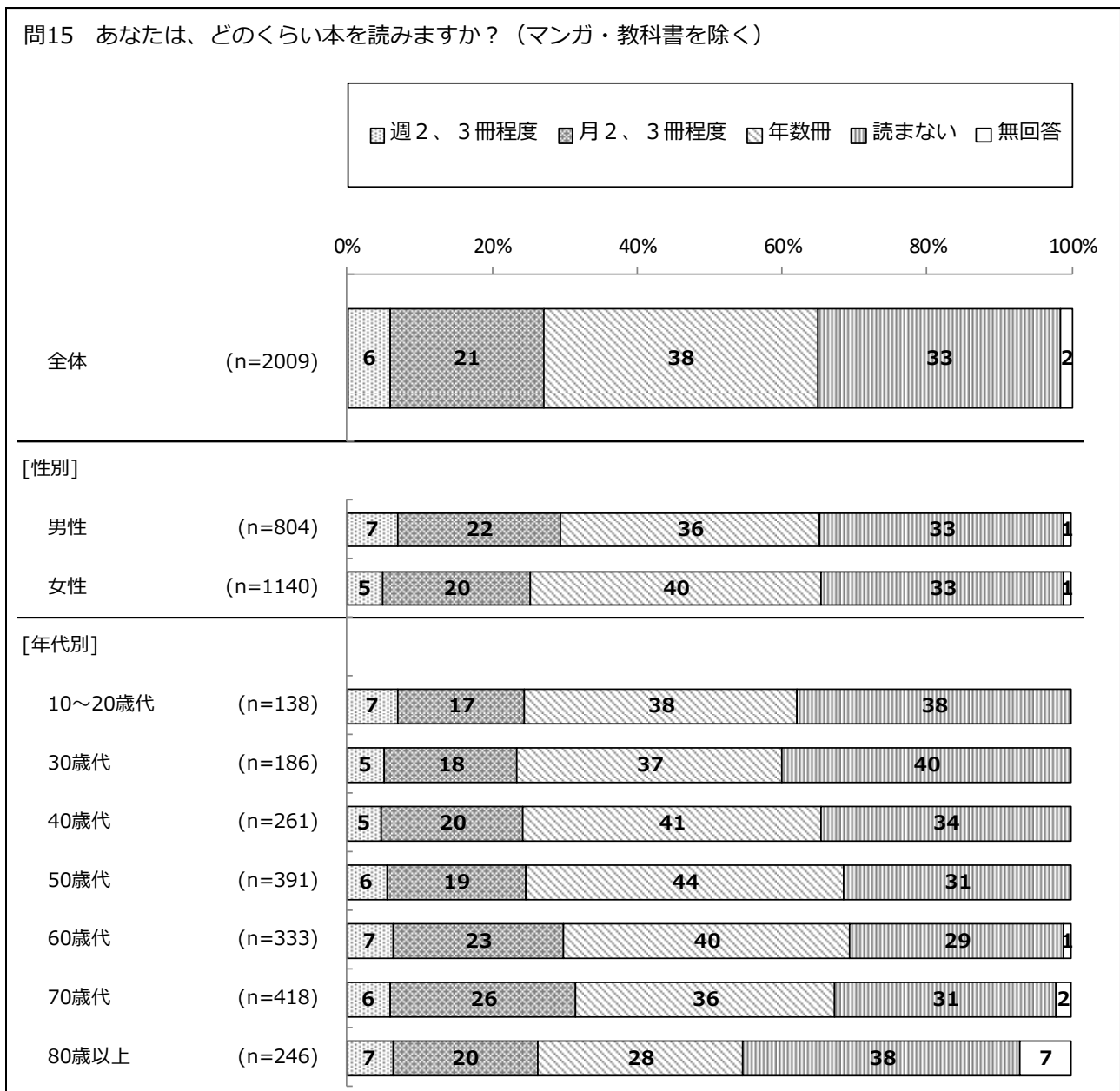
- 本を読む頻度については、「年数冊」が38%と最も多くなっています。次いで「読まない」が約3割（33%）を占めています。

[性別 本を読む頻度]

- 性別で見ると、本を読む頻度が「週2、3冊程度」や「月2、3冊程度」の方の割合は、女性（25%）に比べて男性（29%）が若干高くなっています。また、男女ともに「年数冊」（男性36%・女性40%）の回答割合が最も高くなっています。

[年代別 本を読む頻度]

- 年代別で見ると、80歳以上を除くと、本を読む頻度が「週2、3冊程度」や「月2、3冊程度」は、年代が高くなるにつれて多くなる傾向にあります。また、10～20歳代（38%）と30歳代（40%）、80歳以上（38%）は「読まない」の回答割合が多くなっています。



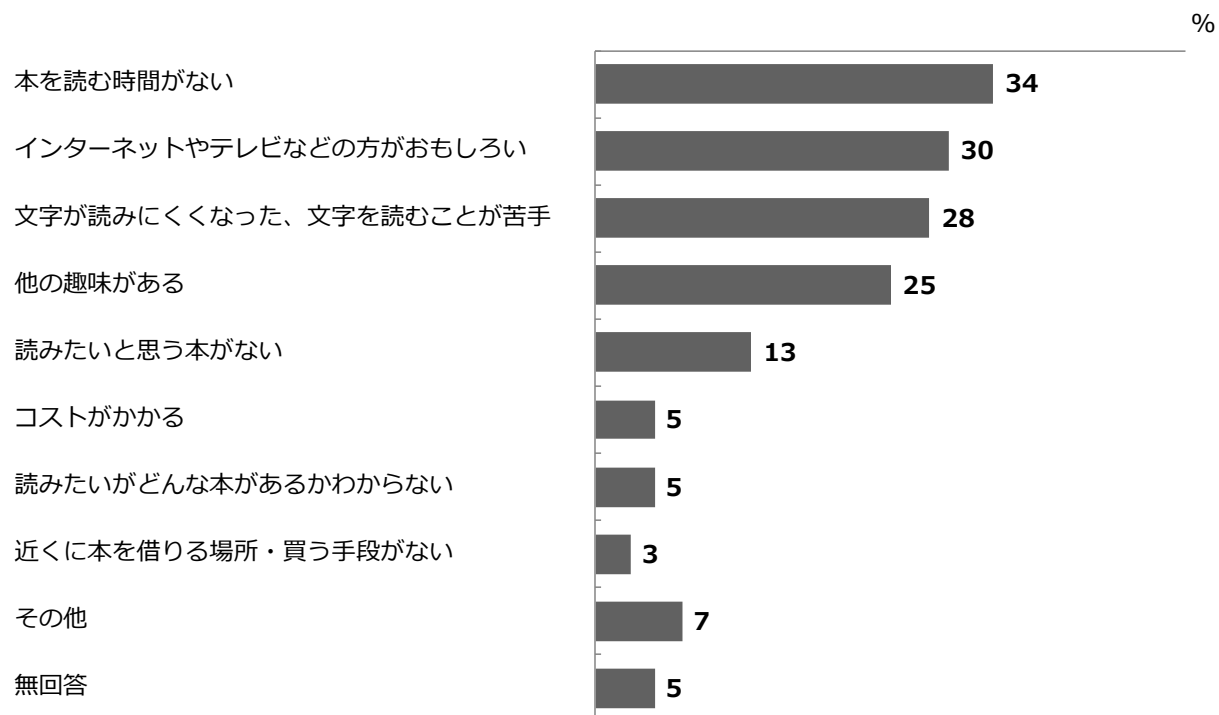
(2) 本を読まない理由

- ・「年数冊」または「読まない」と回答した人に対して、本を読まない理由を聞いてみると、最も多いのは「本を読む時間がない」(34%)で、次いで「インターネットやテレビなどの方がおもしろい」(30%)、「文字が読みにくくなった、文字を読むことが苦手」(28%)、「他の趣味がある」(25%)となっています。

※問15で「年数冊」「読まない」と回答した方のみ

問15-2 本を読まない理由は何ですか？(複数回答)

(n=1432)

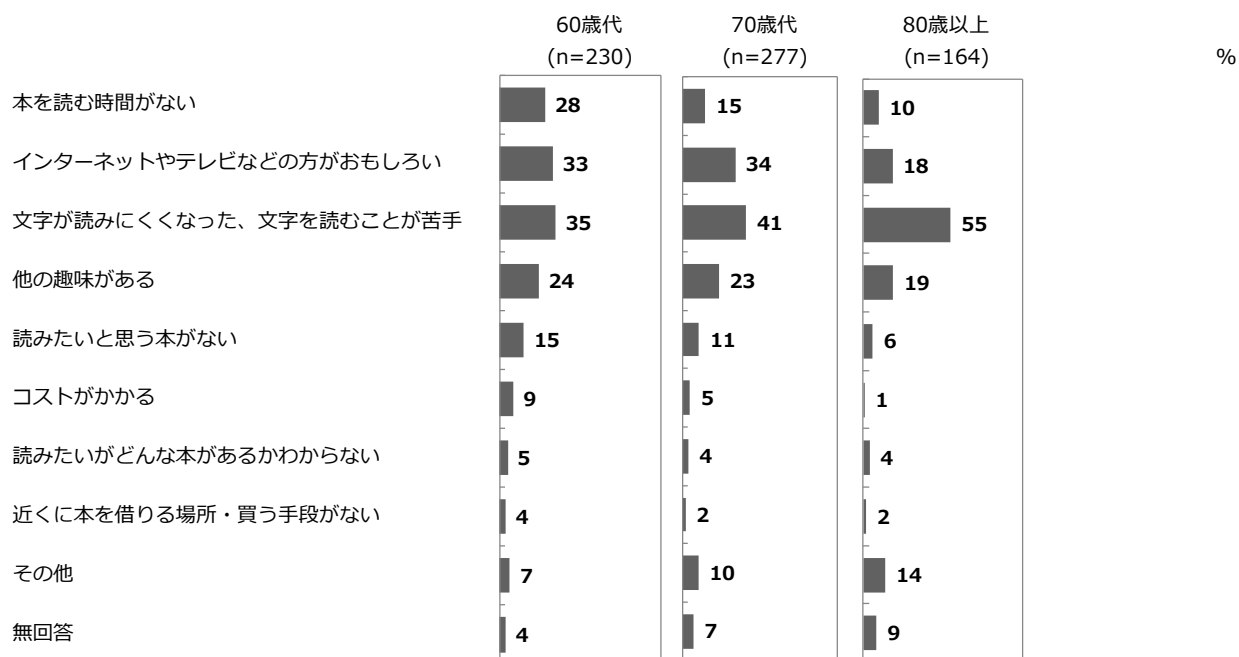
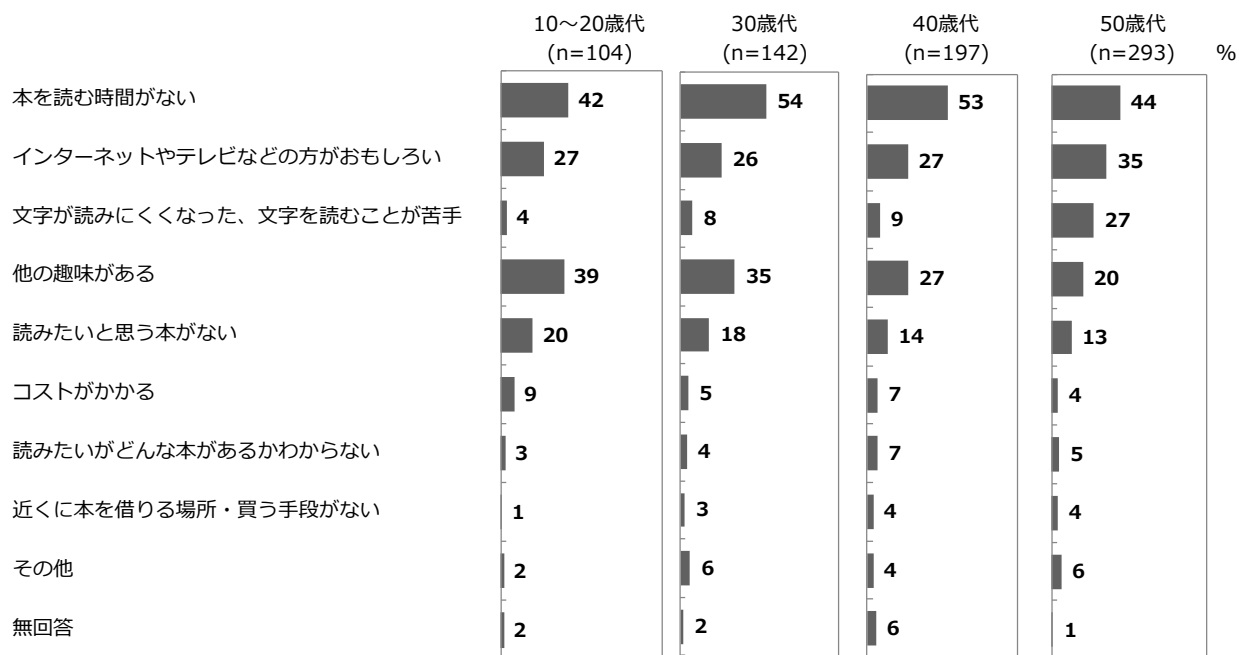


[年代別 本を読まない理由]

- 年代別で見ると、「本を読む時間がない」や「他の趣味がある」は10～50歳代で割合が高く、年代が若い世代で高くなっています。また、「文字が読みにくくなった、文字を読むことが苦手」は70歳代（41%）や80歳以上（55%）と高齢者世代で割合が高くなっています。

※問15で「年数冊」「読まない」と回答した方のみ

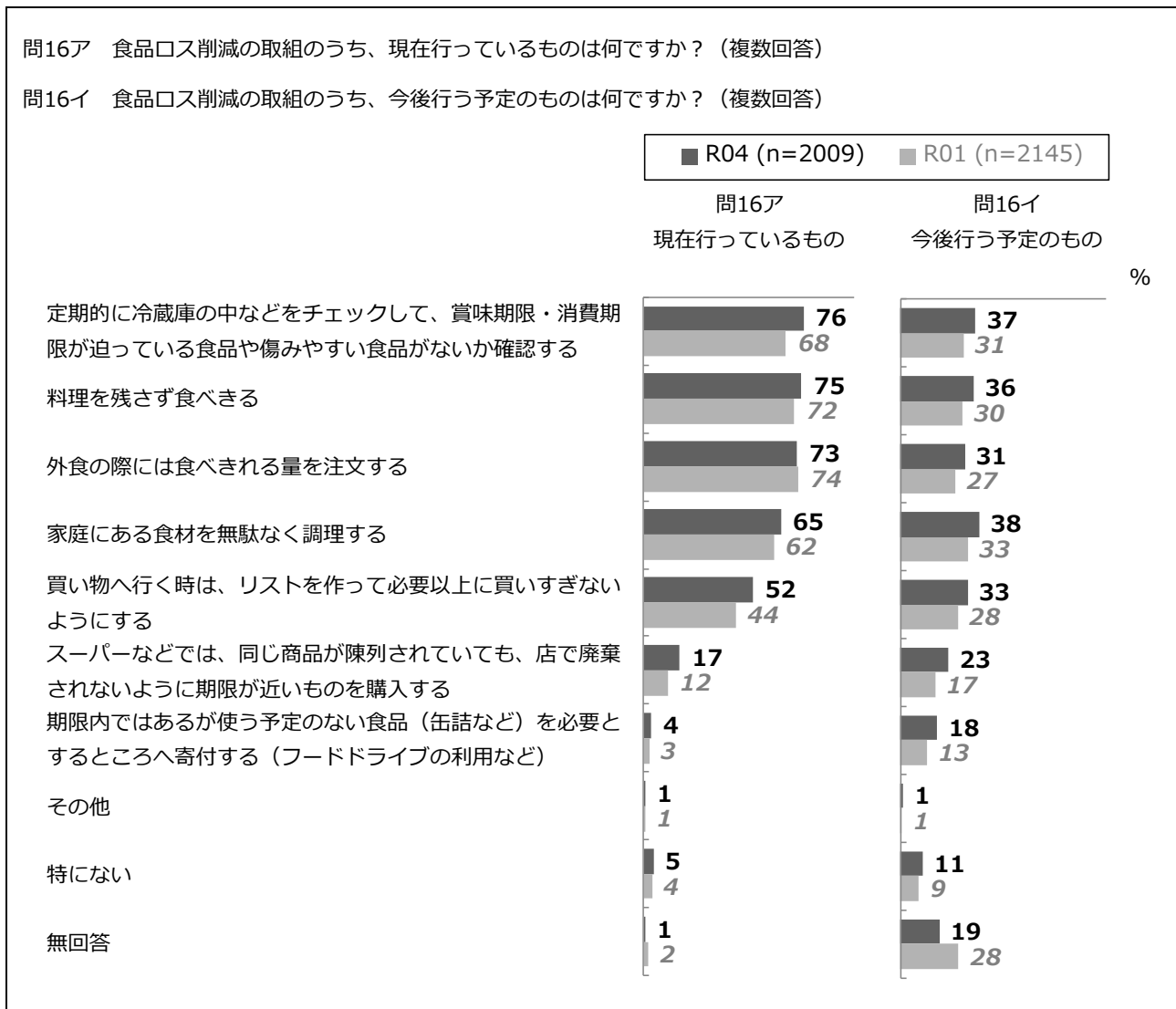
問15-2 本を読まない理由は何ですか？（複数回答）



8 食品ロスの削減について

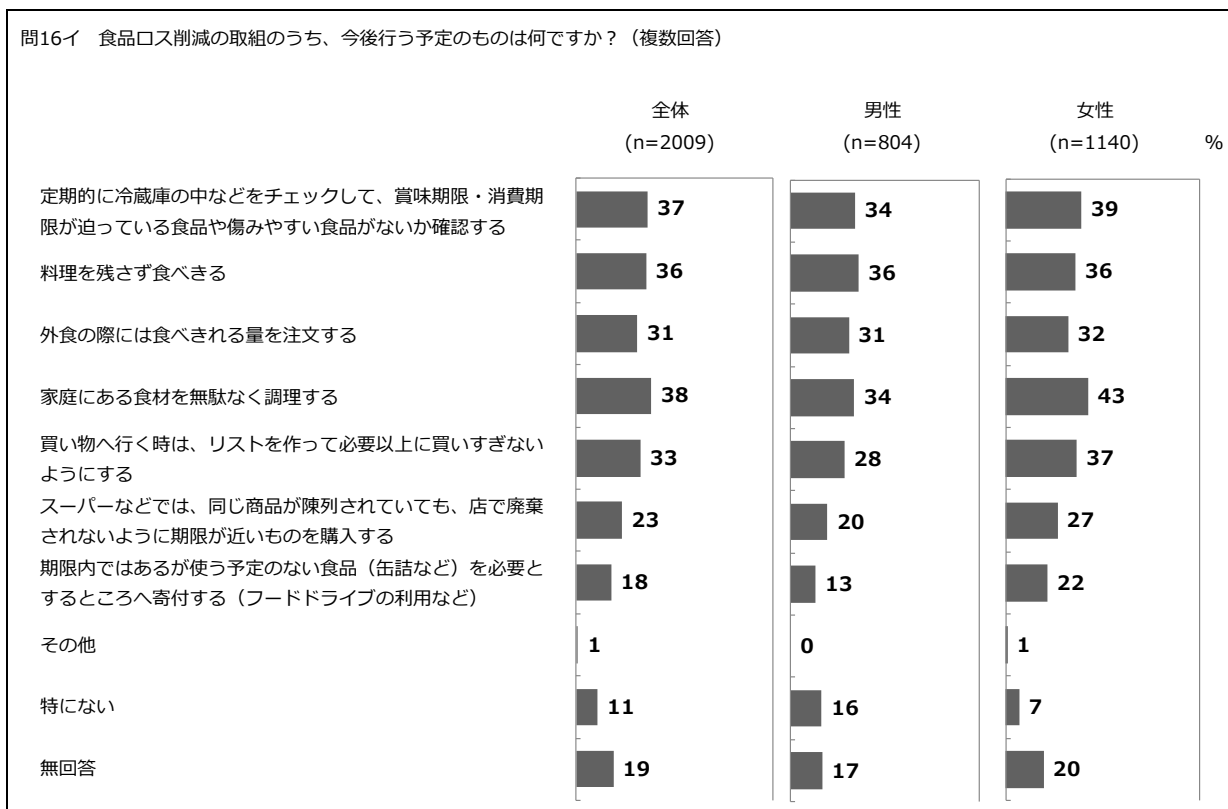
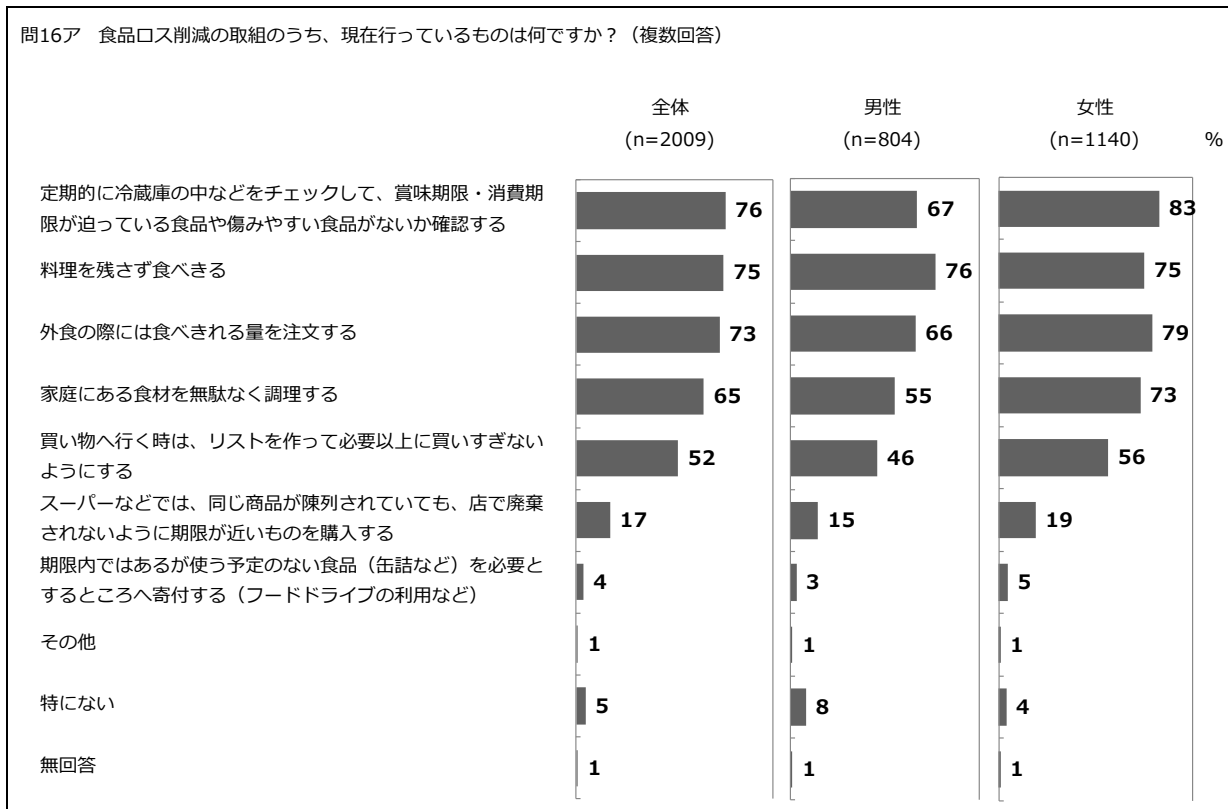
(1) 食品ロス削減に係る取組経験・今後の取組意向

- ・現在行っている食品ロス削減の取組については、「賞味期限・消費期限が迫っている食品がないか確認する」(76%)が最も多く、次いで「料理を残さず食べきる」(75%)、「外食の際には食べきれる量を注文する」(73%)、「家庭にある食材を無駄なく調理する」(65%)となっています。また、多くの回答が5割割合を超えていることから、食品ロスの取組みへの意識が高いことが伺えます。
- ・今後行う予定の取組については、「同じ商品が陳列されていても、期限が近いものを購入する」や「使う予定のない食品(缶詰など)を必要とするところへ寄付する」が、現在行っている取組を上回っています。



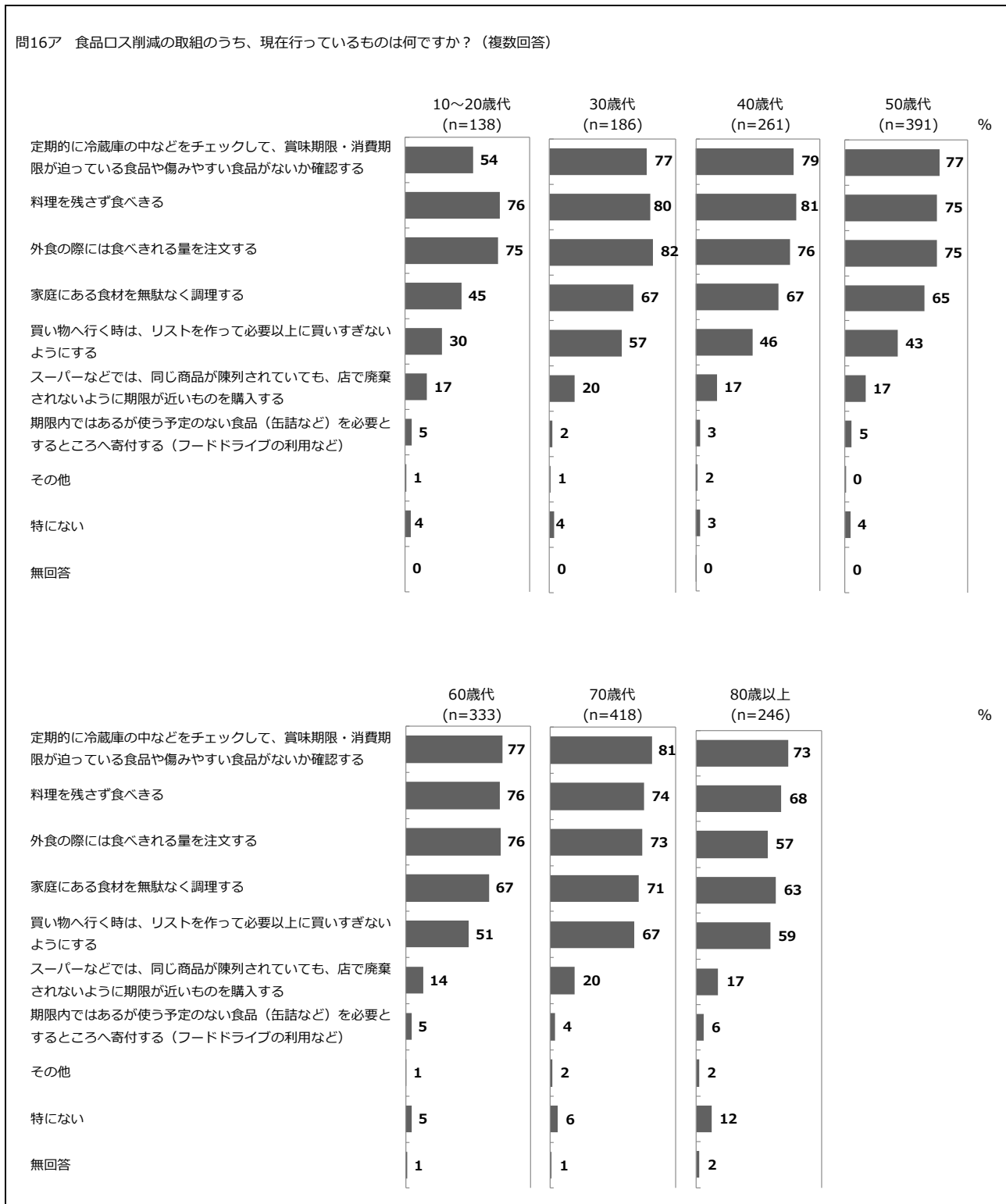
[性別 食品ロス削減に係る取組経験・今後の取組意向]

- ・性別で見ると、現在行っている食品ロス削減の取組については、「料理を残さず食べきる」は男性の割合が多く、それ以外の項目は女性の割合が多くなっています。
- ・今後行う予定の取組については、男性は「料理を残さず食べきる」、女性は「家庭にある食材を無駄なく調理する」の割合が最も多くなっています。

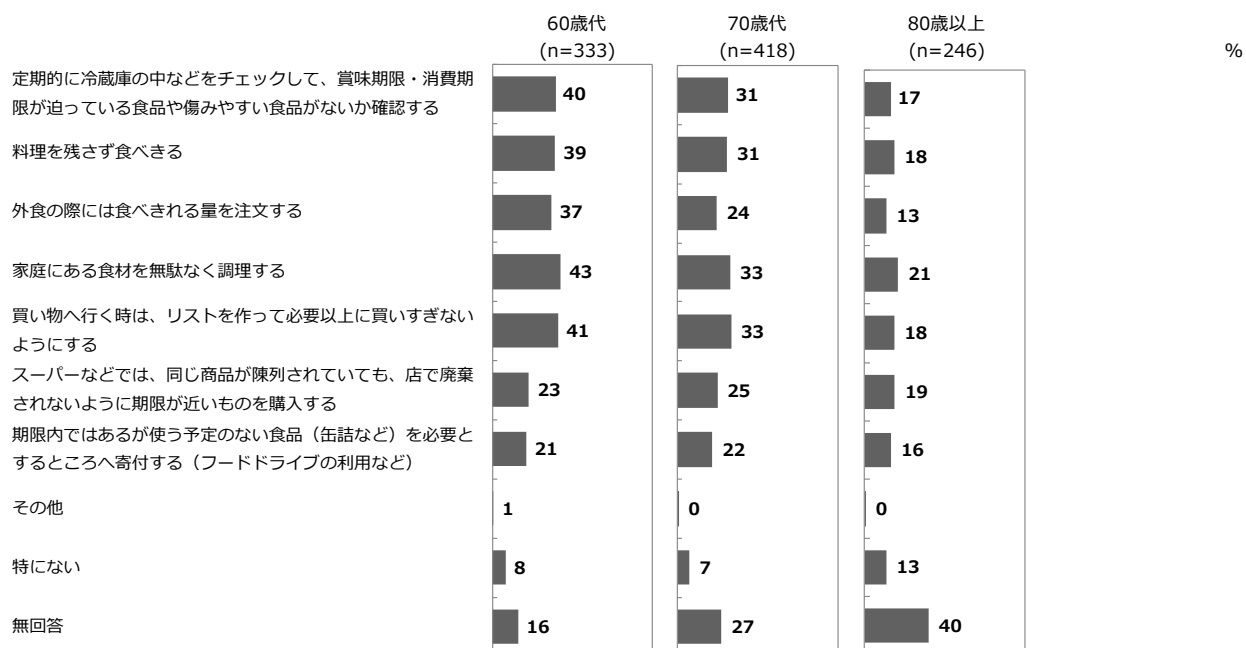
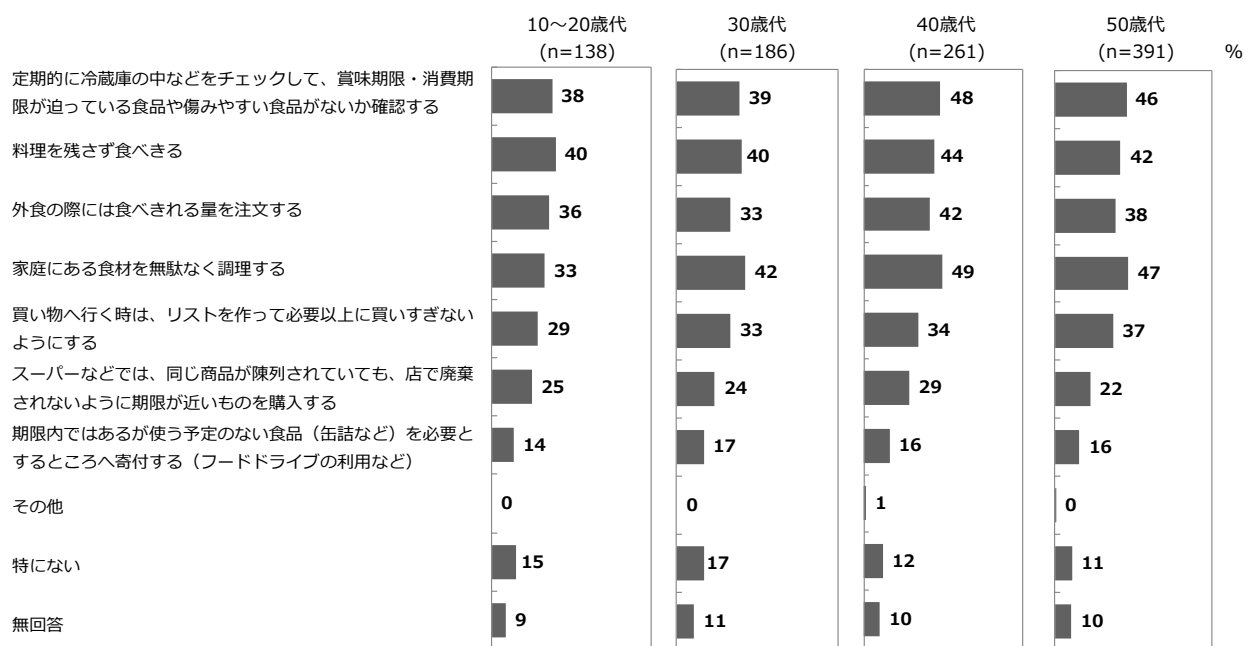


[年代別 食品ロス削減に係る取組経験・今後の取組意向]

- ・年代別で見ると、現在行っている食品ロス削減の取組については、「賞味期限・消費期限が迫っている食品がないか確認する」が、30歳代以上の年代では7割を超える割合となっていますが、10～20歳代では54%と低い割合になっています。
- ・今後行う予定の取組については、40・50歳代の割合が全体的に多く、食品ロス削減の取組み意識が高まっています。



問16イ 食品ロス削減の取組のうち、今後行う予定のものは何ですか？（複数回答）



(2) 食品ロス削減に係る取組を特に行っていない・行う予定がない理由

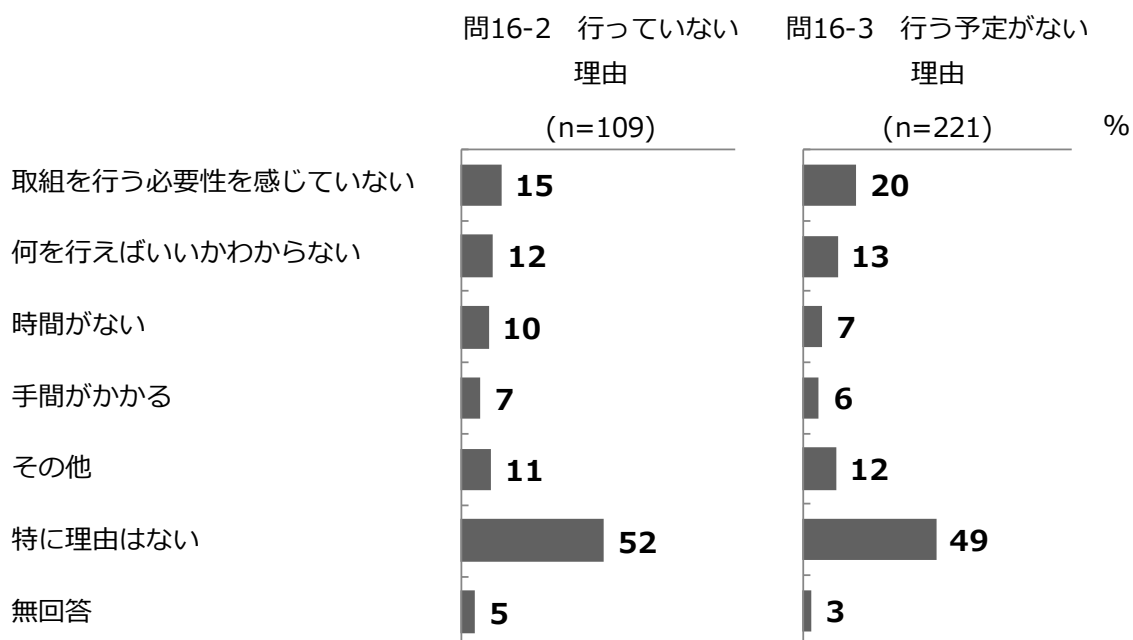
- ・現在行っている取組及び今後行う予定の取組について、「特にない」と回答した人の理由で最も多いのは、「特に理由はない」となっています。また、「取組を行う必要性を感じていない」や「何を行えばいいかわからない」といった回答も多くなっています。

※問16アで「特にない」と回答した方のみ

問16-2 問16アで「特にない」の理由は何ですか？（複数回答）

※問16イで「特にない」と回答した方のみ

問16-3 問16イで「特にない」の理由は何ですか？（複数回答）

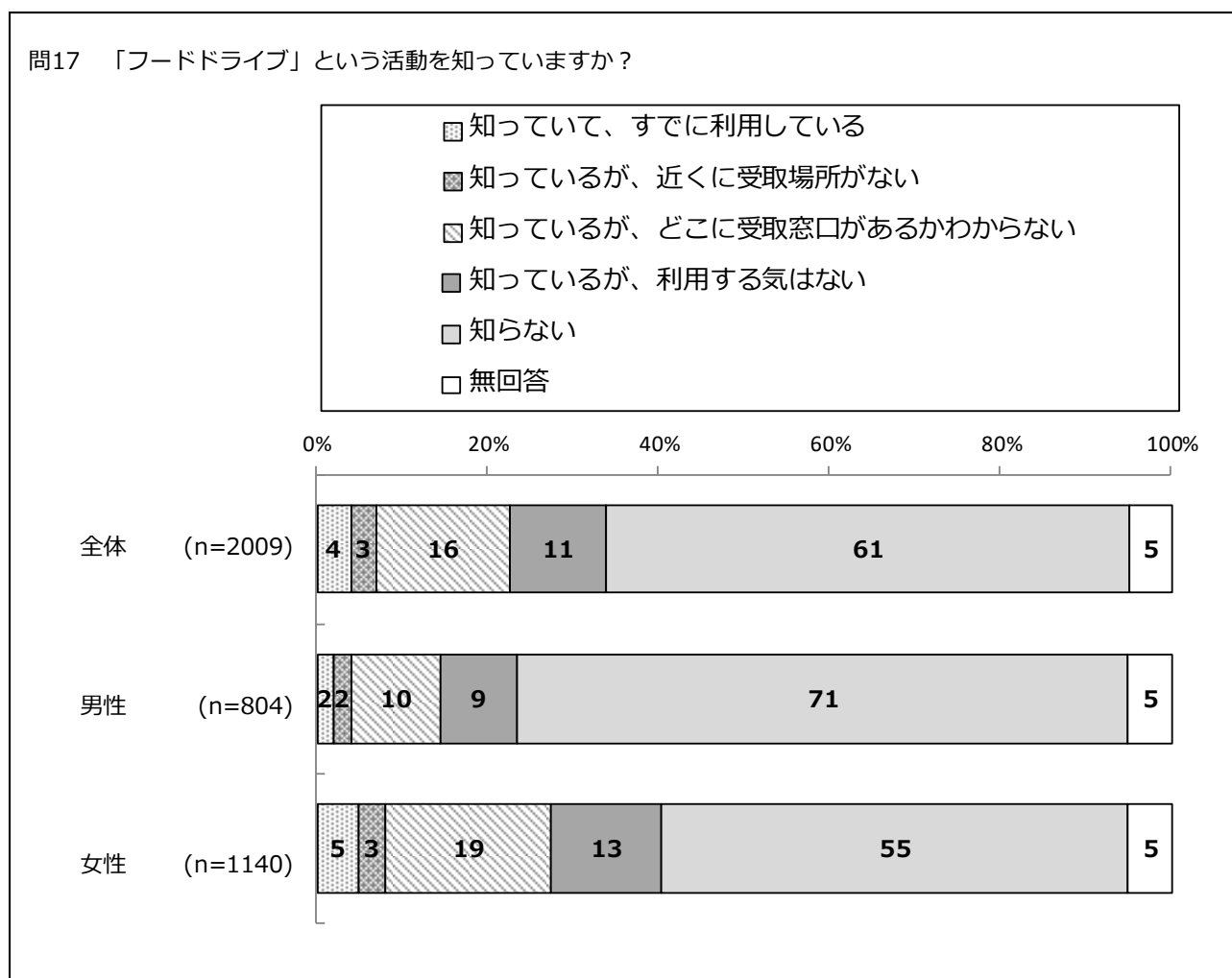


(3) フードドライブの認知度

- ・フードドライブの認知度については、「知らない」の回答が61%と半数を超える回答となっています。また、フードドライブのことは知っているが、「どこに受取窓口があるかわからない」(16%)、「利用する気はない」(11%)といった回答も多くなっています。

[性別 フードドライブの認知度]

- ・性別で見ると、フードドライブの認知は、男性よりも女性の方が多くなっています。
- ・女性の「どこに受取窓口があるかわからない」は、約2割(19%)と割合が多くなっています。



9 スマートフォンの利用状況

(1) スマートフォン所有の有無

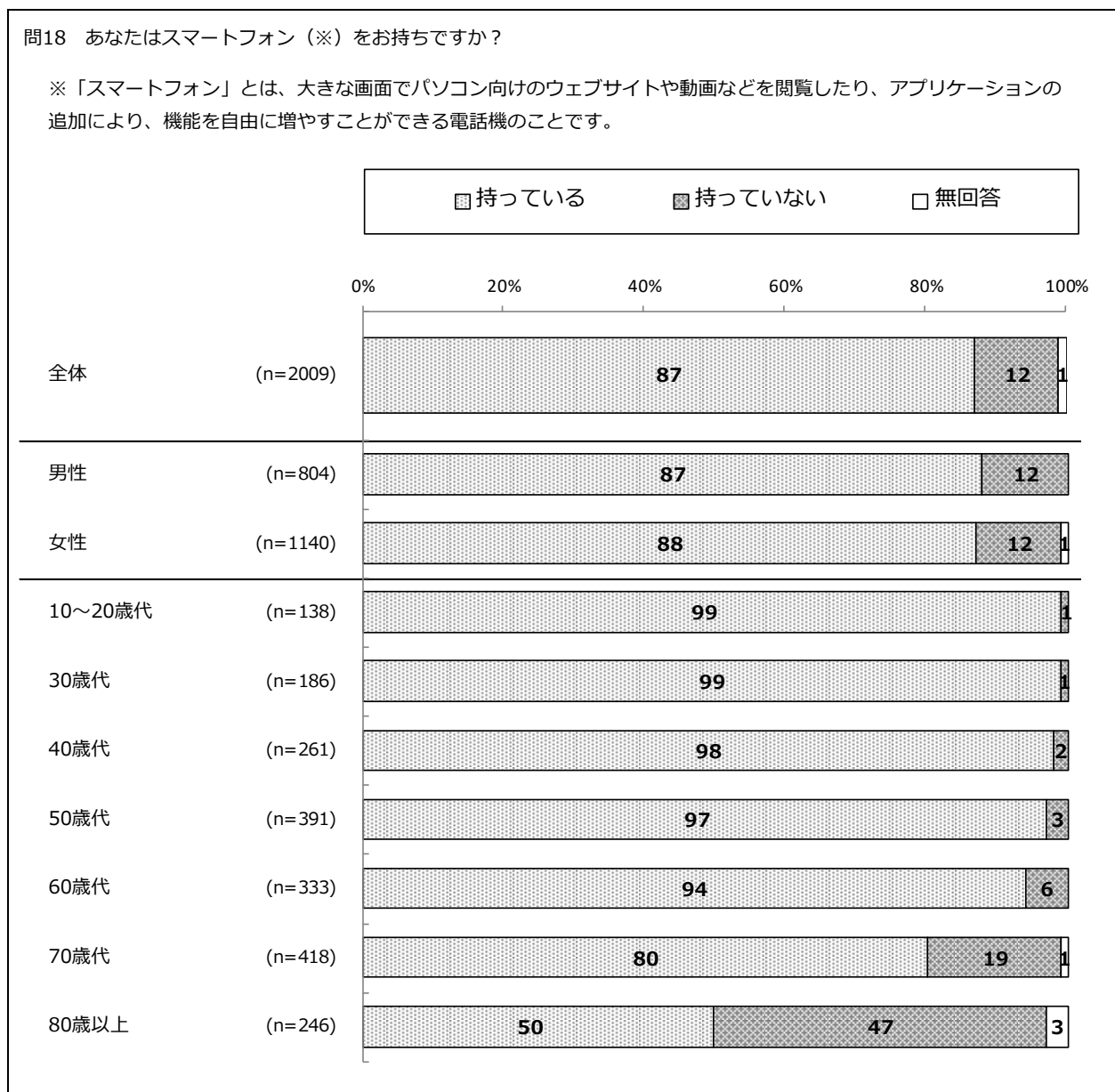
- ・スマートフォン所有の有無については、所有している方は87%となり、約9割の方が所有しています。

[性別 スマートフォン所有の有無]

- ・性別で見ると、所有している方は男女ともにほぼ同じ割合となっています。

[年代別 スマートフォン所有の有無]

- ・年代別で見ると、年代が若いほど「持っている」の割合が多く、10～60歳代は9割を超える所有率となっています。

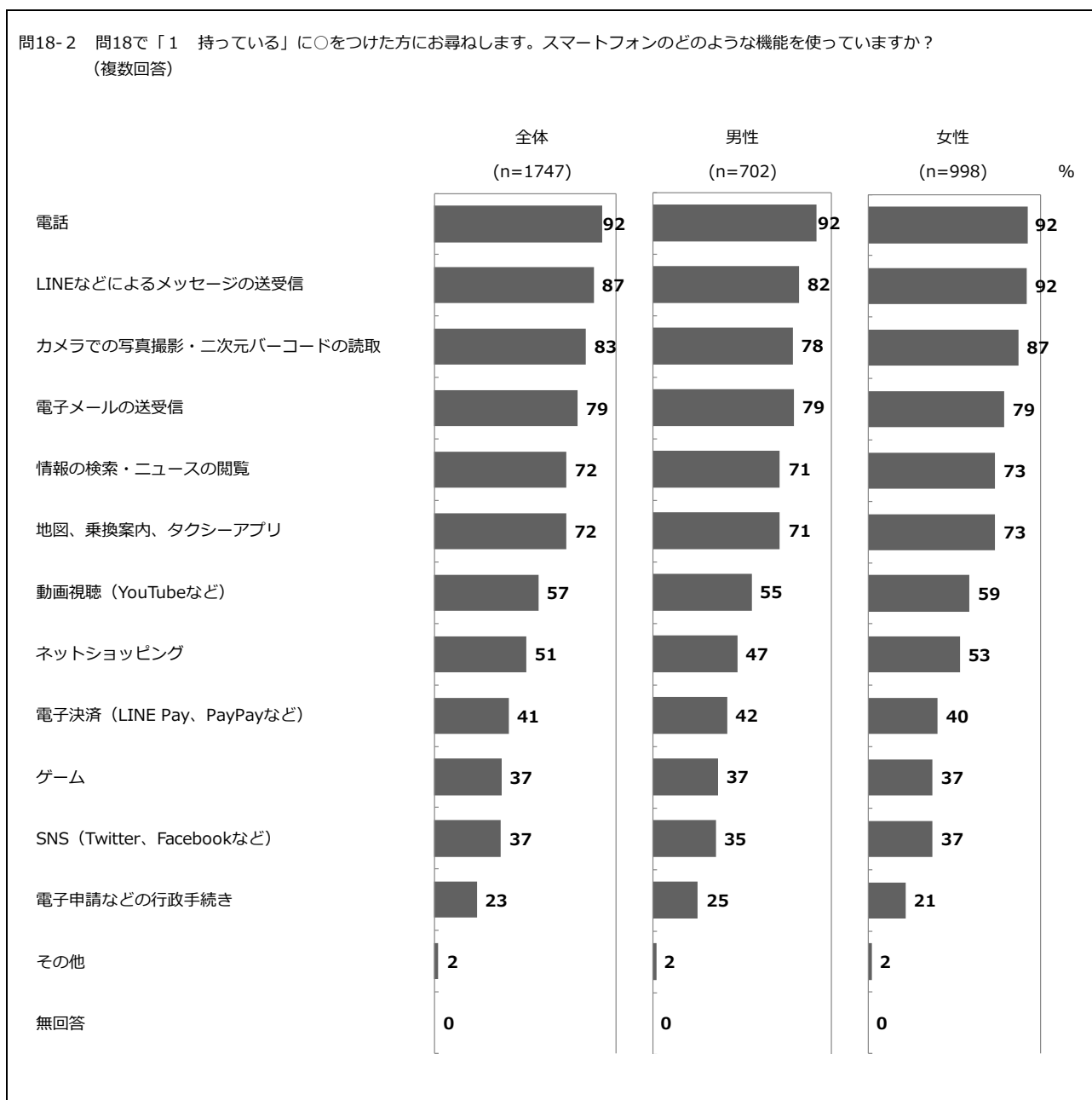


(2) スマートフォンで使用する機能

- スマートフォンで使用する機能については、「電話」(92%)が最も多く、次いで「LINEなどによるメッセージの送受信」(87%)、「カメラでの写真撮影・二次元バーコードの読取」(83%)、「電子メールの送受信」(79%)となっています。また、多くの項目で5割を超えていますが、「電子申請などの行政手続き」は23%と少なくなっています。

[性別 スマートフォンで使用する機能]

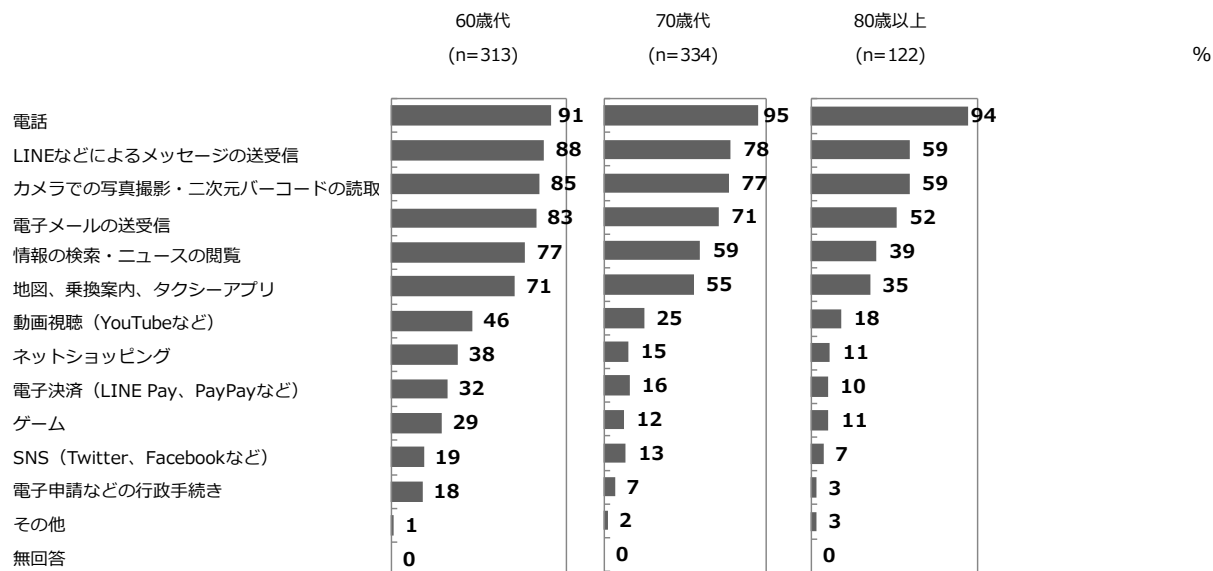
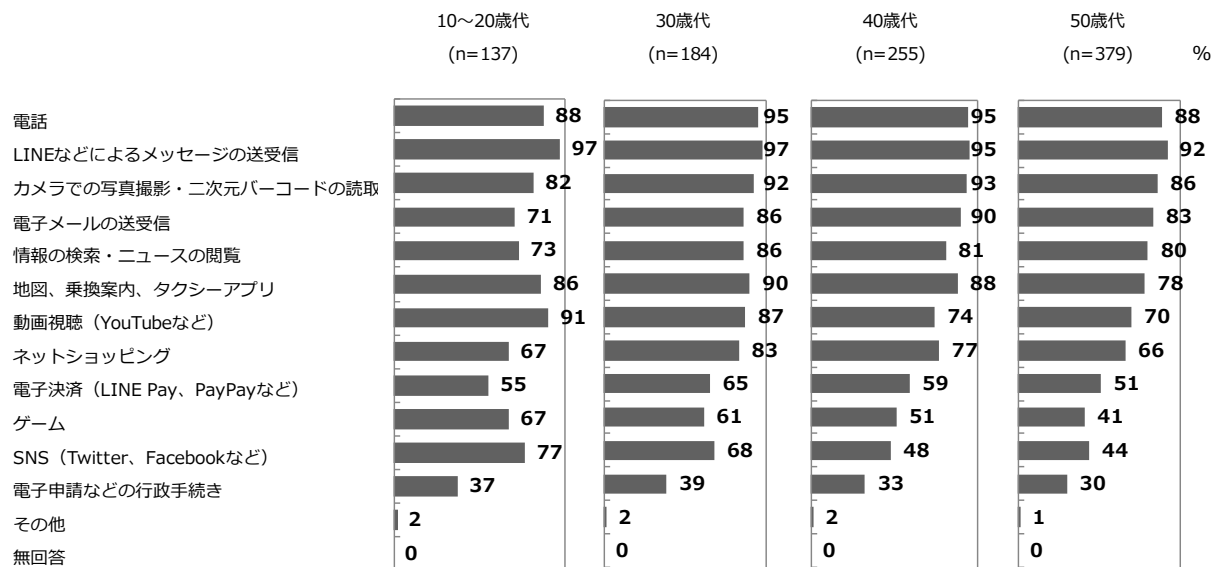
- 性別で見ると、全体的に男性よりも女性の方が多く、特に「LINEなどによるメッセージの送受信」は男性82%に比べ女性は92%(+10ポイント)、「カメラでの写真撮影・二次元バーコードの読取」は男性78%に比べ87%(+9ポイント)となっています。



[年代別 スマートフォンで使用する機能]

- 年代別で見ると、「LINEなどによるメッセージの送受信」は10～30歳代（97%）が多く、10～20歳代では「動画視聴（YouTubeなど）」（91%）や「SNS（Twitter、Facebookなど）」（77%）の割合が多くなっています。
- 10～20歳代は項目によって使用機能に差があり、30～40歳代で使用機能が多く、そこから年代が上がるにつれて使用機能が少なくなる傾向となっています。

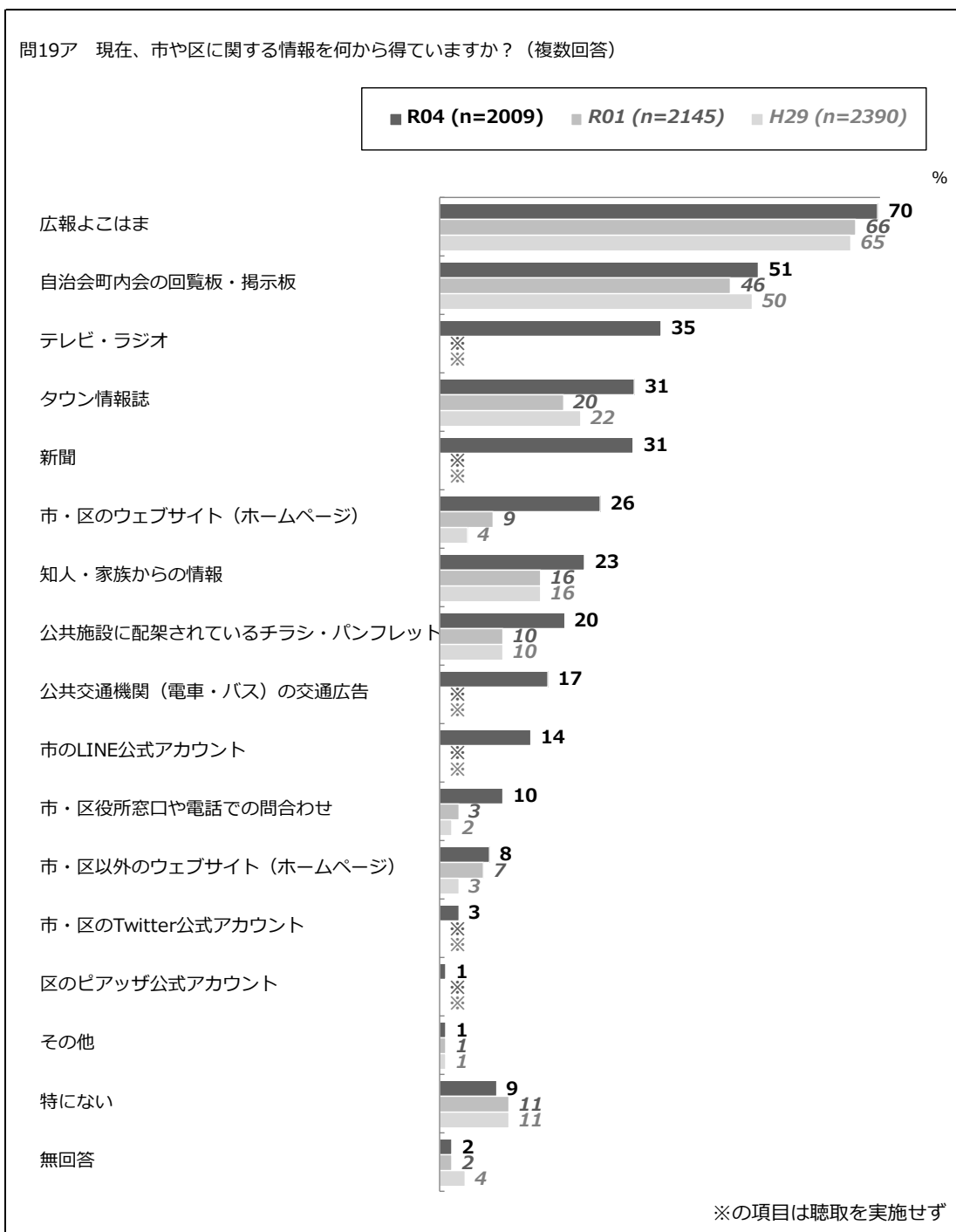
問18-2 問18で「1 持っている」に○をつけた方にお尋ねします。スマートフォンのどのような機能を使っていますか？
 (複数回答)



10 市や区の情報

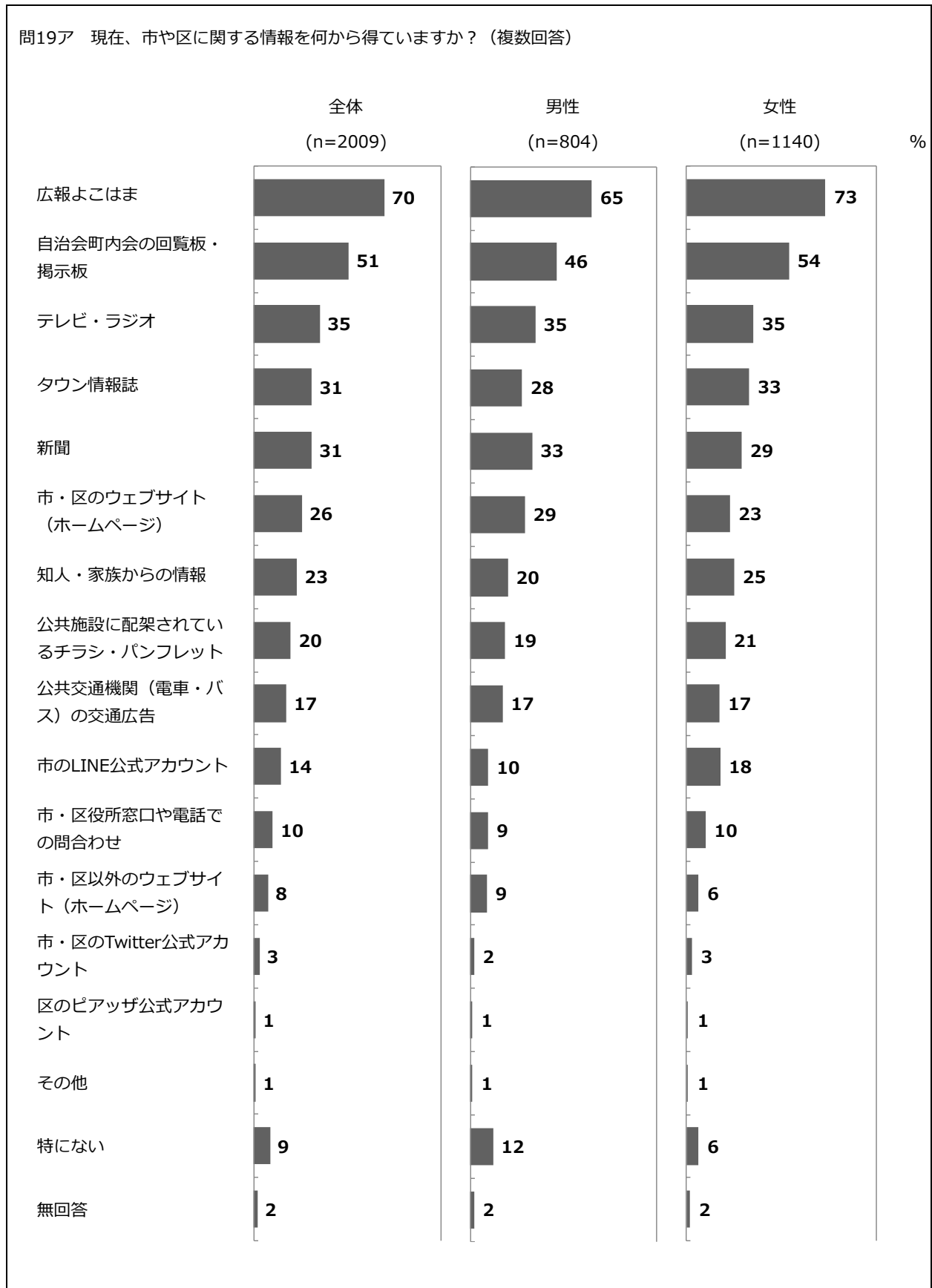
(1) 市や区の情報の入手手段

- 市や区の情報の入手手段については、「広報よこはま」が70%で最も多く、次いで「自治会町内会回覧板・掲示板」(51%)となっています。また、「テレビ・ラジオ」(35%)や「タウン情報誌」(31%)、「新聞」(31%)など民間のメディアもよく利用されています。
- 前回調査と比較すると、「市・区のウェブサイト」(前回比+17ポイント)、「タウン情報誌」(同+11ポイント)、「公共施設に配架されているチラシ・パンフレット」(同+10ポイント)の回答が大きく増えています。また、「知人・家族からの情報」(同+7ポイント)や「自治会町内会回覧板・掲示板」(同+5ポイント)、「広報よこはま」(同+4ポイント)の回答も、前回よりも高くなっています。



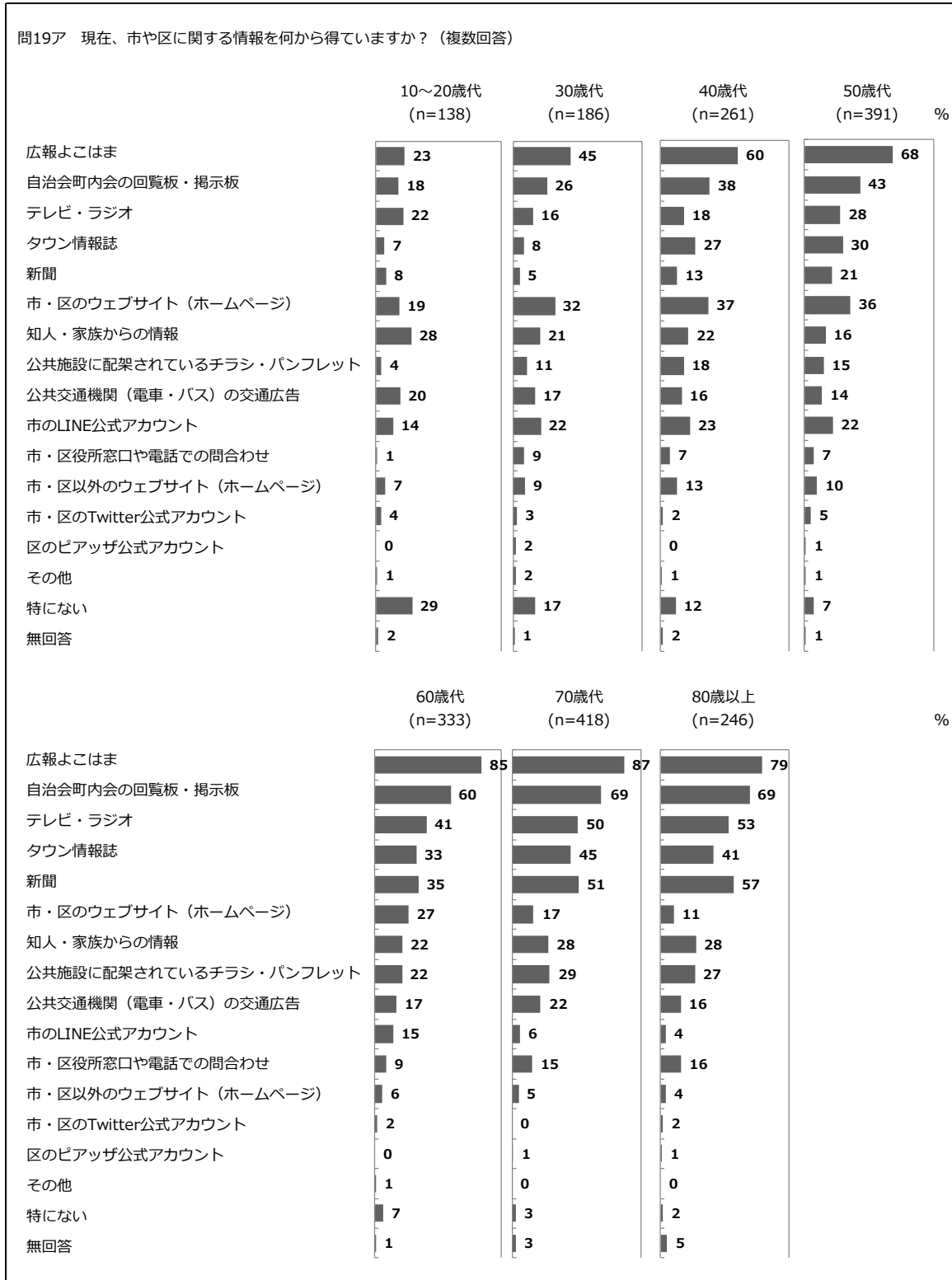
[性別 市や区の情報の入手手段]

- ・性別で見ると、全体的に男性に比べ女性の割合が多くなっていますが、「新聞」や「市・区のウェブサイト（ホームページ）」は男性の割合が多くなっています。



[年代別 市や区の情報の入手手段]

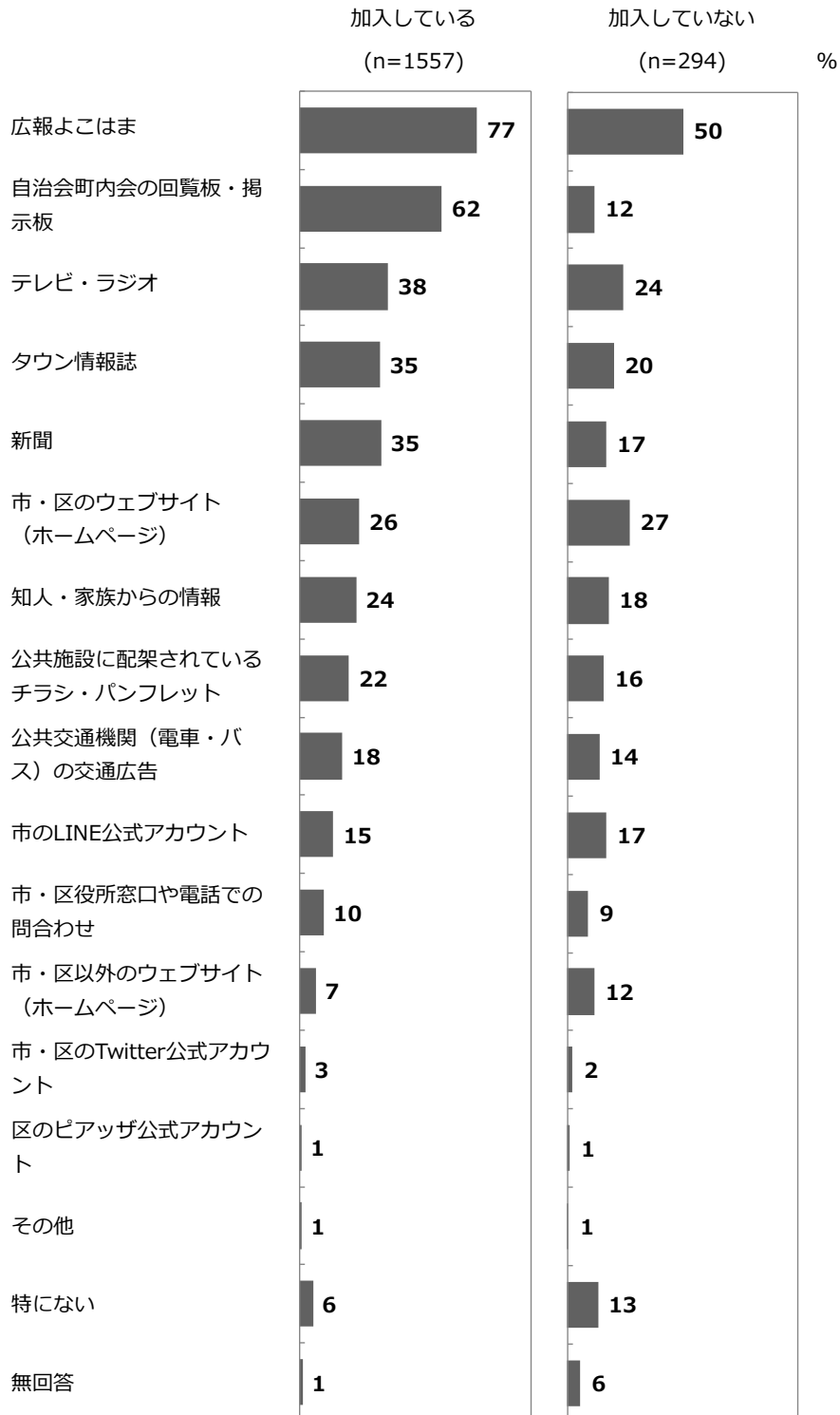
- ・年代別で見ると、「市・区のウェブサイト」は30～50歳代で30%代、「市のLINE公式アカウント」は30～50歳代で20%代と高くなっており、そこから年代が上がる及び下がるにつれて、割合が低くなる傾向にあります。
- ・「広報よこはま」、「自治会町内会の回覧板・掲示板」は、40歳代以上でいずれもよく利用されており、年代が上がるにつれて割合が多くなる傾向にあります。また、「新聞・テレビ・ラジオ」の利用も同様な傾向にあります。
- ・「特にない」は年代が低いほど割合が多くなり、10～20歳代で約3割（29%）となっています。



[自治会加入別 市や区の情報入手手段]

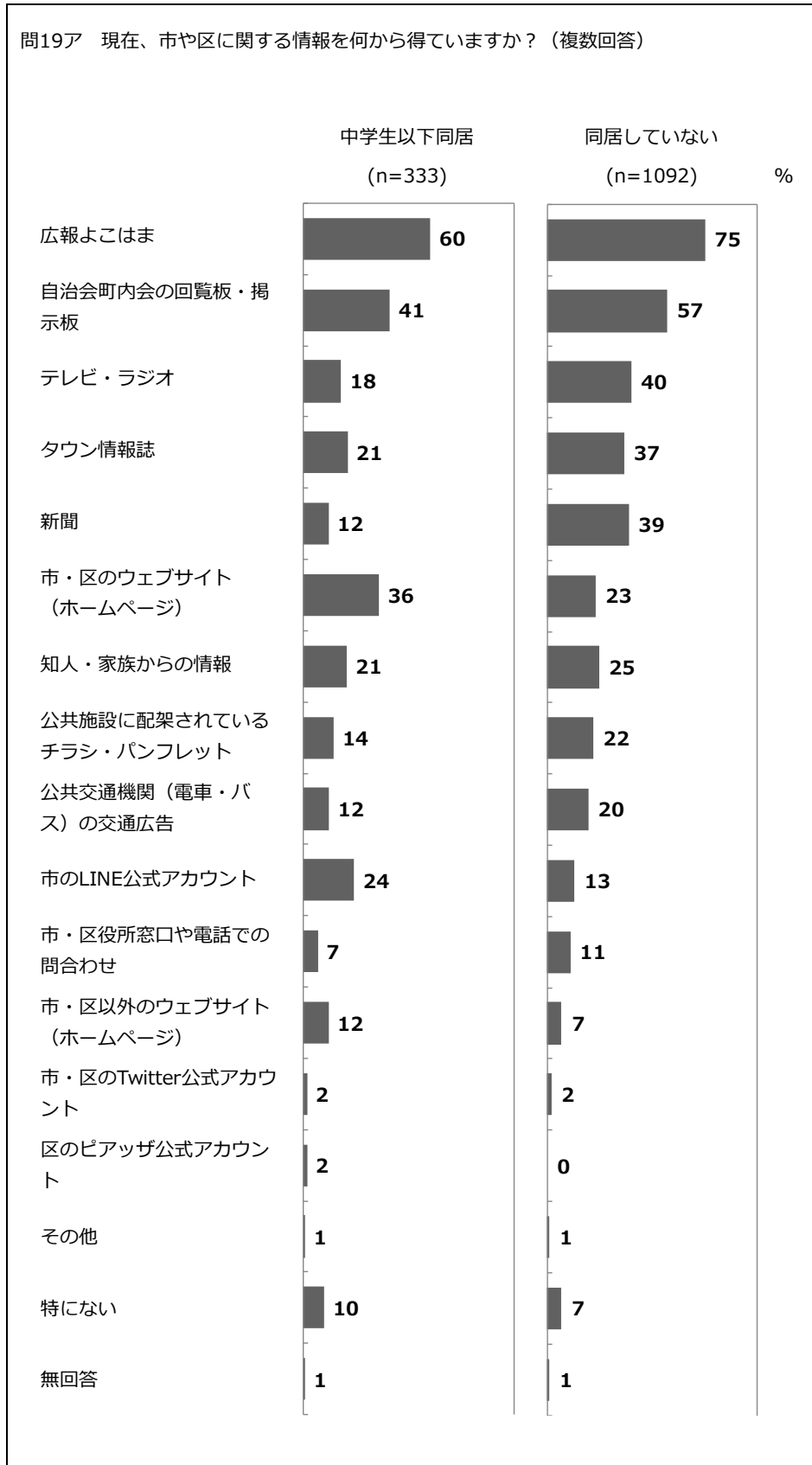
- 自治会加入別で見ると、加入している人は、加入していない人に比べて全体的に割合が多くなっています。「自治会町内会の回覧板・掲示板」や「広報よこはま」、「新聞」、「タウン情報誌」は割合に大きく差があります。
- 加入していない人は、加入している人に比べて、「市や区のウェブサイト」や「市のLINE公式アカウント」の割合が高くなっています。

問19ア 現在、市や区に関する情報を何から得ていますか？（複数回答）



[子育て世代（中学生以下）同居別 市や区の情報入手手段]

- ・中学生以下と同居する子育て世代別で見ると、中学生以下と「同居していない」は「同居している」に比べて全体的に割合が多くなっていますが、「市・区以外のウェブサイト（ホームページ）」や「市のLINE公式アカウント」といったデジタル情報の項目では、「同居している」の方が多くなっています。

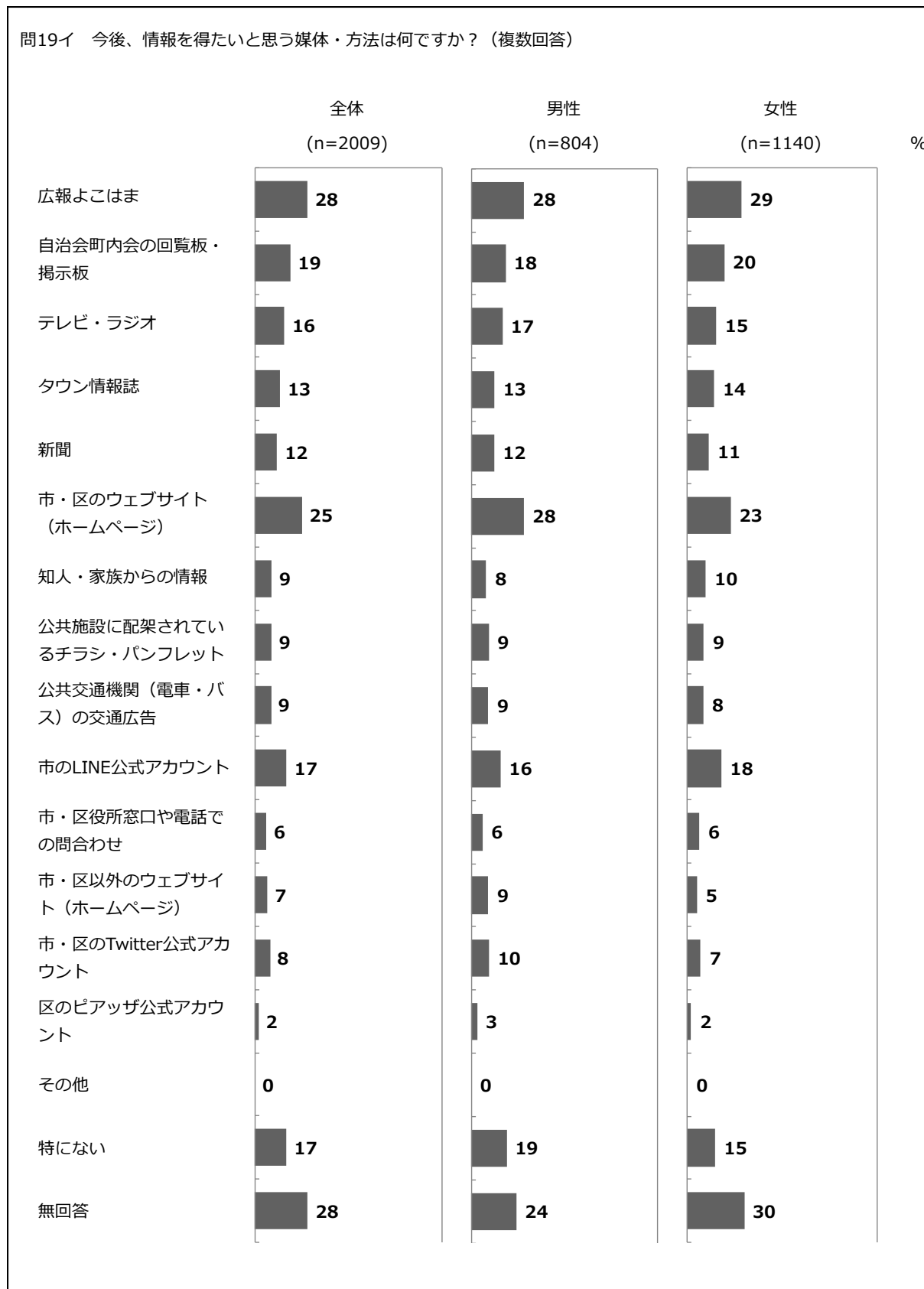


(2) 今後得たい市や区の情報の入手手段

- ・ 今後得たい市や区の情報の入手手段については、「広報よこはま」や「市・区のウェブサイト（ホームページ）」、「市のLINE公式アカウント」が多くなっています。

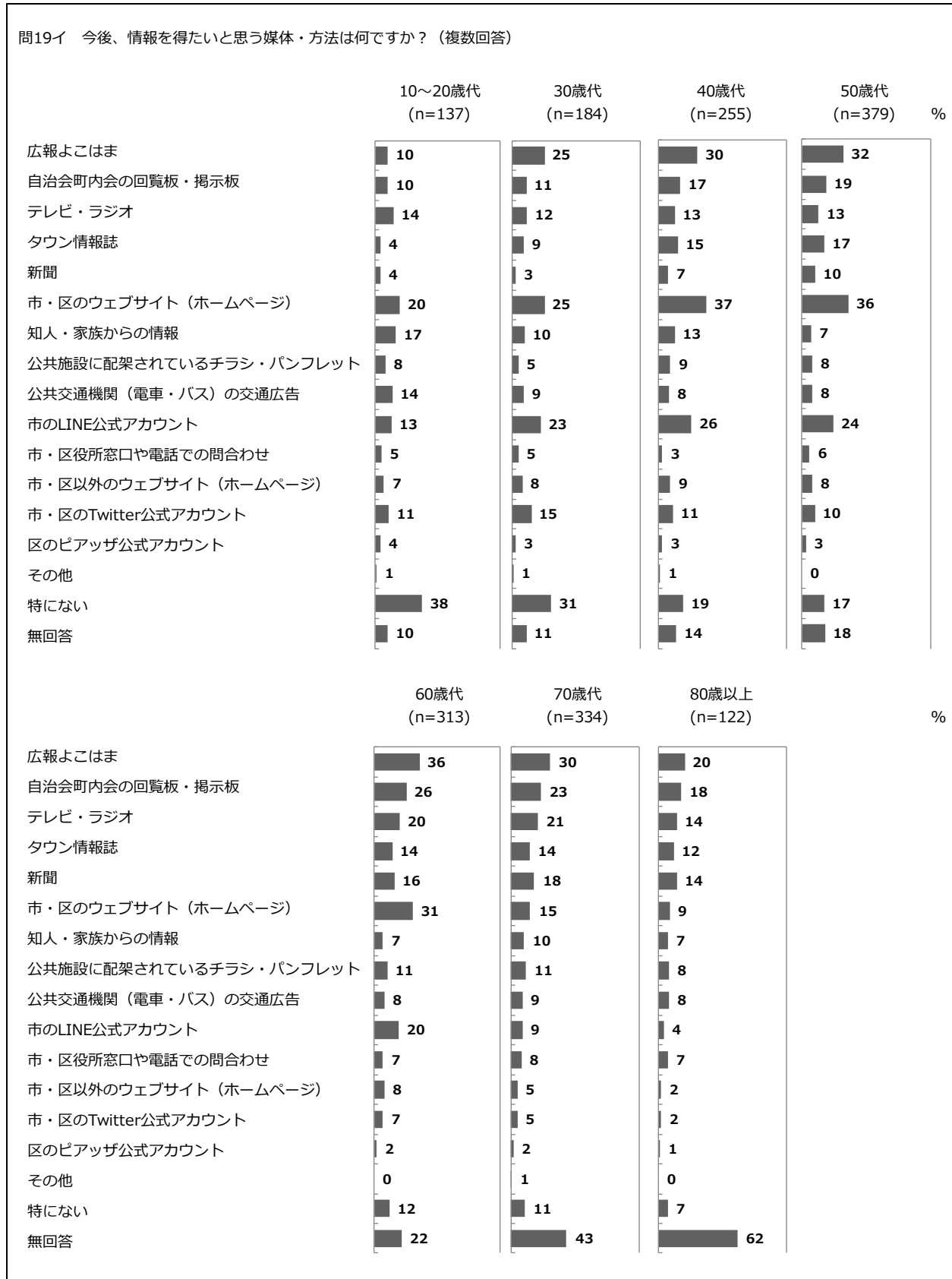
[性別 今後得たい市や区の情報の入手手段]

- ・ 性別で見ると、男女ともに「全体」の割合と概ね同じ傾向となっています。



[年代別 今後得たい市や区の情報の入手手段]

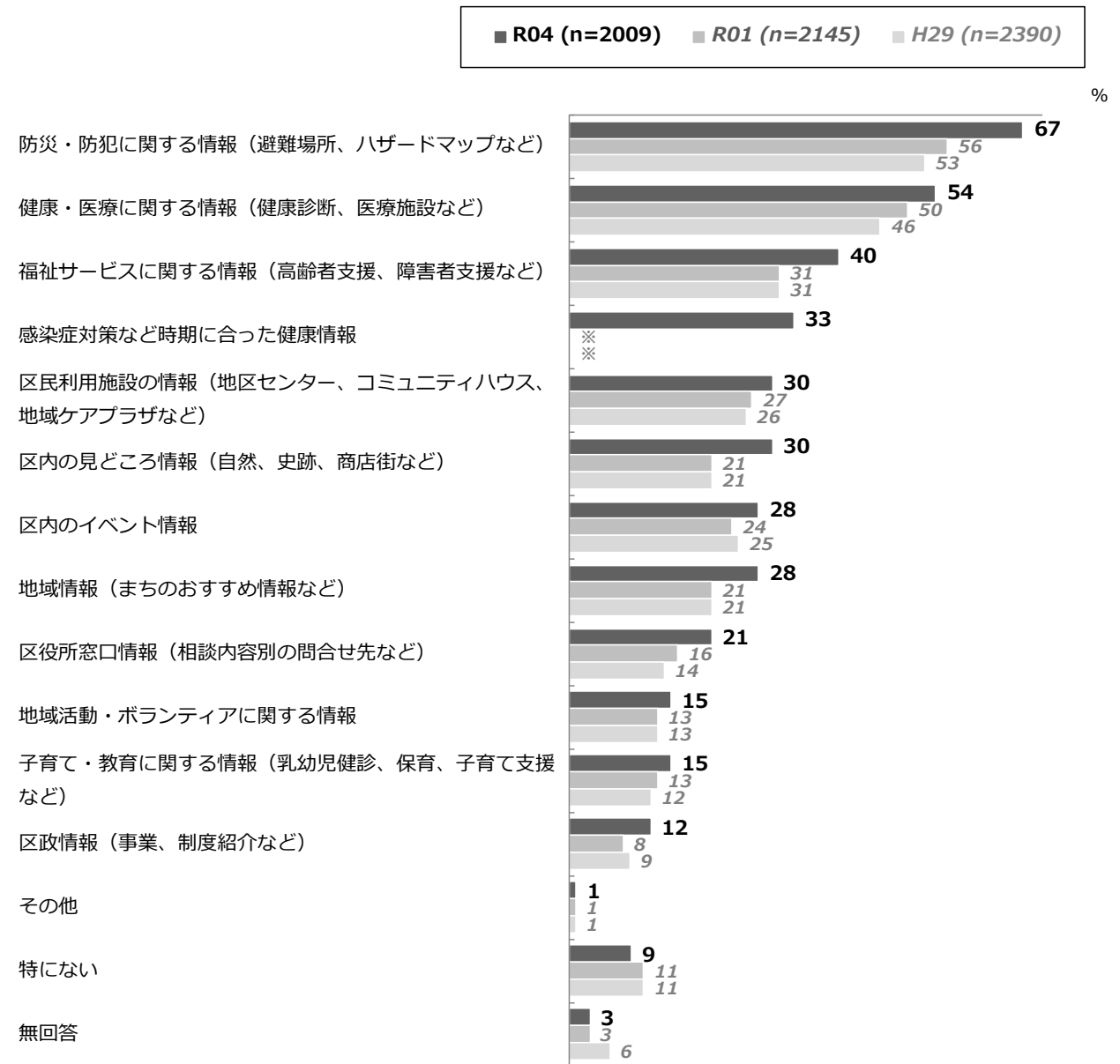
- ・年代別で見ると、「広報よこはま」や「市・区のウェブサイト（ホームページ）」、「市のLINE公式アカウント」は、40～50歳代で割合が多くなっています。
- ・「特にない」は10～20歳代（38%）となり、年代が低いほど割合が多くなっています。



(3) 関心がある・充実させてほしい情報

- ・関心がある情報・充実させてほしい情報については、「防災・防犯に関する情報」(67%)が最も多く、次いで「健康・医療に関する情報」(54%)が多くなっています。
- ・前回調査と比較すると、「防災・防犯に関する情報」が11ポイント、次いで「福祉サービスに関する情報」及び「区内の見どころ情報」が9ポイント高く、総じて前回調査を上回っています

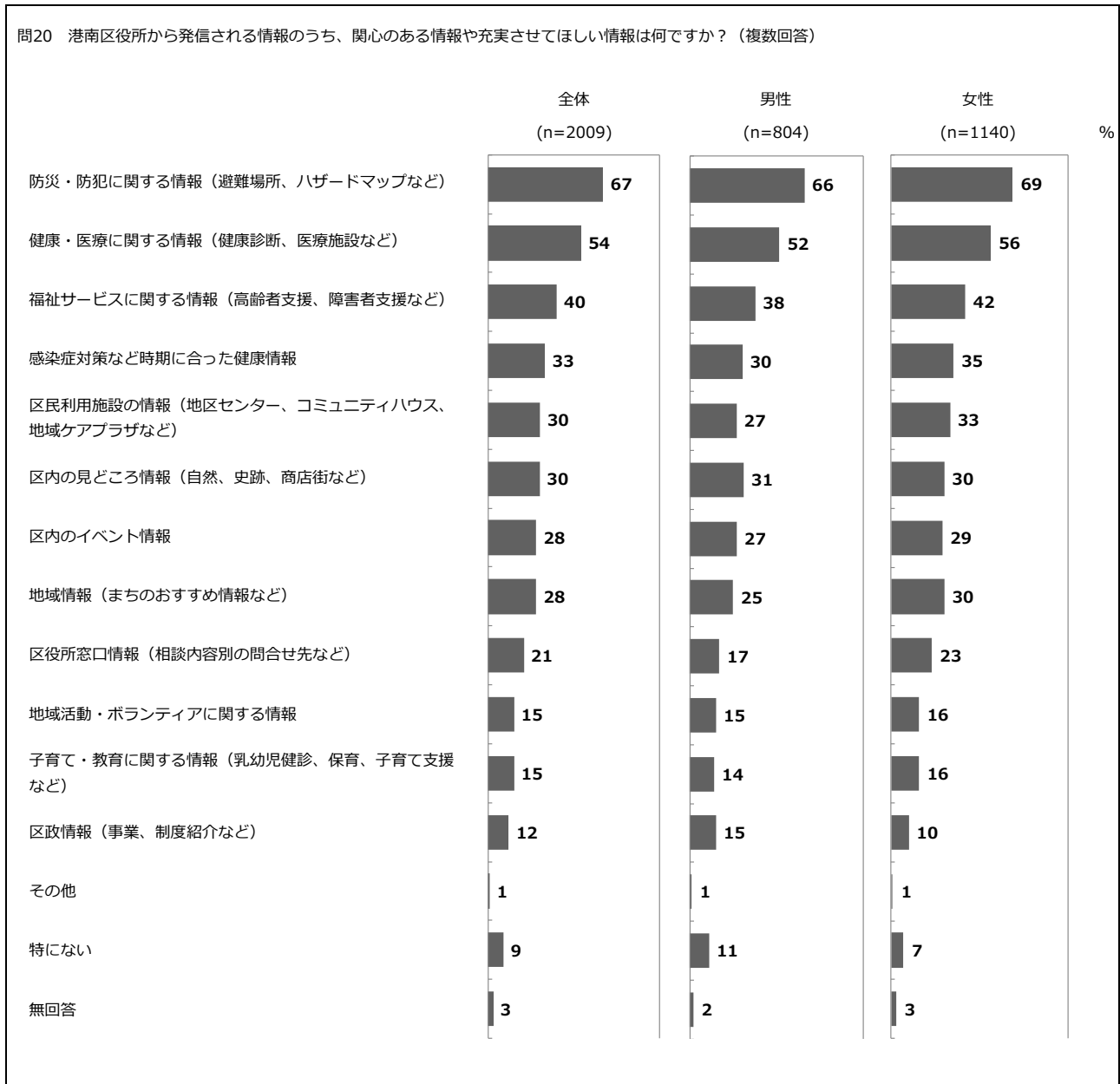
問20 港南区役所から発信される情報のうち、関心のある情報や充実させてほしい情報は何か？（複数回答）



※の項目は聴取を実施せず

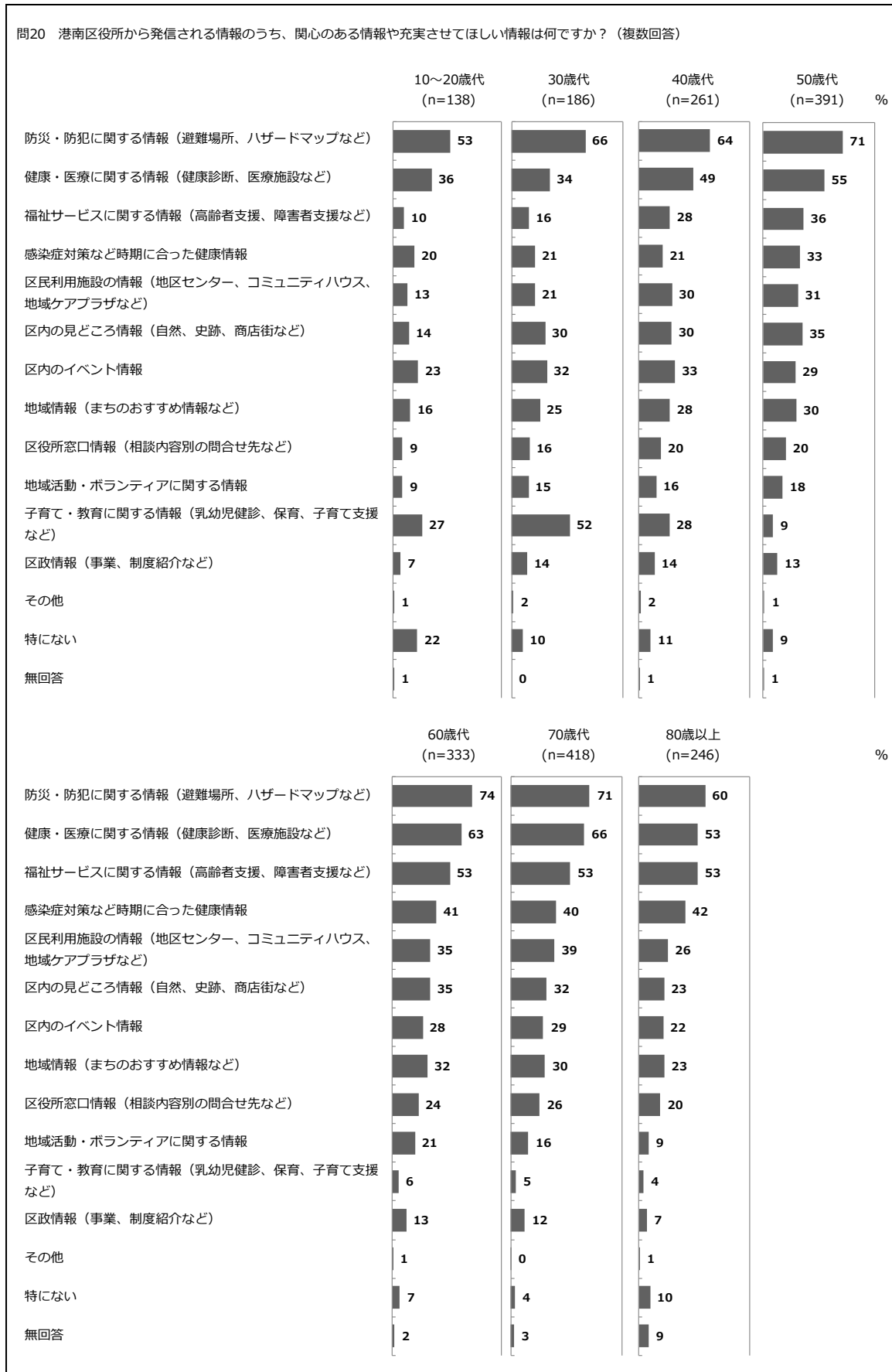
[性別 関心がある・充実させてほしい情報]

- ・性別で見ると、男女ともに「全体」の割合と同じような傾向となっています。また、全体的に男性よりも概ね女性の割合が多くなっていますが、「区政情報（事業、制度紹介など）」は女性よりも男性の割合が5ポイント高くなっています。



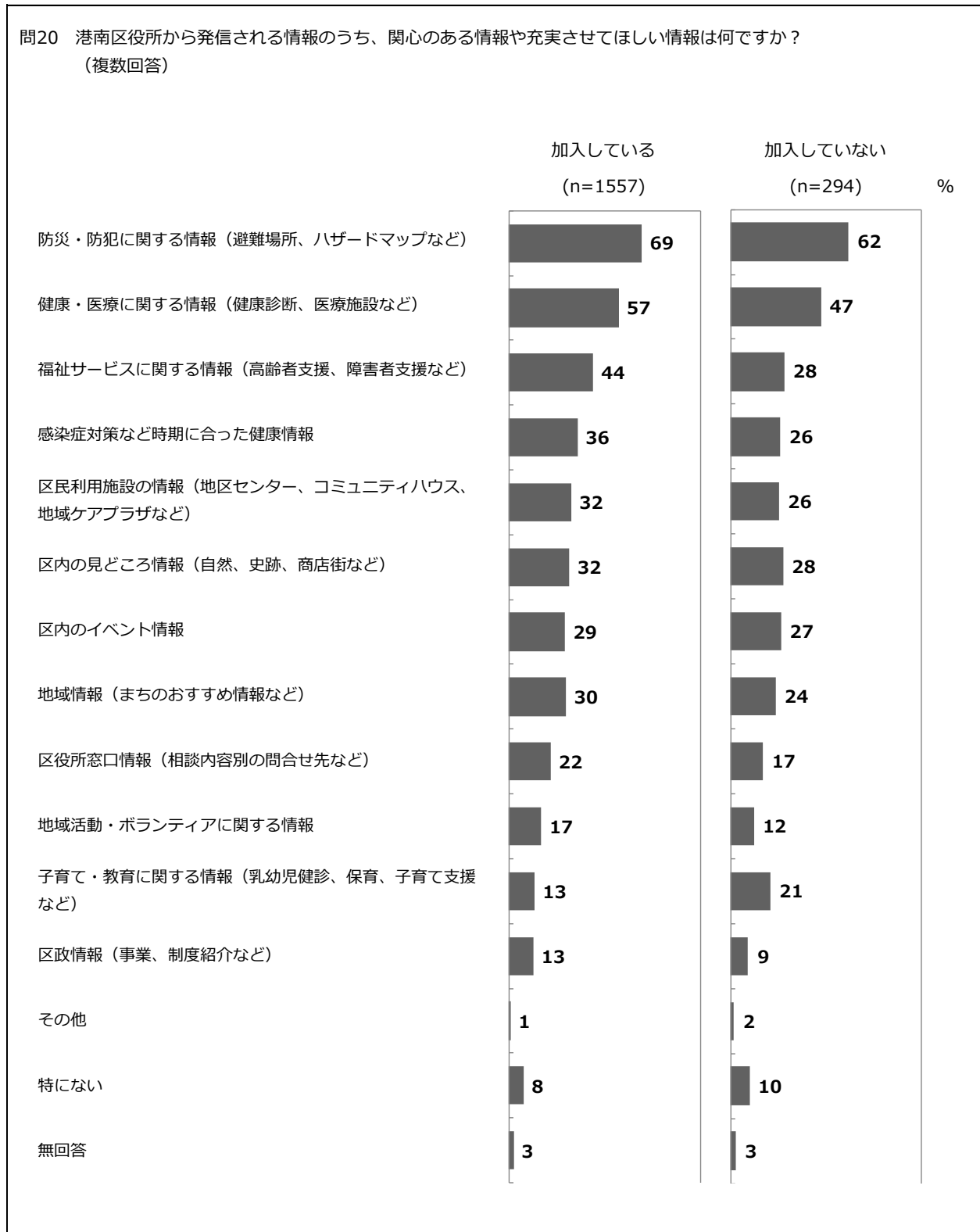
[年代別 関心がある・充実させてほしい情報]

- 年代別で見ると、すべての年代で「防災・防犯に関する情報」が最も多くなっています。
「健康・医療に関する情報」などは、40歳代以上で割合が多くなっています。
- 「子育て・教育に関する情報」は、10～40歳代で多くなっています。



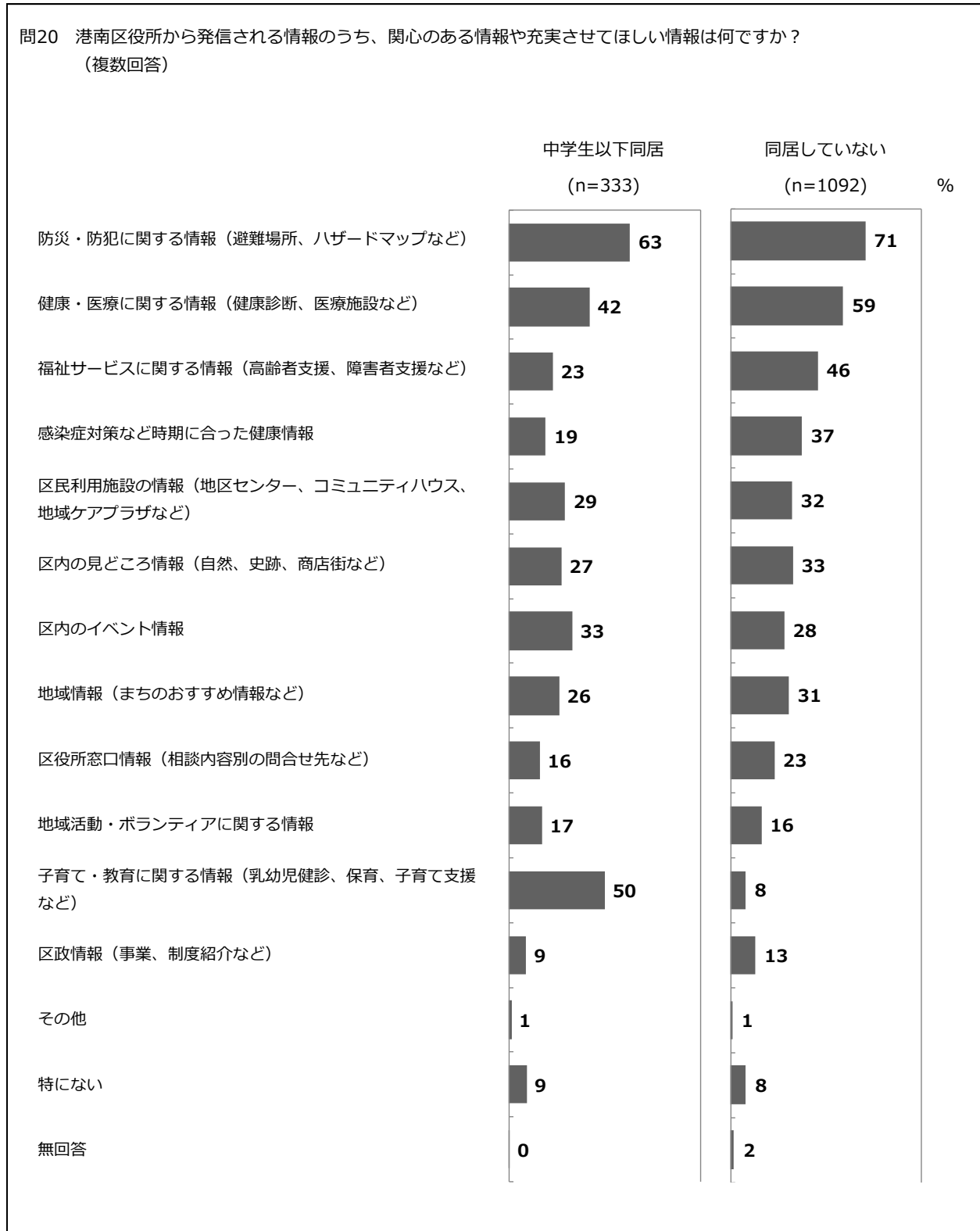
[自治会加入別 関心がある・充実させてほしい情報]

- 自治会加入別で見ると、加入している人は加入していない人比べて全体的に割合が多くなっていますが、「子育て・教育に関する情報」は加入していない人（21%）の割合が多くなっています。



[子育て世代（中学生以下）同居別 関心がある・充実させてほしい情報]

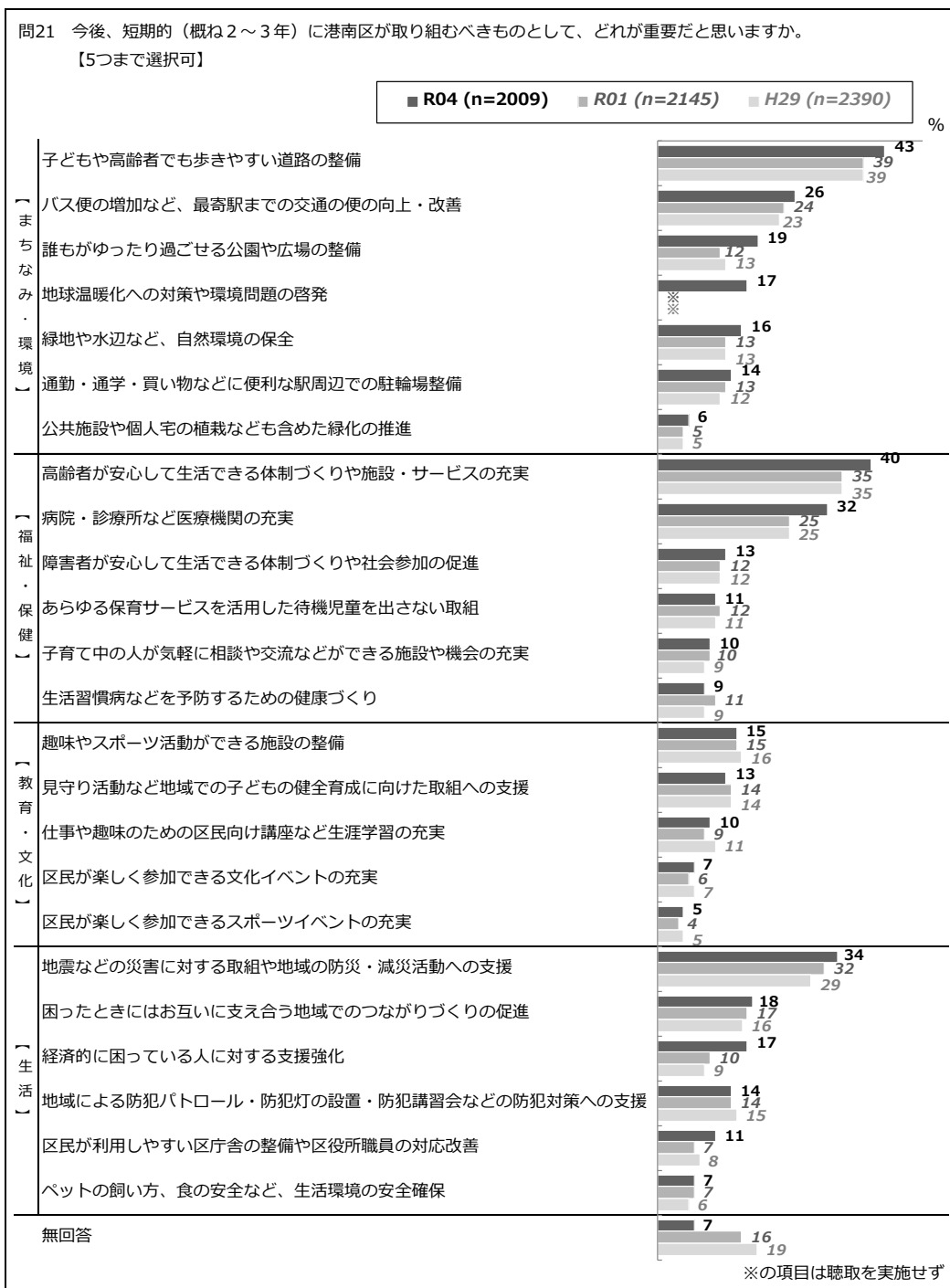
- ・中学生以下と同居する子育て世代別で見ると、中学生以下と「同居していない」は「同居している」に比べて全体的に割合が多くなっていますが、「区内のイベント情報」(33%)や「子育て・教育に関する情報」(50%)など、子どもに関する情報を得ることができる項目では、「同居している」の方が多くなっています。



11 区政運営

(1) 港南区が短期的に取り組むべきこと

- ・区が短期的に取り組むべきことについては、「子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備」が43%と最も多く、次いで「高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実」が40%、「地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援」が34%、「病院・診療所など医療機関の充実」が32%、「バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善」が26%と続きます。
- ・前回調査と比較すると、順位に大きな変化もないものの、「病院・診療所など医療機関の充実」（前回比+7ポイント）や「誰もがゆったり過ごせる公園や広場の整備」（同+7ポイント）、「経済的に困っている人に対する支援強化」（同+7ポイント）は前回ポイントを大きく上回っています。



[性別 区が短期的に取り組むべきこと]

- ・性別で見ると、男女とも子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備」、「高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実」、「地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援」、「病院・診療所など医療機関の充実」、「バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善」が上位5項目に挙がっています。
- ・「地球温暖化への対策や環境問題の啓発」では女性（20%）が男性（12%）より8ポイント、「誰もがゆったり過ごせる公園や広場の整備」では男性（23%）が女性（16%）より7ポイント高く、性別での違いが見られます。

問21 今後、短期的（概ね2～3年）に港南区が取り組むべきものとして、どれが重要だと思いますか。 【5つまで選択可】		全体 (n=2009)	男性 (n=804)	女性 (n=1140)	%
（まちなみ・環境）	子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備	43	43	43	
	バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善	26	24	29	
	誰もがゆったり過ごせる公園や広場の整備	19	23	16	
	地球温暖化への対策や環境問題の啓発	17	12	20	
	緑地や水辺など、自然環境の保全	16	19	14	
	通勤・通学・買い物などに便利な駅周辺での駐輪場整備	14	13	14	
公共施設や個人宅の植栽なども含めた緑化の推進	6	7	5		
（福祉・保健）	高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実	40	40	42	
	病院・診療所など医療機関の充実	32	30	34	
	障害者が安心して生活できる体制づくりや社会参加の促進	13	12	15	
	あらゆる保育サービスを活用した待機児童を出さない取組	11	8	14	
	子育て中の人々が気軽に相談や交流などができる施設や機会の充実	10	9	11	
生活習慣病などを予防するための健康づくり	9	9	9		
（教育・文化）	趣味やスポーツ活動ができる施設の整備	15	19	13	
	見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援	13	10	15	
	仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習の充実	10	10	11	
	区民が楽しく参加できる文化イベントの充実	7	7	7	
	区民が楽しく参加できるスポーツイベントの充実	5	6	4	
（生活）	地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援	34	33	35	
	困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりづくりの促進	18	16	20	
	経済的に困っている人に対する支援強化	17	19	16	
	地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策への支援	14	13	15	
	区民が利用しやすい区庁舎の整備や区役所職員の対応改善	11	10	12	
	ペットの飼い方、食の安全など、生活環境の安全確保	7	8	7	
無回答	7	8	5		

[年代別 区が短期的に取り組むべきこと]

- 年代別に見ると、10～50歳代では「子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備」に続いて、「地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援」の割合が多くなっています。60歳以上は「高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実」の割合が最も多くなっています。
- 30歳代は「あらゆる保育サービスを活用した待機児童を出さない取組」や「子育て中の人が気軽に相談や交流などができる施設や機会の充実」、「見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援」といった子育てに関連する項目の割合が多くなっています。
- 50歳代以降は「病院・診療所など医療機関の充実」への関心も高くなっています。

問21 今後、短期的（概ね2～3年）に港南区が取り組むべきものとして、どれが重要だと思いますか。 【5つまで選択可】					
	10～20歳代 (n=138)	30歳代 (n=186)	40歳代 (n=261)	50歳代 (n=391)	%
「まち・環境」	子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備	41	55	49	43
	バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善	28	24	28	26
	誰もがゆったり過ごせる公園や広場の整備	21	19	19	18
	地球温暖化への対策や環境問題の啓発	12	12	13	15
	緑地や水辺など、自然環境の保全	16	17	17	14
	通勤・通学・買い物などに便利な駅周辺での駐輪場整備	17	22	27	18
	公共施設や個人宅の植栽なども含めた緑化の推進	4	6	5	6
「福祉・健康」	高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実	13	12	25	38
	病院・診療所など医療機関の充実	21	20	31	35
	障害者が安心して生活できる体制づくりや社会参加の促進	13	8	15	15
	あらゆる保育サービスを活用した待機児童を出さない取組	22	30	14	8
	子育て中の人が気軽に相談や交流などができる施設や機会の充実	12	25	10	8
	生活習慣病などを予防するための健康づくり	8	5	6	8
「教育・文化」	趣味やスポーツ活動ができる施設の整備	22	12	16	16
	見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援	9	21	16	10
	仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習の充実	10	6	6	13
	区民が楽しく参加できる文化イベントの充実	2	8	5	4
	区民が楽しく参加できるスポーツイベントの充実	4	8	7	3
「生活」	地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援	28	32	33	39
	困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりづくりの促進	12	10	14	12
	経済的に困っている人に対する支援強化	17	16	18	16
	地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策への支援	16	17	17	14
	区民が利用しやすい区庁舎の整備や区役所職員の対応改善	12	9	8	9
	ペットの飼い方、食の安全など、生活環境の安全確保	12	8	8	9
	無回答	7	8	4	7

問21 今後、短期的（概ね2～3年）に港南区が取り組むべきものとして、どれが重要だと思いますか。
【5つまで選択可】

		60歳代 (n=333)	70歳代 (n=418)	80歳以上 (n=246)
「まち ・ 環境」	子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備	44	36	39
	バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善	22	29	27
	誰もがゆったり過ごせる公園や広場の整備	22	20	13
	地球温暖化への対策や環境問題の啓発	20	22	17
	緑地や水辺など、自然環境の保全	16	15	16
	通勤・通学・買い物などに便利な駅周辺での駐輪場整備	9	6	6
	公共施設や個人宅の植栽なども含めた緑化の推進	7	6	5
「福 社 ・ 保 健」	高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実	52	55	57
	病院・診療所など医療機関の充実	33	38	34
	障害者が安心して生活できる体制づくりや社会参加の促進	16	13	11
	あらゆる保育サービスを活用した待機児童を出さない取組	8	7	5
	子育て中の人々が気軽に相談や交流などができる施設や機会の充実	10	8	4
	生活習慣病などを予防するための健康づくり	10	13	9
「教 育 ・ 文 化」	趣味やスポーツ活動ができる施設の整備	17	15	10
	見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援	11	15	11
	仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習の充実	16	11	9
	区民が楽しく参加できる文化イベントの充実	7	9	11
	区民が楽しく参加できるスポーツイベントの充実	5	4	5
「生 活」	地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援	37	35	28
	困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりづくりの促進	22	25	28
	経済的に困っている人に対する支援強化	19	19	15
	地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策への支援	14	11	13
	区民が利用しやすい区庁舎の整備や区役所職員の対応改善	12	13	15
	ペットの飼い方、食の安全など、生活環境の安全確保	6	7	3
	無回答	6	6	11

[定住意向別 区が短期的に取り組むべきこと]

- ・定住意向別で見ると、「住み続けたい」や「やや住み続けたい」と回答した人は、「子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備」や「高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実」、「地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援」の割合が多くなっています。
- ・「あまり住み続けたくない」と回答した人は、「子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備」の割合が最も多く、「住み続けたくない」と回答した人は、「見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援」の割合が最も多くなっています。

問21 今後、短期的（概ね2～3年）に港南区が取り組むべきものとして、どれが重要だと思いますか。 【5つまで選択可】		住み続けたい (n=1298)	やや住み続けたい (n=306)	どちらとも言えない (n=315)	%
「まち ・ 環境」	子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備	43	42	43	
	バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善	25	26	32	
	誰もがゆったり過ごせる公園や広場の整備	18	18	19	
	地球温暖化への対策や環境問題の啓発	18	15	13	
	緑地や水辺など、自然環境の保全	16	18	13	
	通勤・通学・買い物などに便利な駅周辺での駐輪場整備	13	15	16	
	公共施設や個人宅の植栽なども含めた緑化の推進	5	7	5	
「福 ・ 健」	高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実	47	31	28	
	病院・診療所など医療機関の充実	32	29	38	
	障害者が安心して生活できる体制づくりや社会参加の促進	15	11	12	
	あらゆる保育サービスを活用した待機児童を出さない取組	11	16	9	
	子育て中の人々が気軽に相談や交流などができる施設や機会の充実	9	13	9	
	生活習慣病などを予防するための健康づくり	10	8	7	
「教 ・ 文 化」	趣味やスポーツ活動ができる施設の整備	16	16	12	
	見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援	12	13	15	
	仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習の充実	11	9	10	
	区民が楽しく参加できる文化イベントの充実	8	5	6	
	区民が楽しく参加できるスポーツイベントの充実	6	4	4	
「生 活」	地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援	36	32	31	
	困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりづくりの促進	21	13	14	
	経済的に困っている人に対する支援強化	17	18	19	
	地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策への支援	15	13	15	
	区民が利用しやすい区庁舎の整備や区役所職員の対応改善	10	13	13	
	ペットの飼い方、食の安全など、生活環境の安全確保	7	8	8	
	無回答	6	9	6	

問21 今後、短期的（概ね2～3年）に港南区が取り組むべきものとして、どれが重要だと思いますか。

【5つまで選択可】

		あまり住み続けたくない (n=28)	住み続けたくない (n=14)	その他 (n=17)
「まち ・ 環境」	子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備	54	36	41
	バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善	32	29	18
	誰もがゆったり過ごせる公園や広場の整備	32	7	24
	地球温暖化への対策や環境問題の啓発	4	0	6
	緑地や水辺など、自然環境の保全	14	0	35
	通勤・通学・買い物などに便利な駅周辺での駐輪場整備	39	21	18
	公共施設や個人宅の植栽なども含めた緑化の推進	7	0	12
「福 ・ 健」	高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実	25	29	6
	病院・診療所など医療機関の充実	43	21	35
	障害者が安心して生活できる体制づくりや社会参加の促進	4	14	6
	あらゆる保育サービスを活用した待機児童を出さない取組	11	7	18
	子育て中の人々が気軽に相談や交流などができる施設や機会の充実	29	29	6
	生活習慣病などを予防するための健康づくり	0	14	0
「教 ・ 文 化」	趣味やスポーツ活動ができる施設の整備	7	29	6
	見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援	14	43	12
	仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習の充実	14	7	18
	区民が楽しく参加できる文化イベントの充実	0	0	6
	区民が楽しく参加できるスポーツイベントの充実	4	0	0
「生 活」	地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援	21	29	24
	困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりづくりの促進	18	14	18
	経済的に困っている人に対する支援強化	18	14	29
	地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策への支援	7	14	12
	区民が利用しやすい区庁舎の整備や区役所職員の対応改善	14	14	6
	ペットの飼い方、食の安全など、生活環境の安全確保	4	7	6
無回答	7	7	12	

[子育て世代（中学生以下）同居別 区が短期的に取り組むべきこと]

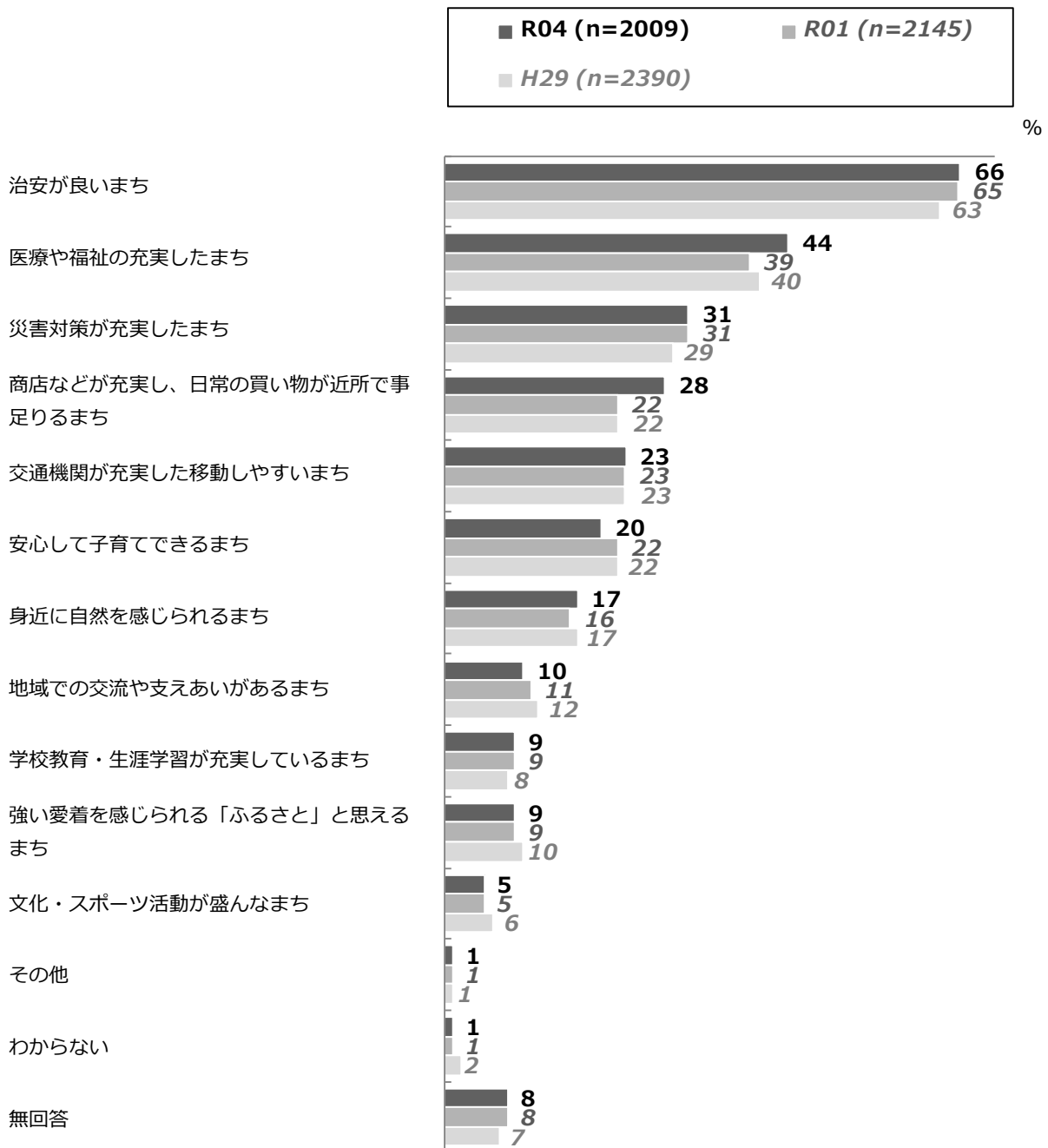
- 中学生以下と同居する子育て世代別で見ると、中学生以下と「同居している」と回答した人は、「子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備」や「通勤・通学・買い物などに便利な駅周辺での駐輪場整備」、「あらゆる保育サービスを活用した待機児童を出さない取組」、「見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援」、「子育て中の人々が気軽に相談や交流などができる施設や機会の充実」の割合が「同居していない」と回答した人と比べて多く、子育てに関する項目への関心が高くなっています。

問21 今後、短期的（概ね2～3年）に港南区が取り組むべきものとして、どれが重要だと思いますか。 【5つまで選択可】		中学生以下同居 (n=333)	同居していない (n=1092)	%
〔まち な み ・ 環 境〕	子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備	54	41	
	バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善	26	27	
	誰もがゆったり過ごせる公園や広場の整備	23	17	
	地球温暖化への対策や環境問題の啓発	14	18	
	緑地や水辺など、自然環境の保全	13	17	
	通勤・通学・買い物などに便利な駅周辺での駐輪場整備	26	11	
	公共施設や個人宅の植栽なども含めた緑化の推進	7	6	
〔福 社 ・ 保 健〕	高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実	19	48	
	病院・診療所など医療機関の充実	25	33	
	障害者が安心して生活できる体制づくりや社会参加の促進	10	15	
	あらゆる保育サービスを活用した待機児童を出さない取組	25	9	
	子育て中の人々が気軽に相談や交流などができる施設や機会の充実	19	8	
	生活習慣病などを予防するための健康づくり	5	10	
〔教 育 ・ 文 化〕	趣味やスポーツ活動ができる施設の整備	15	16	
	見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援	20	12	
	仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習の充実	6	12	
	区民が楽しく参加できる文化イベントの充実	9	7	
	区民が楽しく参加できるスポーツイベントの充実	9	4	
〔生 活〕	地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援	29	37	
	困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりづくりの促進	12	20	
	経済的に困っている人に対する支援強化	11	18	
	地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策への支援	13	15	
	区民が利用しやすい区庁舎の整備や区役所職員の対応改善	7	11	
	ペットの飼い方、食の安全など、生活環境の安全確保	5	7	
	無回答	7	6	

(2) 区の将来像

- 区の将来像については、「治安が良いまち」が最も多く66%、次いで「医療や福祉の充実したまち」が44%、「災害対策が充実したまち」が31%と続いています。望ましい区の将来像の上位3項目は、平成23年度から変化はありません。
- 前回調査と比較すると、「商店などが充実し、日常の買い物が近所で事足りるまち」（前回比+6ポイント）、「医療や福祉の充実したまち」（同+5ポイント）が前回調査を大きく上回っており、身近な買い物環境や医療福祉の充実が求められる傾向にあります。

問22 あなたは、港南区が将来（概ね5～10年後）に向けて、どのような方向に発展していくことが望ましいと思いますか？（3つまで：複数回答）



10 自由記述

(1) 区政運営またはアンケートについての意見

- ・274名から自由記述の回答がありました。
- ・ご意見を大きく分類すると「交通・道路に関すること」が最も多く67件ありました。次いで「公害・環境保全・緑に関すること」が28件、「市民利用施設に関すること」が26件、「防災・消防・防犯活動に関すること」と「職員（教職員を除く）に関すること」が21件と多くなっています。

内容(分類別)	件数
交通・道路に関すること	67
バス・鉄道に関すること	20
バスダイヤに関すること	6
バス経路に関すること	7
その他	7
道路に関すること	31
駐車・駐輪に関すること	5
自転車に関すること	3
その他	8
福祉に関すること	17
高齢者福祉に関すること	10
その他	7
市民活動・地域活動に関すること	16
自治会・町内会に関すること	10
その他	6
子育て支援に関すること	14
防災・消防・防犯活動に関すること	21
防災・消防に関すること	8
防犯に関すること	7
都市経営・運営に関すること	15
行政改革・組織に関すること	8
都市経営・運営に関すること	7
市民利用施設に関すること	26
図書館に関すること	13
その他	13

内容(分類別)	件数
保健・衛生・医療に関すること	6
公害・環境保全・緑に関すること	28
緑地保全・緑化推進に関すること	8
公園・広場に関すること	8
その他	12
広報・公聴・市民相談・情報公開に関すること	16
都市整備・開発と住宅に関すること	5
税金・保険年金・補助金等に関すること	2
職員(教職員を除く)に関すること	21
市民対応に関すること	21
市民対応へのお礼	5
市民対応への苦情	7
その他	9
教育に関すること	4
ごみ、リサイクルに関すること	11
まちなみ美化に関すること	7
その他	4
経済・産業に関すること	8
商業・サービス業振興に関すること	7
その他	1
港湾・河川に関すること	0
観光・シティセールスに関すること	3
その他	76
今回の調査に関すること	69
その他	7
自由記入 回収数	274

※お一人の回答の中に複数の項目について述べられている場合、それぞれの項目について1件と数えているため、回答者数と項目ごとの件数の合計とは一致しません。

Ⅲ 資料編

1 地域別集計の概要

[回答者の居住町丁別人数及び割合]

- ・ 連合自治会町内会エリアを「地域」として、地域別に集計結果をまとめました。
- ・ 下記の特性上地域の範囲や数値については、回答人数が少なく、厳密なデータではないため、大よその傾向としてご参照ください。
- アンケートで確認できる回答者の居住町丁域を単位に、連合自治会町内会エリアに割振りしています。そのため、実際の連合自治会町内会エリアと異なる地域があります。
- 町丁別に回答者数にバラつきがあるのは、住民基本台帳を基に、回答者を無作為抽出した結果です。

地域名（連合自治会町内会エリア）とお住まいの地域

地域名	回答者数	割合 (%)	町丁名
上大岡地域	123	6%	上大岡西 1～3丁目 上大岡東 1～3丁目
大久保最戸地域	124	6%	大久保 1～3丁目 最戸 1・2丁目
笹下地域	193	10%	港南 1～3丁目 港南 4～6丁目 港南中央通
日下地域	139	7%	笹下 1～4丁目 笹下 5～7丁目
日野地域	209	10%	日野 5～9丁目 日野中央 1～3丁目 日野南 1～4丁目
日野第一地域	79	4%	日野 1～4丁目
港南台地域	246	12%	港南台 1～4丁目 港南台 5～9丁目
永野地域	196	10%	上永谷 1～3丁目 上永谷 4～6丁目 上永谷町 丸山台 1～4丁目
野庭団地・野庭住宅地域	210	10%	野庭町
下永谷地域	95	5%	下永谷 1～3丁目 下永谷 4～6丁目
永谷地域	80	4%	東芹が谷 東永谷 1～3丁目
芹が谷地域	142	7%	芹が谷 1～5丁目
ひぎり地域	83	4%	日限山 1～4丁目
日野南地域	37	2%	日野南 5～7丁目
無回答	53	3%	無回答
合計	2009	100%	

2 地域別集計

[生活環境全般]

問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？
 次の(1)～(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

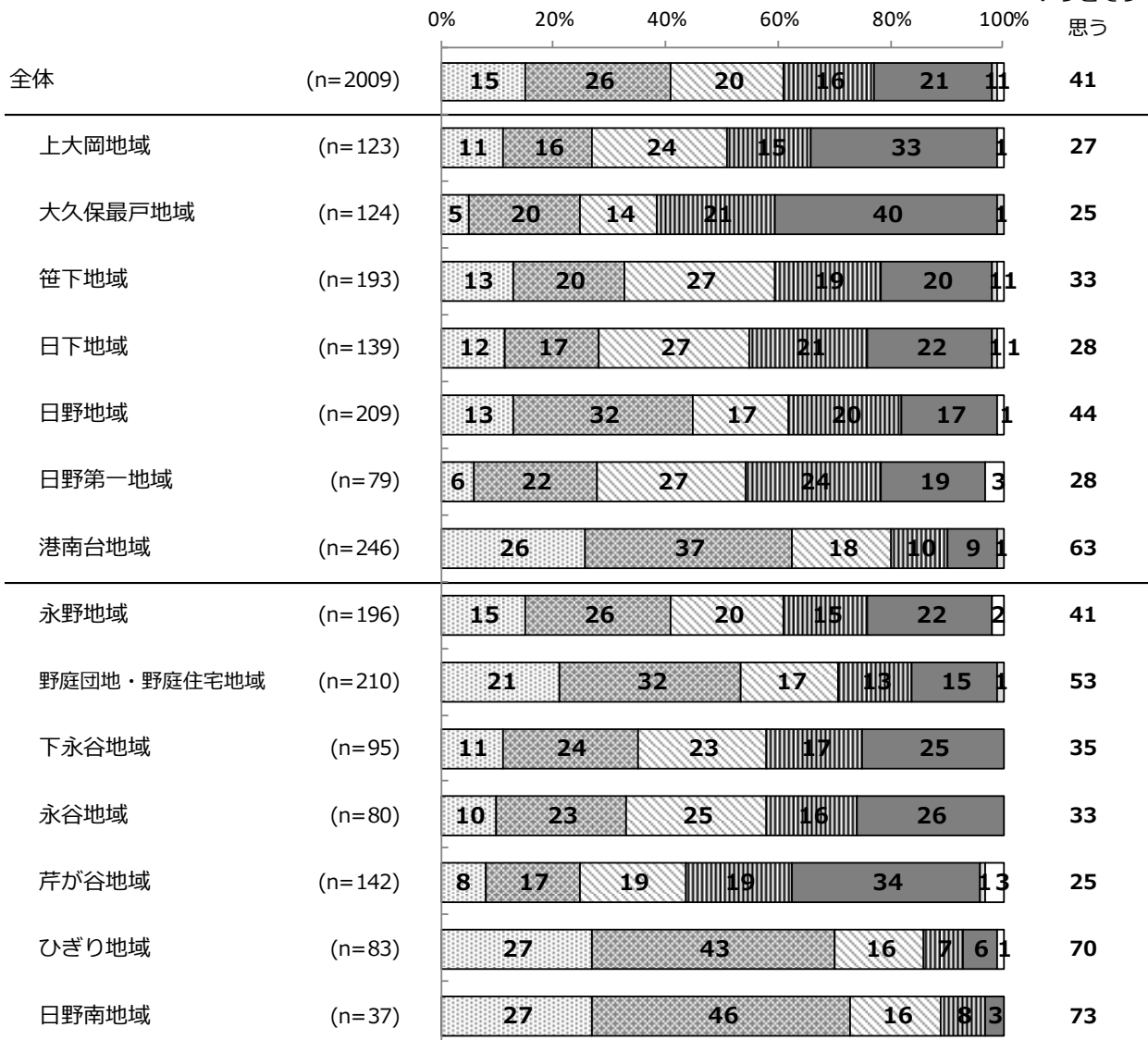
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)～(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(1) 「近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい」

- 1 そう思う
- 2 どちらかというそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかというそう思わない
- 5 そう思わない
- 6 わからない
- 無回答

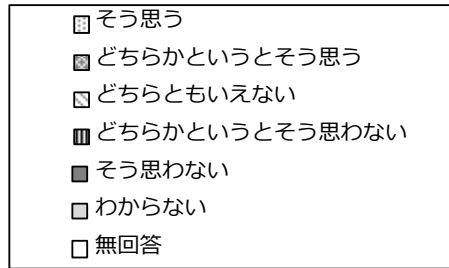
そう思う+
 どちらかという
 そう思う



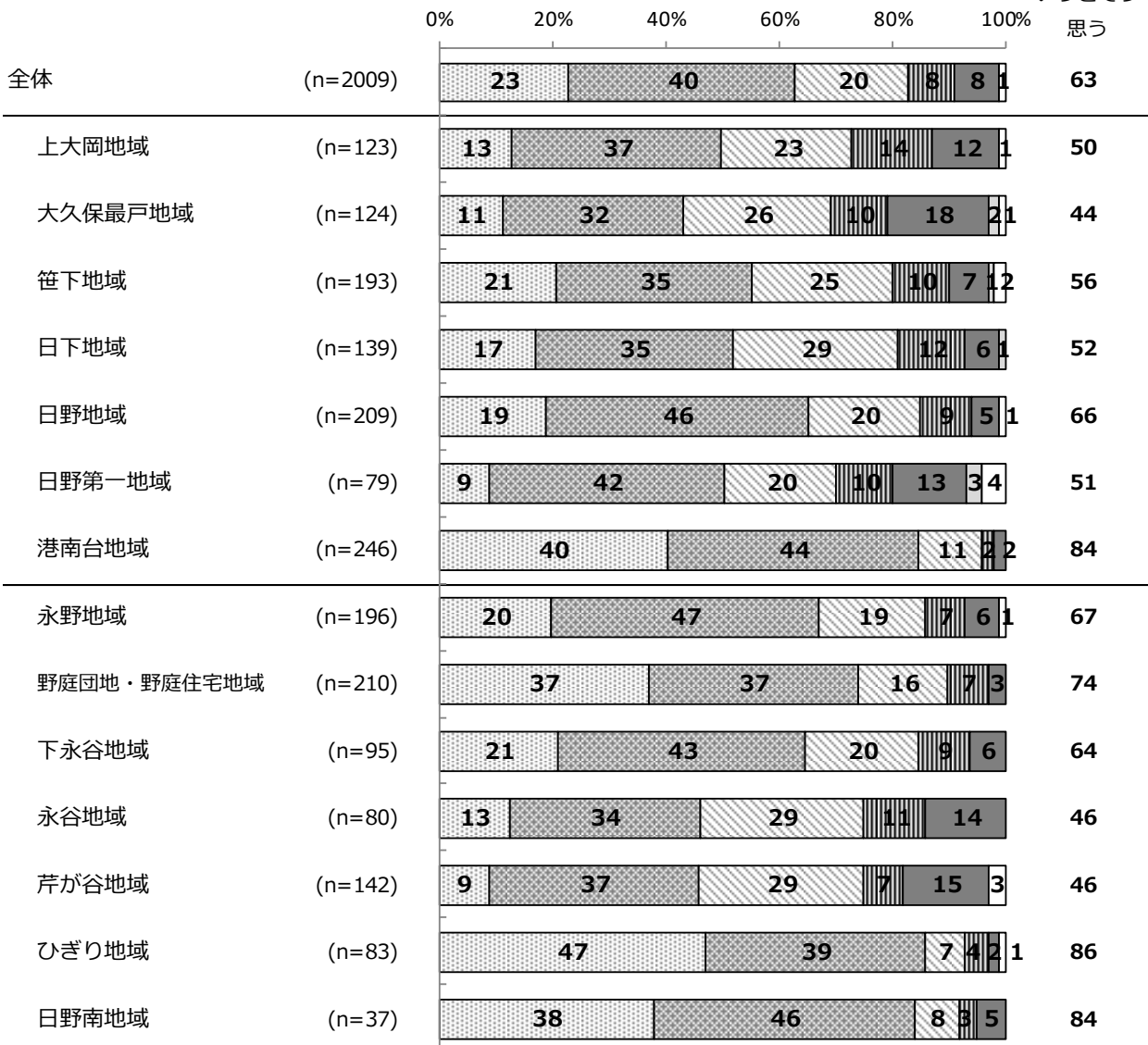
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(2) 「街路樹や家々の植栽などの緑が多く気持ちが良い」



そう思う+
どちらか
という
そう
思う



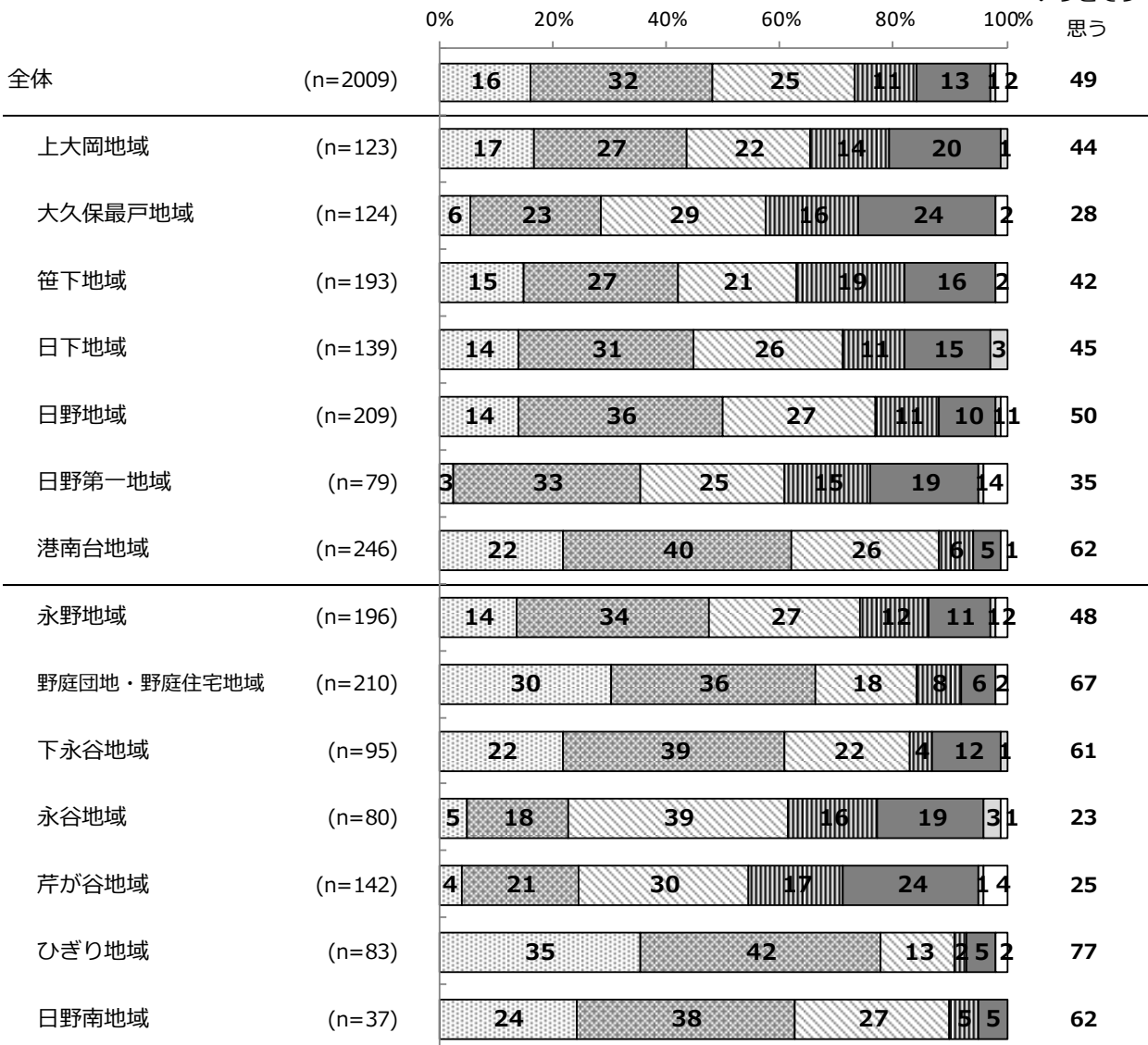
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(3) 「緑地や水辺があり、自然が豊かである」

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▧ どちらともいえない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらかとい
うと思う



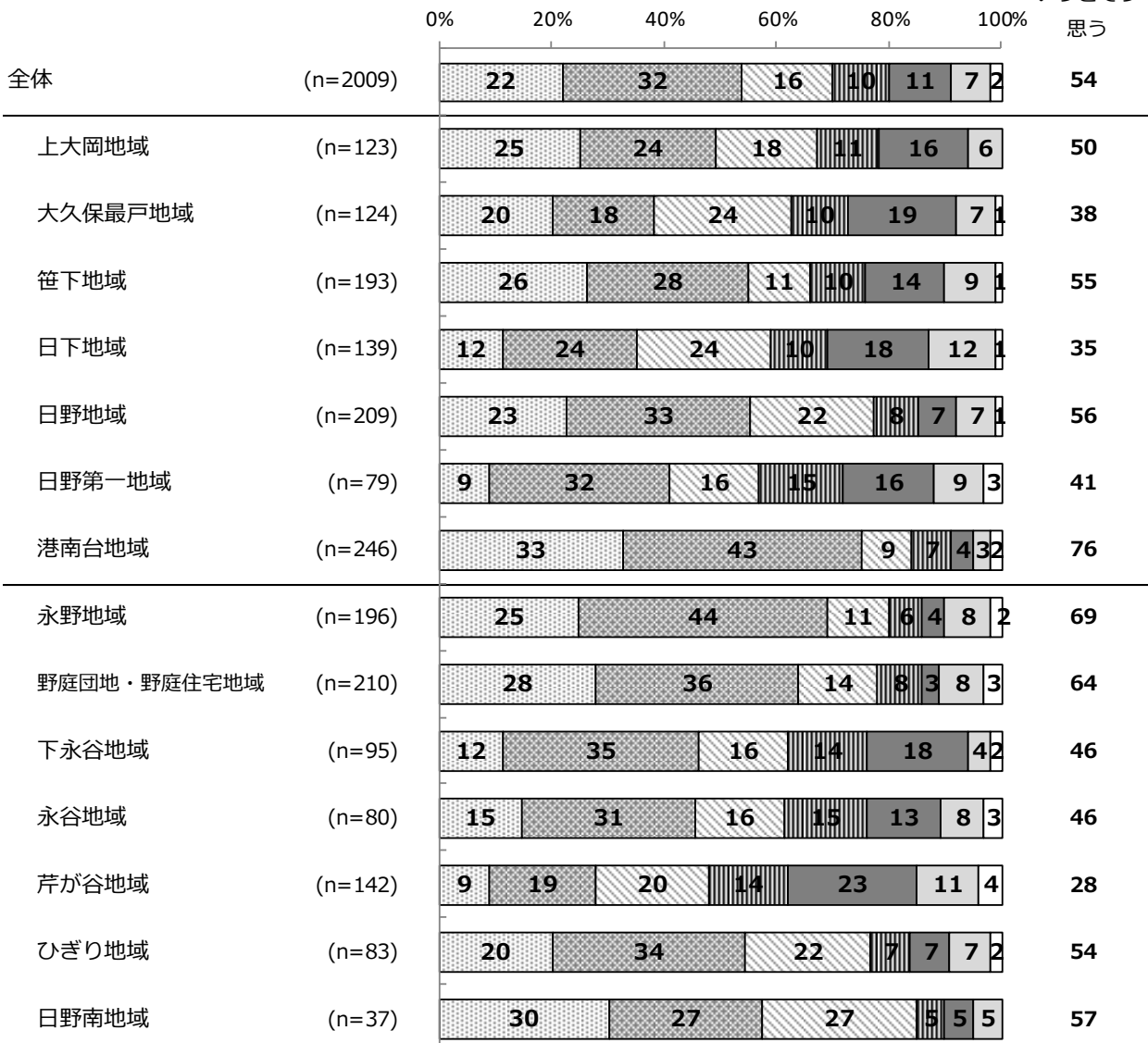
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(4) 「駅周辺に駐輪場があり、通勤・通学・買い物などに利用しやすい」

- そう思う
- ▨ どちらかというそう思う
- ▧ どちらともいえない
- ▩ どちらかというそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらか
という
そう
思う



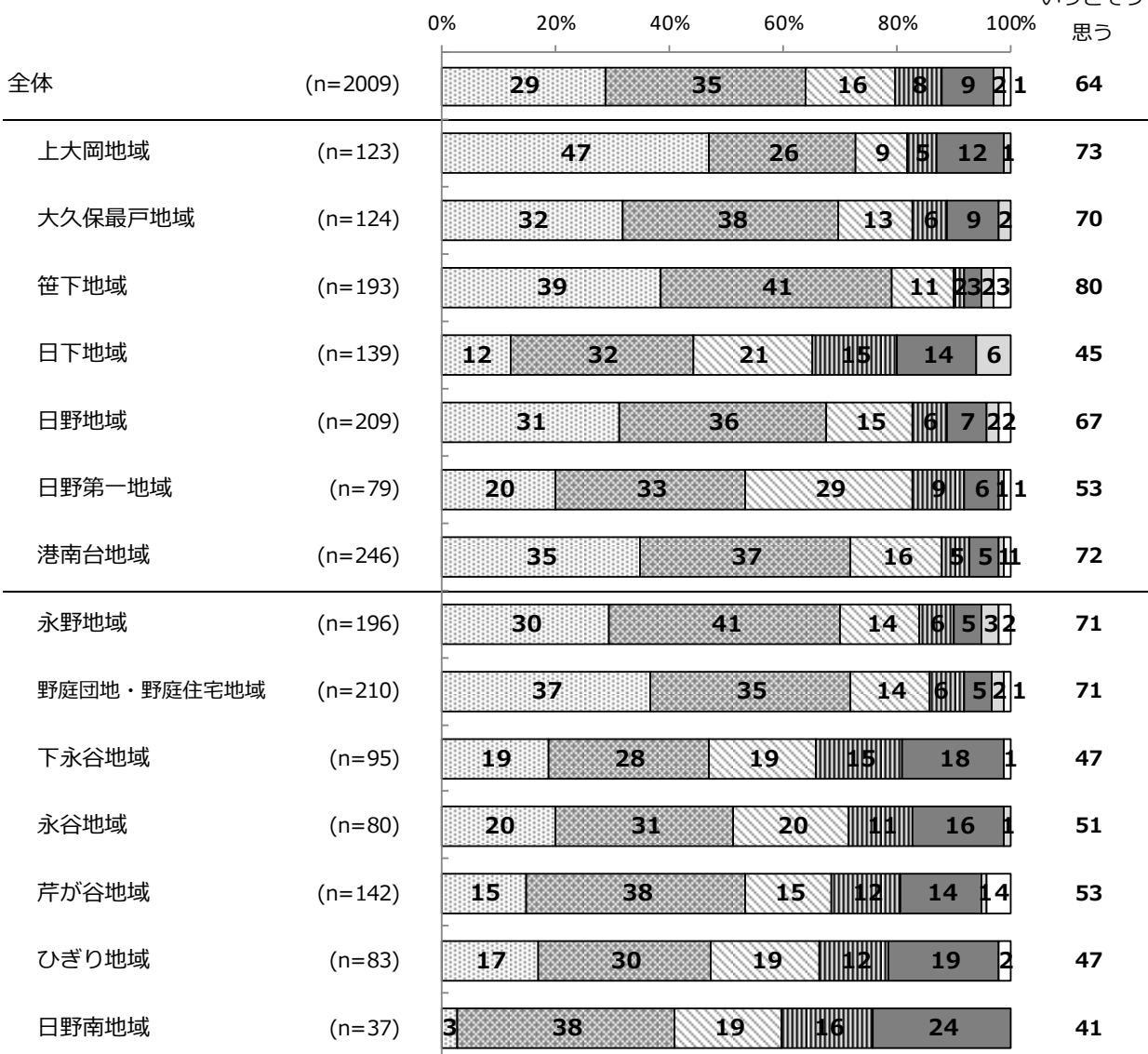
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(5) 「最寄駅までの交通の便が良く、通勤・通学が楽である」

- そう思う
- ▨ どちらかというそう思う
- ▩ どちらともいえない
- ▧ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらかとい
うとそう
思う



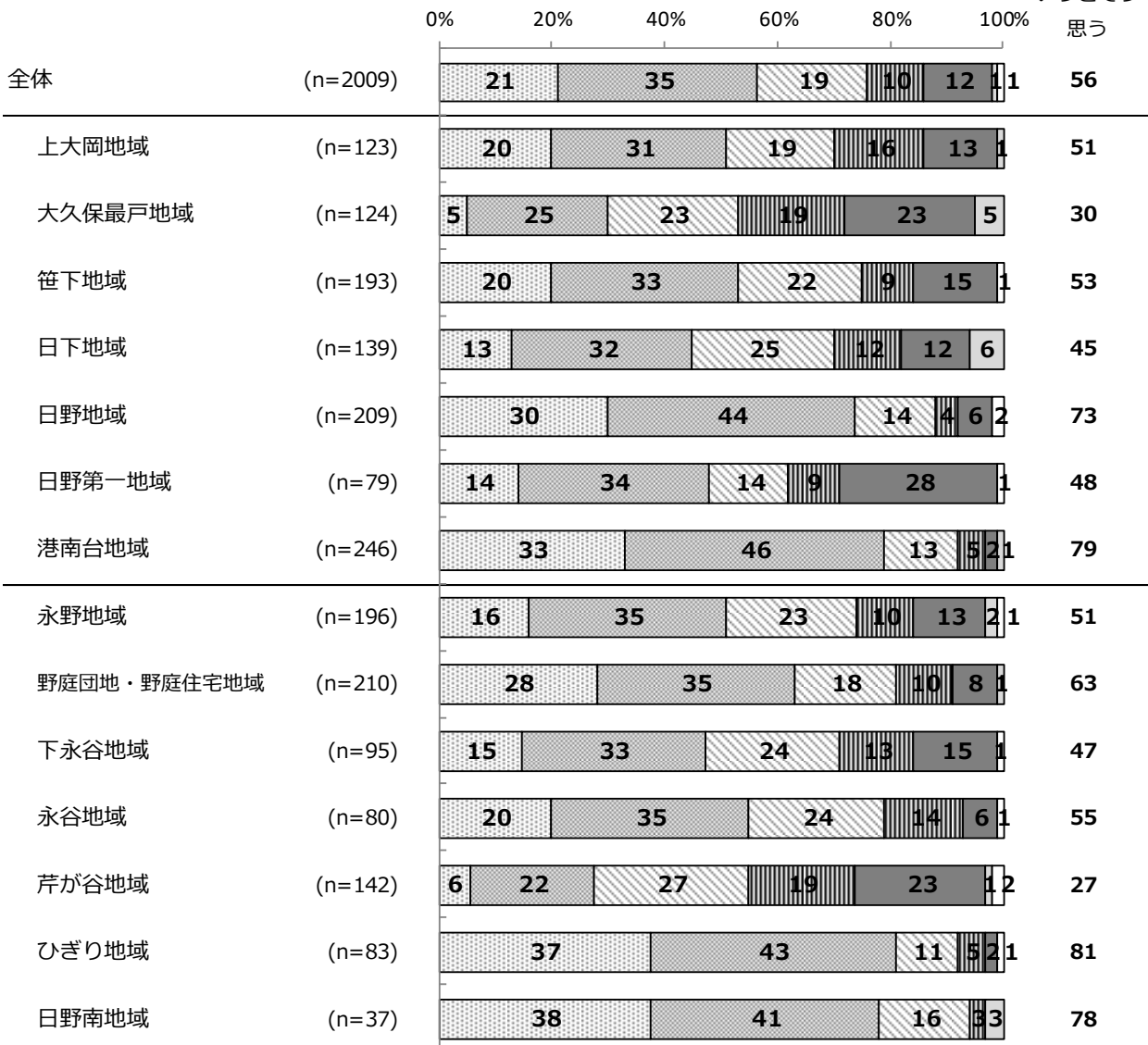
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

**(6) 「誰もがゆったり過ごせる公園や
広場がある」**

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▧ どちらともいえない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらかとい
うと思う



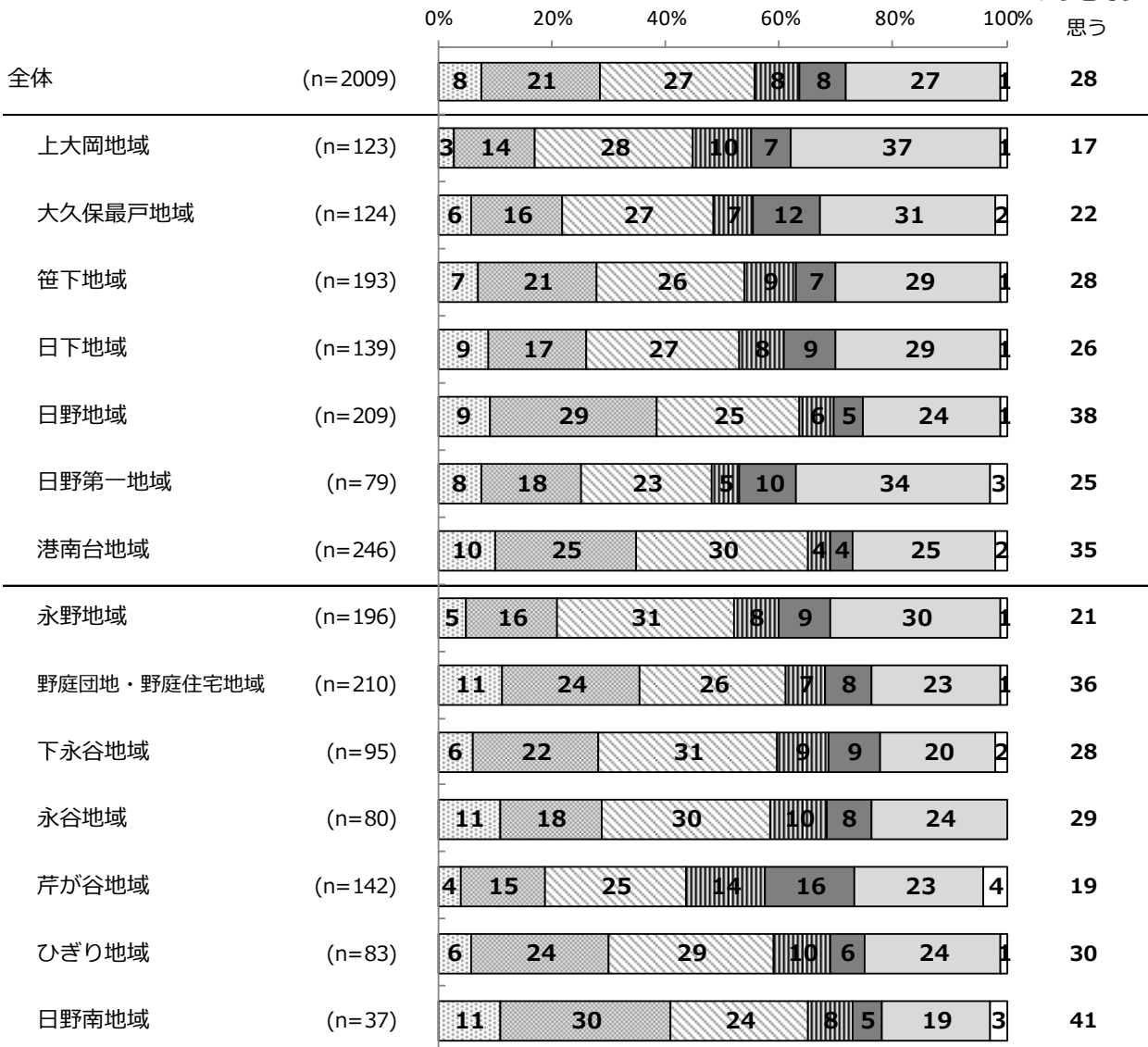
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(7) 「高齢者のための施設やサービスが充実している」

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▩ どちらともいえない
- ▧ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらかとい
うと思う



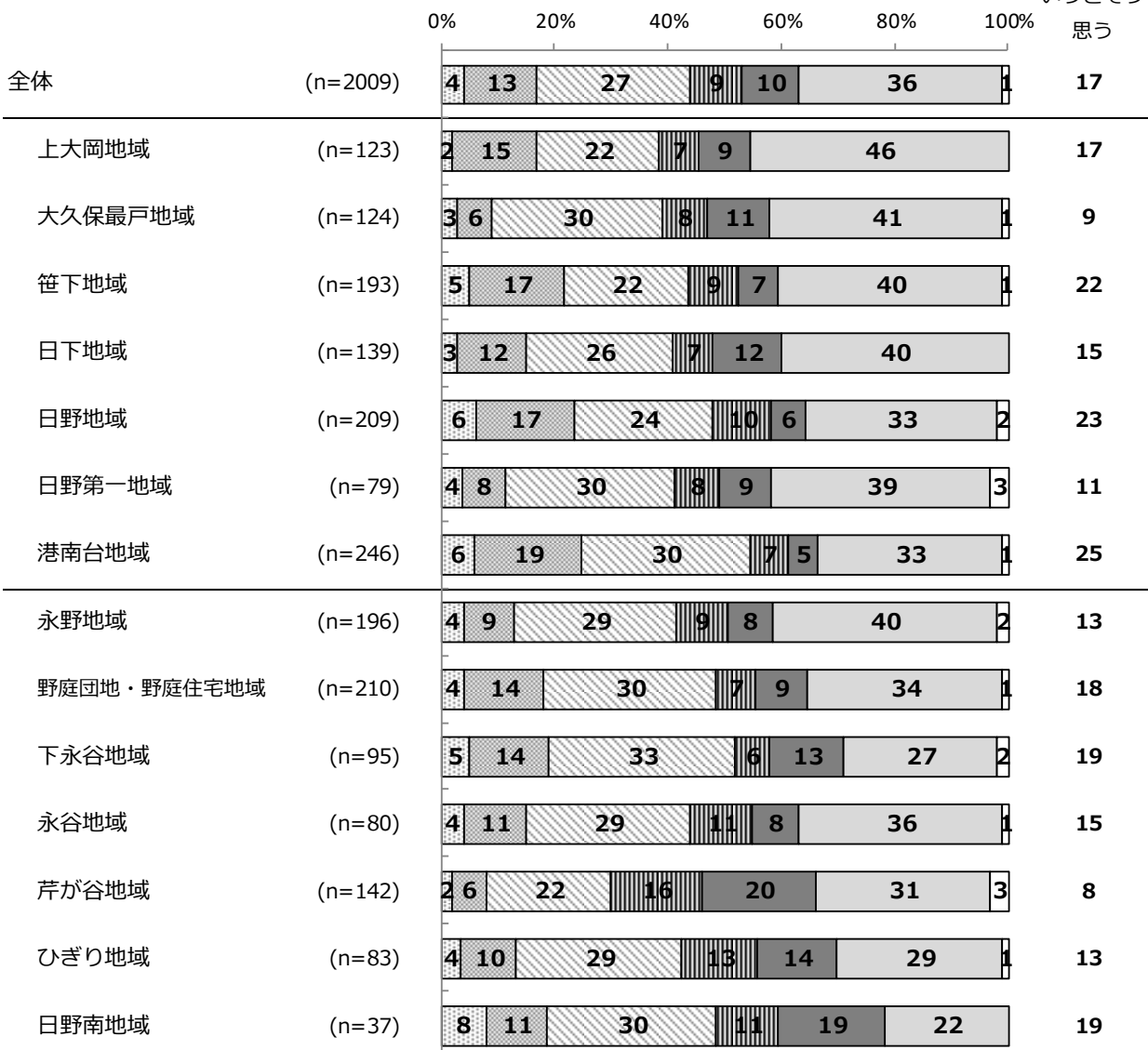
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(8) 「障害者のための施設やサービスが充実している」

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▧ どちらともいえない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらかとい
うと思う



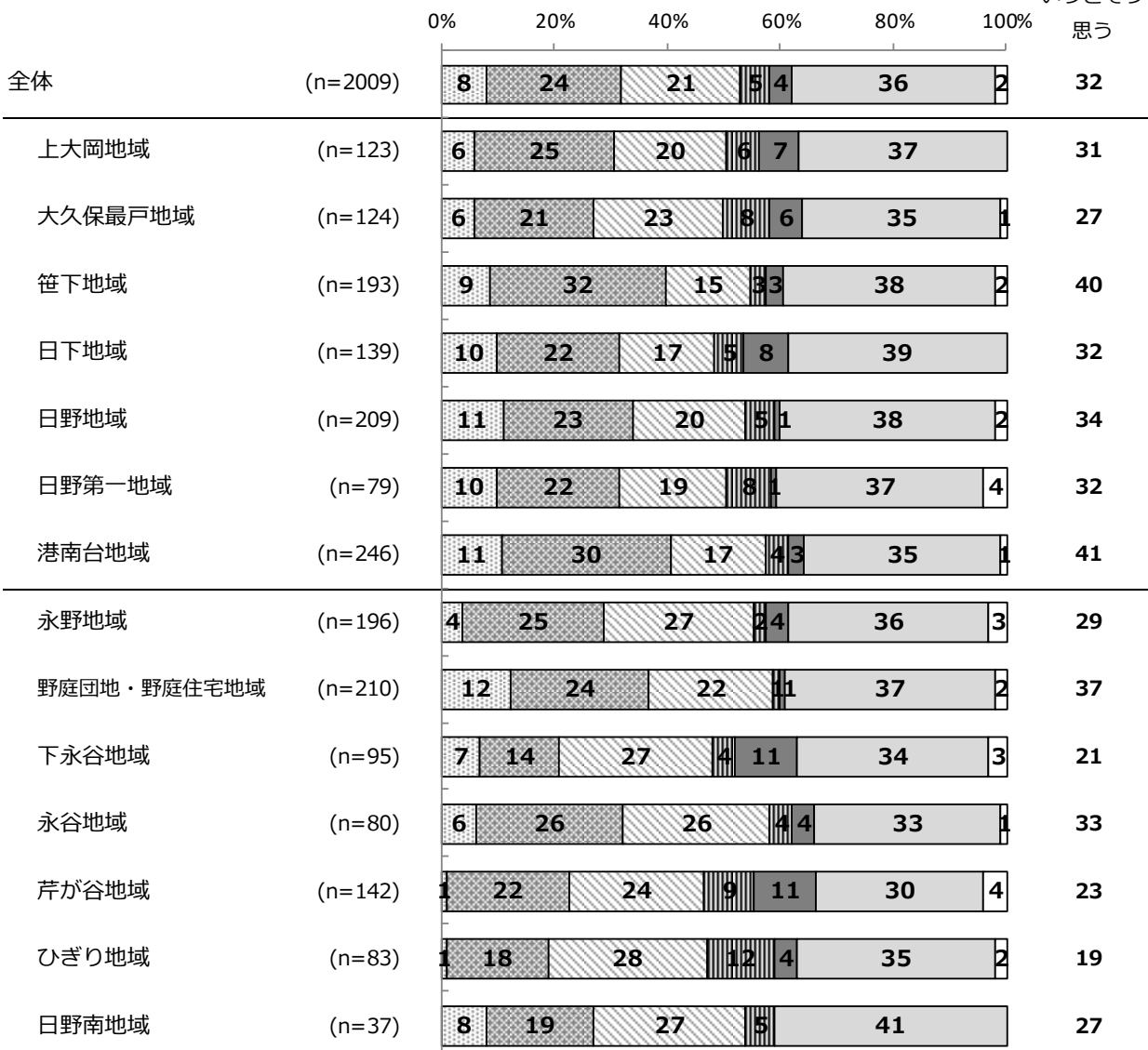
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(9) 「保育所や幼稚園などが利用しやすい」

- そう思う
- ▨ どちらかというそう思う
- ▩ どちらともいえない
- ▧ どちらかというそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

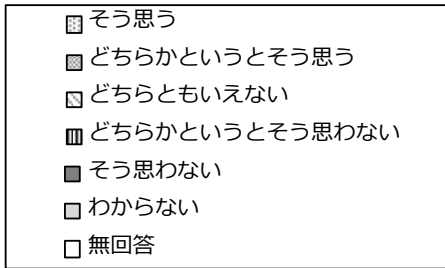
そう思う+
どちらか
という
そう
思う



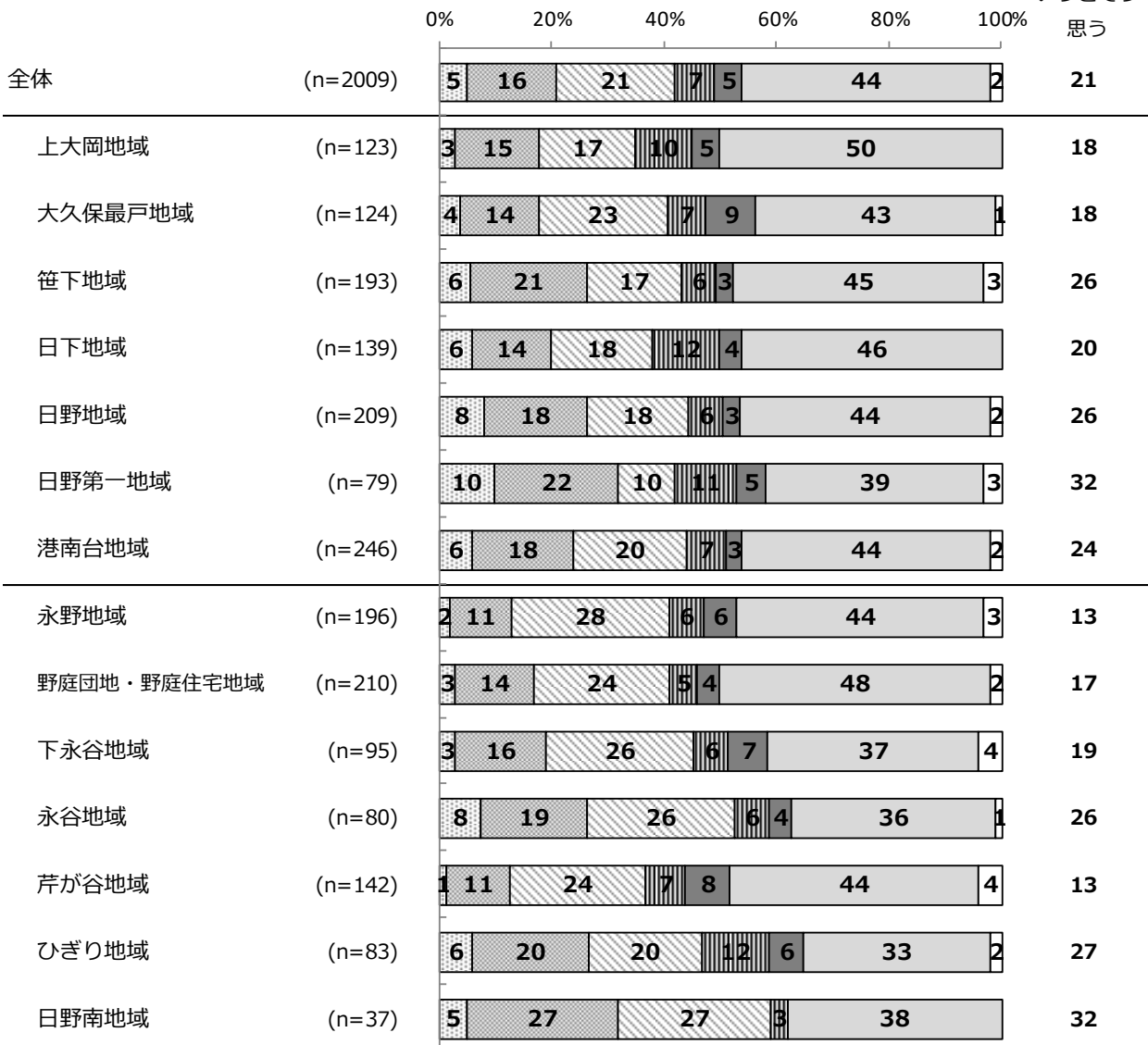
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(10) 「子育てをする人が交流する場がある」



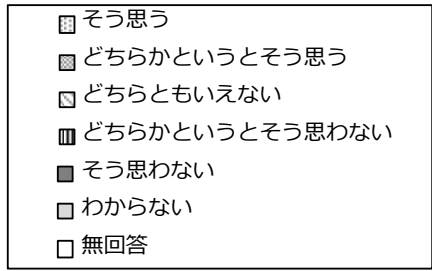
そう思う+
どちらかとい
うとそう
思う



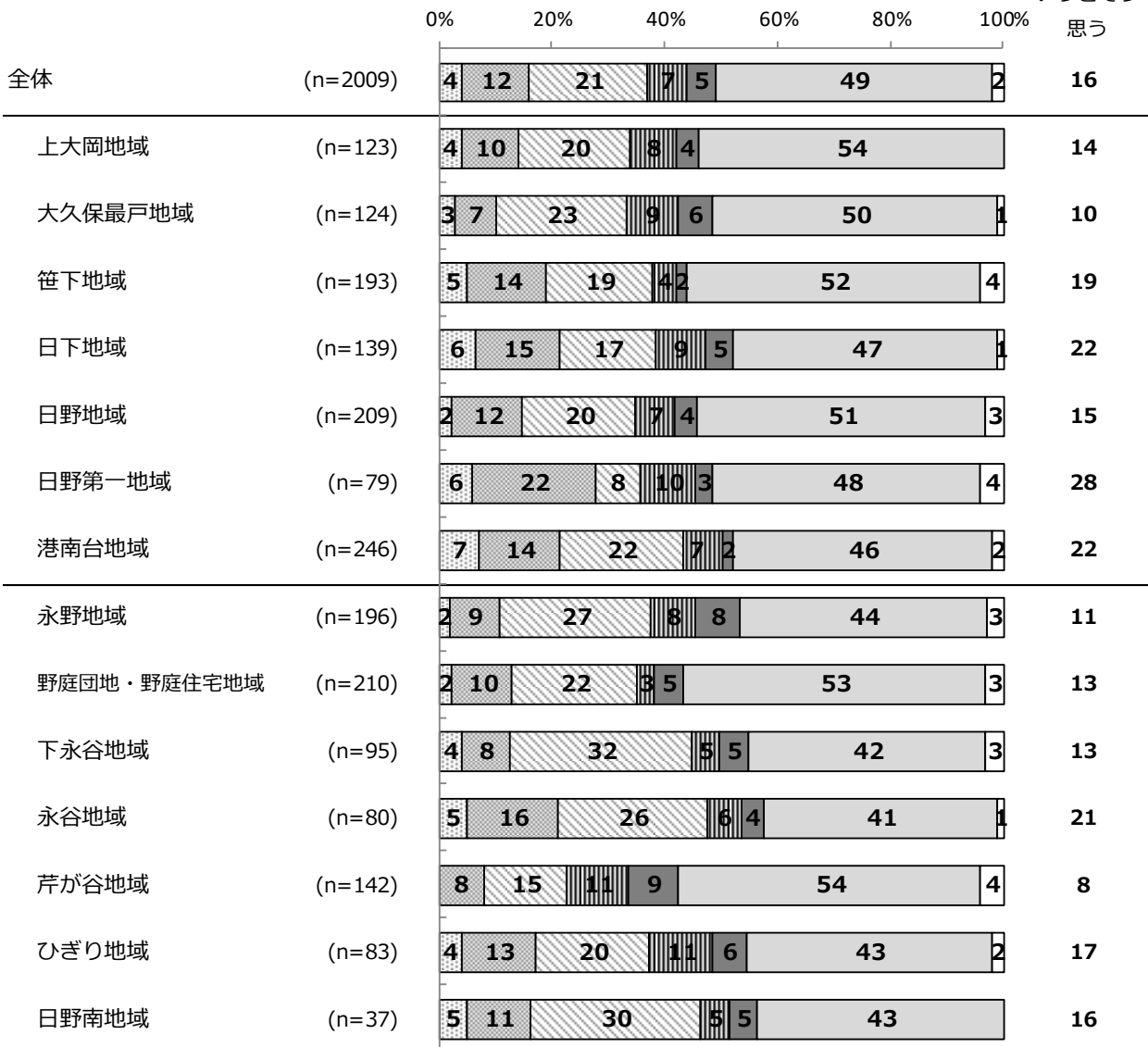
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(11) 「子育てをする人が気軽に相談できる窓口がある」



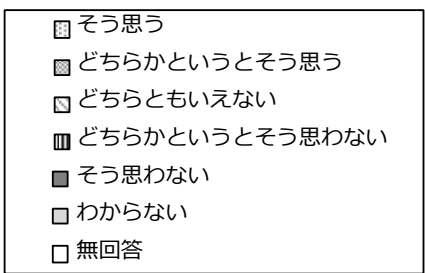
そう思う+
どちらか
という
そう
思う



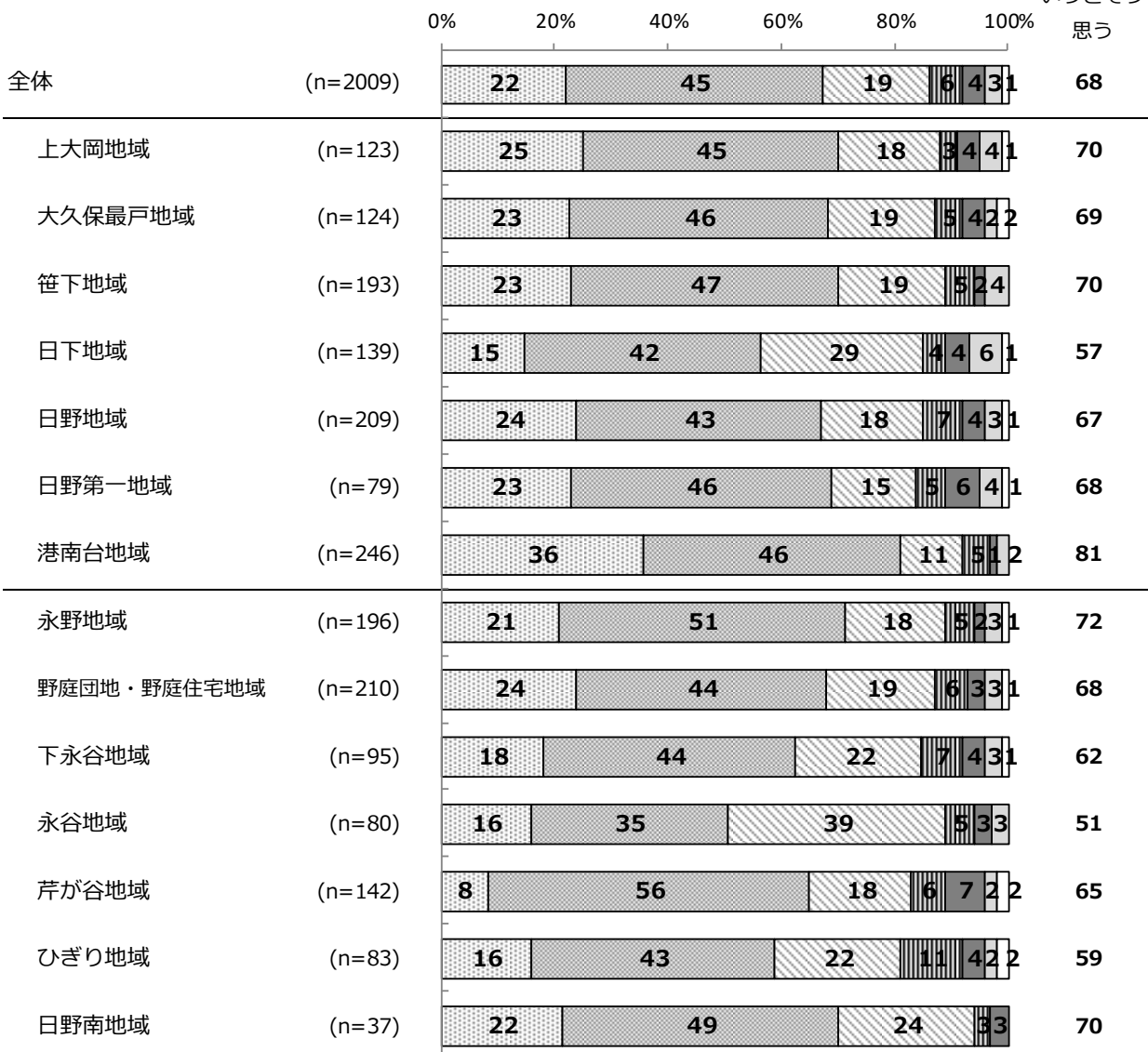
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(12) 「病院・診療所など医療機関が利用しやすい」



そう思う+
どちらか
という
そう
思う



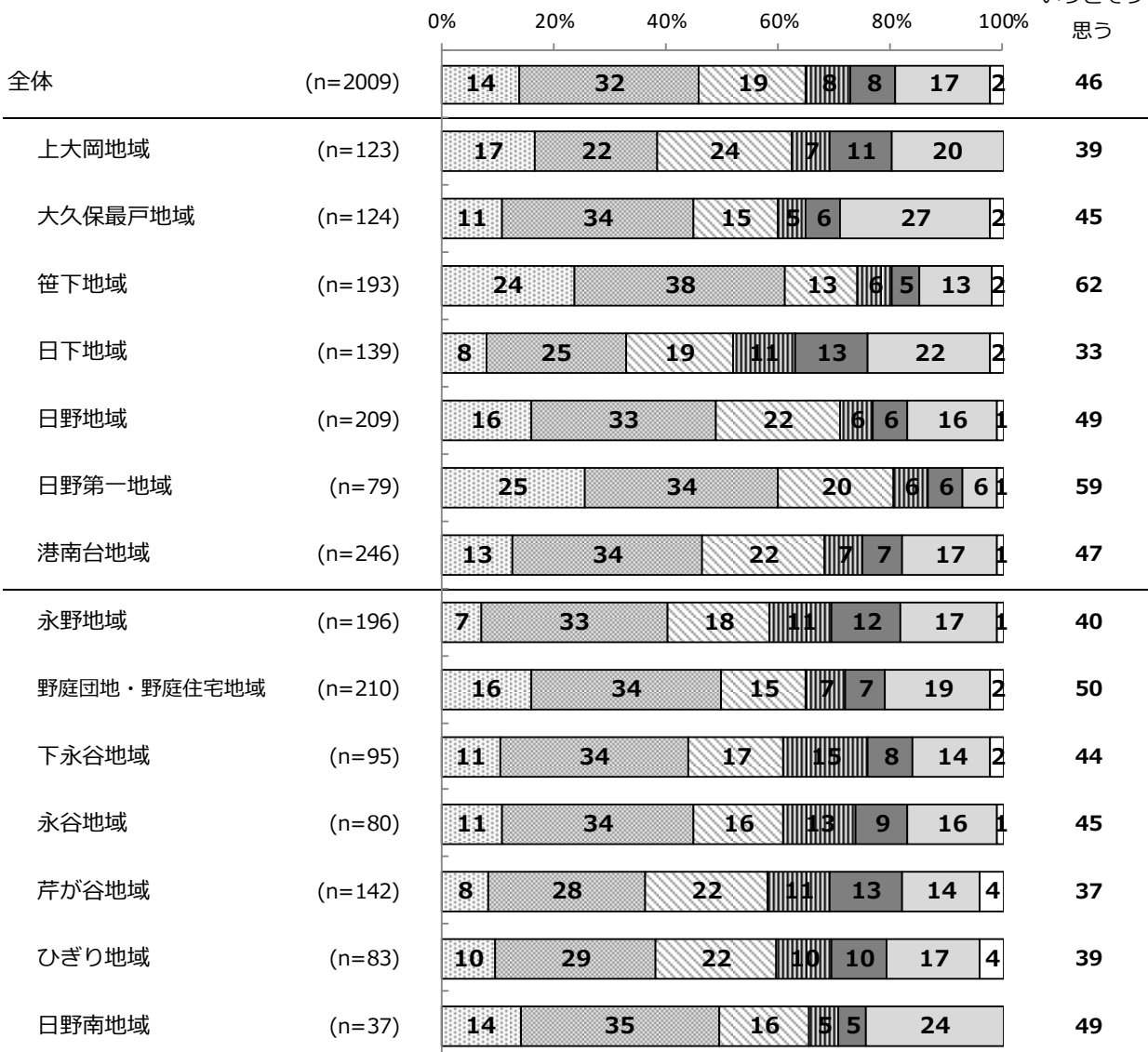
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

**(13) 「地域の中に趣味やスポーツ活動
ができる施設がある」**

- そう思う
- ▨ どちらかというそう思う
- ▧ どちらともいえない
- ▩ どちらかというそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらか
という
そう
思う



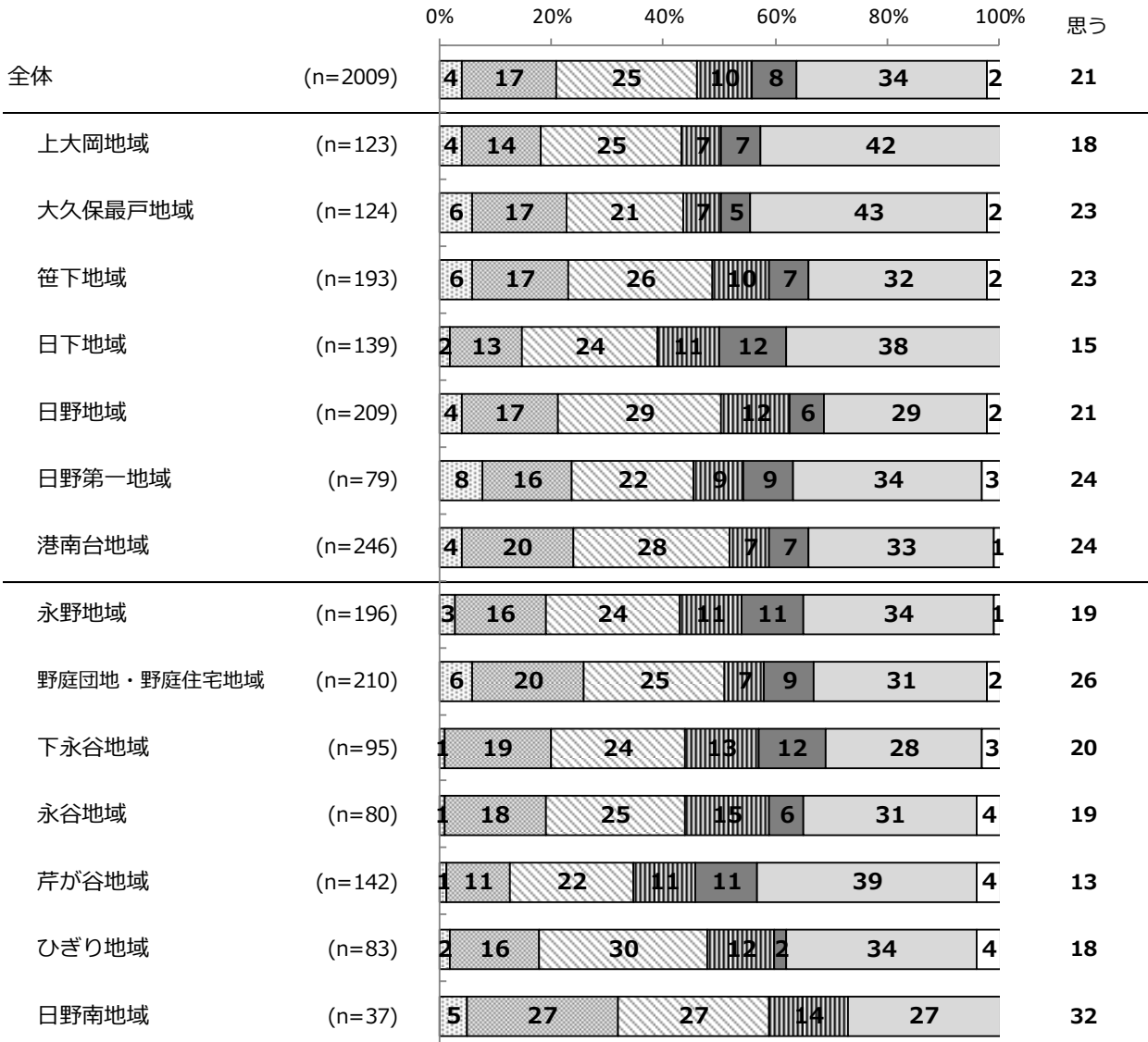
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(14) 「仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習が充実している」

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▩ どちらともいえない
- ▧ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

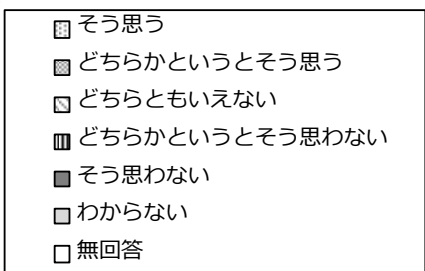
そう思う+
どちらか
という
思う



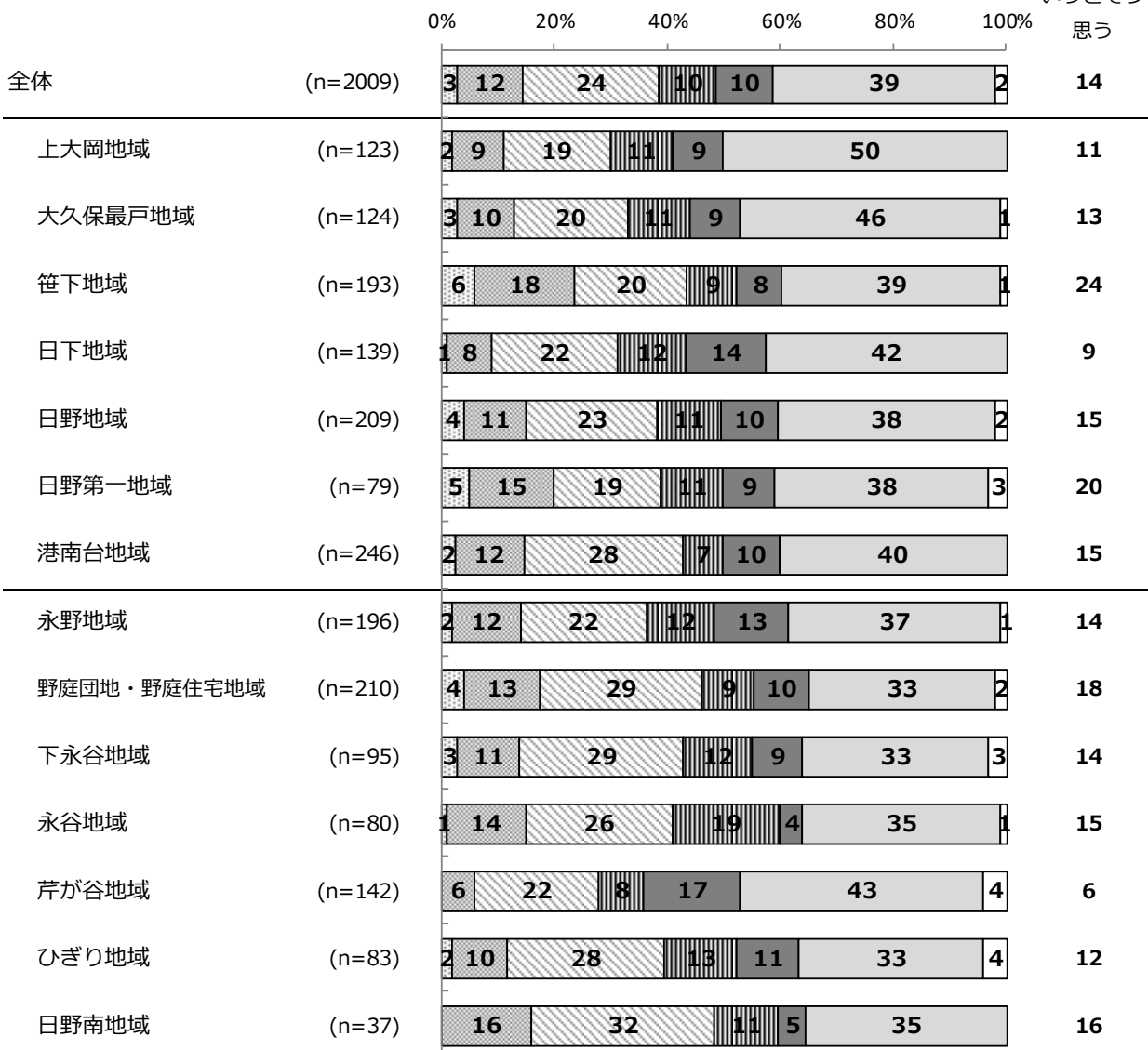
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(15) 「区民が楽しく参加できるスポーツイベントがある」



そう思う+
どちらかという
そう思う



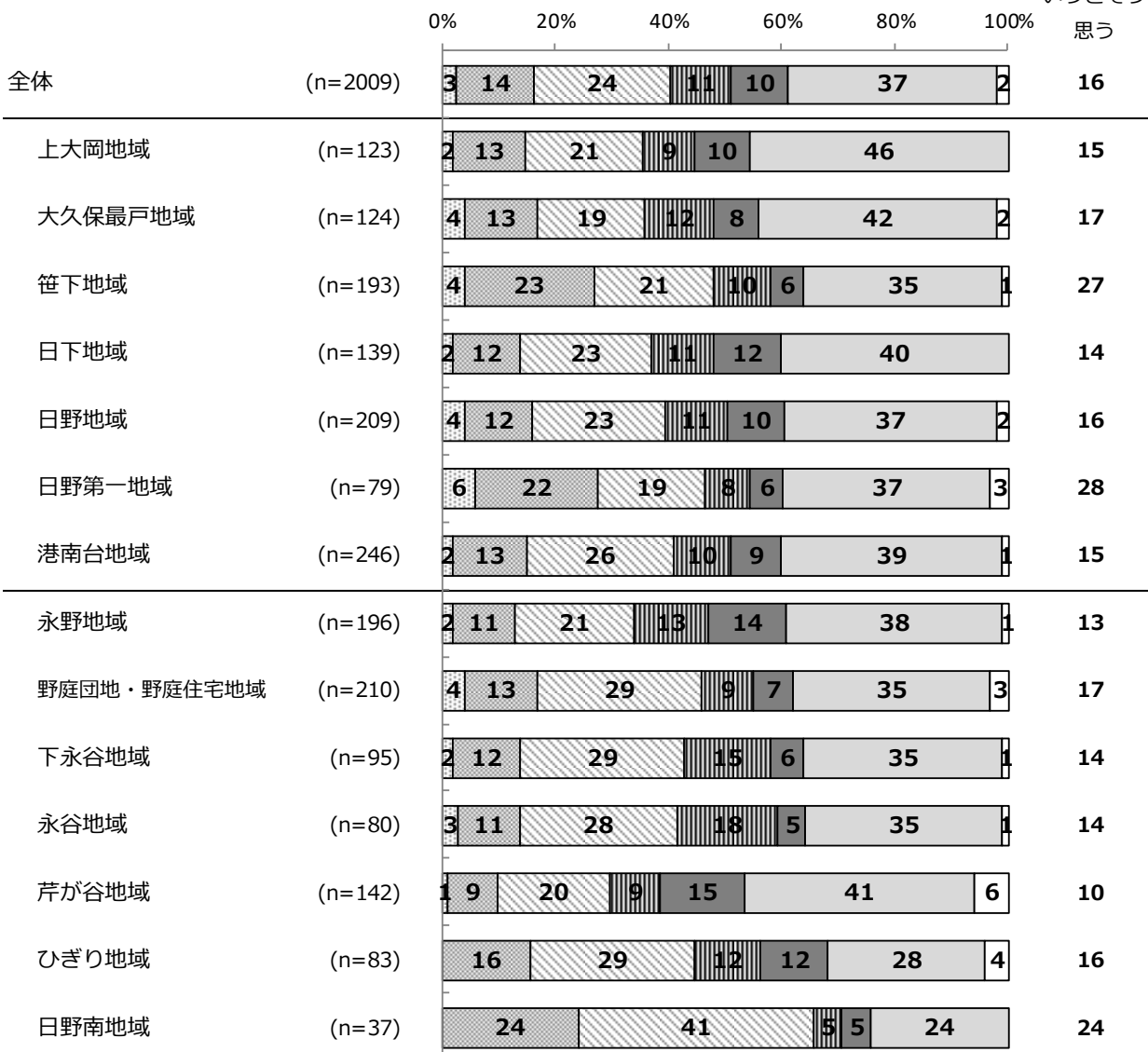
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(16) 「区民が楽しく参加できる文化イベントがある」

- そう思う
- ▨ どちらかというそう思う
- ▩ どちらともいえない
- ▧ どちらかというそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらかとい
うそう
思う



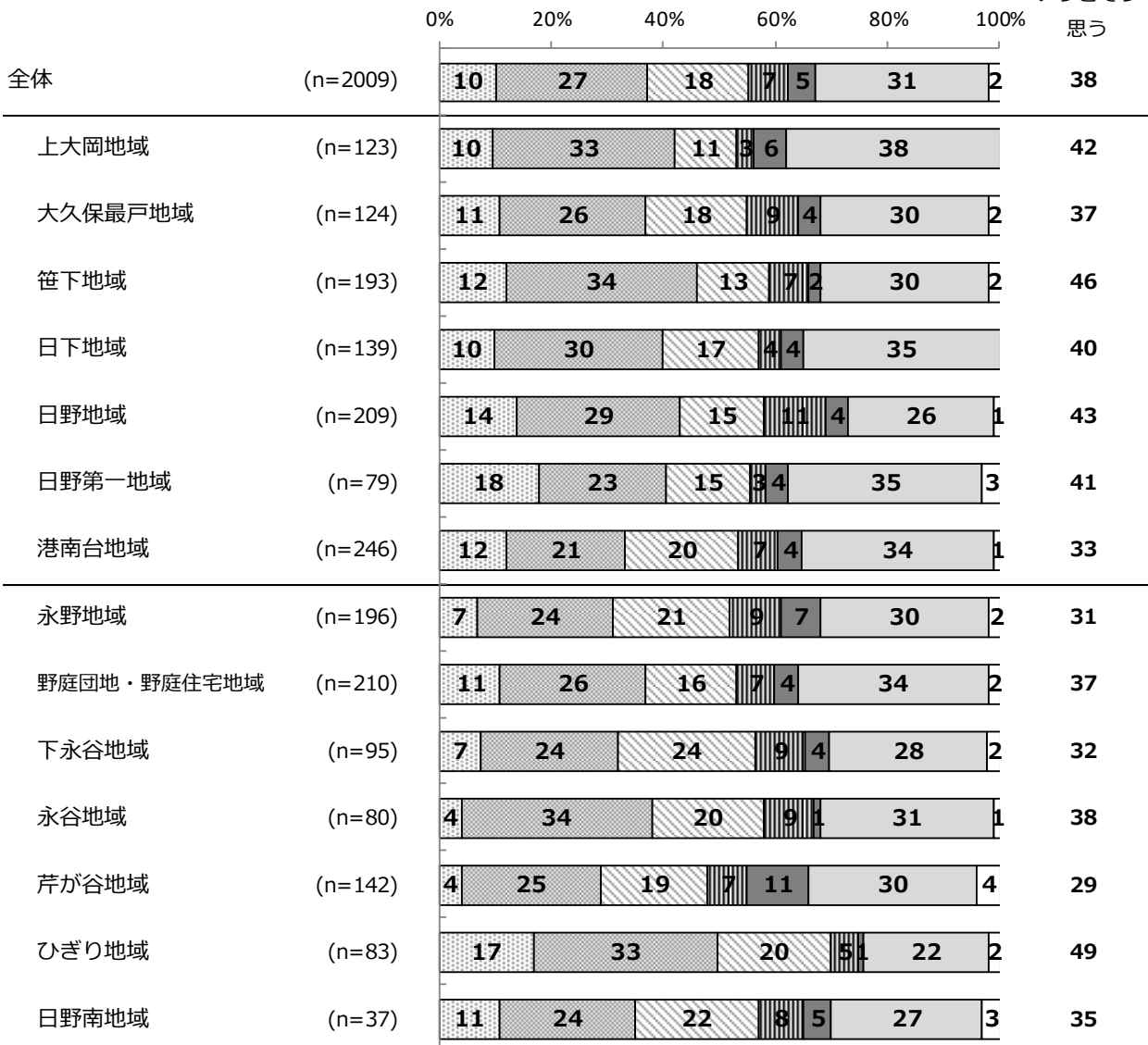
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(17) 「見守り活動など、地域で子どもの健全育成に取り組んでいる」

- そう思う
- ▨ どちらかというそう思う
- ▩ どちらともいえない
- ▧ どちらかというそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらか
というそう
思う



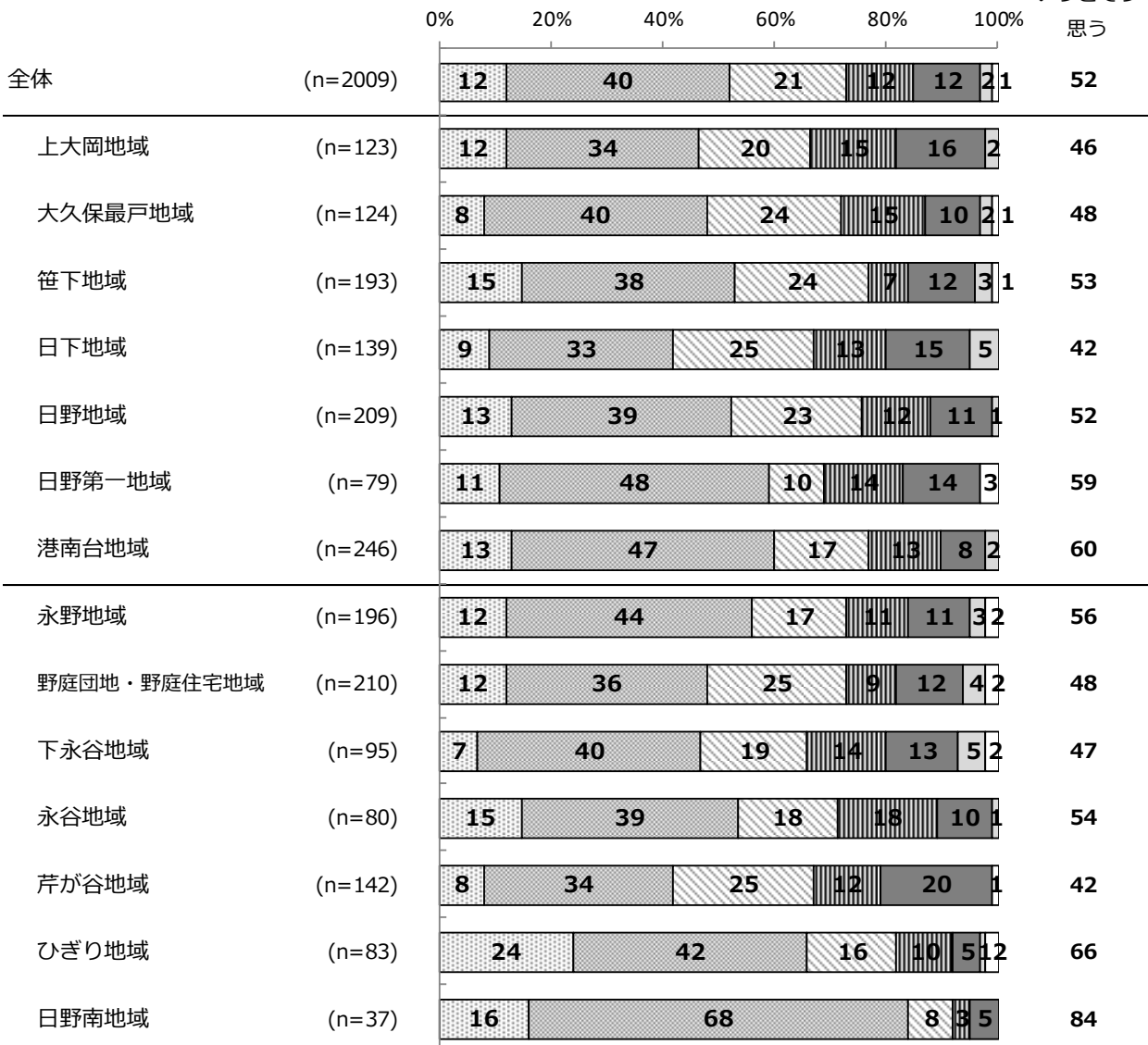
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

**(18) 「ごみ出しやペットのふんの始末
など、マナーが守られている」**

- そう思う
- ▨ どちらかというそう思う
- ▧ どちらともいえない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらか
という
そう
思う



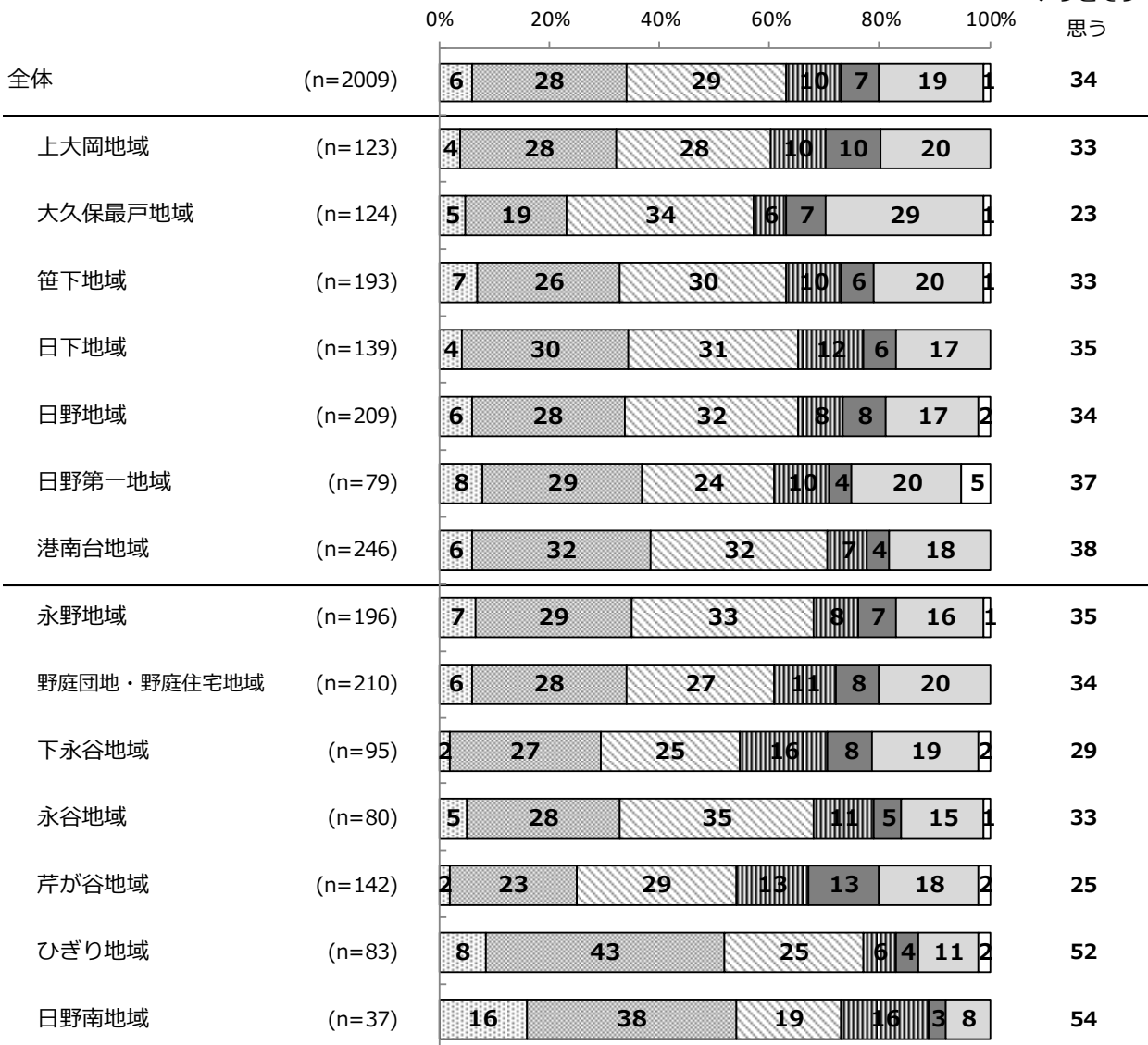
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

**(19) 「地震などの災害に対する取組
(物資備蓄、防災訓練、防災マップの作成
など)が活発である」**

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▧ どちらともいえない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

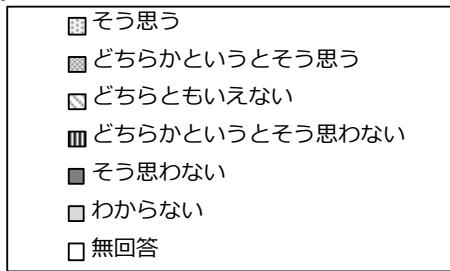
そう思う+
どちらかとい
うと思う



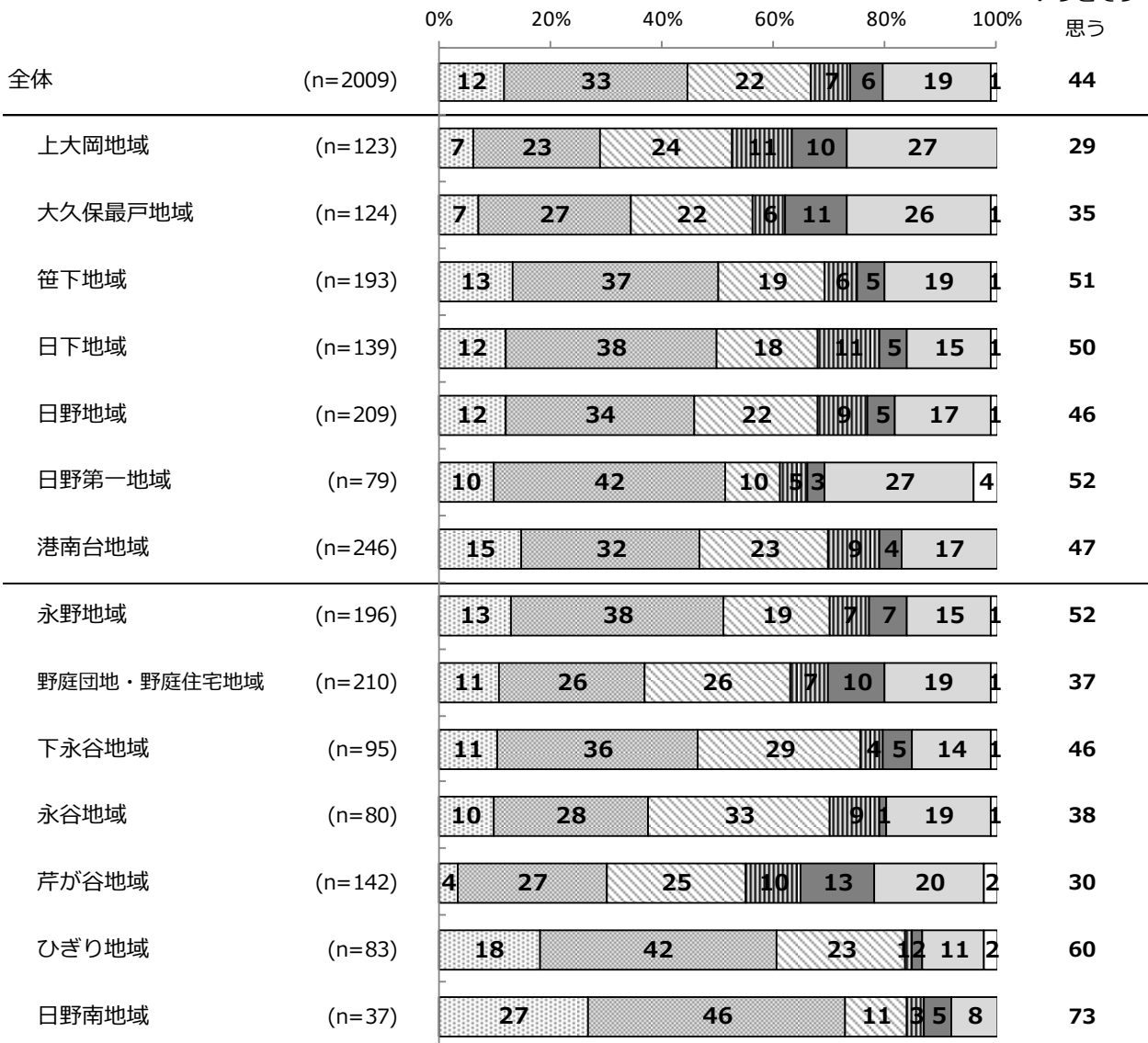
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(20) 「地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策が行われている」



そう思う+
どちらかとい
うと思う



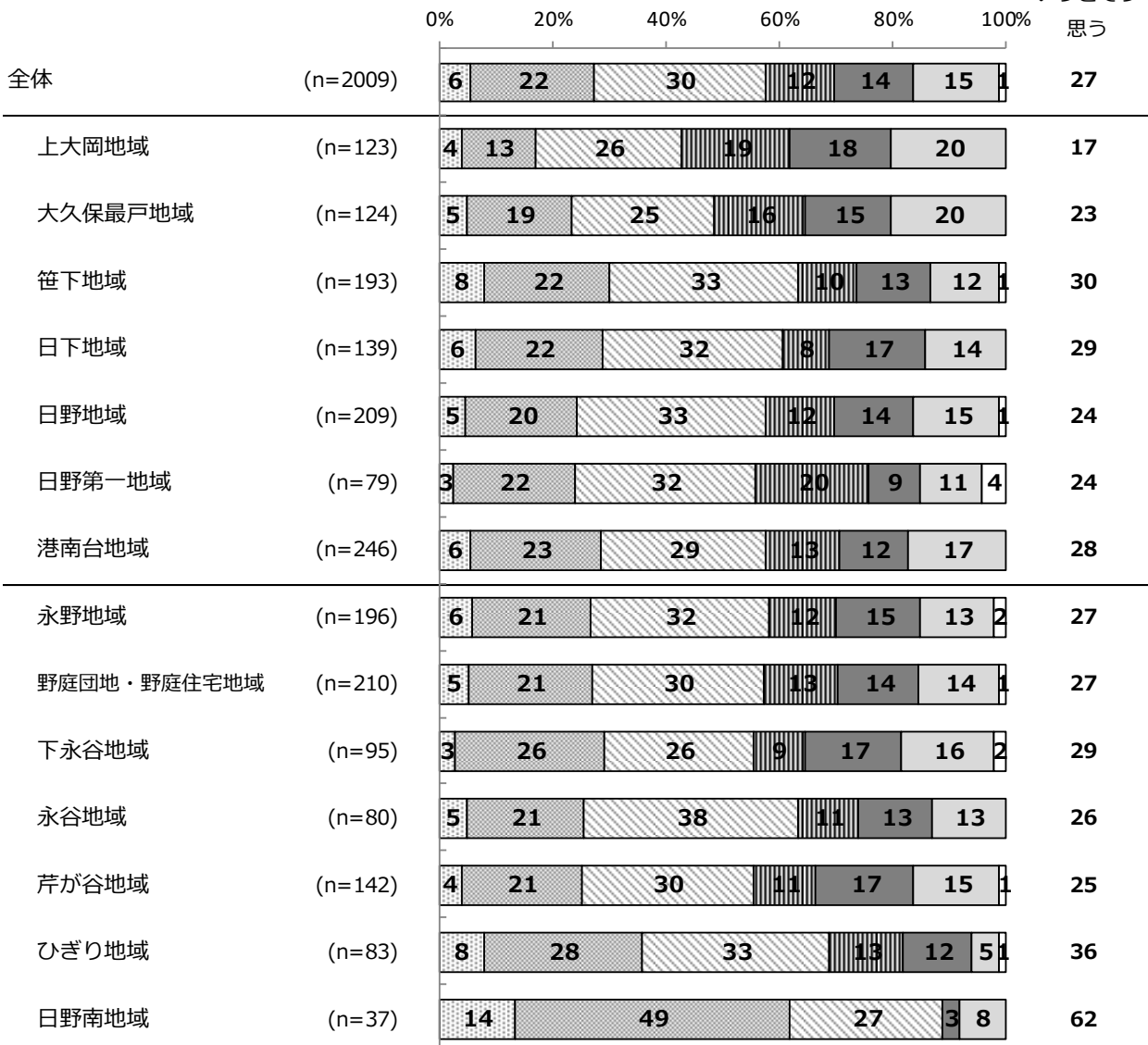
問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？

次の(1)~(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。

(21) 「困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりがある」

- そう思う
- ▨ どちらかというと思う
- ▧ どちらともいえない
- ▩ どちらかというと思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

そう思う+
どちらかとい
うと思う



[災害への備え・対策]

問2 あなたの家では、災害に備えて、どのような対策をとっていますか？（○はいくつでも）

%

	家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している	基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている	窓ガラスを強化ガラスに替えたり、ガラス類にフィルムを貼っている	感震ブレイカーを設置している	消火器を設置している	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している	住宅用火災警報器の作動を定期的に確認している	食料や飲み水を備蓄している	食料や飲み水を、普段の生活の中で定期的に使いながら新たに買い足す「ローリングストック」を行って備蓄している	非常用トイレ（トイレパックなど）を準備している	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	家族との連絡方法などを決めている	ハザードマップを見て、自宅周辺の危険箇所を確認している	自分や家族の避難行動計画「マイ・タイムライン」を作っている	ケージ、ペット手帳など）を用意している	ペットを連れて避難するため、避難グッズ（ペット用食料、	その他	特に何もしていない	無回答
全体 (n=2009)	36	60	14	11	48	61	29	66	43	40	69	29	26	2	5	1	7	1	
上大岡地域 (n=123)	33	59	17	11	49	63	37	76	47	43	69	28	31	3	7	1	3	1	
大久保最戸地域 (n=124)	42	50	15	13	48	56	30	65	38	39	68	25	18	1	6	0	7	1	
笹下地域 (n=193)	32	63	17	8	47	60	34	63	41	39	68	29	26	2	3	0	7	3	
日下地域 (n=139)	32	51	13	9	46	58	19	62	40	32	62	30	25	1	6	0	9	0	
日野地域 (n=209)	33	64	14	11	49	62	24	69	40	42	68	29	29	2	5	0	6	1	
日野第一地域 (n=79)	42	61	8	5	54	54	33	68	42	43	66	29	22	0	8	0	6	1	
港南台地域 (n=246)	35	67	14	9	45	59	28	69	41	46	67	31	30	2	5	1	8	1	
永野地域 (n=196)	33	55	18	11	48	61	25	67	46	37	67	31	26	1	6	2	7	3	
野庭団地・野庭住宅地域 (n=210)	47	70	9	18	46	70	40	63	46	43	69	29	26	2	3	2	8	0	
下永谷地域 (n=95)	29	53	11	7	46	60	26	61	38	37	68	22	26	1	3	1	8	0	
永谷地域 (n=80)	33	54	11	11	38	64	39	76	38	44	76	40	24	3	8	4	6	3	
芹が谷地域 (n=142)	32	61	13	10	51	64	20	57	44	37	73	27	25	2	6	1	7	1	
ひぎり地域 (n=83)	45	54	19	16	54	63	19	72	55	39	73	25	29	4	2	1	2	1	
日野南地域 (n=37)	32	54	19	19	57	65	16	70	43	46	76	27	24	5	5	0	5	0	

[防災に関する情報の入手手段]

問3 防災に関する情報を入手したい時に、何から入手していますか？（〇はいくつでも）

		%															
		テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	県や市・区の広報紙	町内の回覧板や掲示板	家族や親類	隣近所の知り合い	インターネット（PC、スマートフォンなど）	TwitterなどのSNS	横浜市防災情報Eメール	港南区安全・安心情報メール	港南区緊急時情報伝達システム	その他	特になし	無回答
全体	(n=2009)	83	34	28	3	30	26	13	9	70	16	12	4	5	1	2	1
上大岡地域	(n=123)	82	33	24	6	29	21	11	6	80	21	15	3	5	0	2	0
大久保最戸地域	(n=124)	90	43	20	2	31	25	14	10	78	15	16	4	5	0	1	1
笹下地域	(n=193)	82	33	21	3	25	23	9	7	71	21	12	4	7	0	1	2
日下地域	(n=139)	78	29	26	1	28	27	12	11	67	16	12	2	3	1	4	0
日野地域	(n=209)	84	33	23	2	30	30	13	6	71	17	10	6	8	0	1	1
日野第一地域	(n=79)	80	33	29	3	29	24	22	10	75	16	14	5	3	1	0	1
港南台地域	(n=246)	84	25	32	3	36	23	15	8	71	21	11	6	5	1	2	1
永野地域	(n=196)	85	31	32	3	32	28	13	11	68	11	11	2	4	1	3	3
野庭団地・野庭住宅地域	(n=210)	89	39	32	4	33	28	11	10	64	9	14	5	6	1	2	1
下永谷地域	(n=95)	83	42	36	5	29	26	14	15	63	12	4	4	4	0	4	1
永谷地域	(n=80)	71	35	21	4	31	20	13	13	71	9	11	6	8	0	5	3
芹が谷地域	(n=142)	83	39	32	3	32	32	11	12	63	13	12	3	4	1	2	1
ひざり地域	(n=83)	88	34	41	4	27	35	17	13	77	11	13	2	10	1	1	1
日野南地域	(n=37)	86	41	27	3	35	41	16	14	68	16	16	0	0	0	0	0

[災害に備え自治会町内会が進めるべき取組]

問4 大地震などの災害に備え、今後、自治会町内会がどのような取組を進めるべきだと思いますか？（〇はいくつでも）

		食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発	避難場所（いっとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所）についての啓発	避難場所（いっとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所）の確保	声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方との声かけづくり	自治会町内会での備蓄（毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ）	火災発生時における延焼防止訓練	災害時におけるライフライン（電気、ガス、水道、電話など）に関する講習	防災訓練に参加してもらおうような積極的な呼びかけ	防災訓練の内容の充実	災害時要援護者（高齢者や子ども、障害者など）の見守り・支えあい	その他	特に進めるべき取組はない	無回答
全体	(n=2009)	50	62	42	51	17	35	20	18	42	2	3	3	
上大岡地域	(n=123)	53	68	48	51	18	39	17	16	46	1	2	2	
大久保最戸地域	(n=124)	52	69	38	53	13	30	19	16	35	1	2	2	
笹下地域	(n=193)	54	59	40	53	18	33	23	21	36	2	4	4	
日下地域	(n=139)	39	57	42	52	17	29	17	14	42	0	2	4	
日野地域	(n=209)	47	68	43	52	16	37	22	18	43	2	1	2	
日野第一地域	(n=79)	54	57	42	51	18	39	22	15	44	1	1	1	
港南台地域	(n=246)	53	63	39	52	18	37	18	17	42	2	2	3	
永野地域	(n=196)	45	60	46	46	14	37	22	14	40	2	4	4	
野庭団地・野庭住宅地域	(n=210)	51	60	45	53	15	35	19	16	46	3	0	4	
下永谷地域	(n=95)	53	60	34	47	19	34	18	18	41	1	6	3	
永谷地域	(n=80)	48	60	41	54	20	45	21	21	53	3	3	1	
芹が谷地域	(n=142)	51	63	47	54	18	32	24	20	40	2	2	4	
ひざり地域	(n=83)	53	59	46	58	27	47	23	25	46	4	4	4	
日野南地域	(n=37)	46	51	46	43	14	22	22	19	43	0	8	5	

%

[地域防災拠点と避難場所の認知]

問5 地震で開設される避難所（地域防災拠点）について知っていますか？（○はいくつでも）

%

	小・中・高・大学 で震度5強以上の地震が 発生すると避難所として 開設される	防災備蓄庫に必要最低限の 水・食料があり、物資の提 供を受けることができる	地域の方々を中心の運営 委員会が運営し、避難者も 運営に協力する	事前に避難所が地域ごとに 指定されている	感染防止対策の資器材が配 備され、運用のルールが決 まっている	地域防災拠点ごとに防災拠 点運営訓練を実施している	全て知らなかった	無回答
全体 (n=2009)	67	46	18	52	6	21	15	2
上大岡地域 (n=123)	63	42	16	46	8	20	20	1
大久保最戸地域 (n=124)	67	44	13	45	6	13	19	2
笹下地域 (n=193)	69	44	17	55	5	19	11	4
日下地域 (n=139)	65	40	16	42	9	19	23	1
日野地域 (n=209)	65	44	16	53	4	19	16	2
日野第一地域 (n=79)	78	53	20	53	4	15	10	3
港南台地域 (n=246)	66	51	17	53	8	23	14	3
永野地域 (n=196)	68	47	19	54	6	22	15	2
野庭団地・野庭住宅地域 (n=210)	67	44	19	53	4	19	15	4
下永谷地域 (n=95)	65	44	14	49	6	21	16	2
永谷地域 (n=80)	71	49	14	60	9	25	8	0
芹が谷地域 (n=142)	66	41	17	54	4	20	13	3
ひぎり地域 (n=83)	71	51	33	61	14	34	11	2
日野南地域 (n=37)	81	62	38	57	8	38	3	0

[地域防災拠点と避難場所の認知]

問5-2 大雨・洪水・台風で開設される避難場所について知っていますか？（○はいくつでも）

		地震で開設される避難所（地域防災拠点）とは別の場	風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が	備蓄倉庫は無く、避難者が水・食料を準備しなければ	状況に合わせて区職員が開設・運営する	避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動（親戚の家や近隣の頑丈な建物、自宅内の水平避難や垂直避難）を理解している	全て知らなかった	無回答
全体	(n=2009)	12	21	6	9	24	28	40	8
上大岡地域	(n=123)	18	22	7	7	26	28	43	7
大久保最戸地域	(n=124)	10	21	4	8	26	28	42	6
笹下地域	(n=193)	16	17	7	8	23	25	35	9
日下地域	(n=139)	9	21	9	10	22	21	46	6
日野地域	(n=209)	16	24	6	6	23	32	37	7
日野第一地域	(n=79)	13	18	8	14	23	27	42	5
港南台地域	(n=246)	12	26	6	13	25	26	37	8
永野地域	(n=196)	9	20	7	7	20	31	42	7
野庭団地・野庭住宅地域	(n=210)	10	16	5	9	25	25	39	14
下永谷地域	(n=95)	17	25	8	4	24	26	40	4
永谷地域	(n=80)	11	20	3	9	20	31	46	4
芹が谷地域	(n=142)	10	20	6	6	20	30	44	7
ひぎり地域	(n=83)	11	25	7	10	27	33	34	6
日野南地域	(n=37)	11	24	5	8	24	41	32	5

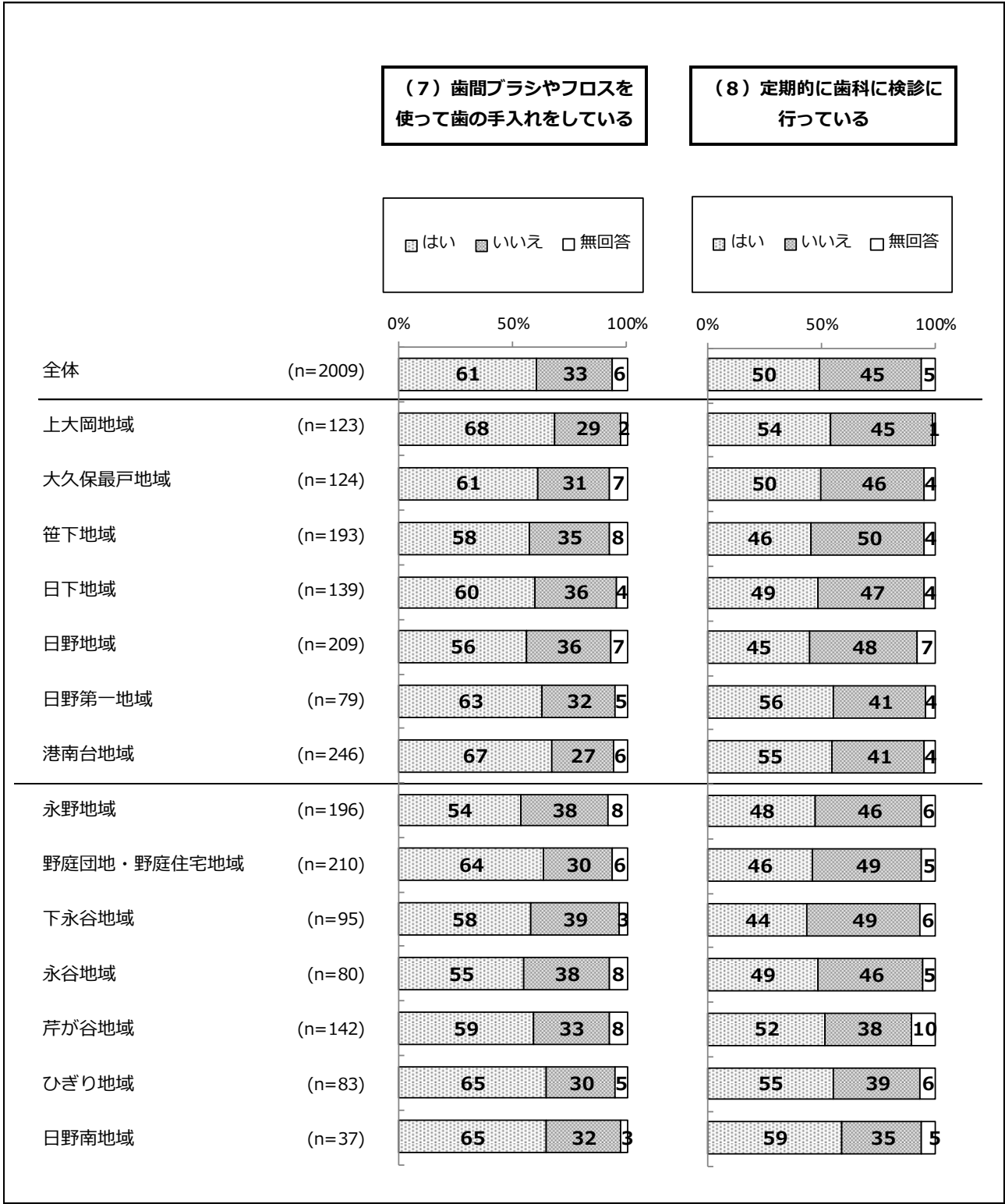
[防災に関する情報入手]

問6 災害に備えて、どんなことを知りたいと思いますか？（○はいくつでも）

		%										
		自分の身の守り方について	家族の安否確認や連絡手段について	今住んでいる自宅の安全について	避難所などに避難する必要があるかの判断について	自宅での避難生活（在宅避難）について	避難所での避難生活について	外出先からの帰宅について	災害情報の入手方法について	もとの生活に戻るかについて	何も心配はない	無回答
全体	(n=2009)	35	45	48	51	44	36	32	35	28	2	3
上大岡地域	(n=123)	34	50	51	60	51	36	35	41	30	1	0
大久保最戸地域	(n=124)	35	44	52	55	40	34	30	34	31	2	1
笹下地域	(n=193)	39	48	52	52	42	34	25	36	27	2	2
日下地域	(n=139)	34	42	47	45	39	36	34	33	29	1	2
日野地域	(n=209)	39	48	52	54	38	37	32	30	31	1	2
日野第一地域	(n=79)	38	48	53	43	41	37	30	34	37	1	4
港南台地域	(n=246)	35	37	41	53	44	35	35	33	26	3	3
永野地域	(n=196)	35	42	40	49	47	40	30	32	22	2	3
野庭団地・野庭住宅地域	(n=210)	31	46	53	48	43	35	29	34	30	2	6
下永谷地域	(n=95)	41	39	54	52	42	33	37	38	21	3	2
永谷地域	(n=80)	36	59	38	48	43	41	43	41	36	3	0
芹が谷地域	(n=142)	36	39	51	51	51	37	24	37	25	3	2
ひぎり地域	(n=83)	36	57	45	42	46	43	40	40	33	4	2
日野南地域	(n=37)	30	57	43	46	43	22	35	43	14	3	0

[健康のために行っていること]

問8 あなたが健康のために行っていることは何ですか？（それぞれ〇は1つ）



[地域活動 参加経験]

問10ア あなたが、お住まいの地域で、この1～2年の間に行った活動は何ですか？
(現在していることも含みます) (〇はいくつでも)

		地域の祭りやイベントへの参加	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	資源回収やリサイクル活動	子育てサロンへの参加	高齢者サロンへの参加	地域のNPOなどでのボランティア活動	スポーツ、趣味などのサークル活動	自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動	習い事や稽古事、スポーツなどの指導	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け	近所の子どもの見守りや声かけ	その他	特になし	無回答	%
全体	(n=2009)	17	12	15	17	3	3	3	10	11	4	4	7	1	43	14	
上大岡地域	(n=123)	11	11	8	15	2	2	3	7	9	6	2	6	2	50	10	
大久保最戸地域	(n=124)	11	6	8	10	2	3	2	8	9	6	4	7	2	58	14	
笹下地域	(n=193)	16	8	10	16	3	2	2	10	12	4	4	6	1	48	12	
日下地域	(n=139)	17	14	17	13	3	6	4	7	11	2	7	10	0	44	11	
日野地域	(n=209)	16	11	16	19	3	3	2	11	12	2	3	7	1	35	18	
日野第一地域	(n=79)	20	15	11	14	3	1	3	8	8	3	1	8	1	53	11	
港南台地域	(n=246)	20	11	13	17	4	2	3	11	11	6	4	8	2	39	11	
永野地域	(n=196)	15	12	17	21	1	4	4	12	10	6	6	3	0	42	16	
野庭団地・野庭住宅地域	(n=210)	24	15	15	20	1	4	3	13	16	7	5	7	1	37	20	
下永谷地域	(n=95)	23	19	19	18	6	5	3	19	15	3	5	7	1	41	17	
永谷地域	(n=80)	11	11	11	10	3	0	0	6	8	3	1	5	0	44	20	
芹が谷地域	(n=142)	14	11	13	21	2	5	1	8	13	0	4	6	0	42	16	
ひぎり地域	(n=83)	30	23	28	18	2	6	7	11	13	8	4	13	1	30	11	
日野南地域	(n=37)	27	16	49	35	0	8	5	11	11	8	5	11	0	22	3	

[地域活動 参加意向]

問10イ 今後してみたい（「過去にしていた・現在している」方は、今後もしたい）
と思う活動は何ですか？（〇はいくつでも）

		地域の祭りやイベントへの参加	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	資源回収やリサイクル活動	子育てサロンへの参加	高齢者サロンへの参加	地域のNPOなどでのボランティア活動	スポーツ、趣味などのサークル活動	自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動	習い事や稽古事、スポーツなどの指導	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け	近所の子どもの見守りや声かけ	その他	特になし	無回答	%
全体	(n=2009)	25	11	16	13	4	7	8	19	6	6	8	12	1	29	21	
上大岡地域	(n=123)	25	11	17	14	2	3	8	17	7	5	8	12	2	32	16	
大久保最戸地域	(n=124)	21	3	10	10	8	6	8	20	4	4	7	13	0	28	21	
笹下地域	(n=193)	27	9	13	11	4	5	4	15	6	3	6	9	0	28	21	
日下地域	(n=139)	20	12	14	11	6	4	4	16	4	6	8	13	0	33	22	
日野地域	(n=209)	30	12	16	18	4	8	9	21	6	6	11	12	1	26	19	
日野第一地域	(n=79)	25	11	16	11	5	8	11	13	3	5	9	14	0	42	16	
港南台地域	(n=246)	26	13	16	15	7	9	11	22	9	7	11	11	1	26	19	
永野地域	(n=196)	21	8	16	13	2	11	5	24	6	9	8	8	1	27	20	
野庭団地・野庭住宅地域	(n=210)	24	11	14	13	3	7	9	20	4	8	8	13	1	24	30	
下永谷地域	(n=95)	27	17	21	15	3	6	6	16	9	7	9	16	1	28	21	
永谷地域	(n=80)	30	13	11	10	6	1	6	23	6	4	9	15	1	25	19	
芹が谷地域	(n=142)	20	10	21	16	2	6	8	14	5	3	5	8	0	32	21	
ひぎり地域	(n=83)	29	14	25	14	7	7	16	25	11	16	11	23	1	22	16	
日野南地域	(n=37)	22	8	24	22	3	11	16	16	8	3	8	8	0	32	19	

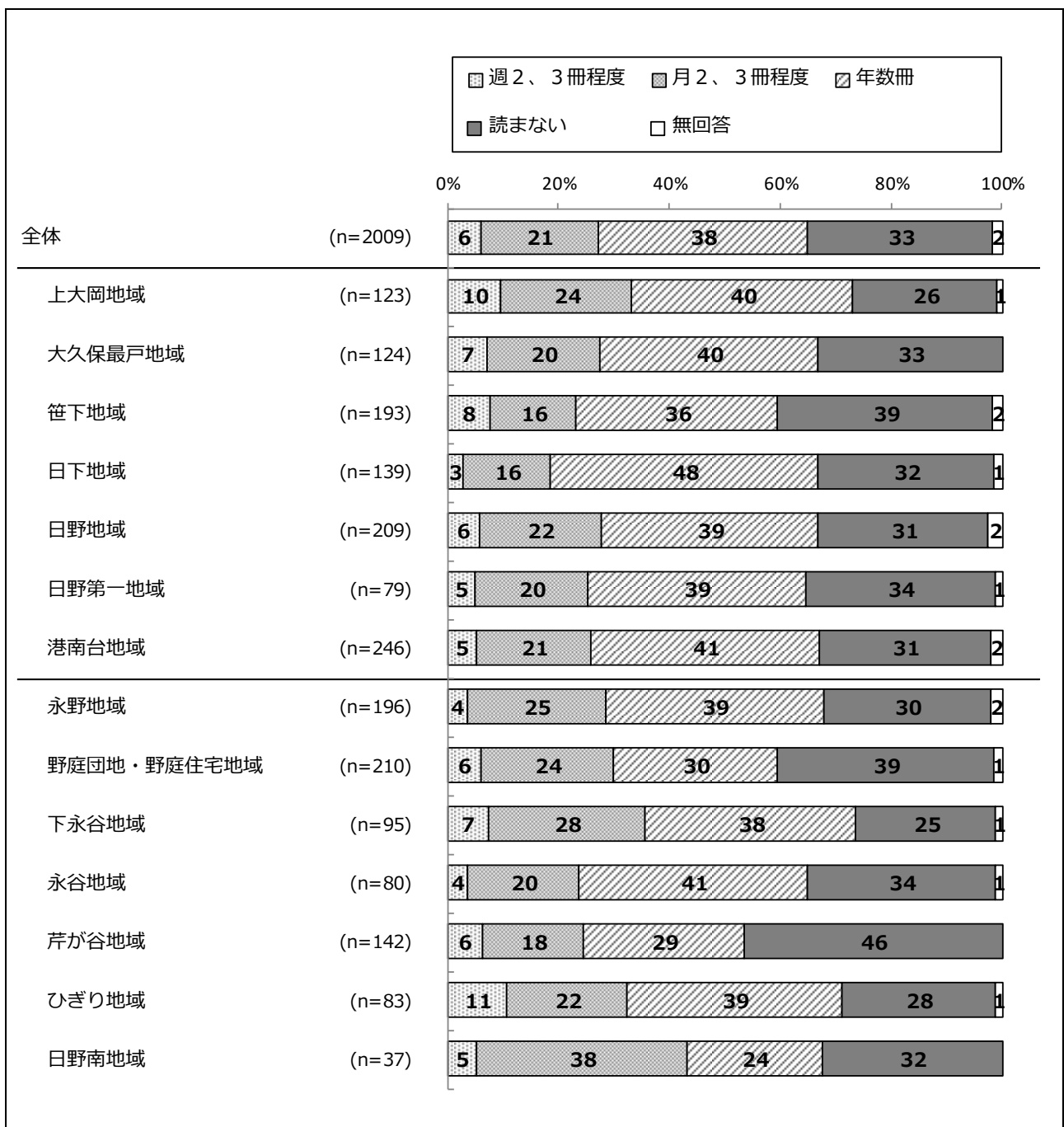
[地域活動 充実すべき地域活動]

問10ウ 今後、地域の中でより充実させていくべき、重要度が高いと考える活動は何ですか？
(○はいくつでも)

		地域の祭りやイベントへの参加	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	資源回収やリサイクル活動	子育てサロンへの参加	高齢者サロンへの参加	地域のNPOなどでのボランティア活動	スポーツ、趣味などのサークル活動	自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動	習い事や稽古事、スポーツなどの指導	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け	近所の子どもの見守りや声かけ	その他	特になし	無回答
全体	(n=2009)	15	29	24	21	7	10	10	12	6	5	27	26	1	18	21
上大岡地域	(n=123)	23	32	28	28	6	8	7	11	7	4	27	24	1	19	15
大久保最戸地域	(n=124)	15	31	22	13	5	10	10	10	7	6	27	27	2	22	16
笹下地域	(n=193)	21	27	21	20	12	10	7	12	8	6	26	26	2	19	21
日下地域	(n=139)	15	31	27	13	9	9	9	9	4	5	30	25	1	19	21
日野地域	(n=209)	13	35	31	23	7	12	12	9	6	2	26	30	0	17	20
日野第一地域	(n=79)	19	34	24	16	8	13	14	6	6	4	32	30	1	19	19
港南台地域	(n=246)	13	28	24	22	10	13	13	13	8	8	30	27	3	13	21
永野地域	(n=196)	13	21	21	20	7	9	8	16	7	8	26	25	1	19	20
野庭団地・野庭住宅地域	(n=210)	15	30	22	22	4	10	10	12	7	4	24	23	1	15	30
下永谷地域	(n=95)	16	27	29	23	3	8	11	9	8	2	18	22	0	22	25
永谷地域	(n=80)	14	38	29	21	8	10	11	16	4	3	36	34	1	15	20
芹が谷地域	(n=142)	10	25	19	20	2	8	8	9	1	2	21	20	0	27	24
ひぎり地域	(n=83)	14	29	25	22	6	7	11	16	6	8	30	27	2	17	18
日野南地域	(n=37)	16	22	19	35	5	16	11	14	14	3	30	30	0	19	19

[本を読む頻度]

問15 あなたは、どのくらい本を読みますか？（マンガ・教科書を除く）（○は1つ）



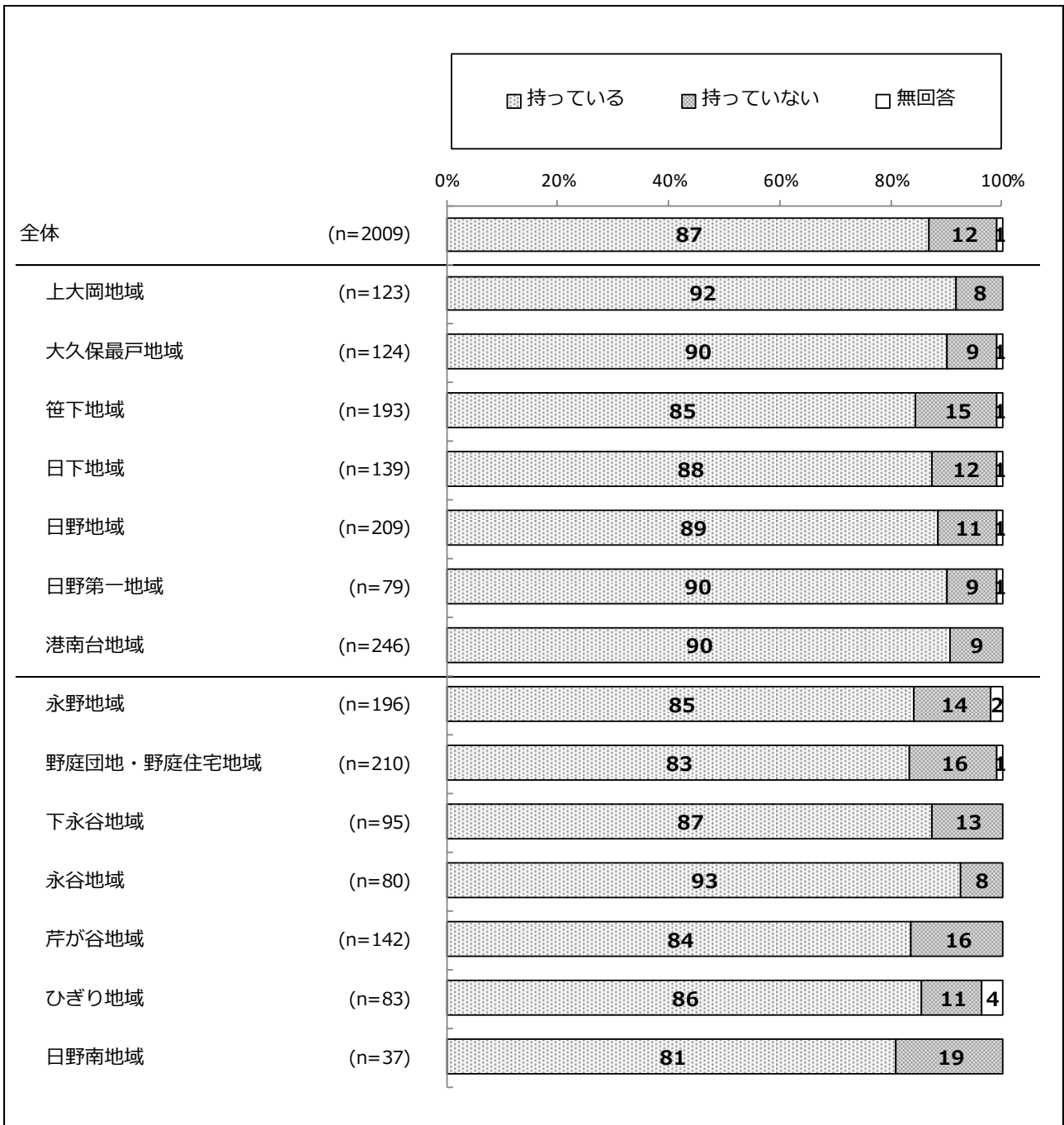
[本を読む頻度]

※問15で「年数冊」「読まない」と回答した方のみ
問15-2 本を読まない理由は何ですか？(○はいくつでも)

		%									
		読みたいと思う本がない	読みたいがどんな本があるかわからない	他の趣味がある	文字が読みにくくなった、文字を読むことが苦手	インターネットやテレビなどの方がおもしろい	コストがかかる	近くに本を借りる場所・買う手段がない	本を読む時間がない	その他	無回答
全体	(n=1432)	13	5	25	28	30	5	3	34	7	5
上大岡地域	(n=81)	15	4	30	21	30	7	7	32	4	5
大久保最戸地域	(n=90)	7	3	27	26	22	4	2	33	13	4
笹下地域	(n=145)	14	3	25	27	31	7	5	32	6	6
日下地域	(n=111)	15	3	23	22	20	8	5	41	9	6
日野地域	(n=146)	16	5	29	30	31	5	5	36	5	4
日野第一地域	(n=58)	17	7	29	19	28	5	0	34	10	12
港南台地域	(n=177)	10	6	28	30	30	7	3	42	5	1
永野地域	(n=136)	17	7	24	29	32	3	1	35	6	4
野庭団地・野庭住宅地域	(n=144)	12	6	25	44	35	2	1	20	7	6
下永谷地域	(n=60)	17	7	28	25	27	5	2	25	3	7
永谷地域	(n=60)	15	5	15	17	23	5	5	45	8	2
芹が谷地域	(n=107)	11	5	21	27	40	7	5	24	13	5
ひざり地域	(n=55)	4	5	16	33	40	2	0	35	7	2
日野南地域	(n=21)	19	5	10	48	19	10	0	33	5	5

[スマートフォン所有の有無]

問18 あなたはスマートフォンをお持ちですか？（〇はいくつでも）



[スマートフォンで使用する機能]

問18-2 問18で「1 持っている」に○をつけた方にお尋ねします。
 スマートフォンのどのような機能を使っていますか？ (○はいくつでも)

		電話	電子メールの送受信	LINEなどによるメッセージの送受信	SNS (Twitter、Facebookなど)	カメラでの写真撮影・二次元バーコードの読取	電子決済 (LINE Pay、PayPayなど)	ネットショッピング	動画視聴 (YouTubeなど)	ゲーム	地図、乗換案内、タクシーアプリ	情報の検索・ニュースの閲覧	電子申請などの行政手続き	その他	無回答	%
全体	(n=1747)	92	79	87	37	83	41	51	57	37	72	72	23	2	0	
上大岡地域	(n=113)	96	86	88	44	83	46	55	62	36	78	70	28	0	0	
大久保最戸地域	(n=112)	91	78	86	37	81	38	46	56	38	71	75	21	1	0	
笹下地域	(n=164)	93	79	87	41	82	40	52	63	41	73	69	27	2	0	
日下地域	(n=122)	90	76	88	34	82	45	55	63	45	73	75	25	3	0	
日野地域	(n=185)	93	81	86	43	83	45	51	57	37	76	76	27	2	0	
日野第一地域	(n=71)	93	72	90	37	87	45	52	62	34	72	70	31	4	0	
港南台地域	(n=222)	90	81	90	37	86	45	55	60	35	77	78	23	1	0	
永野地域	(n=166)	89	80	86	36	82	38	44	54	36	70	75	21	2	0	
野庭団地・野庭住宅地域	(n=175)	97	73	86	28	83	34	47	50	34	66	70	18	1	0	
下永谷地域	(n=83)	90	73	89	31	84	31	45	47	41	64	61	22	0	0	
永谷地域	(n=74)	92	77	88	41	85	42	47	59	39	80	73	19	1	0	
芹が谷地域	(n=119)	94	78	91	29	84	36	50	53	36	68	72	17	2	0	
ひぎり地域	(n=71)	90	82	82	39	76	39	54	55	25	73	66	27	1	0	
日野南地域	(n=30)	90	87	90	33	87	37	43	47	33	60	67	17	0	0	

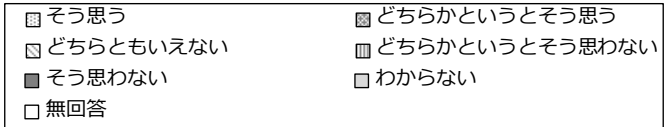
[今後得たい市や区の情報の入手手段]

問19イ 今後、情報を得たいと思う媒体・方法は何ですか？（○はいくつでも）

		広報よこはま	市・区のウェブサイト（ホームページ）	市のLINE公式アカウント	市・区のTwitter公式アカウント	区のビッザ公式アカウント	公共施設に配架されているチラシ・パンフレット	自治会町内会の回覧板・掲示板	タウン情報誌	新聞	テレビ・ラジオ	市・区役所窓口や電話での問い合わせ	公共交通機関（電車・バス）の交通広告	市・区以外のウェブサイト（ホームページ）	知人・家族からの情報	その他	特にない	無回答	%
全体	(n=2009)	28	25	17	8	2	9	19	13	12	16	6	9	7	9	0	17	28	
上大岡地域	(n=123)	30	24	26	11	2	10	15	9	13	18	7	7	8	7	1	15	23	
大久保最戸地域	(n=124)	30	28	22	10	3	9	15	10	8	21	4	10	11	11	2	18	22	
笹下地域	(n=193)	23	24	20	9	1	7	17	11	8	12	6	8	5	5	0	17	28	
日下地域	(n=139)	24	22	15	6	3	6	14	8	9	10	6	9	6	9	1	17	32	
日野地域	(n=209)	31	23	13	11	2	11	20	14	13	15	8	9	6	12	0	15	32	
日野第一地域	(n=79)	25	27	25	5	0	6	16	14	9	13	5	6	5	8	0	15	25	
港南台地域	(n=246)	35	26	14	7	2	10	22	22	16	19	6	8	6	11	0	17	23	
永野地域	(n=196)	32	27	14	7	4	10	22	16	15	15	7	12	6	11	1	20	26	
野庭団地・野庭住宅地域	(n=210)	28	23	17	8	3	10	20	15	11	18	6	9	8	8	0	10	36	
下永谷地域	(n=95)	26	24	16	8	2	9	20	13	13	15	8	6	8	6	0	20	31	
永谷地域	(n=80)	29	33	21	5	4	10	19	11	10	18	6	11	6	13	0	13	26	
芹が谷地域	(n=142)	27	23	13	8	0	6	18	11	12	14	4	9	7	6	0	20	31	
ひぎり地域	(n=83)	14	33	17	6	0	7	20	10	11	13	10	6	8	11	0	18	29	
日野南地域	(n=37)	35	22	16	5	3	14	32	19	11	24	5	5	5	14	0	19	24	

[各地域別概要]

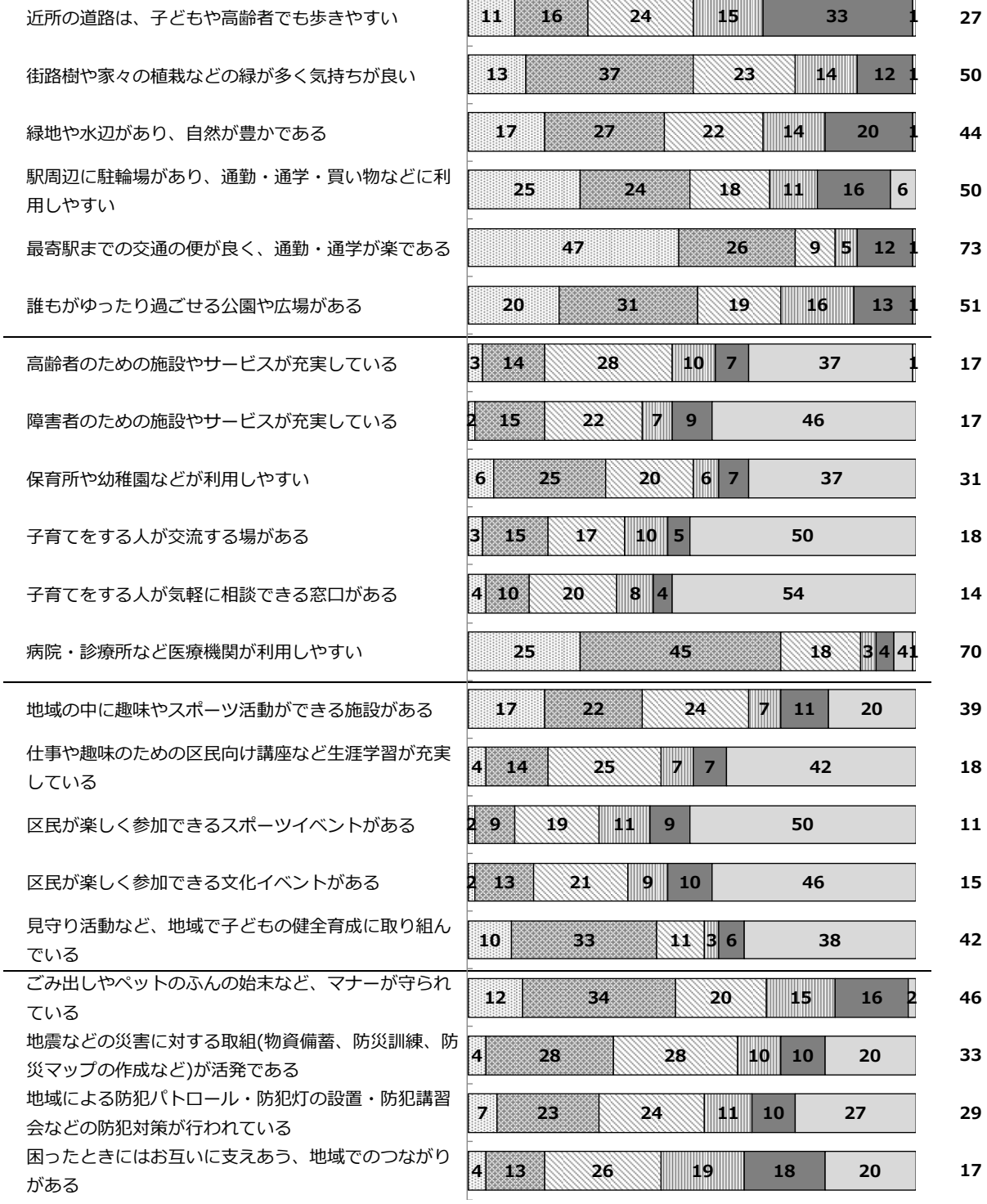
【生活環境全般に対して感じていること】



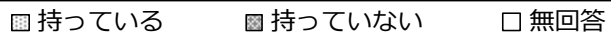
そう思う+
どちらか
というと思
う

(n=123)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

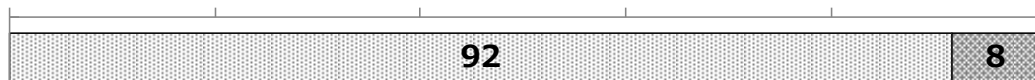


【スマートフォンを持っているか】



(n=123)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



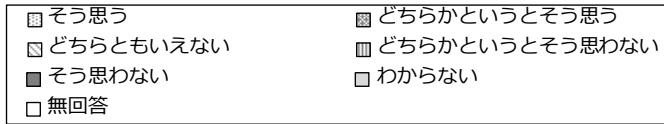
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
防災・減災	災害への備え・対策 (n=123)	食料や飲み水を備蓄している 76%	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している 69%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している 63%	基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている 59%	消火器を設置している 49%
	防災に関する情報の入手手段 (n=123)	テレビ 82%	インターネット(PC、スマートフォンなど) 80%	ラジオ 33%	県や市・区の広報紙 29%	新聞 24%
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=123)	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発 68%	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発 53%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ) 51%	声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり 48%	災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい 46%
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=123)	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される 63%	事前に避難所が地域ごとに指定されている 46%	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる 42%	* 地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している * 全て知らなかった 20%	
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=123)	全て知らなかった 43%	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している 28%	避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき 26%	風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される 22%	地震で開設される避難所(地域防災拠点)とは別の場所にある 18%
	防災に関して知りたいこと (n=123)	避難所などに避難する必要があるかの判断について 60%	* 今住んでいる自宅の安全について * 自宅での避難生活(在宅避難)について 51%	家族の安否確認や連絡手段について 50%	災害情報の入手方法について 41%	
地域活動	参加経験 (n=123)	資源回収やリサイクル活動 15%	* 地域の祭りやイベントへの参加 * 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 11%	自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動 9%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 8%	
	参加意向 (n=123)	地域の祭りやイベントへの参加 25%	* 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 * スポーツ、趣味などのサークル活動 17%	資源回収やリサイクル活動 14%	近所の子どもの見守りや声かけ 12%	
	重要度が高い地域活動 (n=123)	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 32%	* 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 * 資源回収やリサイクル活動 28%	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け 27%	近所の子どもの見守りや声かけ 24%	

※同率の項目には「*」印をつけています。

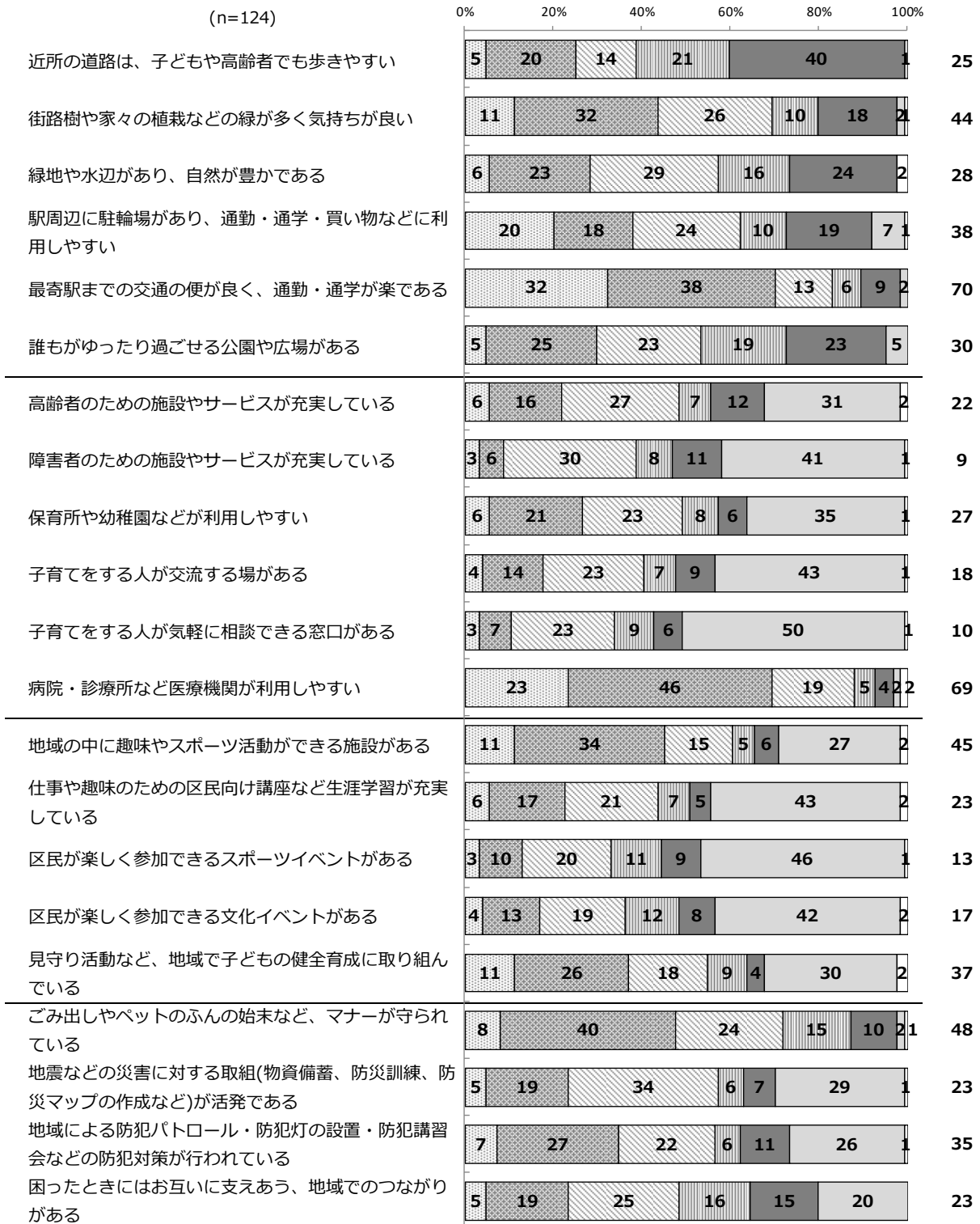
大久保最戸地域

【生活環境全般に対して感じていること】

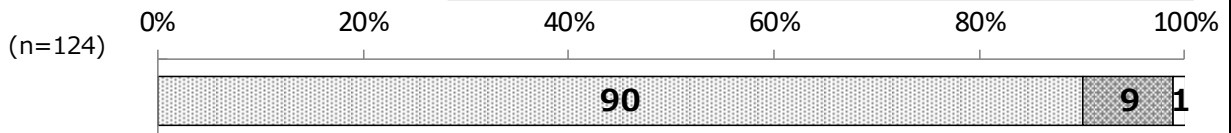
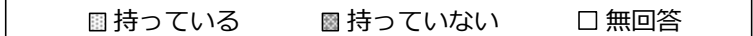


そう思う+
どちらかとい
うとそう
思う

(n=124)



【スマートフォンを持っているか】



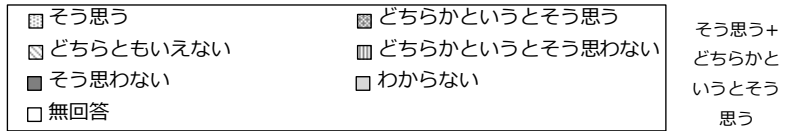
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
防災・減災	災害への備え・対策 (n=124) 68%	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している 65%	食料や飲み水を備蓄している 56%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している 50%	基本的には重いものは、高い所に置かないようにしている 48%
	防災に関する情報の入手手段 (n=124) 90%	テレビ 78%	インターネット(PC、スマートフォンなど) 43%	ラジオ 31%	町内の回覧板や掲示板 25%
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=124) 69%	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発 53%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ) 52%	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発 38%	声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり 35%
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=124) 67%	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される 45%	事前に避難所が地域ごとに指定されている 44%	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる 19%	* 地域の方々を中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する * 地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している 13%
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=124) 42%	全て知らなかった 28%	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している 26%	避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき 21%	風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される 10%
	防災に関して知りたいこと (n=124) 55%	避難所などに避難する必要があるかの判断について 52%	今住んでいる自宅の安全について 44%	家族の安否確認や連絡手段について 40%	自宅での避難生活(在宅避難)について 35%
地域活動	参加経験 (n=124) 11%	地域の祭りやイベントへの参加 10%	資源回収やリサイクル活動 9%	自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動 8%	* 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 * スポーツ、趣味などのサークル活動
	参加意向 (n=124) 21%	地域の祭りやイベントへの参加 20%	スポーツ、趣味などのサークル活動 13%	近所の子どもの見守りや声かけ 10%	* 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 * 資源回収やリサイクル活動
	重要度が高い地域活動 (n=124) 31%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 27%	* 近所の高齢者や障害者の見守りや手助け * 近所の子どもの見守りや声かけ 22%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 15%	地域の祭りやイベントへの参加

※同率の項目には「*」印をつけています。

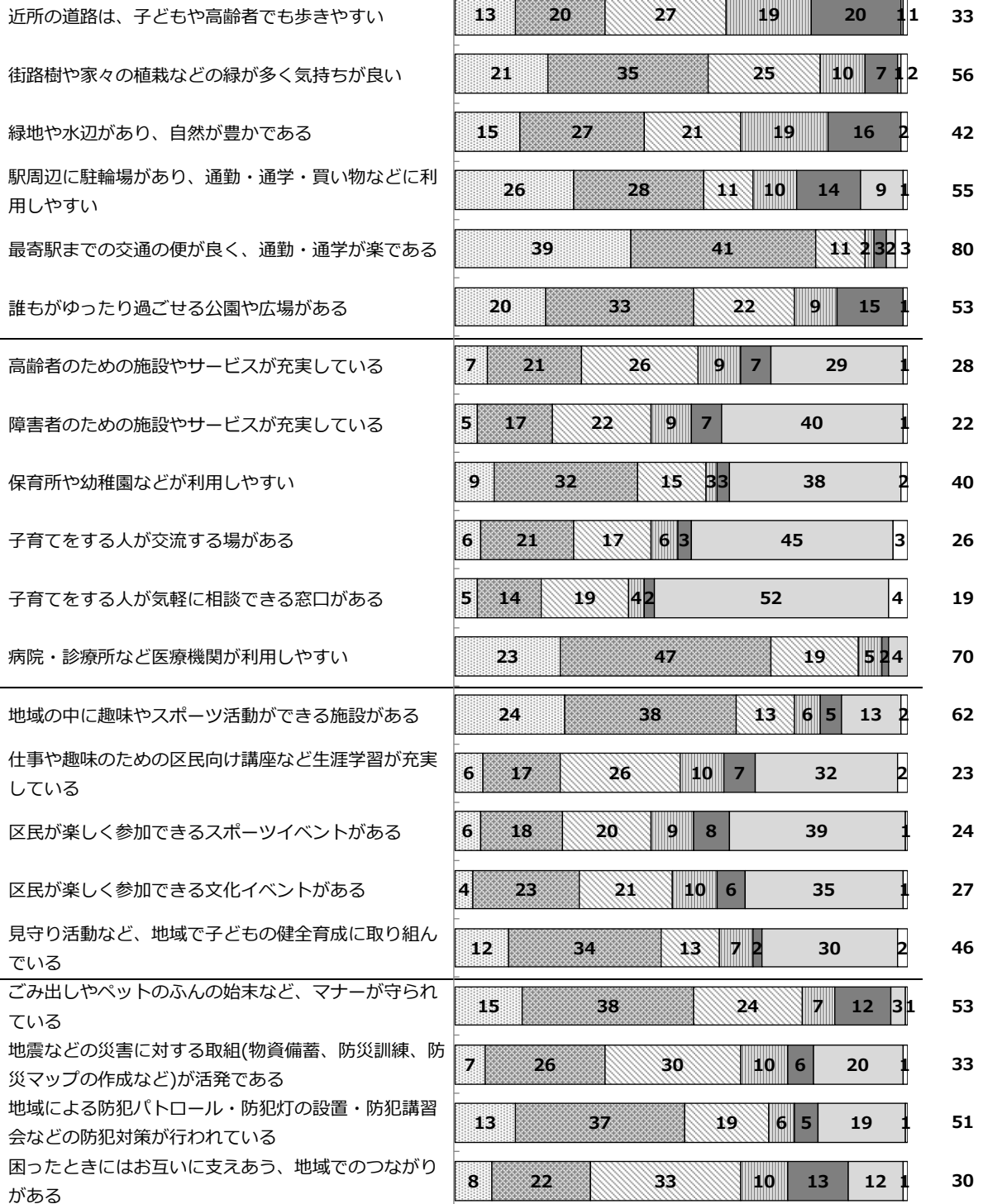
笹下地域

【生活環境全般に対して感じていること】



(n=193)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

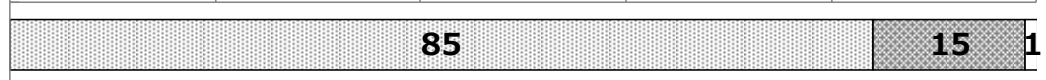


【スマートフォンを持っているか】



0% 20% 40% 60% 80% 100%

(n=193)



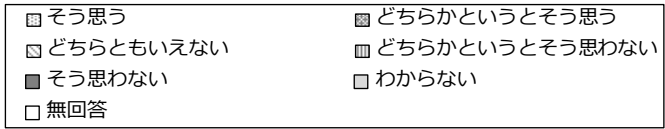
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
防災・減災	災害への備え・対策 (n=193)	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している 68%	* 基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている * 食料や飲み水を備蓄している	63%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している 60%	消火器を設置している 47%
	防災に関する情報の入手手段 (n=193)	テレビ 82%	インターネット(PC、スマートフォンなど) 71%	ラジオ 33%	県や市・区の広報紙 25%	町内の回覧板や掲示板 23%
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=193)	避難場所(いっつき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発 59%	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発 54%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ) 53%	声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり 40%	災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい 36%
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=193)	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される 69%	事前に避難所が地域ごとに指定されている 55%	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる 44%	地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している 19%	地域の方々が中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する 17%
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=193)	全て知らなかった 35%	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している 25%	避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき 23%	風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される 17%	地震で開設される避難所(地域防災拠点)とは別の場所にある 16%
	防災に関して知りたいこと (n=193)	* 今住んでいる自宅の安全について * 避難所などに避難する必要があるかの判断について 52%	家族の安否確認や連絡手段について 48%	自宅での避難生活(在宅避難)について 42%	自分の身の守り方について 39%	
地域活動	参加経験 (n=193)	* 地域の祭りやイベントへの参加 * 資源回収やリサイクル活動 16%	自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動 12%	* 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 * スポーツ、趣味などのサークル活動 10%		
	参加意向 (n=193)	地域の祭りやイベントへの参加 27%	スポーツ、趣味などのサークル活動 15%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 13%	資源回収やリサイクル活動 11%	* 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 * 近所の子どもの見守りや声かけ 9%
	重要度が高い地域活動 (n=193)	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 27%	* 近所の高齢者や障害者の見守りや手助け * 近所の子どもの見守りや声かけ 26%	* 地域の祭りやイベントへの参加 * 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 21%		

※同率の項目には「*」印をつけています。

日下地域

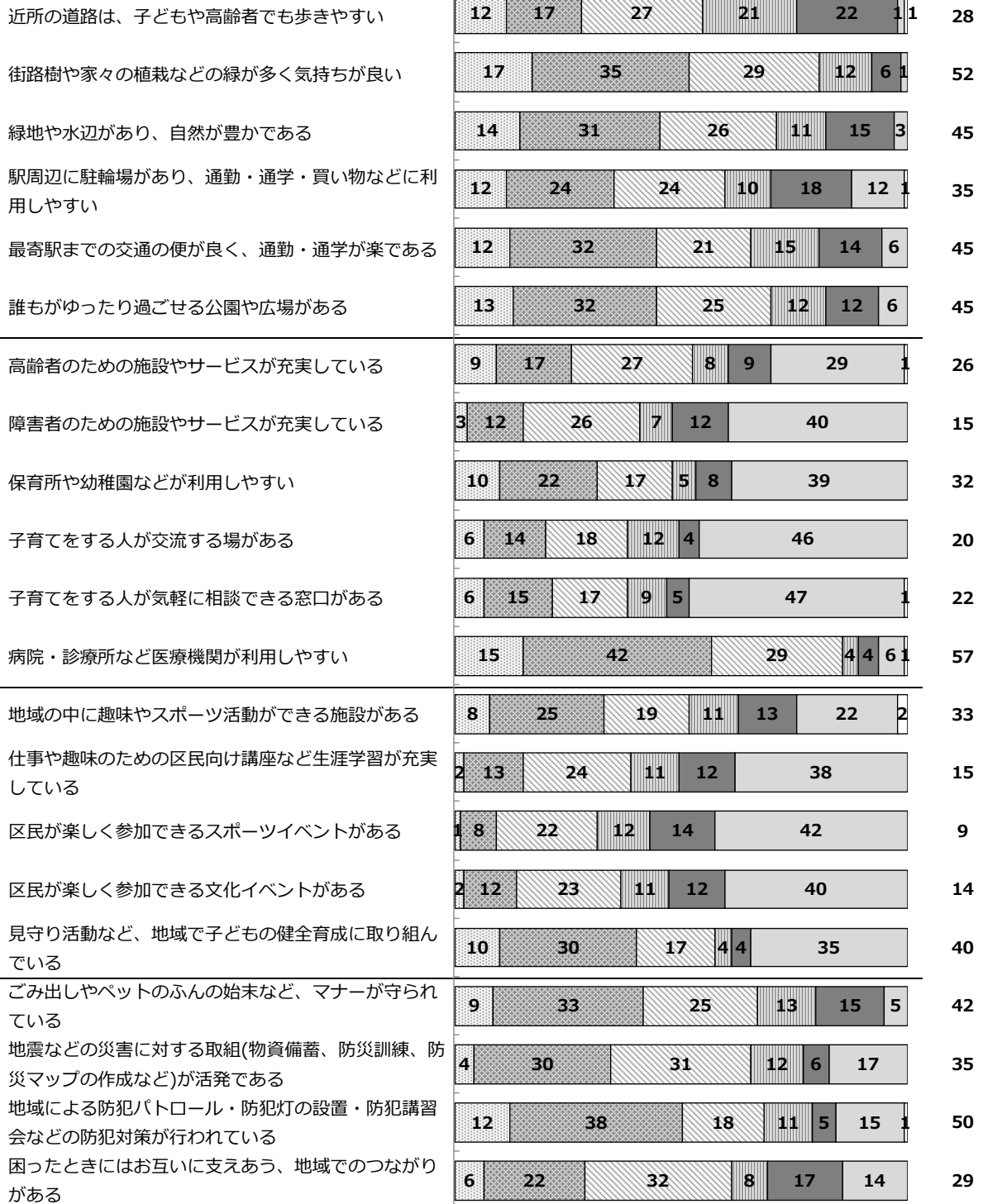
【生活環境全般に対して感じていること】



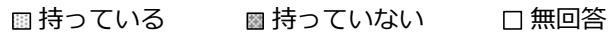
そう思う+
どちらか
というと思
う

(n=139)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

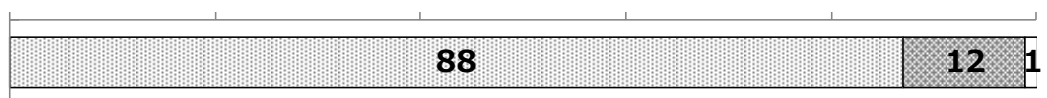


【スマートフォンを持っているか】



(n=139)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



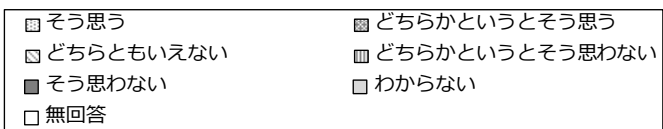
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
災害への備え・対策 (n=139)	*食料や飲み水を備蓄している *携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	62%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している	基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている	消火器を設置している
防災に関する情報の入手手段 (n=139)	テレビ	78%	インターネット(PC、スマートフォンなど)	ラジオ	県や市・区の広報紙 町内の回覧板や掲示板
災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=139)	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発	57%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ)	*声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり *災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発
地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=139)	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される	65%	事前に避難所が地域ごとに指定されている	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる	全て知らなかった 地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している
風水害で開設される避難場所の認知 (n=139)	全て知らなかった	46%	避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき	*風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される *避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している	状況に合わせて区職員が開設・運営する
防災に関して知りたいこと (n=139)	今住んでいる自宅の安全について	47%	避難所などに避難する必要があるかの判断について	家族の安否確認や連絡手段について	自宅での避難生活(在宅避難)について 避難所での避難生活について
参加経験 (n=139)	*地域の祭りやイベントへの参加 *身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	17%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	資源回収やリサイクル活動	自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動
参加意向 (n=139)	地域の祭りやイベントへの参加	20%	スポーツ、趣味などのサークル活動	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	近所の子どもの見守りや声かけ 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動
重要度が高い地域活動 (n=139)	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	31%	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	近所の子どもの見守りや声かけ 地域の祭りやイベントへの参加

※同率の項目には「*」印をつけています。

日野地域

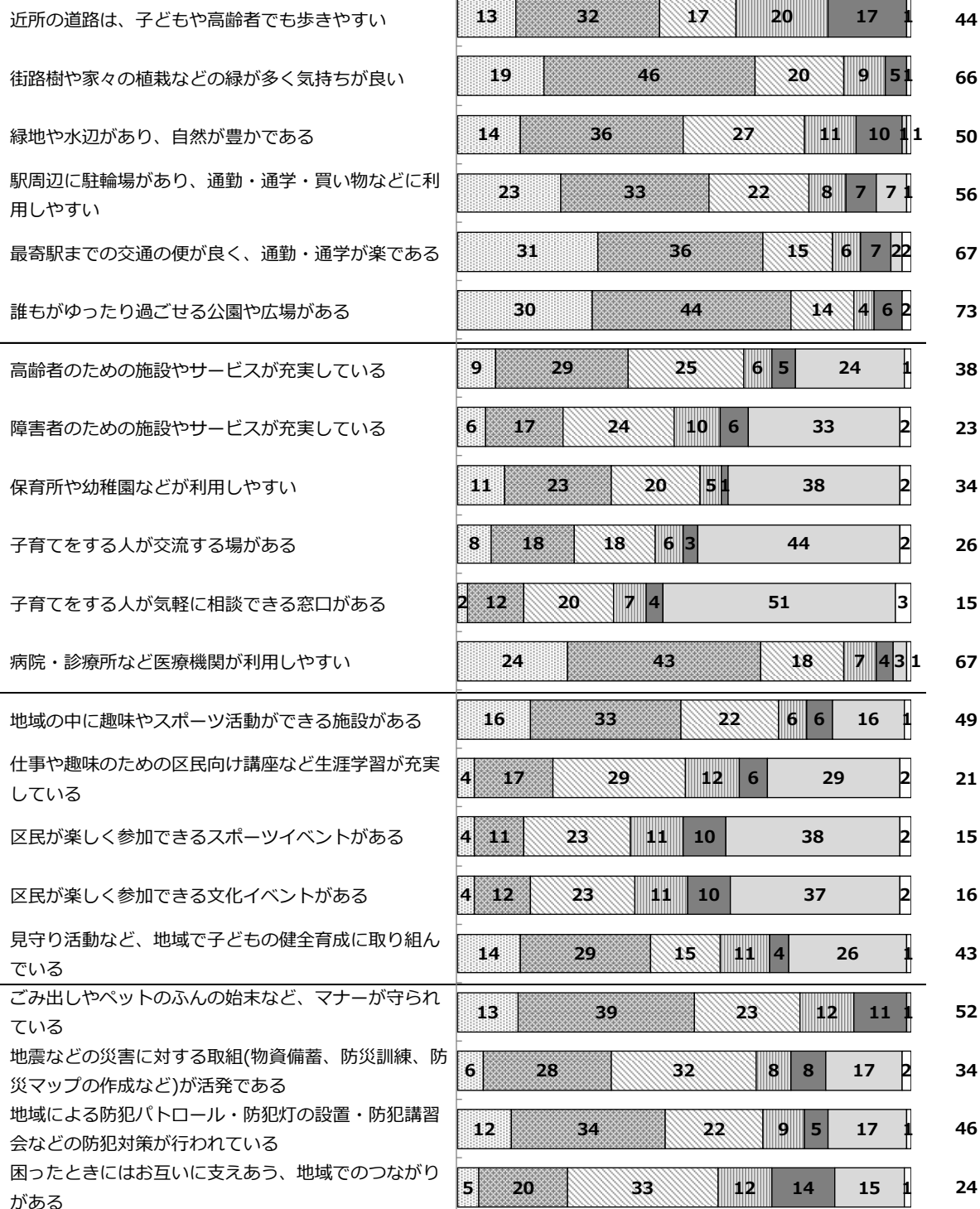
【生活環境全般に対して感じていること】



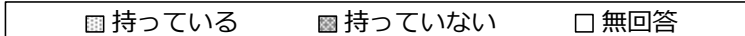
そう思う+
どちらか
というそ
う思う

(n=209)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【スマートフォンを持っているか】



0% 20% 40% 60% 80% 100%

(n=209)



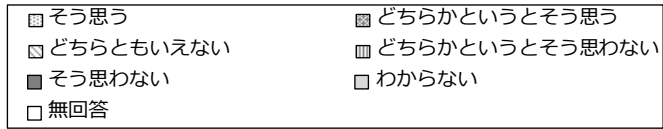
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
防災・減災	災害への備え・対策 (n=209)	食料や飲み水を備蓄している 69%	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している 68%	基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている 64%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している 62%	消火器を設置している 49%
	防災に関する情報の入手手段 (n=209)	テレビ 84%	インターネット(PC、スマートフォンなど) 71%	ラジオ 33%	* 県や市・区の広報紙 * 町内の回覧板や掲示板 30%	
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=209)	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発 68%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ) 52%	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発 47%	* 声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり * 災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい 43%	
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=209)	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される 65%	事前に避難所が地域ごとに指定されている 53%	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けられる 44%	地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している 19%	* 地域の方々が中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する * 全て知らなかった 16%
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=209)	全て知らなかった 37%	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している 32%	風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される 24%	避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき 23%	地震で開設される避難所(地域防災拠点)とは別の場所にある 16%
	防災に関して知りたいこと (n=209)	避難所などに避難する必要があるかの判断について 54%	今住んでいる自宅の安全について 52%	家族の安否確認や連絡手段について 48%	自分の身の守り方について 39%	自宅での避難生活(在宅避難)について 38%
地域活動	参加経験 (n=209)	資源回収やリサイクル活動 19%	* 地域の祭りやイベントへの参加 * 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 16%		自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動 12%	* 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 * スポーツ、趣味などのサークル活動 11%
	参加意向 (n=209)	地域の祭りやイベントへの参加 30%	スポーツ、趣味などのサークル活動 21%	資源回収やリサイクル活動 18%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 16%	* 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 * 近所の子どもの見守りや声かけ 12%
	重要度が高い地域活動 (n=209)	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 35%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 31%	近所の子どもの見守りや声かけ 30%	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け 26%	資源回収やリサイクル活動 23%

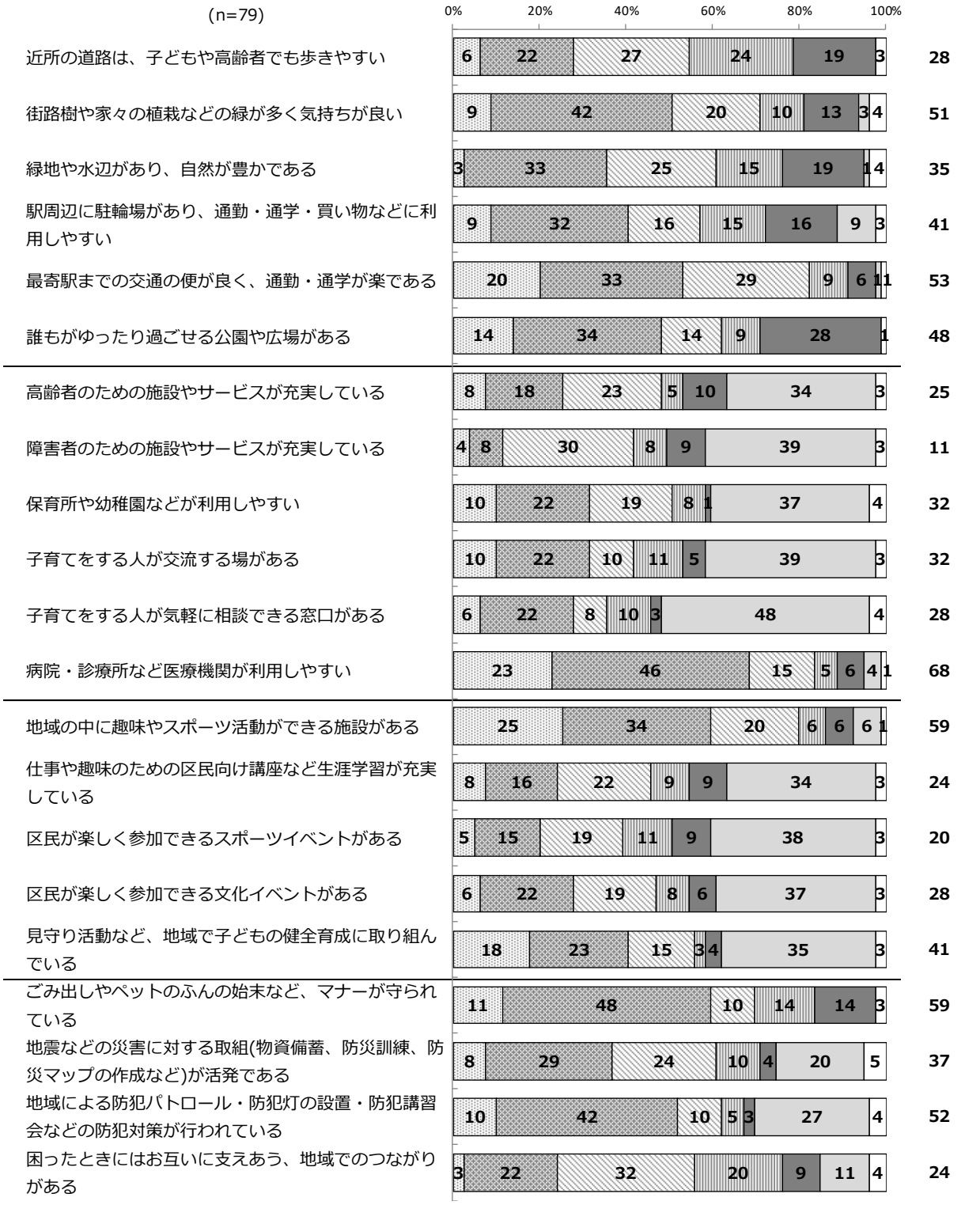
※同率の項目には「*」印をつけています。

日野第一地域

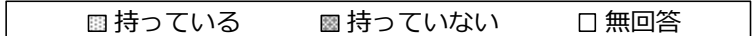
【生活環境全般に対して感じていること】



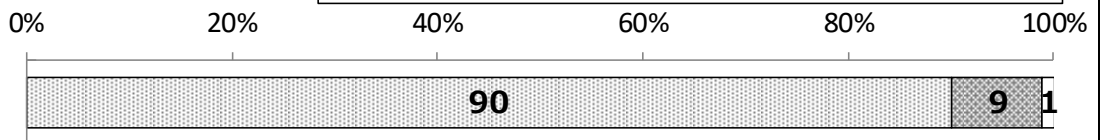
(n=79)



【スマートフォンを持っているか】



(n=79)



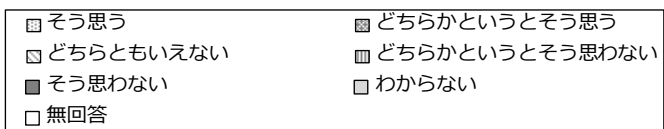
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
防災・減災	災害への備え・対策 (n=79)	食料や飲み水を備蓄している 68%	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している 66%	基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている 61%	* 消火器を設置している * 寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している 54%	
	防災に関する情報の入手手段 (n=79)	テレビ 80%	インターネット(PC、スマートフォンなど) 75%	ラジオ 33%	* 新聞 * 県や市・区の広報紙 29%	
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=79)	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発 57%	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発 54%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ) 51%	災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい 44%	声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり 42%
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=79)	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される 78%	* 防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる * 事前に避難所が地域ごとに指定されている 53%	53%	地域の方々が中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する 20%	地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している 15%
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=79)	全て知らなかった 42%	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している 27%	避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき 23%	風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される 18%	状況に合わせて区職員が開設・運営する 14%
	防災に関して知りたいこと (n=79)	今住んでいる自宅の安全について 53%	家族の安否確認や連絡手段について 48%	避難所などに避難する必要があるかの判断について 43%	自宅での避難生活(在宅避難)について 41%	自分の身の守り方について 38%
地域活動	参加経験 (n=79)	地域の祭りやイベントへの参加 20%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 15%	資源回収やリサイクル活動 14%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 11%	* スポーツ、趣味などのサークル活動 * 自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動 * 近所の子どもの見守りや声かけ 8%
	参加意向 (n=79)	地域の祭りやイベントへの参加 25%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 16%	近所の子どもの見守りや声かけ 14%	スポーツ、趣味などのサークル活動 13%	* 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 * 資源回収やリサイクル活動 * 地域のNPOなどでのボランティア活動 11%
	重要度が高い地域活動 (n=79)	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 34%	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け 32%	近所の子どもの見守りや声かけ 30%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 24%	地域の祭りやイベントへの参加 19%

※同率の項目には「*」印をつけています。

港南台地域

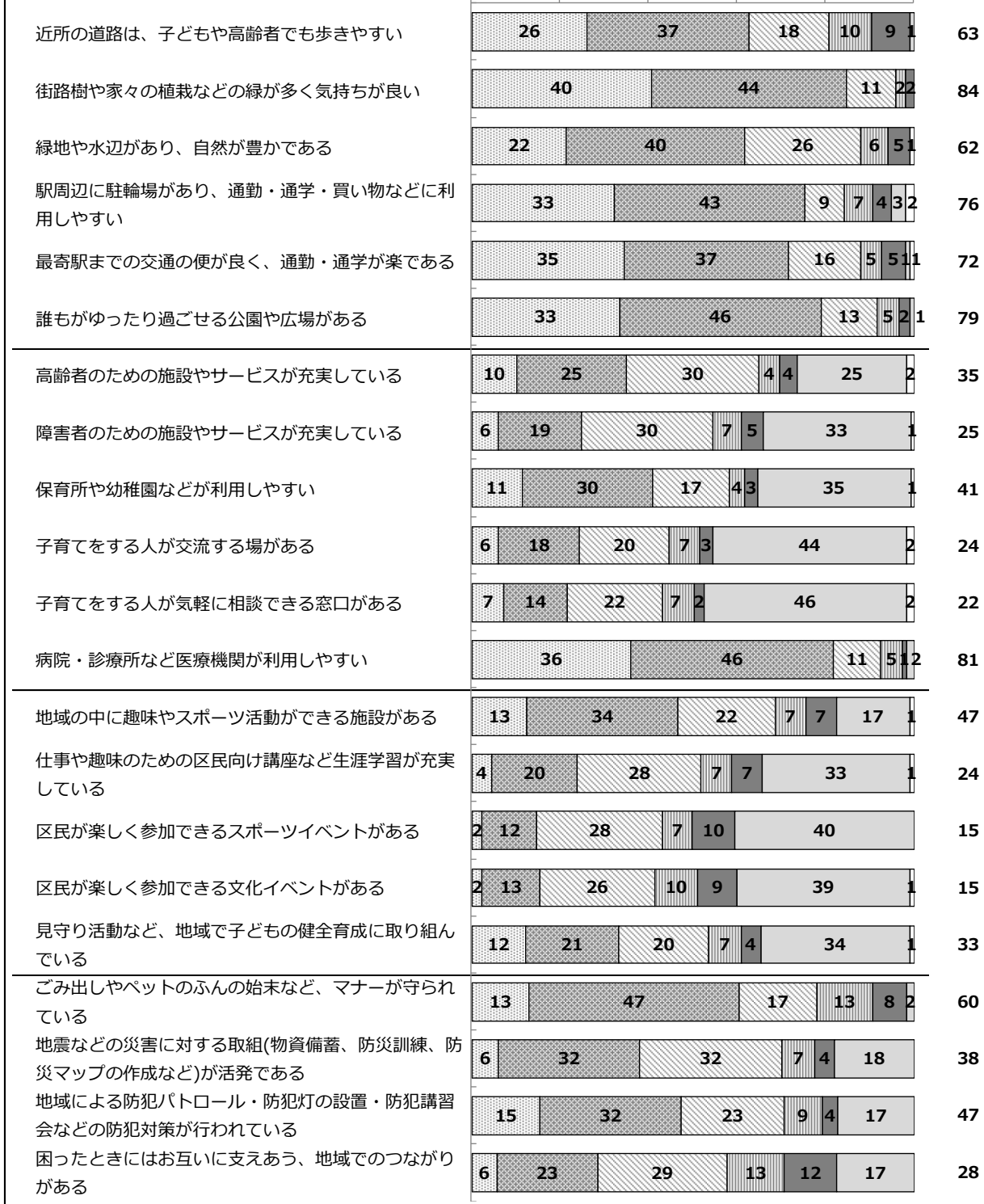
【生活環境全般に対して感じていること】



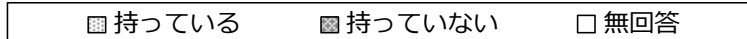
そう思う+
どちらか
というそ
う思う

(n=246)

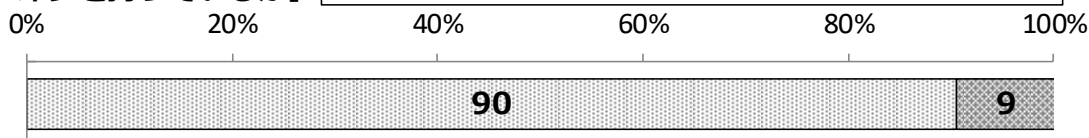
0% 20% 40% 60% 80% 100%



【スマートフォンを持っているか】



(n=246)



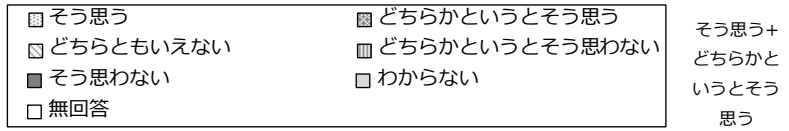
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位					
防災・減災	災害への備え・対策 (n=246) 69%	食料や飲み水を備蓄している *基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている *携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	67%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している	非常用トイレ(トイレバックなど)を準備している	59%	46%			
	防災に関する情報の入手手段 (n=246) 84%	テレビ	インターネット(PC、スマートフォンなど)	県や市・区の広報紙	新聞	ラジオ	36%	32%	25%	
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=246) 63%	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ)	災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい	声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり	53%	52%	42%	39%
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=246) 66%	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される	事前に避難所が地域ごとに指定されている	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる	地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している	地域の方々が中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する	53%	51%	23%	17%
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=246) 37%	全て知らなかった	*風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される *避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している	26%	避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき	状況に合わせて区職員が開設・運営する	25%	25%	13%	
	防災に関して知りたいこと (n=246) 53%	避難所などに避難する必要があるかの判断について	自宅での避難生活(在宅避難)について	今住んでいる自宅の安全について	家族の安否確認や連絡手段について	*自分の身の守り方について *避難所での避難生活について *外出先からの帰宅について	44%	41%	37%	35%
地域活動	参加経験 (n=246) 20%	地域の祭りやイベントへの参加	資源回収やリサイクル活動	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	*地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 *スポーツ、趣味などのサークル活動 *自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動	17%	13%	11%	11%	
	参加意向 (n=246) 26%	地域の祭りやイベントへの参加	スポーツ、趣味などのサークル活動	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	資源回収やリサイクル活動	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	22%	16%	15%	13%
	重要度が高い地域活動 (n=246) 30%	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	近所の子どもの見守りや声かけ	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	資源回収やリサイクル活動	28%	27%	24%	22%

※同率の項目には「*」印をつけています。

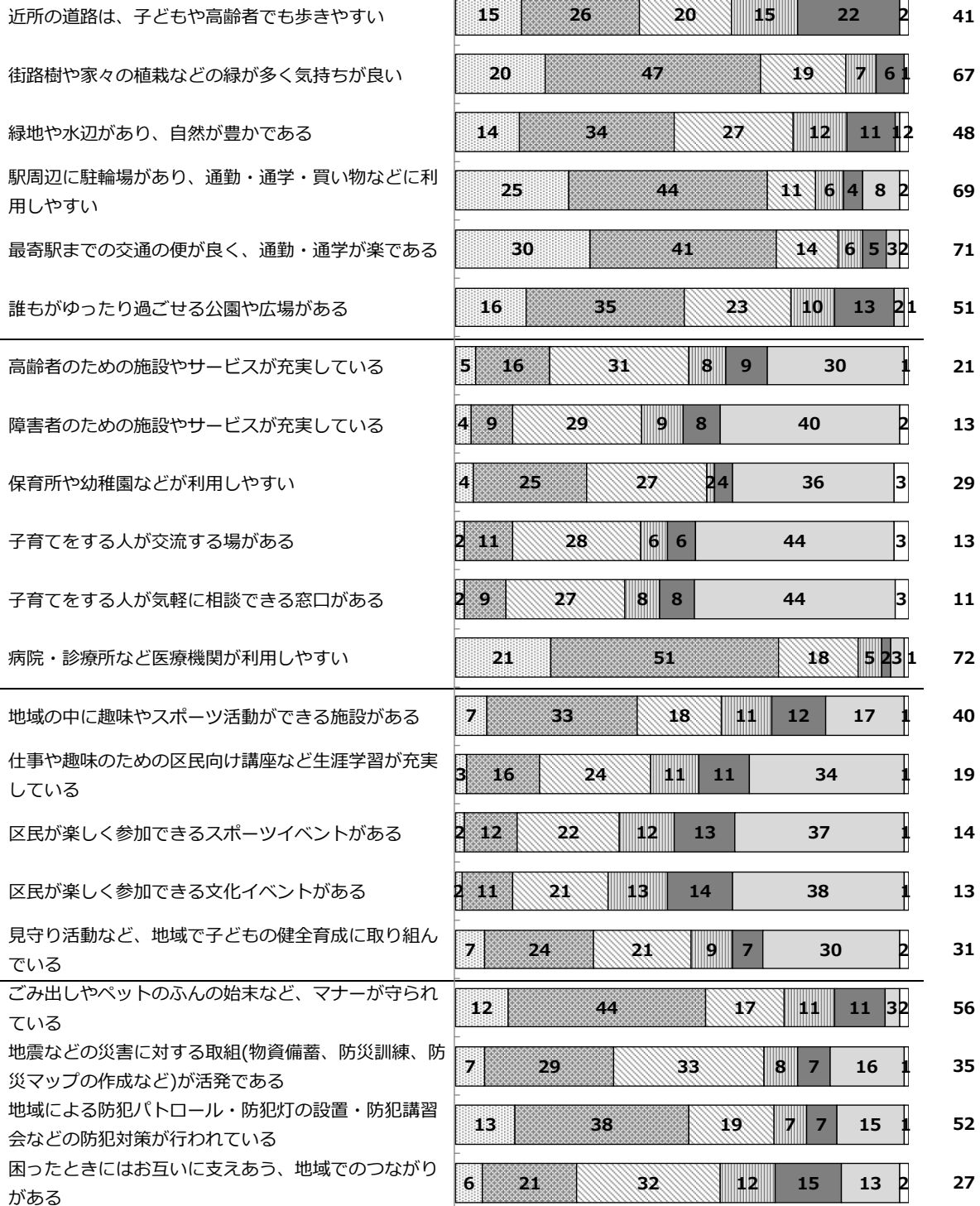
永野地域

【生活環境全般に対して感じていること】

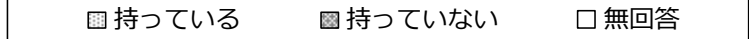


(n=196)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【スマートフォンを持っているか】



0% 20% 40% 60% 80% 100%

(n=196)



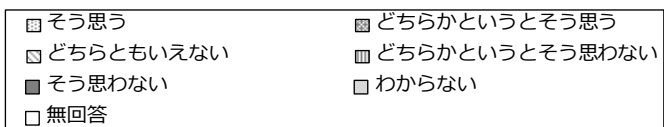
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
防災・減災	災害への備え・対策 (n=196)	* 食料や飲み水を備蓄している * 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している	基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている	消火器を設置している	
		67%	61%	55%	48%	
	防災に関する情報の入手手段 (n=196)	テレビ	インターネット(PC、スマートフォンなど)	* 新聞 * 県や市・区の広報紙	ラジオ	
		85%	68%	32%	31%	
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=196)	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発	* 声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり * 自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ)	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発	災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい	
		60%	46%	45%	40%	
地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=196)	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される	事前に避難所が地域ごとに指定されている	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる	地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している	地域の方々为中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する	
	68%	54%	47%	22%	19%	
風水害で開設される避難場所の認知 (n=196)	全て知らなかった	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している	* 風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される * 避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき	地震で開設される避難所(地域防災拠点)とは別の場所にある		
	42%	31%	20%	9%		
防災に関して知りたいこと (n=196)	避難所などに避難する必要があるかの判断について	自宅での避難生活(在宅避難)について	家族の安否確認や連絡手段について	* 今住んでいる自宅の安全について * 避難所での避難生活について		
	49%	47%	42%	40%		
地域活動	参加経験 (n=196)	資源回収やリサイクル活動	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	地域の祭りやイベントへの参加	* 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 * スポーツ、趣味などのサークル活動	
		21%	17%	15%	12%	
	参加意向 (n=196)	スポーツ、趣味などのサークル活動	地域の祭りやイベントへの参加	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	資源回収やリサイクル活動	高齢者サロンへの参加
	24%	21%	16%	13%	11%	
重要度が高い地域活動 (n=196)	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け	近所の子どもの見守りや声かけ	* 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 * 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	資源回収やリサイクル活動		
	26%	25%	21%	20%		

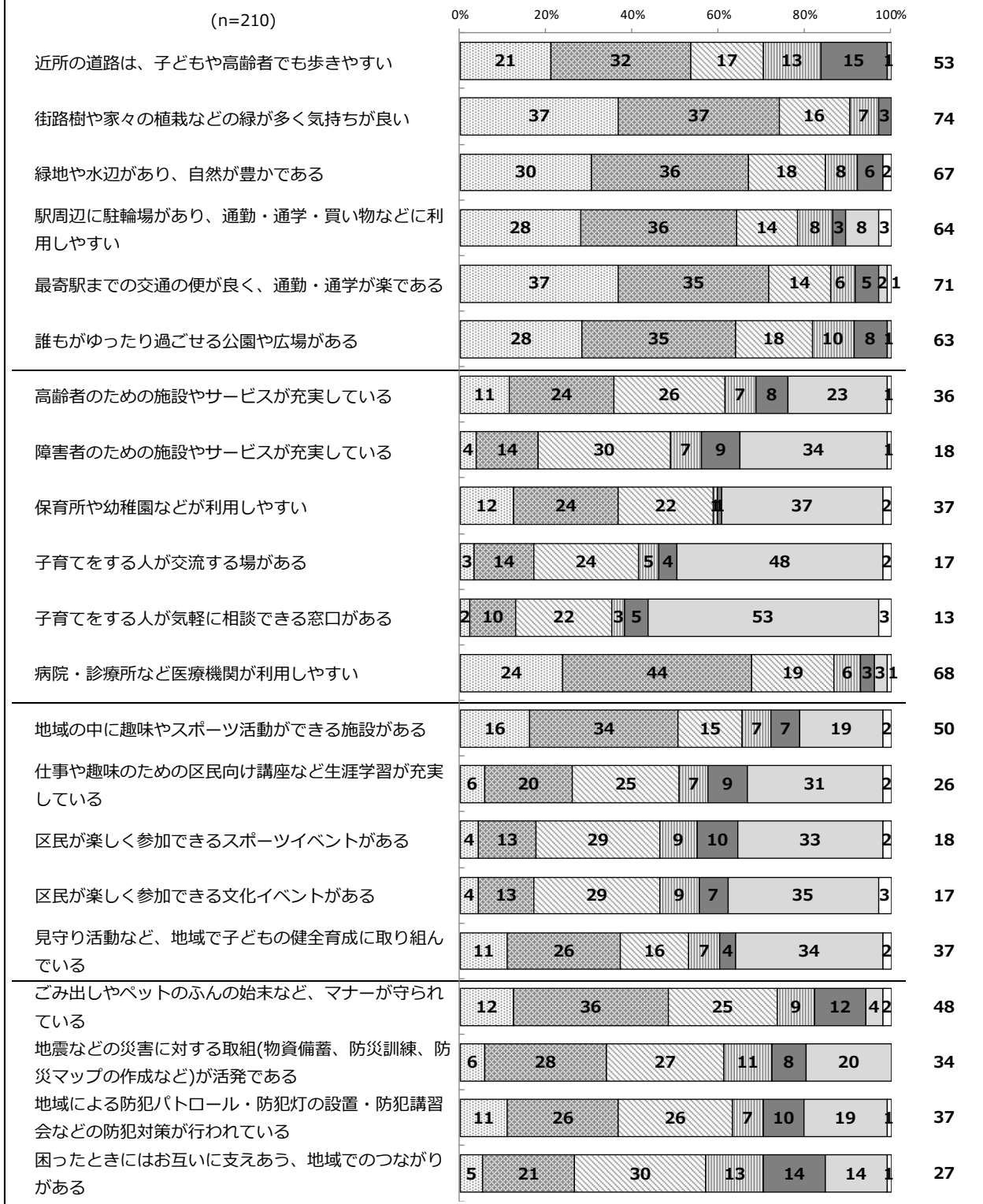
※同率の項目には「*」印をつけています。

野庭団地・野庭住宅地域

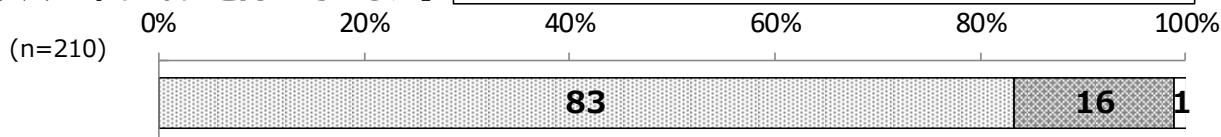
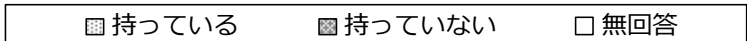
【生活環境全般に対して感じていること】



(n=210)



【スマートフォンを持っているか】



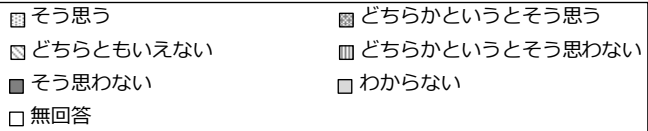
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位					
災害への備え・対策 (n=210)	* 基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている * 寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している	70%	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	69%	食料や飲み水を備蓄している 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している	63%	47%			
防災に関する情報の入手手段 (n=210)	テレビ	89%	インターネット(PC、スマートフォンなど)	64%	ラジオ	39%	県や市・区の広報紙 新聞	33%	32%	
災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=210)	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発	60%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ)	53%	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発	51%	災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい	46%	45%	
地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=210)	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される	67%	事前に避難所が地域ごとに指定されている	53%	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる	44%	* 地域の方々を中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する * 地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している	19%		
風水害で開設される避難場所の認知 (n=210)	全て知らなかった	39%	* 避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき * 避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している	25%	風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される	16%	地震で開設される避難所(地域防災拠点)とは別の場所にある	10%		
防災に関して知りたいこと (n=210)	今住んでいる自宅の安全について	53%	避難所などに避難する必要があるかの判断について	48%	家族の安否確認や連絡手段について	46%	自宅での避難生活(在宅避難)について	43%	避難所での避難生活について	35%
参加経験 (n=210)	地域の祭りやイベントへの参加	24%	資源回収やリサイクル活動	20%	自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動	16%	* 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 * 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	15%		
参加意向 (n=210)	地域の祭りやイベントへの参加	24%	スポーツ、趣味などのサークル活動	20%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	14%	* 資源回収やリサイクル活動 * 近所の子どもの見守りや声かけ	13%		
重要度が高い地域活動 (n=210)	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	30%	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け	24%	近所の子どもの見守りや声かけ	23%	* 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 * 資源回収やリサイクル活動	22%		

※同率の項目には「*」印をつけています。

下永谷地域

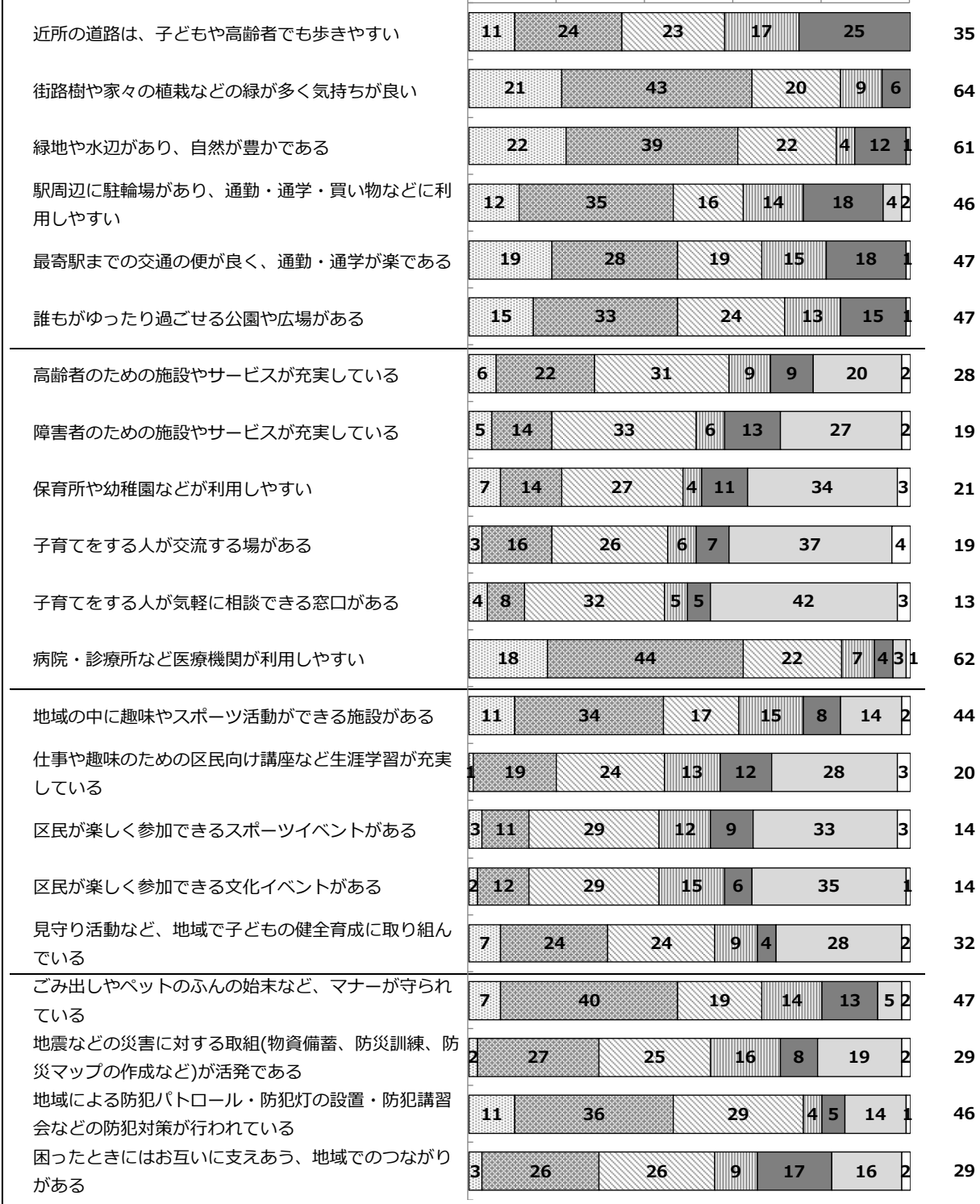
【生活環境全般に対して感じていること】



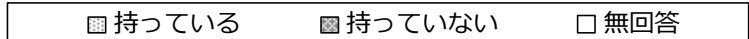
そう思う+
どちらか
というと思
う

(n=95)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【スマートフォンを持っているか】



0% 20% 40% 60% 80% 100%

(n=95)



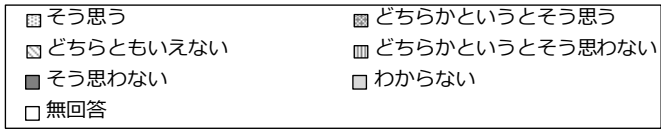
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
防災・減災	災害への備え・対策 (n=95) 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している 68%	食料や飲み水を備蓄している 61%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している 60%	基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている 53%	消火器を設置している 46%
	防災に関する情報の入手手段 (n=95) テレビ 83%	インターネット(PC、スマートフォンなど) 63%	ラジオ 42%	新聞 36%	県や市・区の広報紙 29%
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=95) 避難場所(いっとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発 60%	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発 53%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ) 47%	災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい 41%	*声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり *災害時におけるライフライン(電気、ガス、水道、電話など)に関する講習 34%
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=95) 市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される 65%	事前に避難所が地域ごとに指定されている 49%	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けられることができる 44%	地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している 21%	全て知らなかった 16%
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=95) 全て知らなかった 40%	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している 26%	風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される 25%	避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき 24%	地震で開設される避難所(地域防災拠点)とは別の場所にある 17%
	防災に関して知りたいこと (n=95) 今住んでいる自宅の安全について 54%	避難所などに避難する必要があるかの判断について 52%	自宅での避難生活(在宅避難)について 42%	自分の身の守り方について 41%	家族の安否確認や連絡手段について 39%
地域活動	参加経験 (n=95) 地域の祭りやイベントへの参加 23%	*地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 *身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 *スポーツ、趣味などのサークル活動			資源回収やリサイクル活動 18%
	参加意向 (n=95) 地域の祭りやイベントへの参加 27%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 21%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 17%	*スポーツ、趣味などのサークル活動 *近所の子どもの見守りや声かけ 16%	
	重要度が高い地域活動 (n=95) 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 29%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 27%	資源回収やリサイクル活動 23%	近所の子どもの見守りや声かけ 22%	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け 18%

※同率の項目には「*」印をつけています。

永谷地域

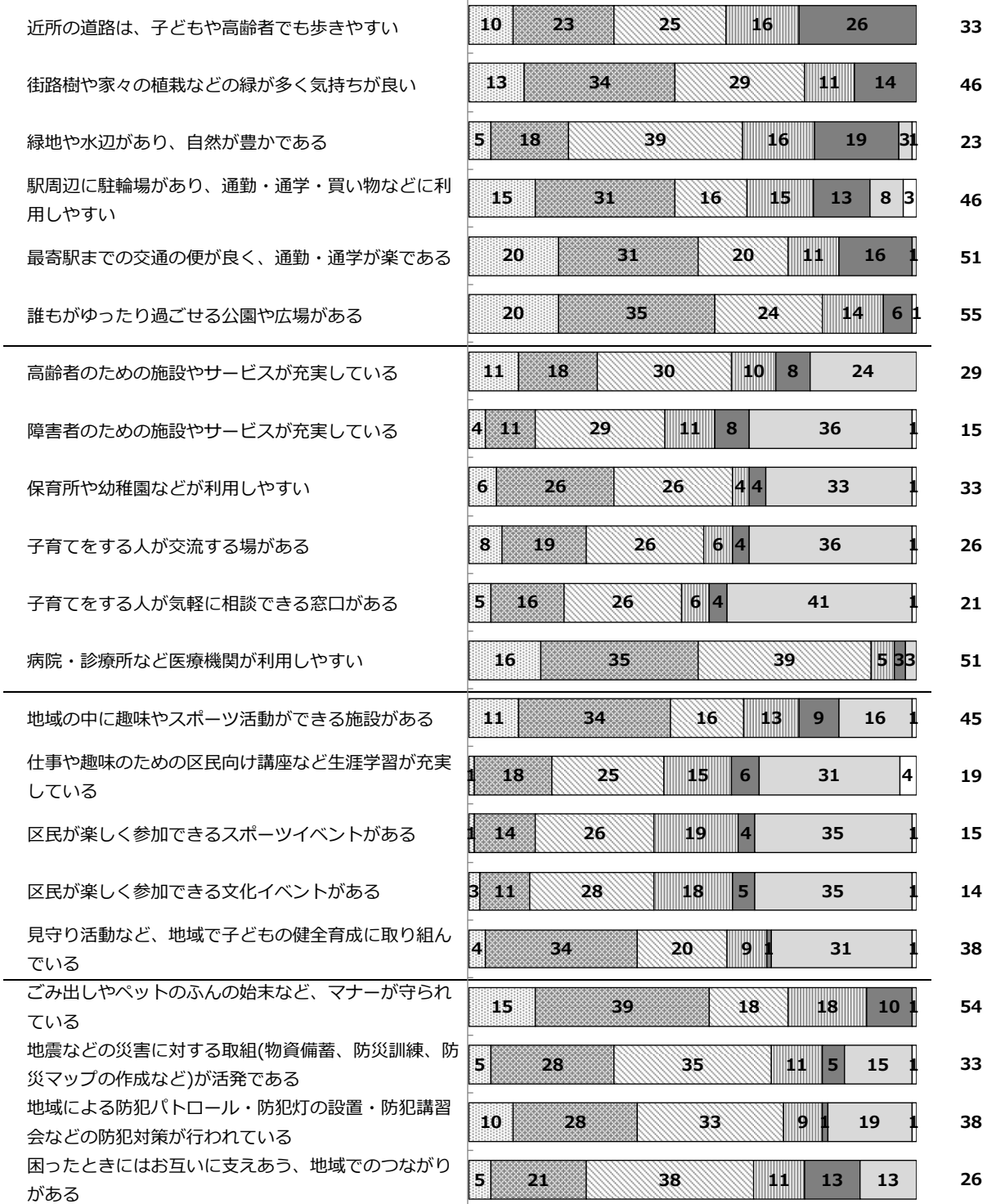
【生活環境全般に対して感じていること】



そう思う+
どちらか
というそ
う思う

(n=80)

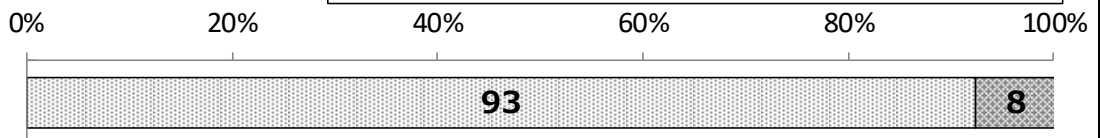
0% 20% 40% 60% 80% 100%



【スマートフォンを持っているか】

持っている
 持っていない
 無回答

(n=80)



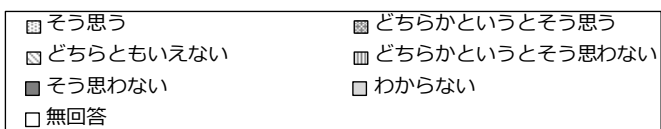
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位						
防災・減災	災害への備え・対策 (n=80)	* 食料や飲み水を備蓄している * 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	76%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している	64%	基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている	54%	非常用トイレ(トイレパックなど)を準備している	44%		
	防災に関する情報の入手手段 (n=80)	* テレビ * インターネット(PC、スマートフォンなど)	71%	ラジオ	35%	県や市・区の広報紙	31%	新聞	21%		
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=80)	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発	60%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ)	54%	災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい	53%	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発	48%	災害時におけるライフライン(電気、ガス、水道、電話など)に関する講習	45%
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=80)	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される	71%	事前に避難所が地域ごとに指定されている	60%	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる	49%	地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している	25%	地域の方々が中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する	14%
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=80)	全て知らなかった	46%	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している	31%	* 風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される * 避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき	20%	地震で開設される避難所(地域防災拠点)とは別の場所にある	11%		
	防災に関して知りたいこと (n=80)	家族の安否確認や連絡手段について	59%	避難所などに避難する必要があるかの判断について	48%	* 自宅での避難生活(在宅避難)について * 外出先からの帰宅について	43%	* 避難所での避難生活について * 災害情報の入手方法について	41%		
地域活動	参加経験 (n=80)	* 地域の祭りやイベントへの参加 * 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 * 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動			11%	資源回収やリサイクル活動	10%	自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動	8%		
	参加意向 (n=80)	地域の祭りやイベントへの参加	スポーツ、趣味などのサークル活動	近所の子どもの見守りや声かけ	30%	23%	15%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	13%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	11%
	重要度が高い地域活動 (n=80)	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け	近所の子どもの見守りや声かけ	38%	36%	34%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	29%	資源回収やリサイクル活動	21%

※同率の項目には「*」印をつけています。

芹が谷地域

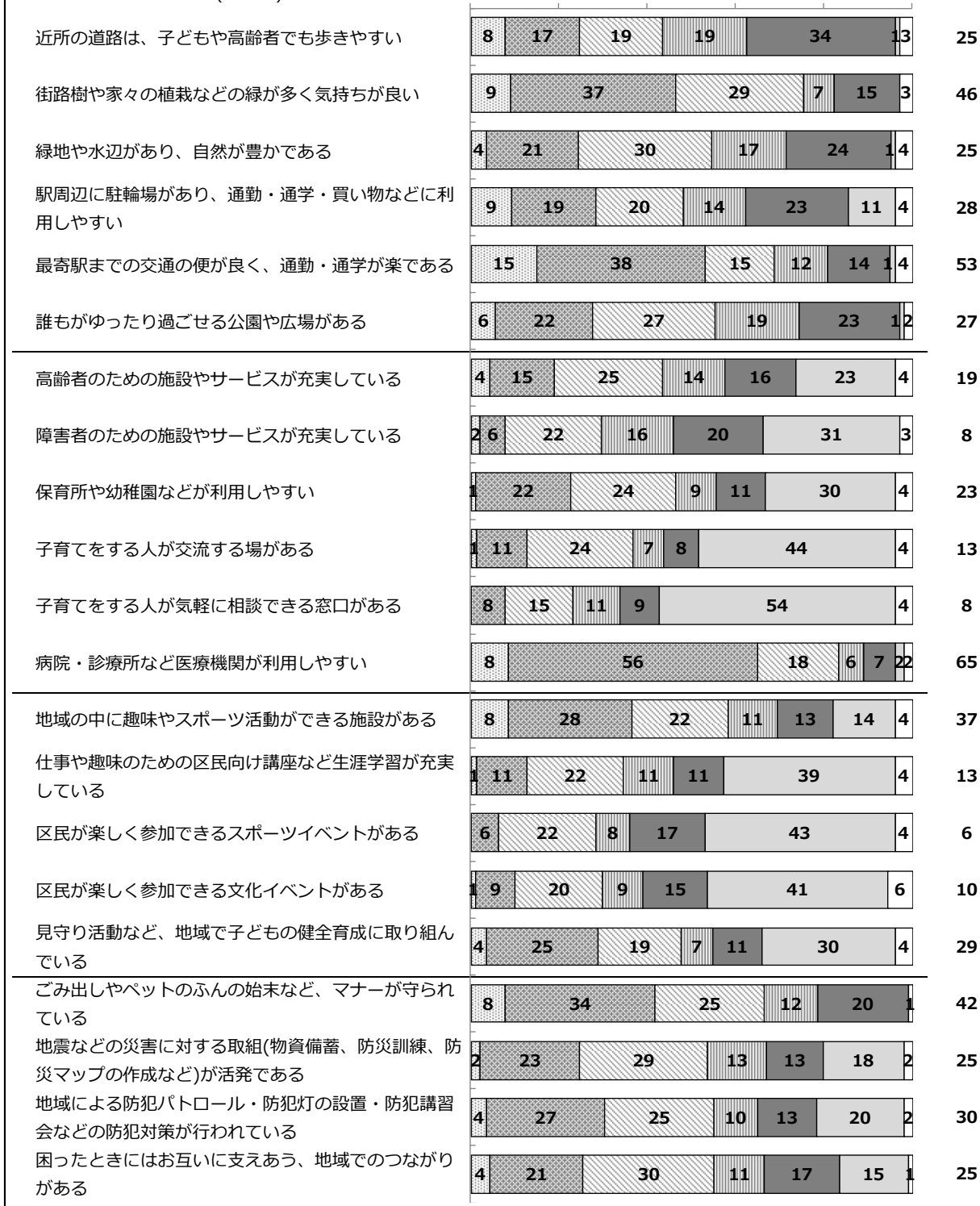
【生活環境全般に対して感じていること】



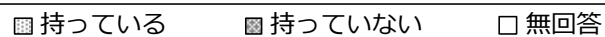
そう思う+
どちらか
というと思
う

(n=142)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【スマートフォンを持っているか】



0% 20% 40% 60% 80% 100%

(n=142)



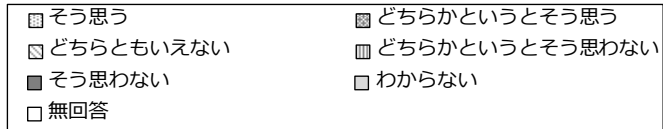
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
防災・減災	災害への備え・対策 (n=142) 73%	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している 73%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している 64%	基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている 61%	食料や飲み水を備蓄している 57%	消火器を設置している 51%
	防災に関する情報の入手手段 (n=142) 83%	テレビ 83%	インターネット(PC、スマートフォンなど) 63%	ラジオ 39%	* 新聞 * 県や市・区の広報紙 * 町内の回覧板や掲示板 32%	
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=142) 63%	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発 63%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ) 54%	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発 51%	声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり 47%	災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい 40%
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=142) 66%	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される 66%	事前に避難所が地域ごとに指定されている 54%	防災備蓄庫に必要な最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる 41%	地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している 20%	地域の方々が中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する 17%
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=142) 44%	全て知らなかった 44%	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している 30%	* 風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される * 避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき 20%		地震で開設される避難所(地域防災拠点)とは別の場所にある 10%
	防災に関して知りたいこと (n=142) 51%	* 今住んでいる自宅の安全について * 避難所などに避難する必要があるかの判断について * 自宅での避難生活(在宅避難)について 51%			家族の安否確認や連絡手段について 39%	* 避難所での避難生活について * 災害情報の入手方法について 37%
地域活動	参加経験 (n=142) 21%	資源回収やリサイクル活動 21%	地域の祭りやイベントへの参加 14%	* 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 * 自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動 13%		地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 11%
	参加意向 (n=142) 21%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 21%	地域の祭りやイベントへの参加 20%	資源回収やリサイクル活動 16%	スポーツ、趣味などのサークル活動 14%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 10%
	重要度が高い地域活動 (n=142) 25%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 25%	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け 21%	* 資源回収やリサイクル活動 * 近所の子どもの見守りや声かけ 20%		身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 19%

※同率の項目には「*」印をつけています。

ひぎり地域

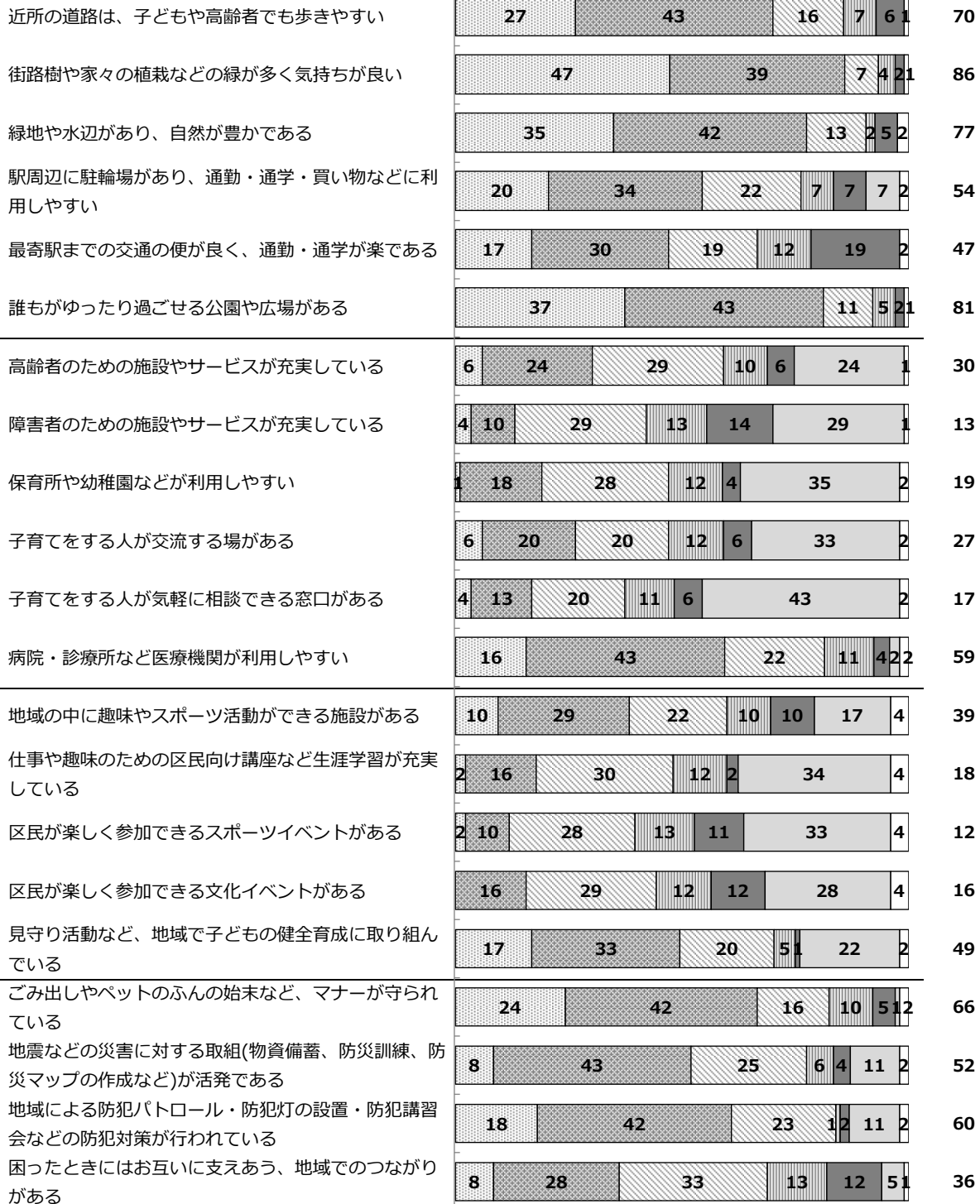
【生活環境全般に対して感じていること】



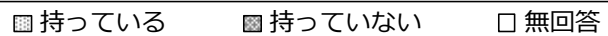
そう思う+
どちらか
というと思
う

(n=83)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【スマートフォンを持っているか】



0% 20% 40% 60% 80% 100%

(n=83)



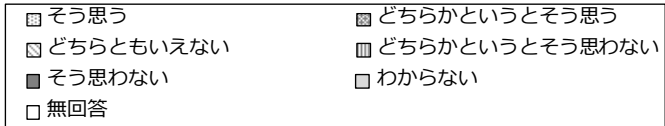
【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
防災・減災	災害への備え・対策 (n=83) 73%	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している 72%	食料や飲み水を備蓄している 63%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している 55%	食料や飲み水を、普段の生活の中で定期的に使いながら新たに買い足す「ローリングストック」を行って備蓄している 54%
	防災に関する情報の入手手段 (n=83) 88%	テレビ 77%	インターネット(PC、スマートフォンなど) 41%	新聞 35%	町内の回覧板や掲示板 ラジオ 34%
	災害に備える自治会町内会が進めるべき取組 (n=83) 59%	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発 58%	自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ) 53%	食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発 47%	災害時におけるライフライン(電気、ガス、水道、電話など)に関する講習 *声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり *災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい 46%
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=83) 71%	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される 61%	事前に避難所が地域ごとに指定されている 51%	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる 34%	地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している 地域の方々を中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する 33%
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=83) 34%	全て知らなかった 33%	避難場所への立退き避難がcaえて危険な場合の適切な避難行動を理解している 27%	避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき 25%	風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される 地震で開設される避難所(地域防災拠点)とは別の場所にある 11%
	防災に関して知りたいこと (n=83) 57%	家族の安否確認や連絡手段について 46%	自宅での避難生活(在宅避難)について 45%	今住んでいる自宅の安全について 43%	避難所での避難生活について 避難所などに避難する必要があるかの判断について 42%
地域活動	参加経験 (n=83) 30%	地域の祭りやイベントへの参加 28%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 23%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 18%	資源回収やリサイクル活動 *自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動 *近所の子どもの見守りや声かけ 13%
	参加意向 (n=83) 29%	地域の祭りやイベントへの参加 25%	*身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 *スポーツ、趣味などのサークル活動 23%	近所の子どもの見守りや声かけ 16%	*地域のNPOなどでのボランティア活動 *習い事や稽古事、スポーツなどの指導
	重要度が高い地域活動 (n=83) 30%	近所の高齢者や障害者の見守りや手助け 29%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 27%	近所の子どもの見守りや声かけ 25%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 資源回収やリサイクル活動 22%

※同率の項目には「*」印をつけています。

日野南地域

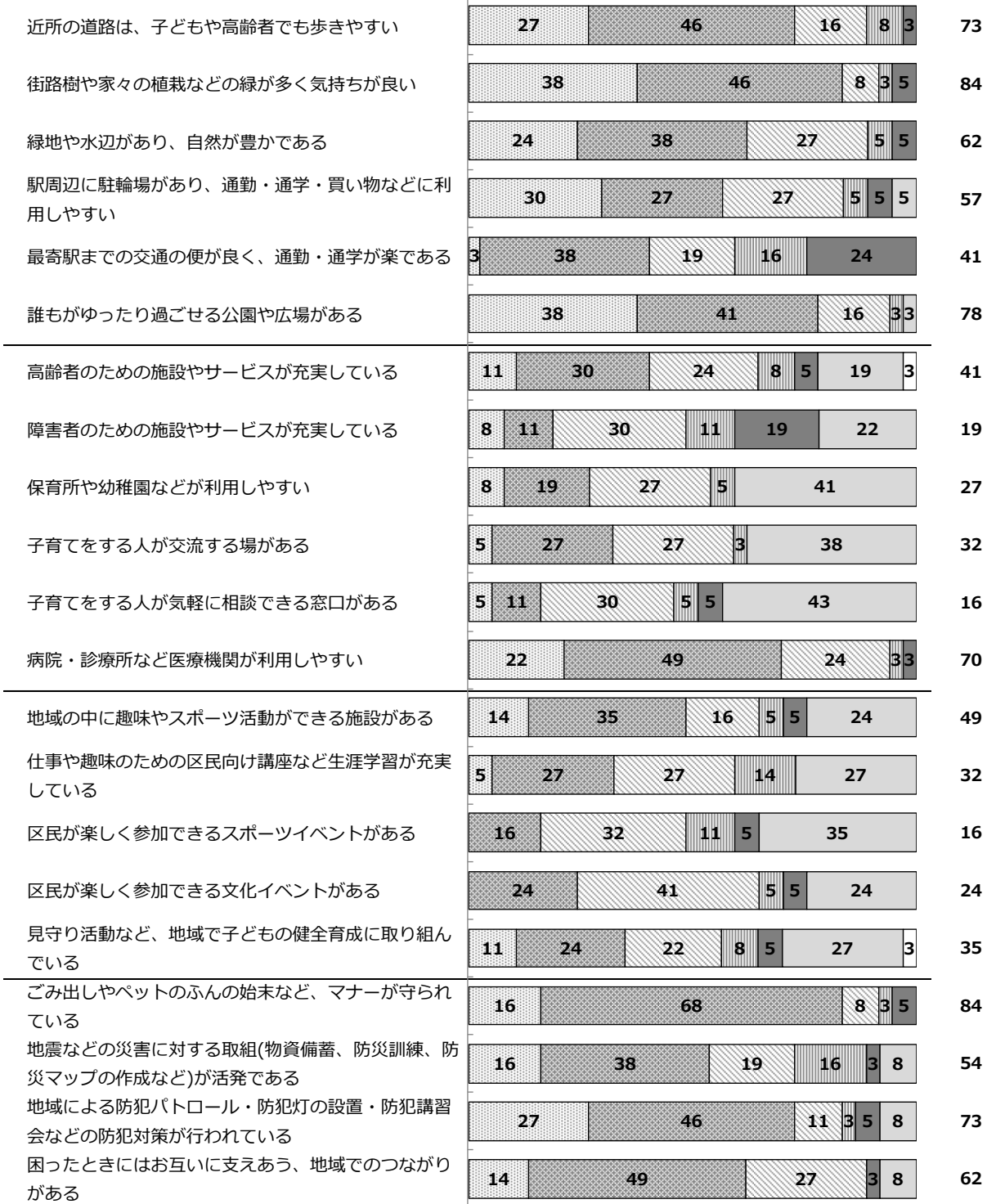
【生活環境全般に対して感じていること】



そう思う+
どちらか
というと思
う

(n=37)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【スマートフォンを持っているか】

持っている
 持っていない
 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%

(n=37)



【災害対策・地域活動の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目）】

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
防災・減災	災害への備え・対策 (n=37) 76%	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している 76%	食料や飲み水を備蓄している 70%	寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している 65%	消火器を設置している 57%	基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている 54%
	防災に関する情報の入手手段 (n=37) 86%	テレビ 86%	インターネット(PC、スマートフォンなど) 68%	* ラジオ * 町内の回覧板や掲示板 41%	県や市・区の広報紙 35%	
	災害に備え自治会町内会が進めるべき取組 (n=37) 51%	避難場所(いつとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所)についての啓発 51%	* 食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発 * 声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり 46%	* 自治会町内会での備蓄(毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ) * 災害時要援護者(高齢者や子ども、障害者など)の見守り・支えあい 43%		
	地震で開設される避難所(地域防災拠点)の認知 (n=37) 81%	市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される 81%	防災備蓄庫に必要最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる 62%	事前に避難所が地域ごとに指定されている 57%	* 地域の方々が中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する * 地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している 38%	
	風水害で開設される避難場所の認知 (n=37) 41%	避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動を理解している 41%	全て知らなかった 32%	* 風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される * 避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき 24%	地震で開設される避難所(地域防災拠点)とは別の場所にある 11%	
	防災に関して知りたいこと (n=37) 57%	家族の安否確認や連絡手段について 57%	避難所などに避難する必要があるかの判断について 46%	* 今住んでいる自宅の安全について * 自宅での避難生活(在宅避難)について * 災害情報の入手方法について 43%		
地域活動	参加経験 (n=37) 49%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 49%	資源回収やリサイクル活動 35%	地域の祭りやイベントへの参加 27%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 16%	* スポーツ、趣味などのサークル活動 * 自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動 * 近所の子どもの見守りや声かけ 11%
	参加意向 (n=37) 24%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 24%	* 地域の祭りやイベントへの参加 * 資源回収やリサイクル活動 22%	* 地域のNPOなどでのボランティア活動 * スポーツ、趣味などのサークル活動 16%		
	重要度が高い地域活動 (n=37) 35%	資源回収やリサイクル活動 35%	* 近所の高齢者や障害者の見守りや手助け * 近所の子どもの見守りや声かけ 30%	地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動 22%	身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動 19%	

※同率の項目には「*」印をつけています。

IV 調査票様式

令和4年度 港南区区民意識調査

日ごろより、港南区政の推進にご協力をいただきありがとうございます。
港南区では、区民の皆さまの生活環境への意識や日常生活、区に取り組んでほしいことなどを把握し、今後の区政運営に役立てることを目的に、3年に一度アンケート調査を実施しています。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。



港南区長 栗原 敏也

調査結果の活用例

関心のある・充実させてほしい情報

1位「防災・防犯に関する情報」

(令和元年度)



港南区緊急時情報伝達システムを整備 (令和3年度)

災害時に避難指示や避難所の開設・混雑状況の情報を電話 (050-5490-3993) で問い合わせることが可能になりました。



調査票のご回答にあたって

本調査は、区内にお住まいの方から無作為に選んだ18歳以上の4,000人の方々にご協力をお願いしております。封筒の宛先となっているご本人がご回答ください。回答方法は、郵送又はインターネットからお選びください。

アンケート調査票は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。調査結果は、港南区のウェブサイト等で公表します。

1 郵送回答

アンケート調査票にご記入後、**調査票のみ同封の封筒に入れ、郵便にてご返送ください。**(切手は不要です。)ご返送の際は、**氏名や住所のご記入は不要です。**

2 インターネット回答

下記URLより、横浜市電子申請・届出サービスにアクセスし、ご回答ください。

港南区ウェブサイト「令和4年度港南区区民意識調査」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kusei/tokei/ishiki.html>

(区ウェブサイト「トピックス」内の「区民意識調査」からも入れます。)



なお、**インターネット回答の場合は、右枠に記載されている整理番号の入力が必要です。**整理番号は、1人が複数回答することを避けるためのものであり、**整理番号から個人が特定されることはありません。**

整理番号

令和4年6月20日(月)までに、郵便ポストに投函又はインターネット回答をお願いいたします。

【この調査に関するお問い合わせ】

〒233-0003 横浜市港南区港南四丁目2番10号
横浜市港南区区政推進課企画調整係 担当：中島、塩田
電話：045-847-8328 / FAX：045-841-7030
E-mail:kn-kikaku@city.yokohama.jp

◆お住まいの地域についてお尋ねします◆

問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？ 次の(1)～(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「6 わからない」の中より1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

項目		1 そう 思う	2 そう 思う と 思 う	3 ど ち ら か と も い え な い	4 ど ち ら か と も 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い	6 わ か ら な い
ま ち な み ・ 環 境	(1) 近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい	1	2	3	4	5	6
	(2) 街路樹や家々の植栽などの緑が多く気持ちが良い	1	2	3	4	5	6
	(3) 緑地や水辺があり、自然が豊かである	1	2	3	4	5	6
	(4) 駅周辺に駐輪場があり、通勤・通学・買い物などに利用しやすい	1	2	3	4	5	6
	(5) 最寄駅までの交通の便が良く、通勤・通学が楽である	1	2	3	4	5	6
	(6) 誰もがゆったり過ごせる公園や広場がある	1	2	3	4	5	6
福 祉 ・ 保 健	(7) 高齢者のための施設やサービスが充実している	1	2	3	4	5	6
	(8) 障害者のための施設やサービスが充実している	1	2	3	4	5	6
	(9) 保育所や幼稚園などが利用しやすい	1	2	3	4	5	6
	(10) 子育てをする人が交流する場がある	1	2	3	4	5	6
	(11) 子育てをする人が気軽に相談できる窓口がある	1	2	3	4	5	6
	(12) 病院・診療所など医療機関が利用しやすい	1	2	3	4	5	6
教 育 ・ 文 化	(13) 地域の中に趣味やスポーツ活動ができる施設がある	1	2	3	4	5	6
	(14) 仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習が充実している	1	2	3	4	5	6
	(15) 区民が楽しく参加できるスポーツイベントがある	1	2	3	4	5	6
	(16) 区民が楽しく参加できる文化イベントがある	1	2	3	4	5	6
	(17) 見守り活動など、地域で子どもの健全育成に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6
生 活	(18) ごみ出しやペットのふんの始末など、マナーが守られている	1	2	3	4	5	6
	(19) 地震などの災害に対する取組(物資備蓄、防災訓練、防災マップの作成など)が活発である	1	2	3	4	5	6
	(20) 地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策が行われている	1	2	3	4	5	6
	(21) 困ったときにはお互いに支え合う、地域でのつながりがある	1	2	3	4	5	6

◆災害に備えた対策についてお尋ねします◆

問2 あなたの家では、災害に備えて、どのような対策をとっていますか？(〇はいくつでも)

- 1 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
- 2 基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている
- 3 窓ガラスを強化ガラスに替えたり、ガラス類にフィルムを貼っている
- 4 感震ブレーカーを設置している
- 5 消火器を設置している
- 6 寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している
- 7 住宅用火災警報器の作動を定期的に確認している
- 8 食料や飲み水を備蓄している
- 9 食料や飲み水を、普段の生活の中で定期的に使いながら新たに買い足す「ローリングストック」を行って備蓄している
- 10 非常用トイレ(トイレパックなど)を準備している
- 11 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
- 12 家族との連絡方法などを決めている
- 13 ハザードマップ(※1)を見て、自宅周辺の危険箇所などを確認している
- 14 自分や家族の避難行動計画「マイ・タイムライン」(※2)を作っている
- 15 ペットを連れて避難するため、避難グッズ(ペット用食料、ケージ、ペット手帳など)を用意している
- 16 その他()
- 17 特に何もしていない



携帯トイレパックを
各家庭で備蓄しましょう！

(※1)「ハザードマップ(土砂災害、洪水など)」とは



被害予測地図とも呼ばれ、自然災害(がけ崩れや洪水など)による被害を想定し、被害範囲を地図化したもので、予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲、被害程度、避難場所などが記されています。ハザードマップは、港南区ウェブサイトでご覧いただけます。また、港南区役所窓口(1階1番及び5階56番)で配布しています。

(※2)「マイ・タイムライン」とは



マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画のことです。
作成シートとハザードマップを用意して一人ひとりのマイ・タイムラインを作成しましょう。

問3 防災に関する情報を入手したい時に、何から入手していますか？(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1 テレビ | 9 インターネット(PC、スマートフォンなど) |
| 2 ラジオ | 10 TwitterなどのSNS |
| 3 新聞 | 11 横浜市防災情報Eメール |
| 4 雑誌 | 12 港南区安全・安心情報メール |
| 5 県や市・区の広報紙 | 13 港南区緊急時情報伝達システム |
| 6 町内の回覧板や掲示板 | 14 その他() |
| 7 家族や親類 | 15 特にない |
| 8 隣近所の知り合い | |

問4 大地震などの災害に備え、今後、自治会町内会がどのような取組を進めるべきだと思いますか？(〇はいくつでも)

- 1 食料や飲み水など、家庭での備蓄についての啓発
- 2 避難場所（いっとき避難場所、地域防災拠点、福祉避難所、広域避難場所）についての啓発
- 3 声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり
- 4 自治会町内会での備蓄（毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ）
- 5 火災発生時における延焼防止訓練
- 6 災害時におけるライフライン（電気、ガス、水道、電話など）に関する講習
- 7 防災訓練に参加してもらうような積極的な呼びかけ
- 8 防災訓練の内容の充実
- 9 災害時要援護者（高齢者や子ども、障害者など）の見守り・支えあい
- 10 その他（ ）
- 11 特に進めるべき取組はない

問5 地震で開設される避難所（地域防災拠点）について知っていますか？(〇はいくつでも)

- 1 市内で震度5強以上の地震が発生すると避難所として小・中学校に開設される
- 2 防災備蓄庫に必要な最低限の水・食料があり、物資の提供を受けることができる
- 3 地域の方々が中心の運営委員会が運営し、避難者も運営に協力する
- 4 事前に避難所が地域ごとに指定されている
- 5 感染防止対策の資器材が配備され、運用のルールが決まっている
- 6 地域防災拠点ごとに防災拠点運営訓練を実施している
- 7 全て知らなかった

問5-2 大雨・洪水・台風で開設される避難場所について知っていますか？(〇はいくつでも)

- 1 地震で開設される避難所（地域防災拠点）とは別の場所にある
- 2 風水害の状況により避難指示等が発令され避難場所が開設される
- 3 備蓄倉庫は無く、避難者が水・食料を準備しなければならない
- 4 状況に合わせて区職員が開設・運営する
- 5 避難の目安は地域への避難指示等の発令や危険を感じたとき
- 6 避難場所への立退き避難がかえって危険な場合の適切な避難行動（親戚の家や近隣の頑丈な建物、自宅内の少しでも安全な場所への水平避難や垂直避難）を理解している
- 7 全て知らなかった

問6 災害に備えて、どんなことを知りたいと思いますか？(〇はいくつでも)

- 1 自分の身の守り方について
- 2 家族の安否確認や連絡手段について
- 3 今住んでいる自宅の安全について
- 4 避難所などに避難する必要があるかの判断について
- 5 自宅での避難生活（在宅避難）について
- 6 避難所での避難生活について
- 7 外出先からの帰宅について
- 8 災害情報の入手方法について
- 9 もとの生活に戻るかについて
- 10 何も心配はない

問7 大地震などの災害が起こった時に、あなたご自身やご家族の安全は概ね確保されていると仮定して、あなたの家族以外の避難時に手助けが必要な人（※）に対して、どのような協力ができそうだと思いますか？（〇はいくつでも）

※自力で避難することが困難な高齢者や障害者、乳幼児、病人、妊産婦、外国人など

- 1 「大丈夫ですか？」などの声かけ
- 2 避難などの手助け
- 3 家族や親族・知人への連絡
- 4 災害状況や避難情報などの伝達
- 5 一時的な保護・預かり
- 6 介助や応急手当
- 7 相談相手や話し相手になる
- 8 外国人への通訳、情報提供
- 9 おむつ・ミルクなどの必需品の確保・提供
- 10 その他（ ）
- 11 協力できそうにない
- 12 わからない



【港南区災害時要援護者支援パンフレット】
（「障がい者編」・「支援者編」・「風水害編」）

区ウェブサイトでご覧いただけます



コラム1

大地震時と風水害時の避難先の違い

	大地震	風水害
避難先	市立の小・中学校など地域ごとに指定された「地域防災拠点」	地区センターや学校など安全な経路が確保できる「風水害の避難場所」
開設基準	市内で震度5強以上を観測した場合、区内32カ所（磯子区の洋光台第三小学校を含む）に一斉開設	状況に応じて市・区が発令する避難指示等に伴い、避難場所を開設 詳しくは区ウェブサイトで
避難の目安	家屋の倒壊などにより、自宅で生活ができなくなったとき	地域に避難指示等の発令や危険を感じたとき
物資の配付	被災生活で必要最低限の物資を配付	原則配付なし
開設・運営者	自治会町内会が中心の運営委員会、避難者	区職員など

問9 あなたは令和元年度から令和3年度（2019年4月1日から2022年3月31日まで）にがん検診を受けましたか？（○は1つ）

- 1 受けた 2 受けていない 3 わからない

問9-2 問9で「受けていない」と答えた方にお尋ねします。

がん検診を受けなかった理由は何ですか？（○はいくつでも）

- 1 時間がない 6 「がん」が見つかるのが怖い
 2 検診費用が高いから 7 対象となるがん検診がない
 3 検診の必要性を感じない 8 その他（ ）
 4 検診の手続きが不便 9 特に理由はない
 5 検診の制度がわからない

問9-3 問9で「受けた」と答えた方にお尋ねします。


あなたはがん検診をどこで受けましたか？（○は各部位1つ）

	問9-3 ア 胃	問9-3 イ 肺	問9-3 ウ 大腸	問9-3 エ 前立腺	問9-3 オ 乳	問9-3 カ 子宮
(1) 横浜市のがん検診	1	1	1	1	1	1
(2) 勤務先、または健康保険組合等が実施する健診	2	2	2	2	2	2
(3) 人間ドックなど (1)(2)以外	3	3	3	3	3	3
(4) この部位の受診なし	4	4	4	4	4	4

コラム2


健康アクションこうなん

～ふだんのくらしをけんこうに～



あるこう！毎日	ご近所さんと あいさつかわし 地域とつながり 介護予防
たべよう！野菜	野菜たくさん 塩分ひかえめ だしの旨味をたっぷりと
まもろう！歯	口から美味しく食べるため 定期的に歯のチェック
なくそう！たばこの煙	一人ひとりが意識を高め たばこの害のない港南へ
やすもう！しっかり	睡眠と 気分転換で 明日の元気の源に

そして 受けよう！がん検診と健康診断 “けんしん” は、あなたに贈られる「からだ通信簿」



港南区ウォーキング
 推進キャラクター
 ひまわりくん

一人ひとりが気軽に実践できる行動を健康づくりの合言葉にした「健康アクションこうなん5」を広め、健康づくりに取り組んでいます。
 ひとつずつ、できることから始めてみませんか。

◆地域活動についてお尋ねします◆

- 問10 ア あなたが、お住まいの地域で、この1～2年の間に行った活動は何ですか？
(現在していることも含みます) (〇はいくつでも)
- イ 今後してみたい(「過去にしていた・現在している」方は、今後もしたい)と思
う活動は何ですか？(〇はいくつでも)
- ウ 今後、地域の中でより充実させていくべき、重要度が高いと考える活動は何で
すか？(〇はいくつでも)

項目	問10ア	問10イ	問10ウ
	参加経験の有無 (〇はいくつでも)	今後の参加について (〇はいくつでも)	重要度が高い (〇はいくつでも)
(1) 地域の祭りやイベントへの参加	1	1	1
(2) 地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動	2	2	2
(3) 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	3	3	3
(4) 資源回収やリサイクル活動	4	4	4
(5) 子育てサロンへの参加	5	5	5
(6) 高齢者サロンへの参加	6	6	6
(7) 地域のNPOなどでのボランティア活動	7	7	7
(8) スポーツ、趣味などのサークル活動	8	8	8
(9) 自治会町内会、子ども会、シルバークラブなどの役員活動	9	9	9
(10) 習い事や稽古事、スポーツなどの指導	10	10	10
(11) 近所の高齢者や障害者の見守りや手助け	11	11	11
(12) 近所の子どもの見守りや声かけ	12	12	12
(13) その他 ()	13	13	13
(14) 特になし	14	14	14

◆文化振興についてお尋ねします◆

- 問11 あなたが行っている、または興味のある「文化活動※」はありますか？(〇はいくつでも)

※「文化活動」とは、下記に示したような分野を自身で創造・演奏・活動などをする
こと、イベントや催しに来場・参加・鑑賞などをするをいいます。

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1 茶道・華道 | 5 文芸(詩・俳句・小説など) |
| 2 美術・書・写真 | 6 その他() |
| 3 音楽 | 7 特になし |
| 4 踊り・ダンス | |

- 問12 区内でこういった「文化活動」があれば参加してみたい・興味が湧くと思いますか？
(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 文化について触れる体験会・講習会 | 4 その他() |
| 2 文化の催しの広報 | 5 参加したいと思わない |
| 3 参加型のイベント・発表会 | 6 現状のままでよい |

◆スポーツ振興についてお尋ねします◆

問13 あなたは日頃どこでスポーツ・運動を行いますか？(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 ジム | 4 公園・グラウンド |
| 2 地区センター・スポーツセンター | 5 その他 () |
| 3 学校・職場 | 6 運動はしない |

問14 あなたはスポーツに触れる身近な場として、どのような機会を望みますか？

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 体験教室・大会等のイベント | 4 アスリート等の講演会 |
| 2 パブリックビューイング・観戦 | 5 その他 () |
| 3 テレビ観戦・オンライン視聴 | 6 機会は必要ない |

◆読書活動についてお尋ねします◆

問15 あなたは、どのくらい本を読みますか？(マンガ・教科書を除く)(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------|
| 1 週2、3冊程度 | 3 年数冊 |
| 2 月2、3冊程度 | 4 読まない |

問15-2 問15で「3 年数冊」あるいは「4 読まない」と答えた方にお尋ねします。

本を読まない理由は何ですか？(○はいくつでも)

- 1 読みたいと思う本がない
- 2 読みたいがどんな本があるかわからない
- 3 他の趣味がある
- 4 文字が読みにくくなった、文字を読むことが苦手
- 5 インターネットやテレビなどの方がおもしろい
- 6 コストがかかる
- 7 近くに本を借りる場所・買う手段がない
- 8 本を読む時間がない
- 9 その他 ()

コラム3 お近くの場所で本に親しみませんか？

港南区役所と港南図書館では、「つなぐ」「はぐくむ」「ひろめる」を目標に、区民の皆様が本に親しめるよう、様々な活動に取り組んでいます。

区内には図書館のほか、地区センターやコミュニティハウス、市民図書室など、本を借りたりおはなし会など本を楽しむ場所がたくさんあります。

また、横浜市立図書館では、電子書籍サービスも実施しています。図書館カードを持っている人がパソコンやスマートフォン、タブレット等で利用できるサービスです。

横浜市立図書館電子書籍サービス



港南図書館は令和4年1月21日に開館35周年を迎えました。

港南図書館の
ウェブサイト
を見てね！



港南図書館
マスコットキャラクター
こうなんうさぎ

◆食品ロスの削減についてお尋ねします◆

- 問16 ア 食品ロス削減の取組のうち、現在行っているものは何ですか？(○はいくつでも)
 イ 食品ロス削減の取組のうち、今後行う予定のものは何ですか？(○はいくつでも)

項目	問16ア	問16イ
	現在行っている (○はいくつでも)	今後行う予定 (○はいくつでも)
(1) 定期的に冷蔵庫の中などをチェックして、賞味期限・消費期限が迫っている食品や傷みやすい食品がないか確認する	1	1
(2) 買い物へ行く時は、リストを作って必要以上に買いすぎないようにする	2	2
(3) スーパーなどでは、同じ商品が陳列されていても、店で廃棄されないように期限が近いものを購入する	3	3
(4) 家庭にある食材を無駄なく調理する	4	4
(5) 料理を残さず食べきる	5	5
(6) 期限内ではあるが使う予定のない食品(缶詰など)を必要とするところへ寄付する(フードドライブの利用など)	6	6
(7) 外食の際には食べきれぬ量を注文する	7	7
(8) その他 ()	8	8
(9) 特にない	9	9

問16-2 問16アで「(9)特にない」に○をつけた方にお尋ねします。

取組を行っていない理由は何ですか？(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 取組を行う必要性を感じていない | 4 手間がかかる |
| 2 何を行えばいいかわからない | 5 その他 () |
| 3 時間がない | 6 特に理由はない |

問16-3 問16イで「(9)特にない」に○をつけた方にお尋ねします。

取組を行う予定がない理由は何ですか？(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 取組を行う必要性を感じていない | 4 手間がかかる |
| 2 何を行えばいいかわからない | 5 その他 () |
| 3 時間がない | 6 特に理由はない |

問17 「フードドライブ」という活動を知っていますか？(○は1つ)

- 1 知っていて、すでに利用している
- 2 知っているが、近くに受取場所がない
- 3 知っているが、どこに受取窓口があるかわからない
- 4 知っているが、利用する気はない
- 5 知らない

コラム4 減らそう食品ロス ~食べ物の「もったいない」を考えよう~

横浜市では「食品ロス」が年間約9万3千トン発生しています(2020年度推計)。これを1人当たりに換算すると、年間おにぎり約250個(約25kg)を捨てていることになります。

食べ物を無駄なく消費し、食品ロスを減らす工夫をしましょう。



まるごと旬野菜~使い切りレシピ~
食品ロスを減らすための
レシピ集公開中!

◆区政運営についてお尋ねします◆

問21 今後、短期的（概ね2～3年）に港南区が取り組むべきものとして、どれが重要だと思いますか。下記（1）～（24）のうち、該当する項目の番号を5つまで太枠に記入してください。

--	--	--	--	--

←数字を記入してください。

項目	
まちなみ・環境	(1) 子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備
	(2) 公共施設や個人宅の植栽なども含めた緑化の推進
	(3) 緑地や水辺など、自然環境の保全
	(4) 通勤・通学・買い物などに便利な駅周辺での駐輪場整備
	(5) バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善
	(6) 誰もがゆったり過ごせる公園や広場の整備
	(7) 地球温暖化への対策や環境問題の啓発
福祉・保健	(8) 高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実
	(9) 障害者が安心して生活できる体制づくりや社会参加の促進
	(10) あらゆる保育サービスを活用した待機児童を出さない取組
	(11) 子育て中の人々が気軽に相談や交流などができる施設や機会の充実
	(12) 生活習慣病などを予防するための健康づくり
	(13) 病院・診療所など医療機関の充実
教育・文化	(14) 趣味やスポーツ活動ができる施設の整備
	(15) 仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習の充実
	(16) 区民が楽しく参加できるスポーツイベントの充実
	(17) 区民が楽しく参加できる文化イベントの充実
	(18) 見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援
生活	(19) ペットの飼い方、食の安全など、生活環境の安全確保
	(20) 地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援
	(21) 地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策への支援
	(22) 困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりづくりの促進
	(23) 区民が利用しやすい区庁舎の整備や区役所職員の対応改善
	(24) 経済的に困っている人に対する支援強化

◆最後に、あなたご自身のことについてお尋ねします◆

次のF1～F12の各項目に関して該当する番号を1つ（F6を除く）選び、○をつけてください。（統計的処理に活用するため、おたずねします。差し支えのない範囲でお答えください。）

F1 性別

- 1 男性 2 女性 3 その他・答えたくない

F2 年齢

- 1 18～24歳 6 45～49歳 11 70～74歳
2 25～29歳 7 50～54歳 12 75～79歳
3 30～34歳 8 55～59歳 13 80歳以上
4 35～39歳 9 60～64歳
5 40～44歳 10 65～69歳

F3 ご職業

- 1 会社員・公務員 4 主婦・主夫 7 その他（ ）
2 自営業・自由業 5 学生
3 パート・アルバイトなど 6 無職

F4 世帯構成（同居している家族）

- 1 ひとり暮らし 4 祖父母と親と子（3世代）
2 夫婦だけ 5 その他（ ）
3 親と子（2世代）

F5 同居されているご家族（回答者ご本人を含む）の人数

- 1 1人 3 3人 5 5人
2 2人 4 4人 6 6人以上

F6 同居されているご家族で、あなた自身を除き、下記にあてはまる方はいますか（あてはまる方すべてに○）

- 1 乳幼児・未就学児 4 高校生 7 75歳以上の方
2 小学生 5 専門学生・大学生 8 その他
3 中学生 6 65歳～74歳の方

F7 ペットの飼育状況

- 1 飼っている 2 飼っていない

「飼っている」と答えた方にお尋ねします。

どのようなペットを飼っていますか。（○はいくつでも）頭数もご記入ください。

- 1 犬（ 頭） 2 猫（ 頭） 3 その他（種類： 頭数： ）

F8 港南区での居住年数

- | | | | | | |
|---|------|---|--------|---|--------|
| 1 | 3年未満 | 3 | 6～10年 | 5 | 21～30年 |
| 2 | 3～5年 | 4 | 11～20年 | 6 | 31年以上 |

F9 お住まいの形態

- | | | | |
|---|----------------|---|--------------------|
| 1 | 持家（一戸建て） | 5 | 借家（都市再生機構・公社の共同住宅） |
| 2 | 持家（マンション・共同住宅） | 6 | 社宅・公務員住宅 |
| 3 | 借家（一戸建て） | 7 | 民間アパート・民間賃貸マンション |
| 4 | 借家（県営・市営の共同住宅） | 8 | その他（ ） |

F10 自治会町内会の加入状況

- | | | | | | |
|---|--------|---|---------|---|-------|
| 1 | 加入している | 2 | 加入していない | 3 | わからない |
|---|--------|---|---------|---|-------|

F11 あなたは、これからも港南区に住み続けたいと思いますか？

- | | | | |
|---|-----------|---|-------------|
| 1 | 住み続けたい | 4 | あまり住み続けたくない |
| 2 | やや住み続けたい | 5 | 住み続けたくない |
| 3 | どちらとも言えない | 6 | その他（ ） |

F12 お住まいの町名（50音順）

- | | | | | | |
|---|-----------|----|----------|----|-----------|
| 1 | 大久保1～3丁目 | 10 | 港南台5～9丁目 | 19 | 東芹が谷 |
| 2 | 上大岡西1～3丁目 | 11 | 港南中央通 | 20 | 東永谷1～3丁目 |
| 3 | 上大岡東1～3丁目 | 12 | 最戸1・2丁目 | 21 | 日限山1～4丁目 |
| 4 | 上永谷1～3丁目 | 13 | 笹下1～4丁目 | 22 | 日野1～4丁目 |
| 5 | 上永谷4～6丁目 | 14 | 笹下5～7丁目 | 23 | 日野5～9丁目 |
| 6 | 上永谷町 | 15 | 下永谷1～3丁目 | 24 | 日野中央1～3丁目 |
| 7 | 港南1～3丁目 | 16 | 下永谷4～6丁目 | 25 | 日野南1～4丁目 |
| 8 | 港南4～6丁目 | 17 | 芹が谷1～5丁目 | 26 | 日野南5～7丁目 |
| 9 | 港南台1～4丁目 | 18 | 野庭町 | 27 | 丸山台1～4丁目 |

**以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
（ご提出の方法は、表紙をご覧ください。）**



港南区地域活動応援ロゴマーク

発行日：令和5年1月

発行：港南区総務部区政推進課企画調整係

〒233-0003 横浜市港南区港南四丁目2番10号

電話：045-847-8328 FAX：045-841-7030

港南区ホームページ：<https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/>

港南区区民意識調査のページ：<https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kusei/tokei/ishiki.html>

